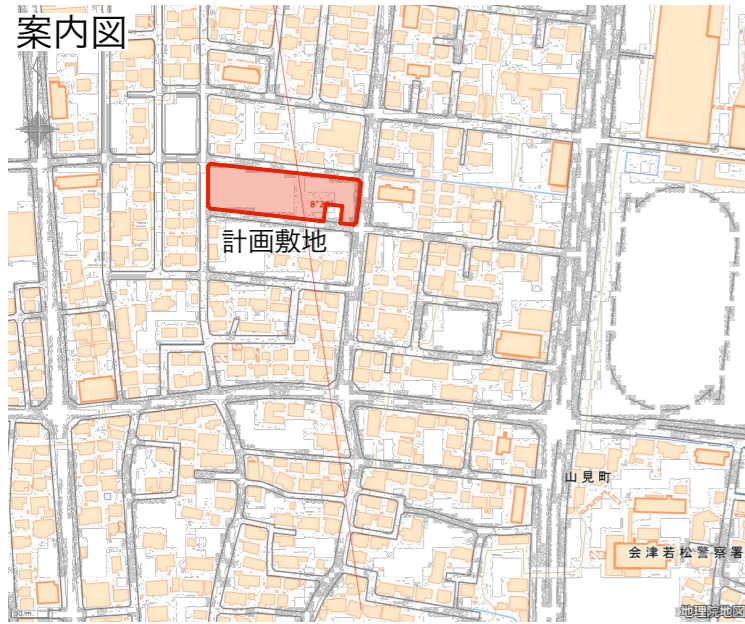


(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

2022.09/01 設計図

意匠図			構造図		
A-001	図面リスト	A-041	S-001	基礎伏図	
A-002	案内図・配置図	A-042	S-002	基礎断面図	
A-003	求積図 敷地面積、建築・延床面積、居室面積	A-043	S-003	1階床伏図	
A-004	仕上凡例	A-044	S-004	1階母屋伏図	
A-005	内部仕上表	A-045	S-005	1階小屋伏図	
A-006	平面図	A-046	S-006	木造壁量計算表-1	
A-007	屋根伏図	A-047	S-007	木造壁量計算表-2	
A-008	立面図・外部仕上表	A-048	S-008	木造壁量計算表-3	
A-009	断面詳細図1	A-049	S-009	木造壁量計算表-4	
A-010	断面詳細図2	A-050	S-010	木造壁量計算表-5	
A-011	建具キープラン	A-051	S-011	木造壁量計算表-6	
A-012	建具表1	A-052			
A-013	建具表2	A-053			
A-014	建具表3	A-054			
A-015	仮設計画図	A-055			
A-016	全体立面図	A-056			
A-017	平面詳細図	A-057			
A-018	展開図1	A-058			
A-019	展開図2	A-059			
A-020	展開図3	A-060			
A-021		A-061			
A-022		A-062			
A-023		A-063			
A-024		A-064			
A-025		A-065			
A-026		A-066			
A-027		A-067			
A-028		A-068			
A-029		A-069			
A-030		A-070			
A-031		A-071			
A-032		A-072			
A-033		A-073			
A-034		A-074			
A-035		A-075			
A-036		A-076			
A-037		A-077			
A-038		A-078			
A-039		A-079			
A-040		A-080			

案内図



住居表示：〒965-0021 福島県会津若松市山見町40-2
 用途地域：第一種住居地域
 防火地域・高度地区：なし
 既存確認済証番号：第H31確認建築BHC会支0002号（平成31年4月1日）
 既存検査済証番号：第R01確済建築BHC会支0195号（令和元年8月23日）

備考：
 ・既存部の法チェックは検査済証により省略
 また増築部による既存への法的な影響がないことを確認
 ・開発許可に関わる切土・盛土はなし
 ・新設の堀・土留はなし

●平均地盤面算定：
 建物周囲で一番地盤面が低いGL-1050を平均地盤面高さとする

●道路斜線検討
 道路幅員+セットバック=6.0+3.8=9.8
 9.8×1.25=12.25(m)

●隣地斜線検討
 20.0+1.25×3.8=24.75(m)

最高高さは5974mm (GL+4924)
 不利側の道路中心高さGL-1280からの建物最高高さは約6.2Mであるため
 上記より斜線制限を明らかに適合する

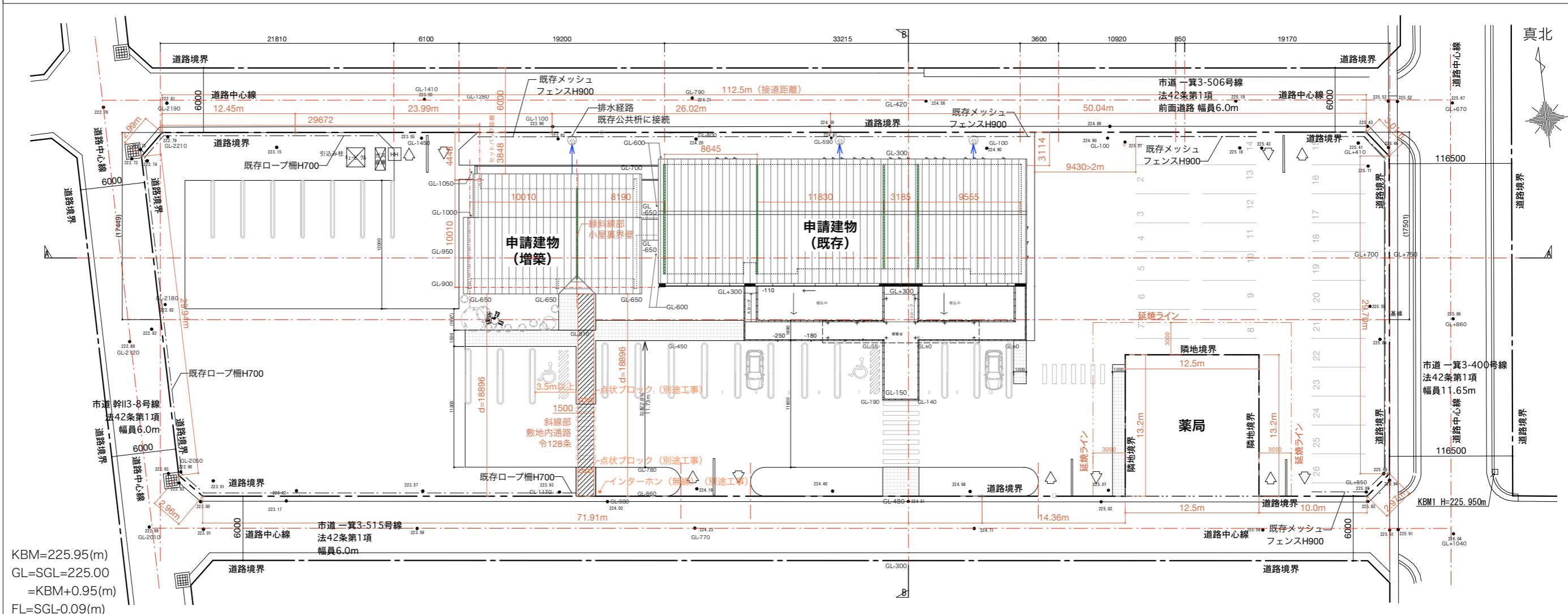
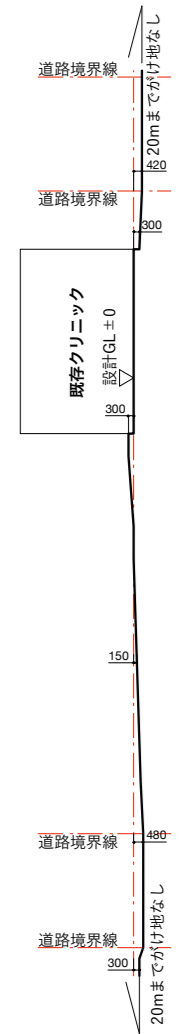
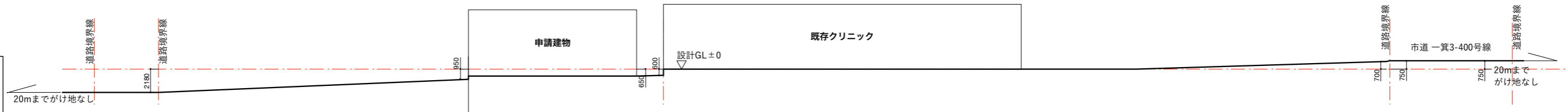
●小屋裏界壁(施行令第114条3項)：
 桁間隔12m以内ごとに小屋裏に準耐火構造の隔壁を設ける
 木下地のうえGB-R t15 (両面張り) (建告1358)
 区画貫通処理は国土交通大臣認定PS060WL-9370(壁)による

●道路中心線からの延焼の恐れのある範囲について
 周囲の道路幅員がすべて6m以上のため
 延焼の恐れのある範囲は道路境界上にある。

●その他
 ・採光、換気、排煙の無窓居室がないことを所定の計算を行い確認
 ・内装制限：適用外
 ・火気使用室なし（調理室はIHコンロを使用）

AA敷地断面図

BB敷地断面図



KBM=225.95(m)
 GL=SGL=225.00
 =KBM+0.95(m)
 FL=SGL-0.09(m)

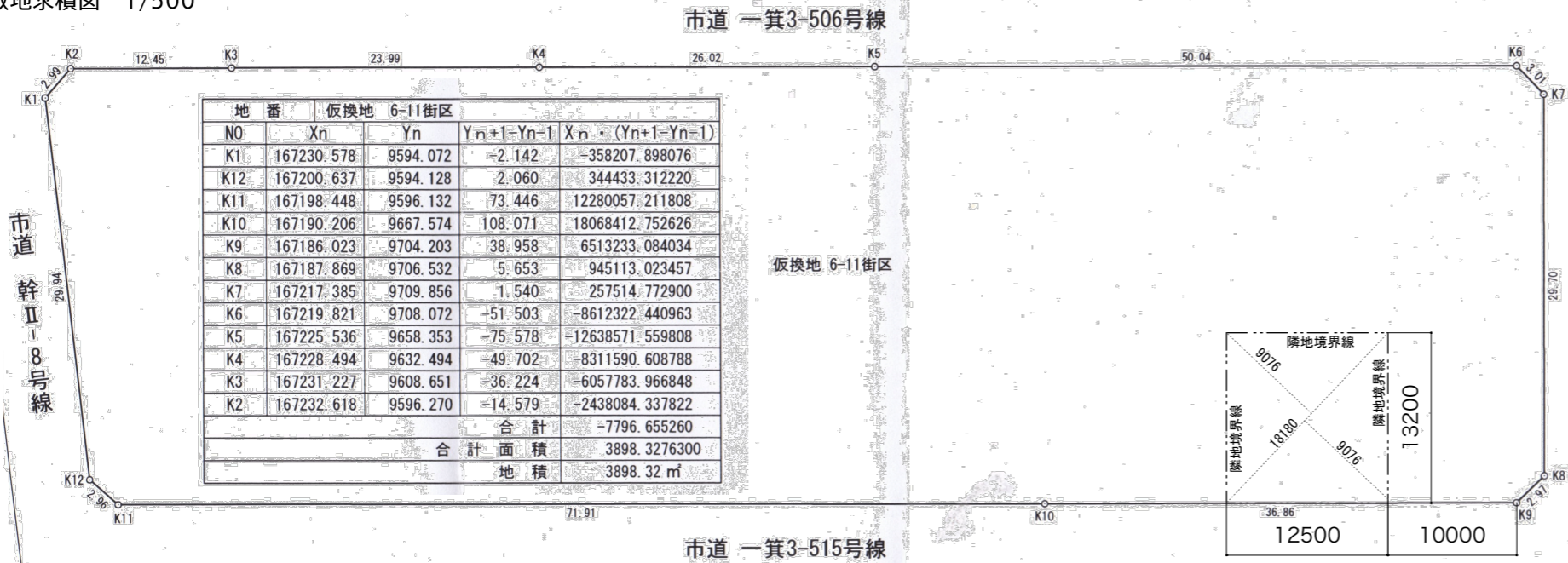
PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
 案内図・配置図

SCALE 1/400
 DATE 2022/09/01
 NO. A-002

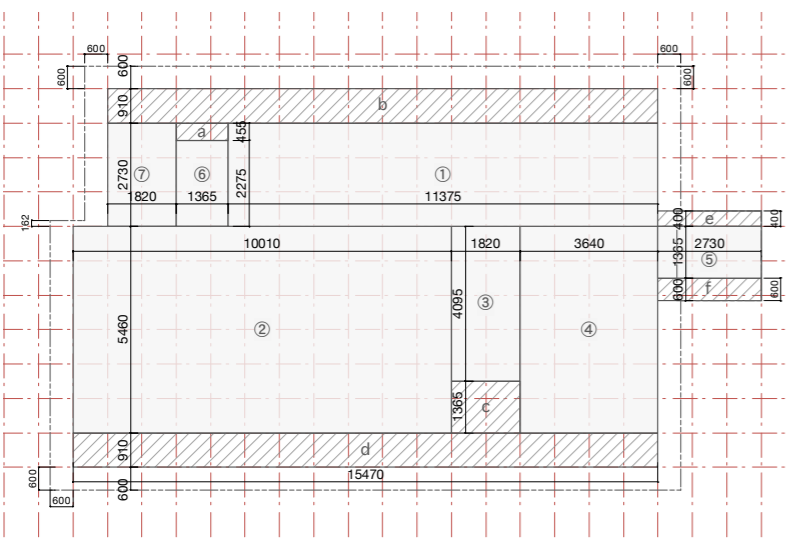
Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

●敷地求積図 1/500



敷地面積					
6-11街区面積	3898.32	m ²			
除外面積	165.00	m ²			
	横 (mm)	縦 (mm)	係数	=	面積 (m ²)
1	18180	× 9076	× 0.5	=	82.501
2	18180	× 9076	× 0.5	=	82.501
			合計		165.00
敷地面積	=	3898.32	-	165.00	= 3733.32

●建築面積・延床面積 1/200



延床面積					
	横 (mm)	縦 (mm)	係数	=	面積 (m ²)
1	11375	× 2730	× 1	=	31.054
2	10010	× 5460	× 1	=	54.655
3	1820	× 4095	× 1	=	7.453
4	3640	× 5460	× 1	=	19.874
5	2730	× 1365	× 1	=	3.726
6	1365	× 2275	× 1	=	3.105
7	1820	× 2730	× 1	=	4.969
合計					124.83

建築面積					
	横 (mm)	縦 (mm)	係数	=	面積 (m ²)
a	1365	× 455	× 1	=	0.621
b	14560	× 910	× 1	=	13.250
c	1820	× 1365	× 1	=	2.484
d	15470	× 910	× 1	=	14.078
e	2730	× 400	× 1	=	1.092
f	2730	× 600	× 1	=	1.638
合計					33.16
建築面積	=	延床面積	+ a ~ f		面積 (m ²)
		124.83	+ 33.16	=	157.99

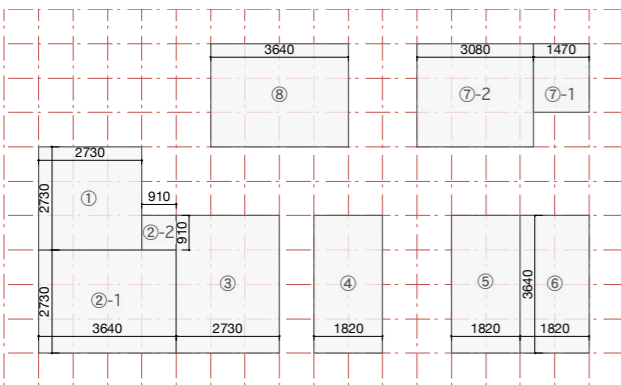
法28条、法35条の2、法35条の3 (採光・換気上の無窓居室の確認)

室名	室面積 S1 (m ²)	採光面積の算定								必要面積 S/5	判定	換気面積の算定						備考	
		建具番号	サッシ寸法 建具 W(m) H(m)	数量	窓面積 S2 WxH	補正係数A	水平距離 d	垂直距離 h	有効面積 WxHxA			建具番号	サッシ寸法 建具 W(m) H(m)	窓形式係数	数量	有効面積 WxH	必要面積 S/20		
保育室1	7.453	AW1	1.62 2.0	1	3.24	3	18.896	1.210	9.72										
保育室2	10.765									3.64	ok				0.911	ok		令111条2項：随時開放による2室1室	
合計	18.218																		
保育室3	9.937	AW1	1.62 2.0	1	3.24	3	18.896	1.210	9.72	1.99	ok	AW1	1.62 2.0	0.5 1	1.62	0.497	ok		
受入室	6.625	AW3	0.57 0.9	1	0.51	3	18.896	0.827	1.54	1.33	ok	AW3	0.57 0.9	1 1	0.51	0.331	ok		
事務室	6.625	AW3	0.57 0.9	1	0.51	3	18.896	0.458	1.54	0.33	ok	AW3	0.57 0.9	1 1	0.51	0.331	ok	保育用途ではないため採光1/20	
隔離室	6.625	AW3	0.57 0.9	1	0.51	3	18.896	0.458	1.54	1.33	ok	AW3	0.57 0.9	1 1	0.51	0.331	ok		
調理室	9.937	AW4	1.62 0.5	1	0.81	3	3.853	0.386	2.43	1.99	ok	AW4	1.62 0.5	1 1	0.81	0.497	ok		
職員休憩室	11.084	AW3	0.57 0.9	1	0.51	3	3.855	0.586	1.54	0.55	ok	AW3	0.57 0.9	2 1	1.03	0.554	ok	保育用途ではないため採光1/20	

法35条より令116条の2 (排煙上の無窓居室の確認)

室名	室面積 S1 (m ²)	排煙面積の算定						判定	備考
		建具番号	サッシ寸法 建具 W(m) H(m)	窓の形式による係数	数量	有効面積 WxH	必要面積 S/50 (m ²)		
保育室1	7.453	AW1	1.62 0.653	0.5	1	0.53	0.364	ok	令116条の2、2項：随時開放による2室1室
保育室2	10.765								
合計	18.218					合計 0.53			
保育室3	9.937	AW1	1.62 0.653	0.5	1	0.53	0.199	ok	
受入室	6.625	AW3	0.57 0.775	1	1	0.44	0.133	ok	
事務室	6.625	AW3	0.57 0.775	1	1	0.44	0.133	ok	
隔離室	6.625	AW3	0.57 0.775	1	1	0.44	0.133	ok	
職員休憩室	11.084	AW3	0.57 0.775	1	1	0.44	0.222	ok	
調理室	9.937	AW4	1.62 0.475	1	1	0.77	0.199	ok	

●居室面積 1/200



No	室名	横 (mm)	縦 (mm)	係数	=	面積 (m ²)
1	保育室1	2730	× 2730	× 1	=	7.453
2-1	保育室2	3640	× 2730	× 1	=	9.937
2-2		910	× 910	× 1	=	0.828
合計						10.765
3	保育室3	2730	× 3640	× 1	=	9.937
4	受入室	1820	× 3640	× 1	=	6.625
5	事務室	1820	× 3640	× 1	=	6.625
6	隔離室	1820	× 3640	× 1	=	6.625
7-1	職員休憩室	1470	× 1820	× 1	=	2.675
7-2		3080	× 2730	× 1	=	8.408
合計						11.084
8	調理室	3640	× 2730	× 1	=	9.937

PROJECT TITLE

(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE

求積図

SCALE 1/200

DATE 2022/09/01

NO. A-003

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体

一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文

一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号

埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

仕 上 凡 例	<p>本表は本工事に用いる内外装仕上げを一括して表す。 凡例・共通事項・材料表に記載の事項は本表以外の設計図にも適用する。</p>					
	記 号	名 称	品質・規格・寸法など	認定番号	備 考	
床 壁 天井	R C型	コンクリート型枠外しのまま				
	R C化	コンクリート化粧打放し（A種）				
	R C直	コンクリート金ゴテ押さえ				
	MK	モルタル金ゴテ押さえ				
	C B	軽量コンクリートブロック				
	C T	コンポジションビニル床タイル（半硬質）				
	C T S	コンポジションビニル床タイル（軟質）				
	N C	ビニル床シート				
	G B－R	石膏ボード（不燃）	t 1 2 . 5 mm , 1 5 mm , 2 1 mm	NM－8 6 1 9		
		石膏ボード（準不燃）	t 9 . 5 mm	QM－9 8 2 8		
	G B－R－H	普通硬質石膏ボード（不燃）	t 9 . 5 mm , 1 2 . 5 mm , 1 5 mm	NM－9 6 4 5（個別認定）		
	G B－S	シーリング石膏ボード（不燃）	t 1 2 . 5 mm	NM－9 6 3 9（個別認定）		
		シーリング石膏ボード（準不燃）	t 9 . 5 mm , 1 2 . 5 mm , 1 5 mm	QM－9 8 2 6		
	G B－D	化粧石膏ボード（不燃/準不燃）	t 9 . 5 mm	NM－0 8 7 9/QM－9 8 2 4		
	G B－T	化粧石膏ボード　トラバーチン模様	t 9 . 5 mm			
	G B－P	化粧吸音石膏ボード	t 9 . 5 mm	NM－0 8 7 9/NM－9 8 2 2	スクエアトーン/ランダム穴あき	
	D R	ロックウール吸音板（岩綿吸音板）	t 1 2 mm , 9 mm	NM－9 9 7 2		
	G B－F	強化石膏ボード	t 1 2 . 5 mm , 1 5 mm , 2 1 mm	NM－8 6 1 5		
	F K	ケイ酸カルシウム板	t 5 mm～1 5 mm	NM－2 7 7 3		
	R W	吹付けロックウール				
G W	グラスウール					
G W－B	グラスウールボード　ガラスクロス額貼					
P C	プレキャストコンクリート					
防水	A S防水	アスファルト防水				
塗料	E P	合成樹脂エマルジョンペイント				
	E P－G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント				
	S O P	合成樹脂調合ペイント	NM－8 5 8 5（不燃下地）			
	D P	耐候性塗料（フッ素）	QM－9 8 1 6（準不燃下地）			
	C L	クリアクラッカー	RM－9 3 6 4（難燃下地）			
	U C	ウレタン樹脂ワニス				
	O S	オイルステイン				
	W S	水性ステイン				
	W P	木材保護塗装				
	内装		ビニルクロス（不燃）	不燃下地	NM－1 0 9 6	
		ビニルクロス（準不燃）	不燃下地/準不燃下地	QM－9 4 0 1		

【断熱性能】

屋根・天井　高性能グラスウール24K t210（熱伝導率 λ=0.035[W/m・K]同等品）

外壁　高性能グラスウール16K t120（熱伝導率 λ=0.038[W/m・K]同等品）

基礎断熱部　A種押出法ポリスチレンフォーム保温板t50（熱伝導率 λ=0.028[W/m・K]同等品）

隙間補充　現場発泡硬質ウレタンフォームA種1相当（熱伝導率 λ=0.026[W/m・K]同等品）（ノンフロウ）

開口部　引違い窓(熱貫流率 U=2.05[W/m2・K]同等品)

その他窓(熱貫流率 U=1.92[W/m2・K]同等品)

■屋根断熱部

- 登梁を@1820以下とし、小梁を@910とすることで構造合板t24を四周釘打ちできるように計画（水平構面の確保）
- 梁間に断熱材充填、必要に応じて断熱材の受材を設置。

■気密工事の考え方について（参考）

床の気密

・合板目地部

剛床（ネダレス）工法では床合板が気密層になるため継目処理に注意をする

特に継目下部に下地がない場合は気密テープを貼ること

・外壁下端部

柱廻りで床下から壁断熱層に向かう隙間が生じないよう注意する

・床合板と柱廻り

床合板は柱廻りで合板敷込みのクリアランスが取る場合後から塞ぐこと

壁内に床下の冷気が流れ込み、内壁の表面温度の低下や内部結露の原因になるため。

隙間を塞ぐ例）プチルコーキングの充填や気密テープ（気密柱バリアー/日本住環境）など

・設備配管の床貫通部

気密テープやEPDMゴムシートなどで隙間が出来ないように注意をする

・床の防湿施工

防湿層は設けない。床に水がしみ込んだ際に蒸発しにくく合板が腐朽する原因となるため。

床断熱材の下面は床下に開放させる。（グラスウールの受材は透湿性のあるものを使用する）

外壁の気密

・ダクトなど貫通孔は気密テープ（ドームパッキン/日本住環境）などで隙間を塞ぐ

・コンセント開口部

穴が上下に2箇所あると気流が生じてしまうため、内壁内に気流留めを設け電線が貫通する箇所にシールをうち気密を取る

天井

・防湿気密シートは木下地の上で100mm程度重ねて継ぐ

・壁との取合い部は、野縁と石膏ボードの間に先張りシートを挟みつけるなどして気密化を図る

・気密シートは野縁の方向と同じ方向に貼り、シートの継目が全長に渡って野縁の上にくるようにする

共 通 事 項

下記事項は共通とし指示がなくとも適用する。

但し異なる指示のある場合を除く。

【鉄筋コンクリート工事】

■ 外断熱を行う場合：鋼製型枠を使用する際は立上り高さに注意のこと。（基礎一体打ちを推奨）

■ 型枠繫結金物はコーン付のものとし、コーン跡は既成セメント系充填用コーンを樹脂ノロにて充填する。不良箇所はすみやかに、ケレン及びモルタル補修を行う。

■ 地下外壁の内側コンクリート面の型枠繫結金物は凹部にハツリ込み防水モルタル詰めとする。

■ 外壁内断熱の内部仕上げは石膏ボード1 2 . 5 ジョイント工法（G L工法）とする。

■ 機械基礎は建築工事に含み、仕上げは打放し補修仕上げとする。（位置・形状・寸法は別図参照）

■ コンクリート化粧打放し

型枠繫結金物の処理は前記に従う。

ウレタン樹脂塗装型枠（新品）t 1 2 を使用し、施工計画割付け図作成し、監理者の承認を得ること。

■ コンクリート打放し面の補修

不陸2 . 0 mm/M以内とする。化粧打放し面の補修は、監理者の指示による。

■ コンクリート化粧打放し面には化粧（伸縮）目地を設けること。@ 3 , 6 0 0程度

■ コンクリート増打ち寸法（mm）は以下による。

仕上	A種（化粧打放）	B種（モルタル補修	C種（G L工法）	C種
外部	2 5	2 5	—	2 5
内部	2 5	2 5	0	1 0

【鉄骨工事】

■ 外部に使用する部材は溶融亜鉛メッキを施すこと。

【防水工事】

■ 室内防水押え等のコンクリートには溶接金網（6 . 0 φ 1 0 0□）を打ち込む。

■ 外壁に取り付ける金物雨掛かり部周囲は、シール材（特記無き限りS R－2）を充填する。

■ 外壁を貫通する種はツバ付貫通とし、外側の周囲はシール材を充填する。

■ 地下外壁の打ち継ぎ箇所には打継ぎ止水剤（早川ゴム、スパンシール程度）を打込みの上、シール材を充填のこと。

【金属工事】

■ 内外部に使用するステンレスは、特記無き限りS U S 3 0 4とする。

■ ステンレス金物はヘアーライン仕上を原則とし、鏡面仕上げの場合8 0 0 #程度とする。

■ 床の仕上材の異なる部分には、特記無き限りステンレスF B－6 × 3 2を使用する。

■ 特記無き限り外部鉄部は亜鉛メッキを行うこと。

■ P C壁及びL G S下地ボード貼部分をダクト及びパイプ等が貫通する場合は開口部補強及びシーリング等を行うこと。

■ 天井点検口はアルミ（F B）枠とし、表面仕上げは天井と同材とする。

■ 外部スチール手摺にE X P Jを設けること。

【左官工事】

■ コンクリート直押えはコンクリート打設時に特記無き限り金ゴテ押えとする。

但し仕上げ厚さは仕上げ及びコンクリートの増打ちで合計1 0 mmとする。

【塗装工事】

■ 壁面の塗装はローラー仕上げとする。

■ 天井の塗装はローラー仕上げとする。

■ 階段室内の塗装は、不燃基材同等品とする。

■ 内部木部は特記なき限りU Cとする。

■ 外部木部は特記なき限りW P 2回塗りとする。

■ 内部の見え掛かりとなる鉄部で特記なき場合はS O P塗りとする。

【内装工事】

■ ビニルシート等は樹脂ワックス仕上げを行う。

■ ボード張り、石膏プラスターのコーナー部はコーナービートを使用する。

■ 天井岩綿吸音板の下張りは石膏ボードt 9 . 5とする。

■ 特記無き限り異種材取合い部は、目透かし処理をすること。

■ 防火上主要な間仕切壁・遮音壁の石膏ボード二重張りの範囲は、屋根・スラブ・梁下端まで立上げとする。

又、屋根・スラブ・梁との接合部はメーカー指定による防火処理を行う。

■ 天井廻り縁は特記なき場合は塩ビ目透かしタイプとする。

PROJECT TITLE
（仮称）やまみ病児保育所　増築工事

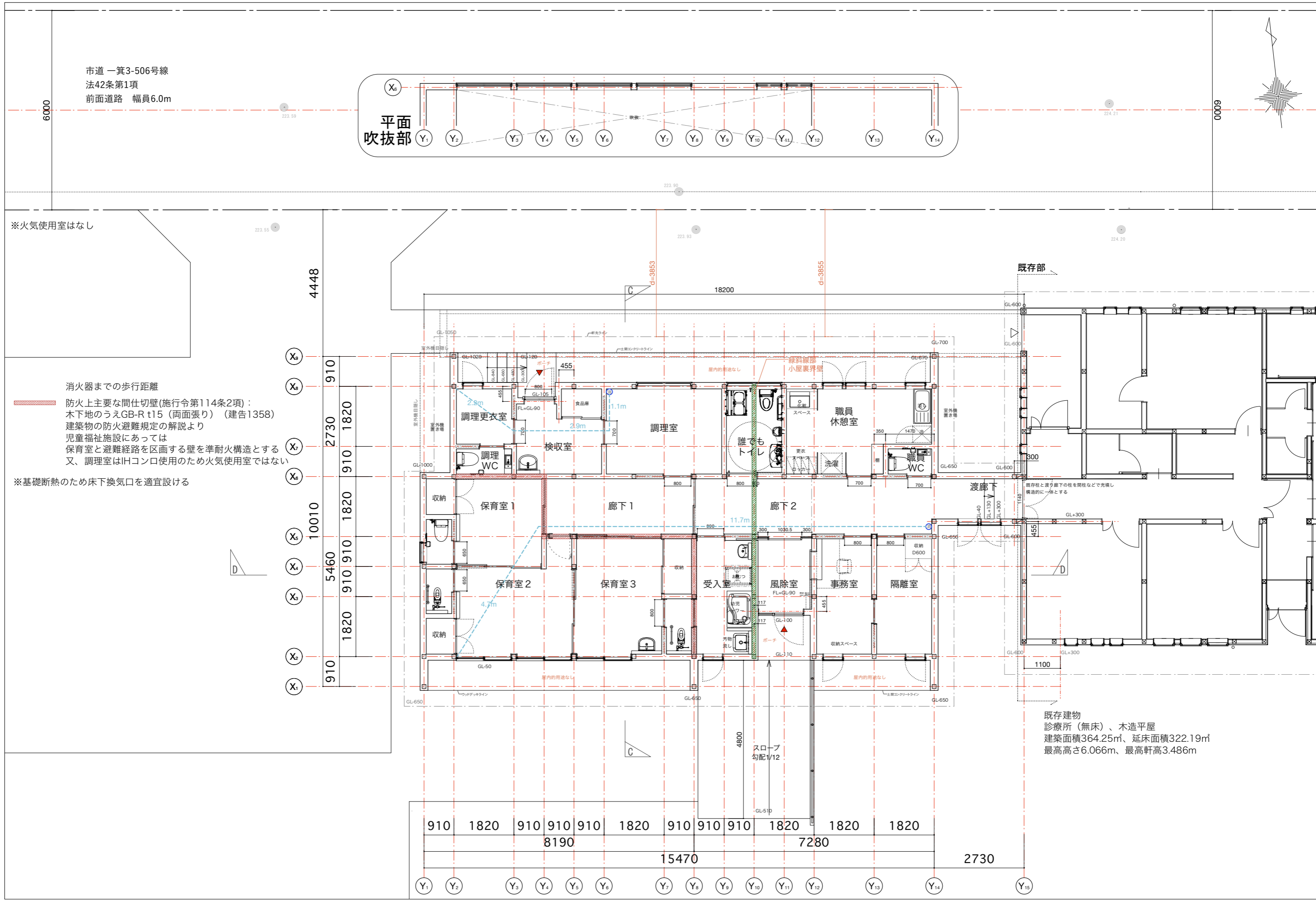
DROWING TITLE
仕上げ凡例・共通事項・断熱性能

SCALE	1/100	Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体 一級建築士登録番号第359880号　秋月孝文 一級建築士事務所登録　埼玉県登録　第(1)11409号 埼玉県新座市東北2-34-12-703　TEL 080-2013-1806
DATE	2022/07/11	
NO.	A - 004	

室番	室名	天井高さ	床	巾木	壁	天井	天井見切	居室	告示	備考
1	風除室		コンクリート下地、磁器質タイルt10張り 構造合板t24下地、無垢フローリングt15	SUS、スプルス H=40 チリ5mm	GB-R t12.5 ビニルクロス張り	ヒノキ小幅板風羽目板t12,巾100,3本溝 /野地木材 同等品	目透かし 6mm 天井底目			
2	事務室	2225	構造合板t24下地、無垢フローリングt15(ナラ(W120)/ユニ、オイル仕上/共栄木材 同等品)	スプルス H=40 チリ5mm	同上	化粧吸音石膏ボード t9.5 (タイガースクエアト NDプラス/吉野石膏 同等品)	cp-910(加) 創建 同等	○		
3	隔離室	2225	同上	スプルス H=40 チリ5mm	GB-R t12.5 エコフリースE75/ナガイ 同等品	同上	同上	○		
4	職員休憩室	2225	同上	スプルス H=40 チリ5mm	GB-R t12.5 ビニルクロス張り	同上	同上	○		
5	職員WC	2225	構造合板t24下地+捨て合板t12 長尺シート仕上げt2(PG-20272/サンゲツ 同等品)	スプルス H=40 チリ5mm	同上	GB-R t9.5 ビニルクロス張り	同上			
6	誰でもトイレ	2225	同上	スプルス H=40 チリ5mm	同上	同上	同上			
7	調理室	2225	同上	長尺シート巻上げ H40,アルミ立上げ見 切. 54078/創建 同等	GB-R t12.5 ビニルクロス張り 一部、キッチンパネル	同上	同上	○	IHコンロのため火気使用室なし	
8	検収室	2225	同上	長尺シート巻上げ H40,アルミ立上げ見 切. 54078/創建 同等	GB-R t12.5 ビニルクロス張り	同上	同上			
9	調理更衣室	2225	構造合板t24下地、捨て合板t5.5 タイルカーペットt9仕上げ	スプルス H=40 チリ5mm	同上	化粧吸音石膏ボード t9.5 (タイガースクエアト NDプラス/吉野石膏 同等品) ビニルクロス張り	同上			
10	調理WC	2225	構造合板t24下地+捨て合板t12 長尺シート仕上げt2(PG-20272/サンゲツ 同等品)	スプルス H=40 チリ5mm	同上	GB-R t9.5 ビニルクロス張り	同上			
11	保育室 1		構造合板t24下地、床暖房対応複合フローリングt15(オーク EG(W125)/ユニ、自然オイル仕上/東京工営 同等品)	スプルス H=40 チリ5mm	GB-R t12.5 エコフリースE75/ナガイ 同等品	ヒノキ小幅板風羽目板t12,巾100,3本溝 /野地木材 同等品	目透かし 6mm 天井底目	○		床暖房
12	保育室 2		同上	同上	同上	同上	同上	○		床暖房
13	保育室 3		同上	同上	同上	同上	同上	○		床暖房
14	保育WC	2225	構造合板t24下地+捨て合板t12 長尺塩ビシートt3 (ココフロアPG-20306/サンゲツ 同等品)	スプルス H=40 チリ5mm	GB-R t12.5 ビニルクロス張り	GB-R t9.5 ビニルクロス張り	cp-910(加) 創建 同等			
15	受入室	2225	同上	スプルス H=40 チリ5mm	同上	同上	同上	○		
16	廊下 1		構造合板t24下地、床暖房対応複合フローリングt15(オーク EG(W125)/ユニ、自然オイル仕上/東京工営 同等品)	スプルス H=40 チリ5mm	同上	ヒノキ小幅板風羽目板t12,巾100,3本溝 /野地木材 同等品	目透かし 6mm 天井底目			床暖房
17	廊下 2		構造合板t24下地、無垢フローリングt15(ナラ(W120)/ユニ、オイル仕上/共栄木材 同等品)	スプルス H=40 チリ5mm	同上	同上	同上			
18	渡廊下	2565	同上	スプルス H=40 チリ5mm	同上	GB-R t9.5 ビニルクロス張り	cp-910(加) 創建 同等			

- ・ 仕上表中に色番や品番の指定がある場合であっても、発注前に必ず監理者の確認・承認を受けること。
- ・ 外部に面する内壁、及び天井は気密フィルム張りとする（共通）
- ・ 使用建材（下地合板、接着剤、塗料等含む）・内装材・家具類等について、F☆☆☆☆のものを使うこと。
- ・ 天井裏等についても、F☆☆☆☆のものを使うこと。
- ・ 建材・内装材・家具類等について、クロルピリホスを添加した建材を使用しないこと。

	PROJECT TITLE	DROWING TITLE	SCALE 1/50	Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806
	(仮称) やまみ病児保育所 増築工事	内部仕上表	DATE 2022/09/01	
			NO. A-005	



市道 一箕3-506号線
 法42条第1項
 前面道路 幅員6.0m

平面
吹抜部

既存部

既存建物
 診療所 (無床)、木造平屋
 建築面積364.25㎡、延床面積322.19㎡
 最高高さ6.066m、最高軒高3.486m

※火気使用室はなし

消火器までの歩行距離
 防火上主要な間仕切壁(施行令第114条2項):
 木下地のうえGB-R t15 (両面張り) (建告1358)
 建築物の防火避難規定の解説より
 児童福祉施設にあっては
 保育室と避難経路を区画する壁を準耐火構造とする
 又、調理室はIHコンロ使用のため火気使用室ではない

※基礎断熱のため床下換気口を適宜設ける

4448

X9

X8

X7

X6

X5

X4

X3

X2

X1

2730

1820

910

1820

910

10010

5460

910

1820

910

1820

910 1820 910 910 910 1820 910 910 910 1820 1820 1820

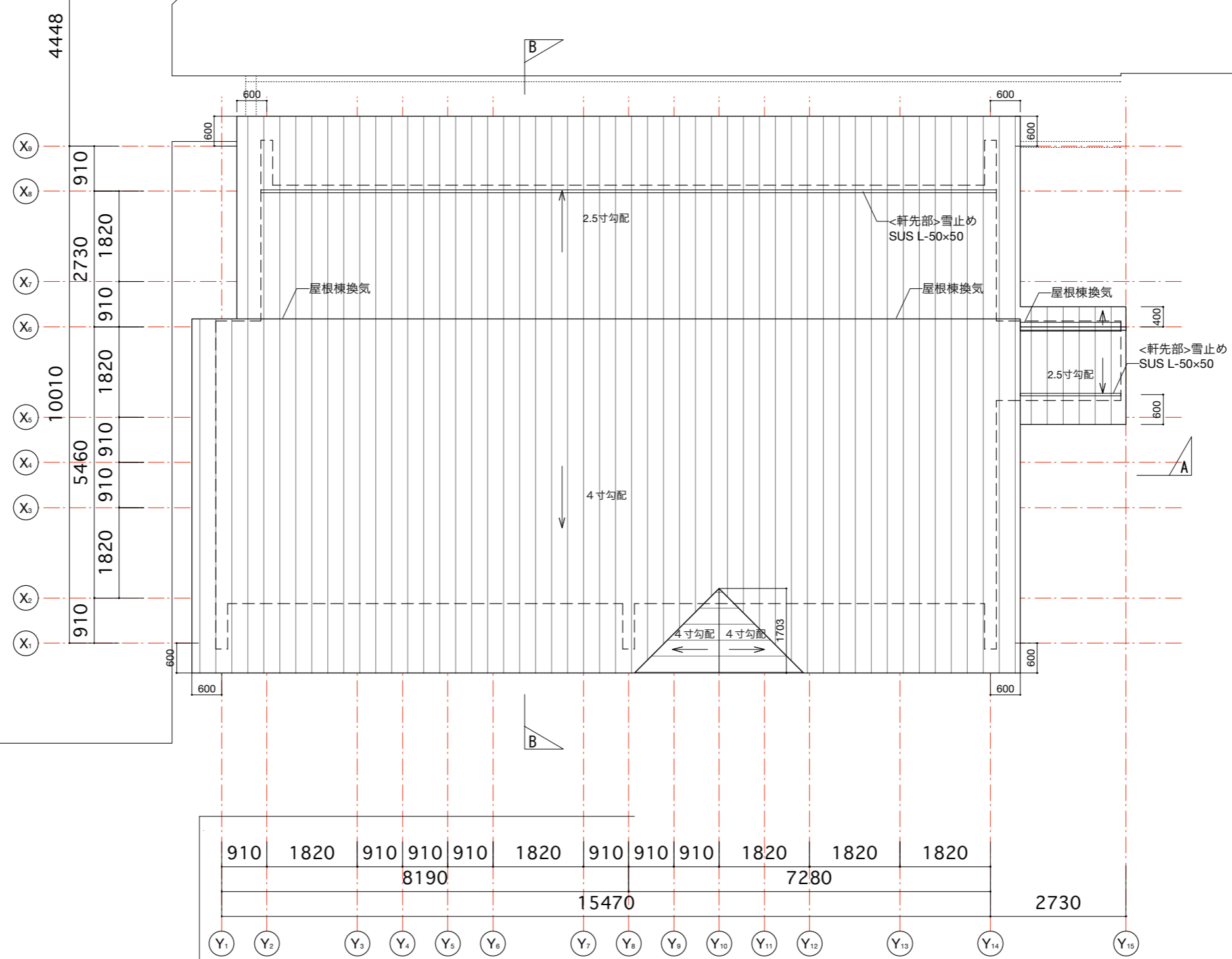
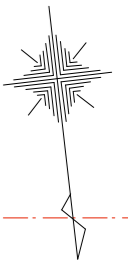
8190

15470

7280

2730

市道 一箕3-506号線
 法42条第1項
 前面道路 幅員6.0m

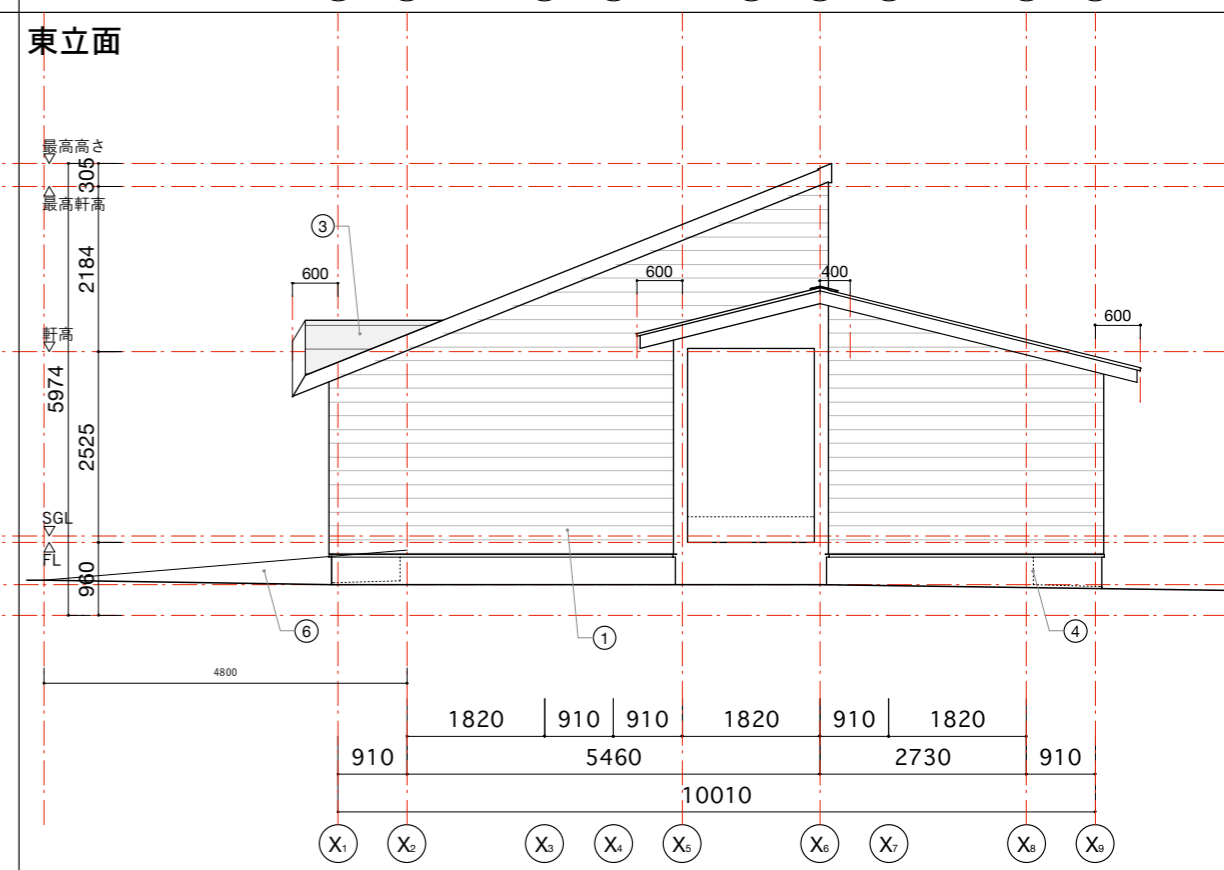
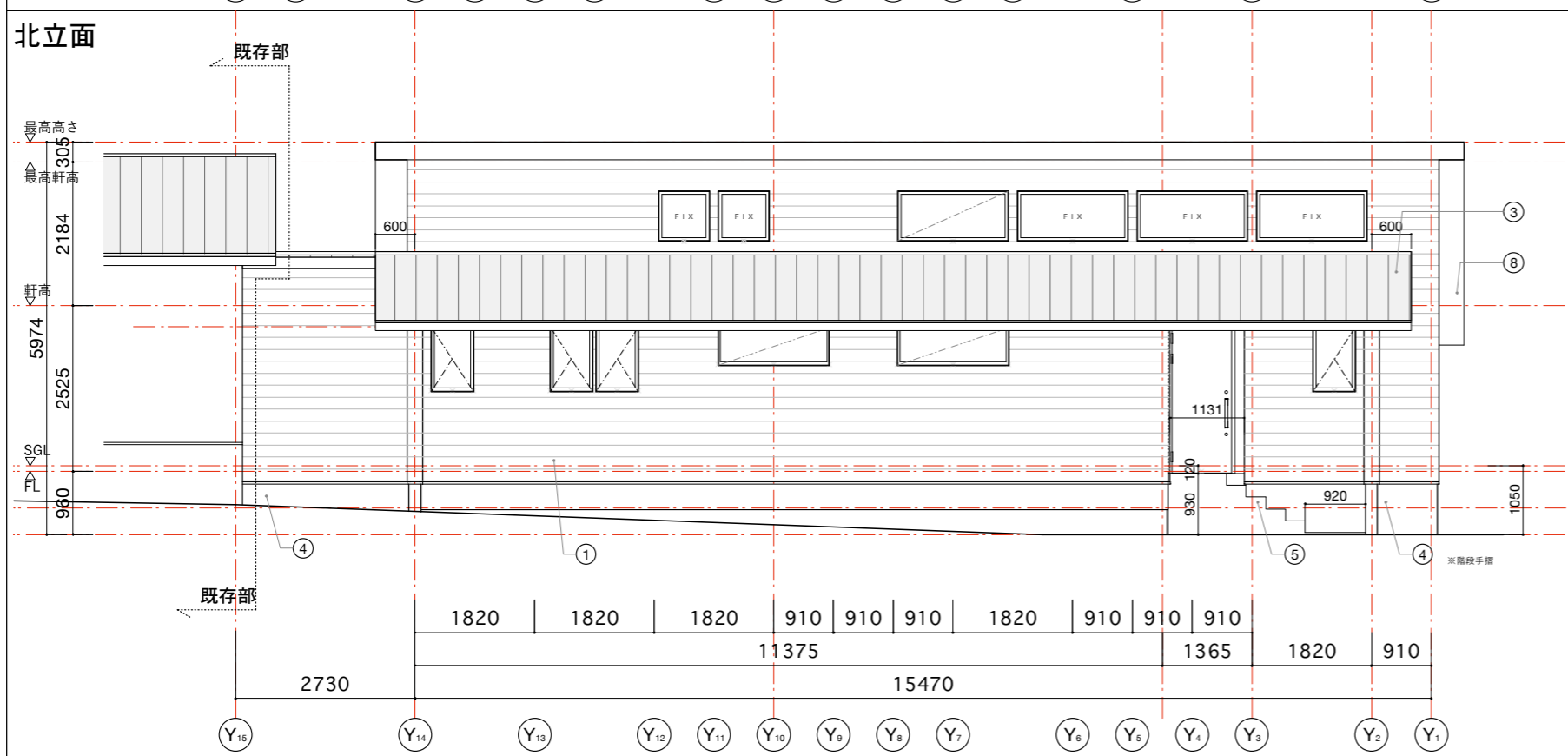
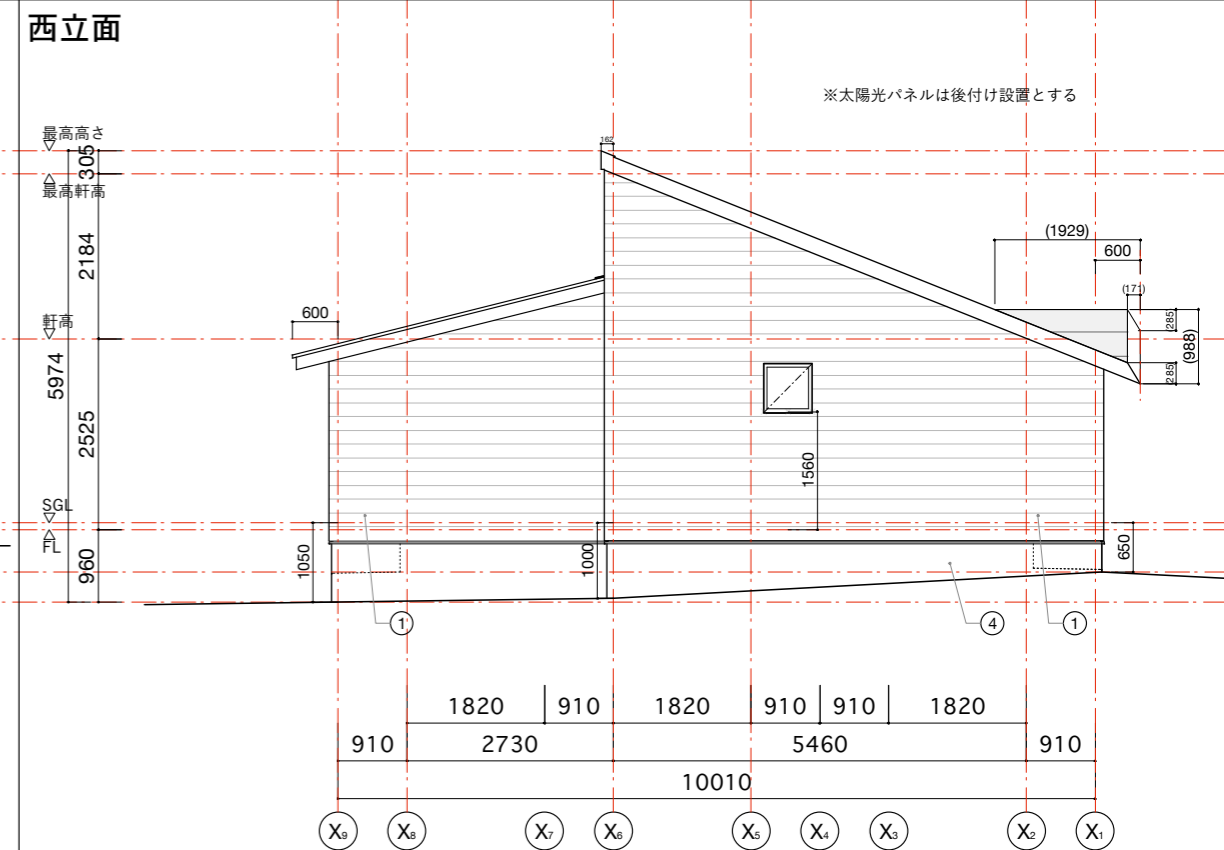
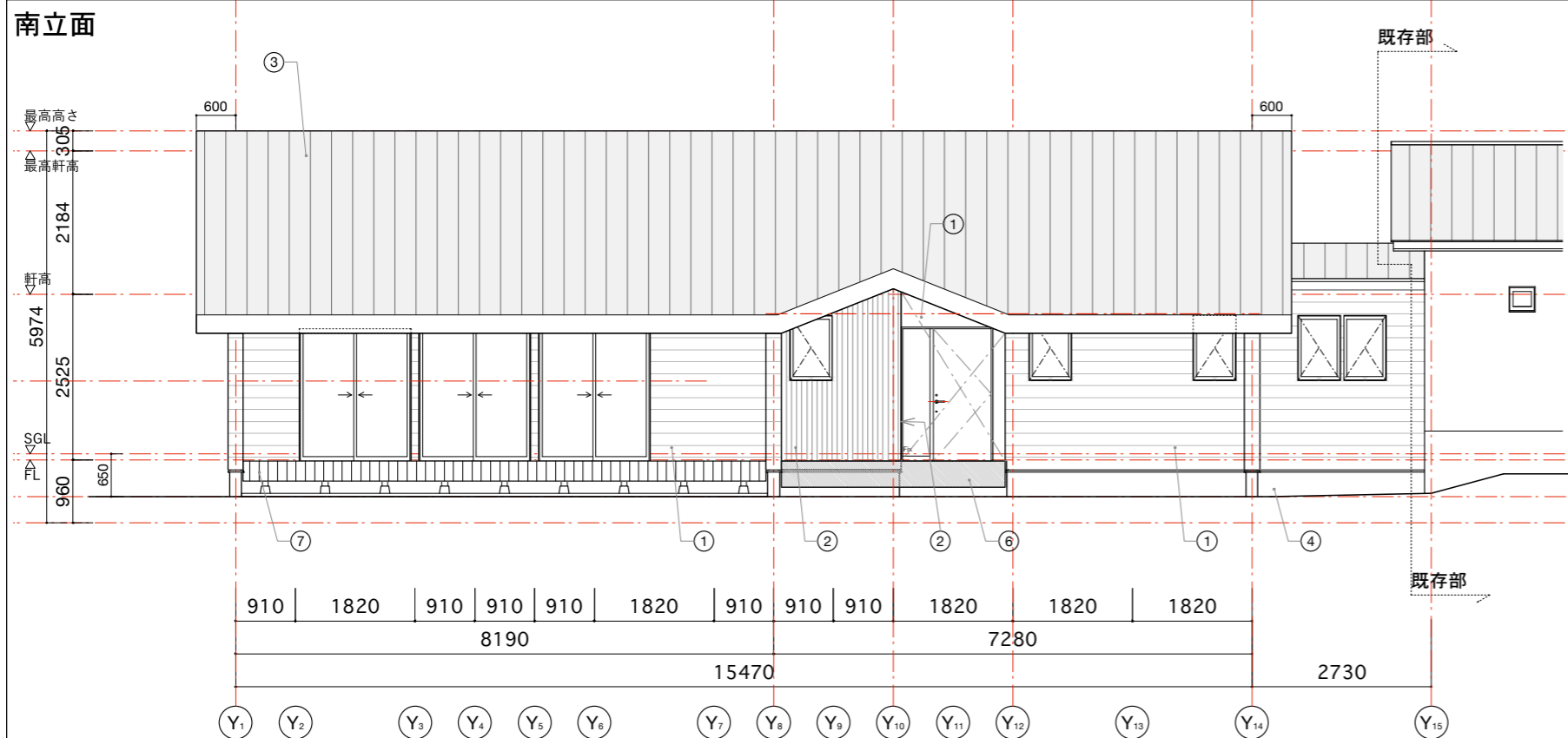


PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
 屋根伏図

SCALE 1/100
 DATE 2022/06/24
 NO. A-007

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806



番号	部位	仕上げ	備考	番号	部位	仕上げ	備考
1	外壁 (窯業系平形スレート)	気密フィルム張り (室内側のみ) / 高性能GW16kg t120/ 構造用合板t9 / 透湿防水シートt0.2(タイベック同等品可)/ 通気胴縁t18x45@455 外壁下地: 構造用合板t9/非透湿防水シート(アスファルトフェルト430同等以上) 仕上げ: 窯業系平形スレートt5.5(SolidoTypeM-Lap/ケイミュー同等品)	窯業系平形スレート・色: 仮・セメント 土台水切りスリムタイプ50 同等品 スターター補助部材 出隅は突付け納まりとし、入隅はスマート入隅とする NM-4601(1): 窯業系平形スレートt5.5	4	基礎立上り	モルタル金ゴテ仕上げ	
2	外壁 (木張り)	気密フィルム張り (室内側のみ) / 高性能GW16kg t120/ 構造用合板t9 / 透湿防水シートt0.2(タイベック同等品可)/ 通気胴縁t18x45@303 仕上げ: レッドシダー本実パネリング80x111 縦張り (ラフ面を表・仮) キシラデコール塗装	レッドシダー本実パネリング: TG-1180 W80x111 /東京工営 同等品 キシラデコール塗装色: 仮・チーク	5	ステップ	モルタル金ゴテ仕上げ (立上りとも)	防塵塗装
3	金属屋根	高性能GW24kg t210 (t105x2)/合板継手105x105@910/ 構造用合板t24 / 垂木45x135@303(通気兼ねる)/ 野地板 t12(本実) / アスファルトルーフィング940 / ガルバリウム鋼板 t0.35以上 (立平ロック32型@454,切り欠き仕様 同等品)	ガルバリウム鋼板色: 仮・既存クリニック近似色 太陽光パネル設置付属金物一式 NM-8697: ガルバリウム鋼板	6	スロープ	モルタル金ゴテ仕上げ (立上りとも)	防塵塗装
				7	デッキテラス	レッドシダーデッキ90x140目透かし張り (目透かし3mm) 大引き 90x90 (防塵処理) 幕板 20x141(1x6材) キシラデコール塗装	キシラデコール塗装色: 未定
				8	軒裏天井	高圧岩綿複層板t12 (ダイトライト軒天羽目板/ダイケン 同等品) 木製下地 30x30@303	NM-4133: 高圧岩綿複層板

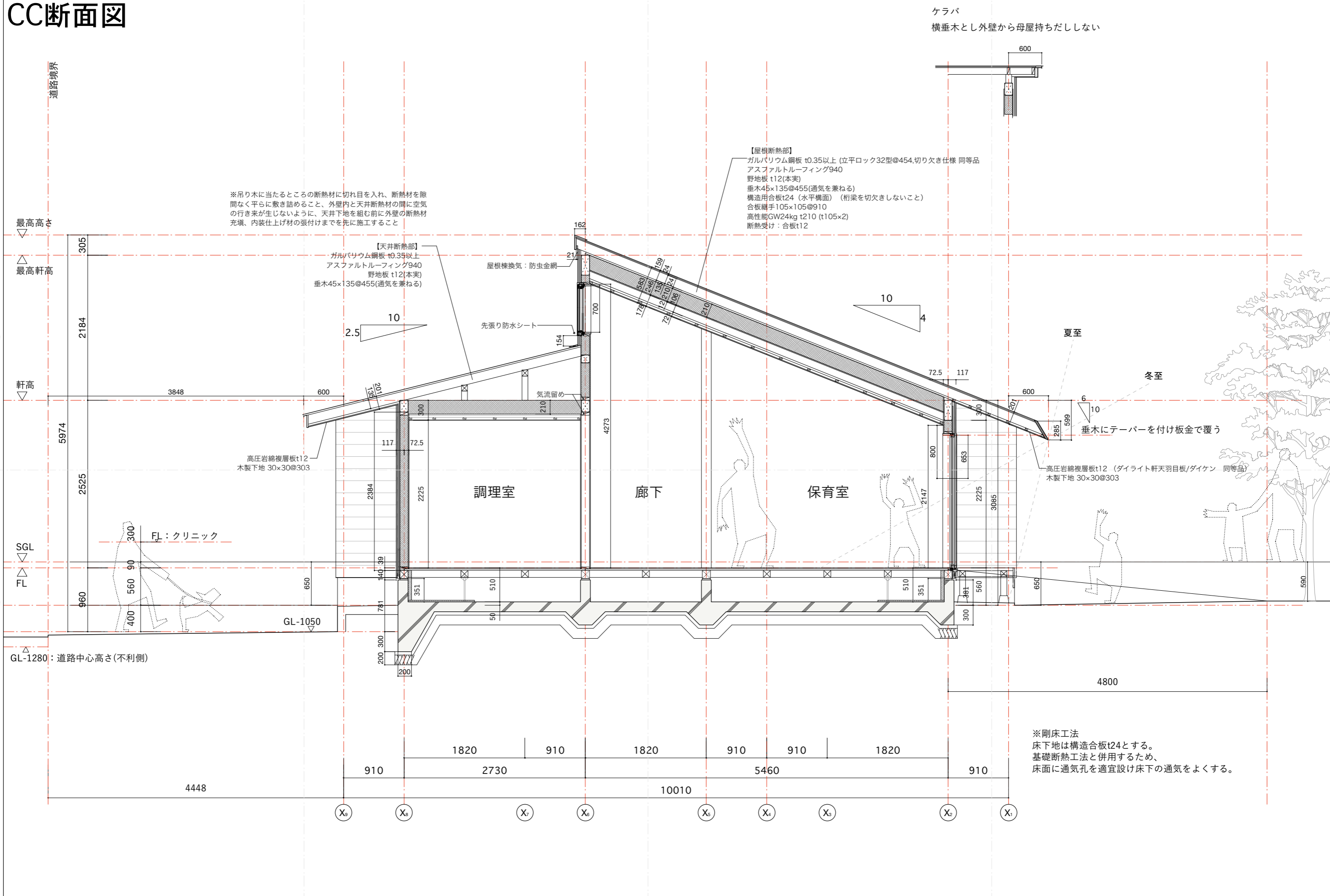
PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
立面図

SCALE 1/100
DATE 2022/09/01
NO. A-008

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

CC断面図



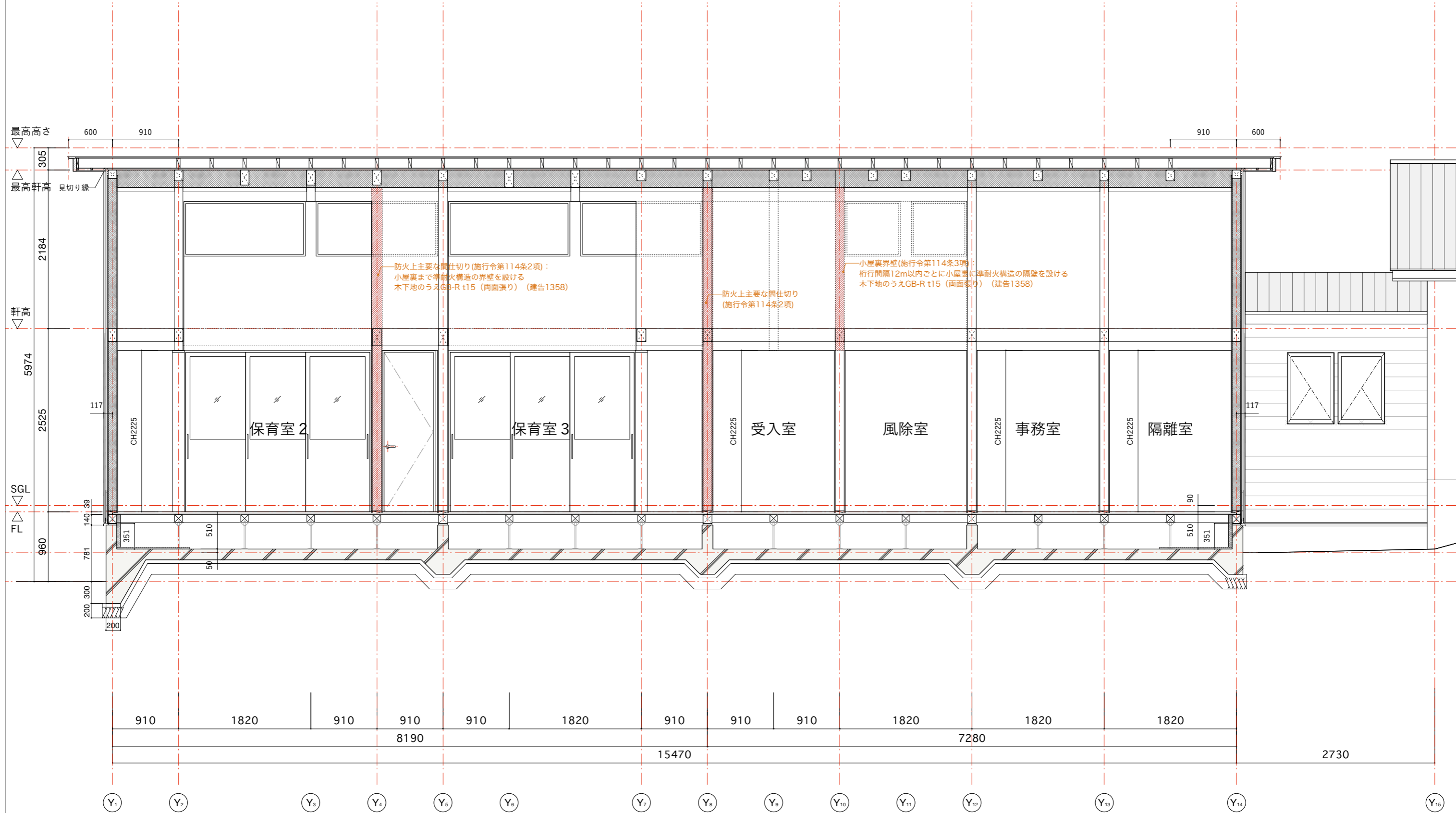
PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
断面詳細図 1

SCALE 1/50
DATE 2022/09/01
NO. A-009

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

DD断面図



PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
断面詳細図 2

SCALE 1/50
DATE 2022/09/01
NO. A-010

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

一般事項 本特記に記載なき事項は、国土交通省大臣官房庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書（最新版）又は係員との協議による。

1. 符号



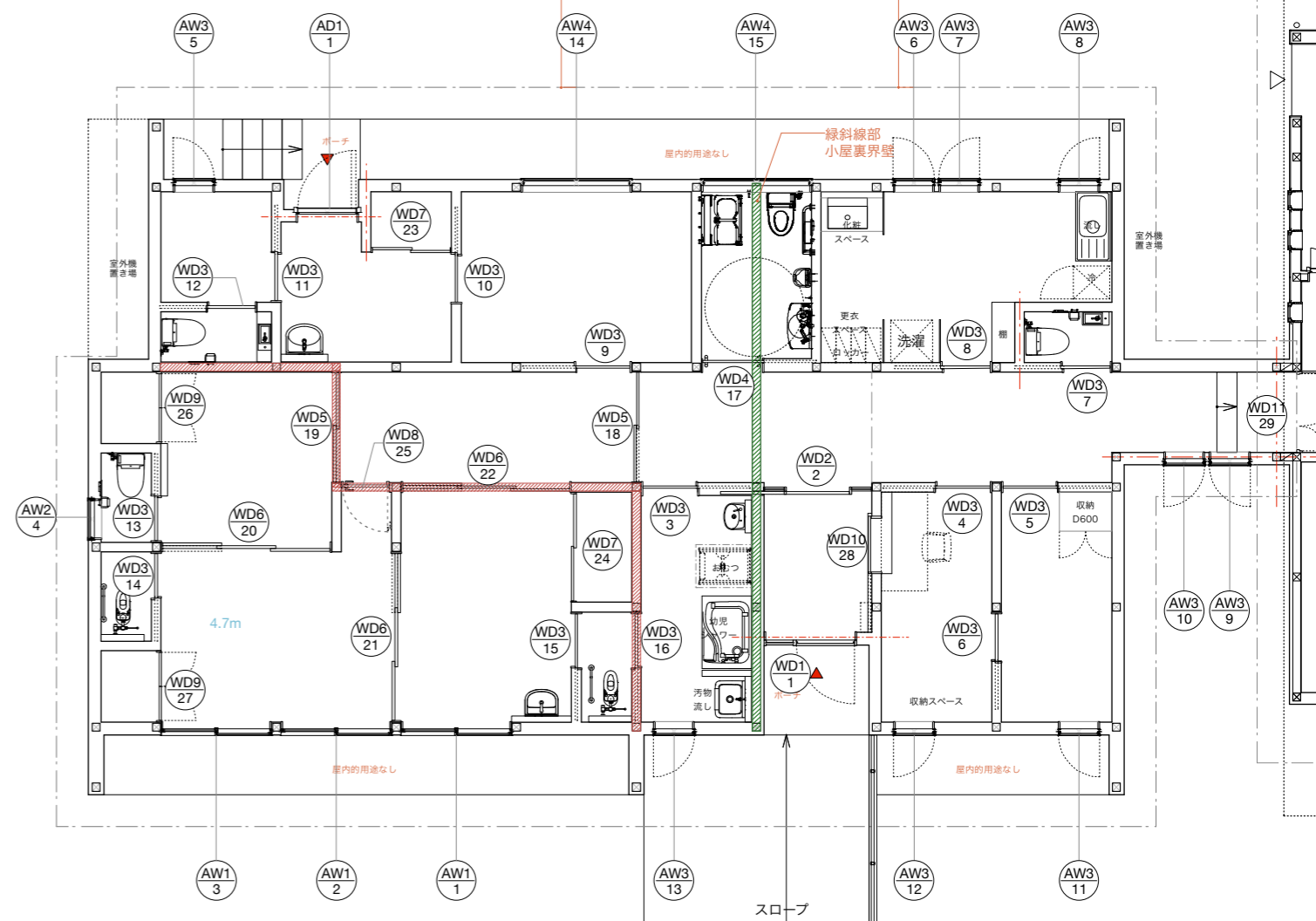
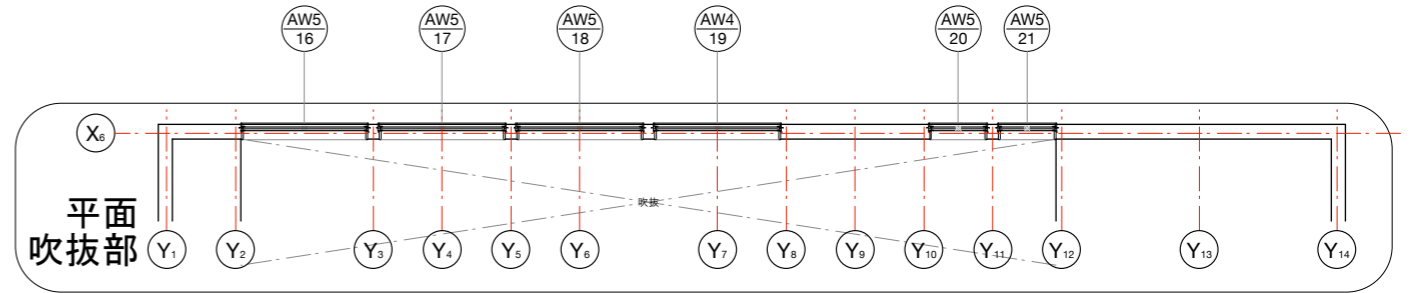
符号	材種	符号	材種	符号	材種	符号	材種
SSD	ステンレス製戸	SSW	ステンレス製窓	SP	鋼製パーティション	EP	合成樹脂エマルジョンペイント
SD	鋼製戸	SW	鋼製窓	AP	アルミ製パーティション	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント
PD	鉛戸	SWG	鋼製枠ガラスブロック	WP	木製パーティション	SOP	合成樹脂調合ペイント
LSD	鋼製軽量戸	SWP	鋼製排煙パネル窓	GP	ガラスパーティション	DP	耐候成塗料（フッ素）
AD	アルミ製戸	AW	アルミ製窓	AL	アルミ製レバー	CL	クリアラッカー
WD	木製戸	AWG	アルミ製枠ガラスブロック窓	SL	鋼製ルーバー	UC	ウレタン樹脂ワニス
SF	スチール三方枠	AWP	アルミ製排煙パネル窓			OS	オイルステン
		AWT	アルミ製トップライト	F	フスマ	WS	水性ステイン
		WW	木製窓	S	障子	WP	木材保護塗装
		SCW	鋼製カーテンウォール	TB	トイレブース		
SS	鋼製シャッター	ACW	アルミ製カーテンウォール	SLW	可動間仕切		
GS	グリルシャッター	SG	鋼製ガラリ	ACD	アコーディオンドア		
HS	横引きシャッター	AG	アルミ製ガラリ				

ガラス記号

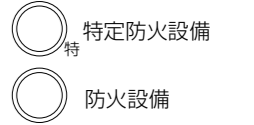
FL	FRL	R
フロートガラス	ファイアライト（耐熱ガラス）	熱線反射
G	T	+A+
スリ板ガラス	強化ガラス	複層ガラスの空気層
F	SK	AP
型板ガラス	スクールテンパーガラス	アルミ断熱パネル
WK	FT	GB
網入型板ガラス	型板強化ガラス	ガラスブロック
PW	H	PG
網入磨き板ガラス	熱線吸収	プロフィットガラス

2. 共通特記事項

特記以外の金物は付属金物一式とする。	寸法
感知器連動の防火設備はレリースまでとする。	
特記なき限り各扉に付くガラリは扉と同仕様とする。	
ドアチェックの表示のない場合でも（ヒンジ・クローサーなど）将来取付け可能な補強を行う。	
特記なき限り特定防火設備のスチール扉は重量ドアとする。	
特記なき限り沓摺はステンレス製「」型とし、建具製造所の付属品とする。	
特記なき限り、建具枠は大枠を原則とする。	扉枠（特記なき限り、大枠はA、小枠はCとする。）※特記なき限り（ ）寸法を原則とする。
特記なき限り、木製建具で仕上がりが銘木練付の枠は大枠・銘木練付枠とする。	A（大枠1） B（大枠2） C（小枠1） D（小枠2）
特記なき限り、スチール・ステンレス・アルミ・木の各扉は扉・幕板とも両面フラッシュとする。	
特記なき限り、外壁同一面納まりのサッシはF I X部、障子、扉部とも枠外同一納まりとする。	
特記なき限り、外壁同一面納まりの場合、フラッシング機構を設ける。	
マスターキーシステムは2系統とし、グランドマスターキーを組み込む。	
金物関係	E（平鋼枠1） F（平鋼枠2）
吊元は建具重量に十分耐え得るものとする。	
ドアチェックは常閉式防火設備以外は全てストップ式とする。	
特記なき限り、戸当りは床付タイプとする。戸当り部分は硬質ゴム、支柱部はSUS H L。	
常閉式防火設備で両開き又は親子開きのものはドアチェック2個、順位調整装置付きとする。	
戸受けについて、閉閉衝撃音緩和の為に、開き戸の3方枠、召し合せ部分、引き戸の縦枠にはピンチブロック、ゴムビード等を取付ける。	
特記なき限り、外部はシリンダー箱錠とする。ただし、外部自動扉（引戸）は引戸用本締錠とする。	※壁厚にそえること
特記なき限り、内部一般扉の錠は本締付きモノロックとする。	召し合わせ
特記なき限り、押板・押し棒の場合はシリンダー本締錠とする。	・外部一般 ・内部一般
特記なき限り、PS、EPS、DSの点検扉の錠等は、ケースハンドル・シリンダー本締錠とする。	
便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板・押し棒の場合は錠不要とする。	
鋼製気密建具はグレモン締り、シリンダー本締錠とする。	
特記なき限り、沓摺の種別は下記による。	吊り戸の機構はソフトクローズとすること。
床仕上り異なる場合：建築工事標準詳細図（4-3 1-2）	
内部気密扉：建築工事標準詳細図（4-4 5-2）	防火設備：なし
外部廻り出入口及び内部水掛部出入口：建築工事標準詳細図（4-4 1-2）	防火設備：断熱性能 引違い窓（レールカバー）AW2：2.05 W/m ² ・K プロジェクト窓 AW1,3,4,5：1.92 W/m ² ・K
ダクト接続のガラリには四方枠（PL-2.3加工、見こみ180mm、見付30mm、SOP仕上）を付ける。	
排煙窓のクレセント及び操作レバー等の位置は床面から1500mm以下とする。	
外気と面するフラッシュ戸はGW等断熱材充填とする	
特記なき限り、木製建具はUC仕上とする	
SD額付建具のガラスは建具上部からの落とし込みとする。	
扉の握り玉、レバーハンドル、把手、クレセント、引違い錠、引戸錠の取付高さについては施工図作成の上、監督員の承諾を得ること。	設備工事との区分は以下のようにする。
特記なき限り、ドアクローザーの取付け位置は室内側を原則とする。	項目 工事範囲 別途工事
特記なき限り、開き戸の把手はレバーハンドルとする。	防火戸 本体（自動閉鎖装置の切り込み・補強共） 自動閉鎖装置・連動制御装置・感知器
ガラリの補強材は適宜設ける。	上部電動式シャッター 本体・制御盤・手動閉鎖装置・ヒューズ装置 自動閉鎖装置・感知器
ドアガラリ寸法・開口率に関しては機械設備工事業者と再確認すること。	排煙窓 本体・自動閉鎖装置 自動閉鎖装置・感知器
ペアガラスは強化ガラスを室内側に設置すること。	防煙たれ壁 本体・駆動装置 自動閉鎖装置・感知器
	自動扉 本体・駆動装置・制御装置・検出装置 手許電源スイッチ
	電気錠 本体 扉までの配管配線



- 凡例
- AW アルミサッシ
 - AD アルミドア
 - SD スチールドア
 - SSD ステンレスドア
 - WD 木製ドア
 - WW 木製ウインドウ
 - S 障子戸
 - F 襖戸



※建具・建具枠の角部の面取り
衝突時の衝撃を軽減するため原則5R以上の面取りとする
子供が衝突する可能性のない部分は3Rとしてよい
※指挟み加工
引戸はソフトクローズ（2WAY）の上、場合によっては20mm程度の切欠き加工
開扉は吊元での指挟み防止のため、吊元側にフィンガーアラートなどを設置
※内鍵の高さ
子供の手の届きにくい高さに取付ける（H1500以上）

PROJECT TITLE
（仮称）やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
建具表キープラン

SCALE 1/100
DATE 2022/09/01
NO. A-011

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

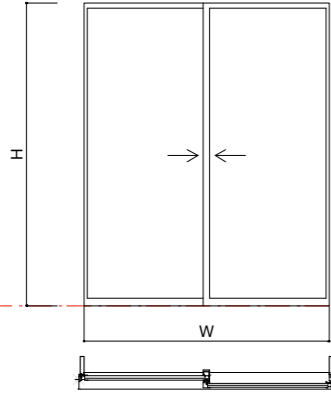
AW1 1 3	部位	保育室2,3	AW2 4	部位	保育室1 WC	AW3 5 13	部位	調理更衣室、職員休憩室、渡廊下、隔離室、事務室、受入室	AW4 14 15,19	部位	調理室、誰でもトイレ
	開閉方式 種類	引き違い窓		開閉方式 種類	横すべり出し窓 (グレモン)		開閉方式 種類	縦すべり出し窓 (オペレーター)		開閉方式 種類	高所横すべり出し窓
	材質 仕上	サーモスL/リクシル 程度		材質 仕上	サーモスL/リクシル 程度		材質 仕上	サーモスL/リクシル 程度		材質 仕上	サーモスL/リクシル 程度
	硝子	FL3+Ar16+LowE3 (断熱/クリア色)		硝子	FL3+Ar16+LowE3 (断熱/クリア色)		硝子	FL3+A16+LowE3 (断熱/クリア色)		硝子	FL3+A16+LowE3 (断熱/クリア色)
	吊金物	付属金物一式		吊金物	付属金物一式		吊金物	付属金物一式		吊金物	付属金物一式
引手金物・施錠方式	付属金物一式	引手金物・施錠方式	付属金物一式	引手金物・施錠方式	付属金物一式	引手金物・施錠方式	付属金物一式	引手金物・施錠方式	14,15:チェーン式オペレーター、19:電動式、付属金物一式		
備考	専用引き違い網戸 (サラン・黒) 中棧なし フラットアタッチメント	備考	固定式網戸 (サラン・黒)	備考	固定式網戸 (サラン・黒)、スリムハンドル	備考	固定式網戸 (サラン・黒)				

*指はさみ防止
*二重ロック: 児童が屋外にでないよう対策

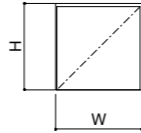
*開閉方向は現場にて最終確認すること

*19:
・住宅サッシ規格外となる場合はビル用サッシ
(Presea-H: 突出し窓扉用オペレーター隠蔽F (フラット) 枠同等品とする)
・開閉方式は電動ユニットとする

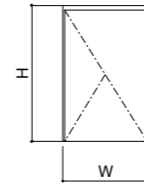
*19:
・住宅サッシ規格外となる場合はビル用サッシ
(Presea-H: 突出し窓扉用オペレーター隠蔽F (フラット) 枠同等品とする)
・開閉方式は電動ユニットとする



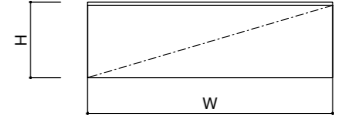
*内観姿図



*内観姿図



*内観姿図



*内観姿図

番号	W	H	D	個数	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
1-3	1620	2000	*	3	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
					寸法		三方枠 25×115.5

番号	W	H	D	個数	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
4	570	570	*	1	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
					寸法		三方枠 25×115.5

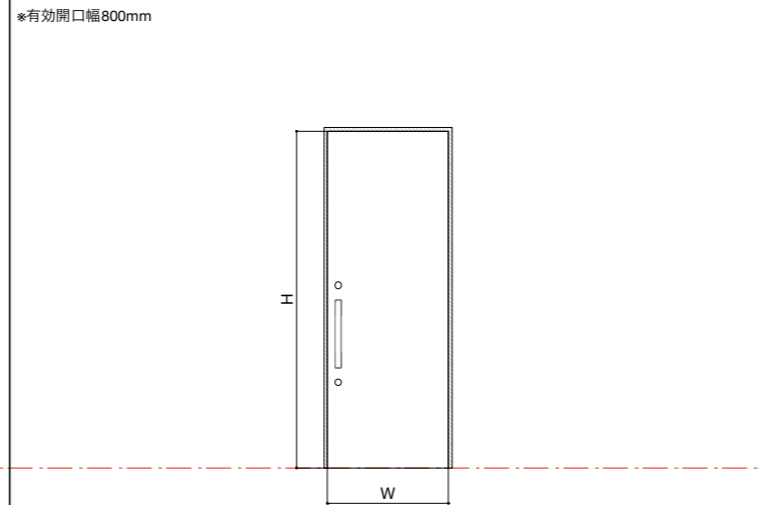
番号	W	H	D	個数	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
5-13	570	900	*	9	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
					寸法		三方枠 25×115.5

番号	W	H	D	個数	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
14-15	1620	500	*	2	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
19	1620	700	*	1	枠材	寸法	三方枠 25×115.5

AW5 16 21	部位	吹抜け	AD1 1	部位	換修室	WD1 1	部位	風除室
	開閉方式 種類	FIX窓 (外押縁)		開閉方式 種類	片開きドア		開閉方式 種類	片開きフラッシュ戸
	材質 仕上	サーモスL/リクシル 程度		材質 仕上	アルミ形材(グラデル2/リクシル) (熱貫流率1.28/KW/m)程度		材質 仕上	ピーラー縁甲板フラッシュ (W103・20枚分) キシラデコール塗装 (色:未定)
	硝子	FL3+Ar16+LowE3 (断熱/クリア色)		硝子	-		吊金物	SUS丁番 3箇所
	吊金物	付属金物一式		吊金物	付属金物一式		引手金物 ロック方式	LBR-SH-S錠 (BS-51)、補助錠1311D/堀商店 *屋外シ/屋内サム
引手金物・施錠方式	付属金物一式	引手金物・施錠方式	シリンダー錠、付属金物一式	雑金物	SUS番摺 J-20×40 t2.0 ドアガード RH-002 サチライト/リョービ ドアクローザ リョービ20シリーズ(シルバー)ストップ付 戸当たり UT-2F-HLN/ユニオン ピンチブロック(三方戸当り取付)#7-TS/ピンチブロック ピンチブロック (下カマチ用) No.558-2LW/ベスト			
備考	-	備考	-	備考	合せガラス (FL3+FL3) ガラス支持方式: シリコン系シール			

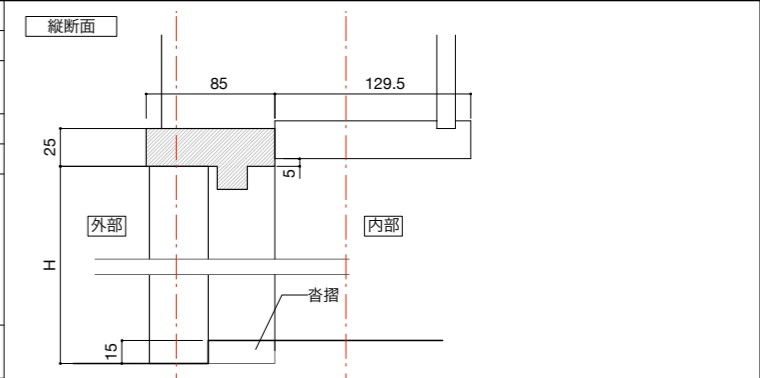
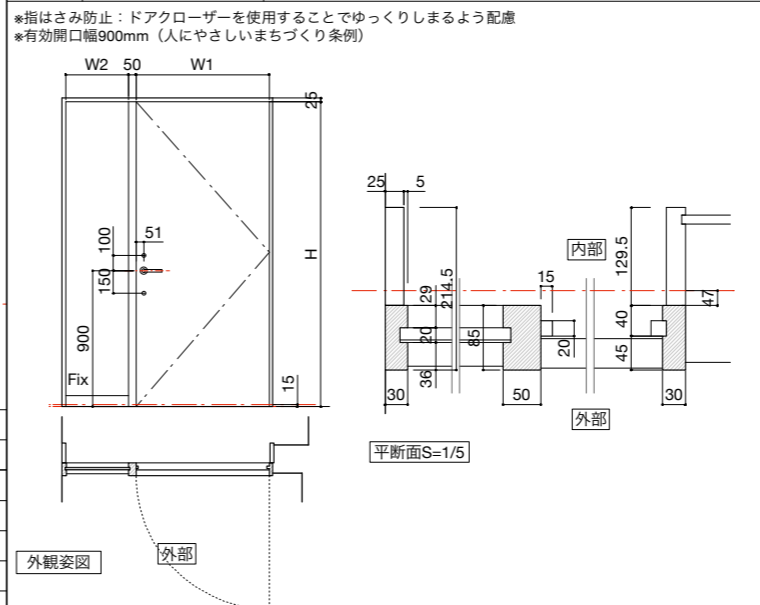
番号	W	H	D	個数	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
16-18	1620	700	*	3	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
20-21	710	700	*	2	寸法		三方枠 25×115.5

*内観姿図

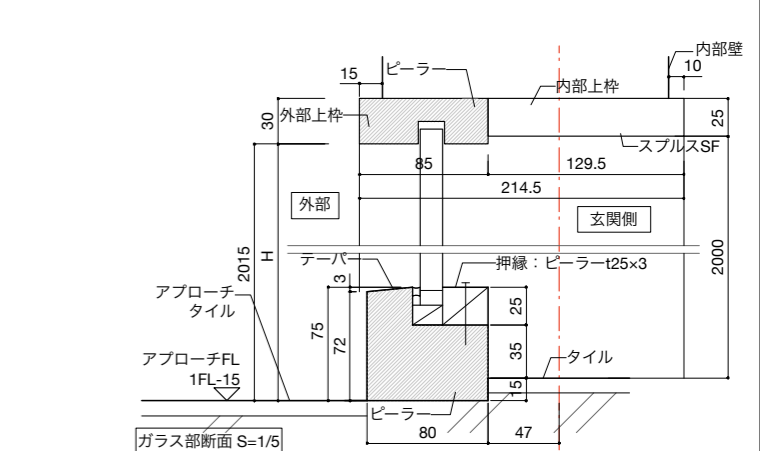


*内観姿図

*指はさみ防止: ドアクローザを使用することでゆくりしめるよう配慮
*有効開口幅900mm (人にやさしいまちづくり条例)



*番摺段差を10mm以内に検討 (人にやさしいまちづくり条例)



番号	W1	H	D	個数	枠材	仕上	外部枠: ピーラー キシラデコール塗装 内部枠: スプルス無塗装
1	930	2015	39	1	枠材	寸法	内部三方枠: 25×129.5 チリ10mm 外部三方枠: 30×85
	W2						
	365						

*は、メーカー仕様による。

【特記仕様】
窓図は内観図を示す
建具金物など変更の可能性あり。発注前に要確認のこと。
図中W,Hは枠内寸法とする。製作上のW,H寸法ではないので注意。
網入り型板ガラスは室内側とすること。

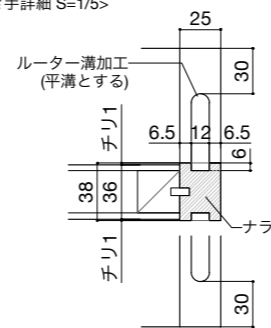
PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
建具表 1

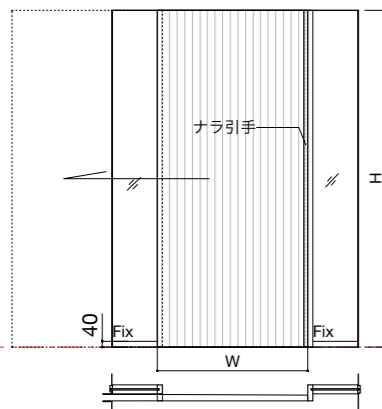
SCALE 1/50
DATE 2022/09/01
NO. A-012
Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

WD2 2	部位	風除室
	開閉方式 種類	フラッシュ引込み戸
	材質 仕上	ナラ紐線付フラッシュSF (引手: ナラOF)
	硝子	合せガラス (FL3+FL3) ガラス支持方式: シリコン系シール
	吊金物	吊レール: AFD-1300H (上枠に埋込・シルバー) *将来の戸外し対応のため吊レール戸先側150程度をカットし脱着可能とすること (以下共通) 吊車: FCX-2900-K+AFD-2900-K (2WAYソフトクローズ・色: 茶・仮) トリガー: FC-312 /以上、すべてアトム
	引手金物・施錠方式	ナラ引手25x38 ルーター平溝 (D=6 ウラオモテ)
雑金物	下部ガイドピース: FG=010 /アトム同等品	
備考	扉大手: ナラt4 *指はさみ防止: ソフトクローズを使用することでゆっくりしまるよう配慮 (引戸共通)	

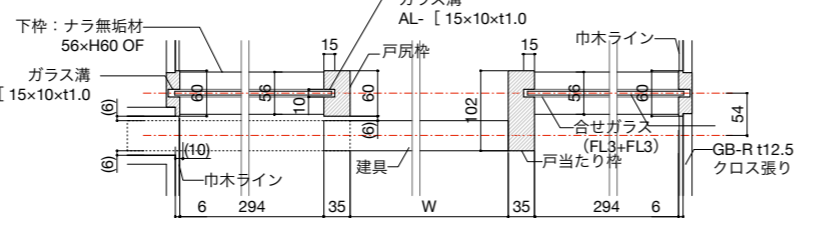
<ナラ引き手詳細 S=1/5>



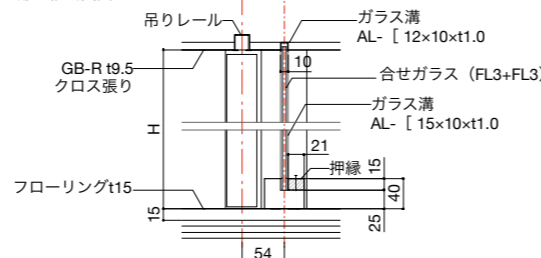
*玄関側姿図



<ガラス部・平断面図 S=1/10>



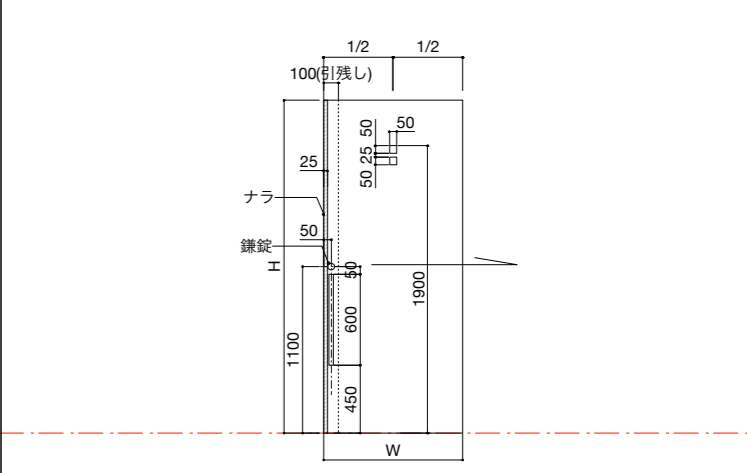
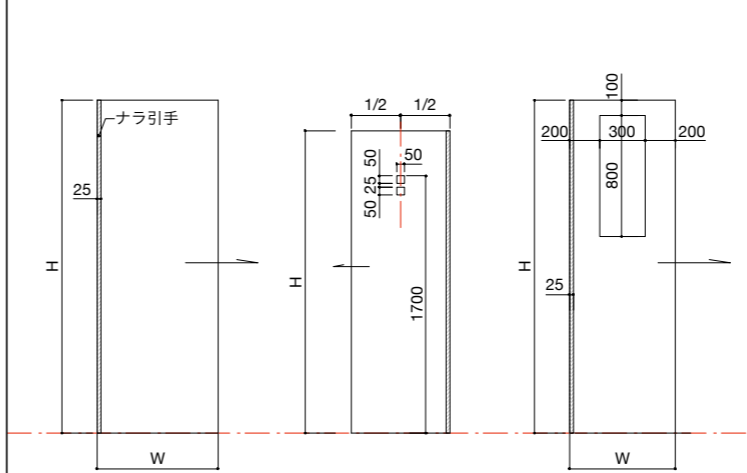
<ガラス部・縦断面図 S=1/10>



番号	W	H	D	個数	枠	仕上	ナラOF
2	995.5	2225	36	1	枠材	ナラOF	
					寸法	戸当たり枠: 35x102 *その他枠なし	

WD3 3 16	部位	受入室、事務室、隔離室、職員休憩室、調理室、調理更衣室、保育室
	開閉方式 種類	フラッシュ引込み戸
	材質 仕上	シナベニヤフラッシュSF (引手: ナラ)
	硝子	6,7,12-16: タベストリt5 落とし込み、シリコン系シール (硝子支持)
	吊金物	吊レール: AFD-1500H (シルバー) *将来の戸外し対応のため吊レール戸先側150程度をカットし脱着可能とすること (以下共通) 吊車: FC-2900-K-H (ソフトクローズ・色: 茶) トリガー: FC-310 /以上、すべてアトム
	引手金物・施錠方式	ナラ引手25x38 ルーター平溝 (D=6 ウラオモテ)
雑金物	下部ガイドピース: FG=010 /アトム同等品	
備考	扉大手: スプルースt4	

WD4 17	部位	誰でもトイレ
	開閉方式 種類	額入りフラッシュ引込み戸
	材質 仕上	シナベニヤフラッシュSF (引手: ナラ)
	硝子	タベストリt5 落とし込み、シリコン系シール (硝子支持)
	吊金物	吊レール: AFD-1500H (シルバー) 吊車: FC-2900-K-H (ソフトクローズ・色: 茶) トリガー: FC-310 /以上、すべてアトム 取手: No.380ライトオーク(L600)/ベスト ラウンド鍵錠BS50#NO.265T表示錠 (サテンニッケル) /ベスト
	引手金物・施錠方式	ナラ引手25x38 ルーター平溝 (D=6 ウラオモテ)
雑金物	下部ガイドピース: FG=010 /アトム同等品	
備考	扉大手: スプルースt4 額小口: スプルースt3	



番号	W	H	D	個数	枠	仕上	スプルース SF (ソープフィニッシュ)
3-5	800	2200	36	3	枠材	スプルース SF	
6-8,10-12	700	2200	36	5	寸法	三方枠 25x165 チリ10mm	
13,14	650	2000	36	2			
9,15,16	800	2000	36	3			

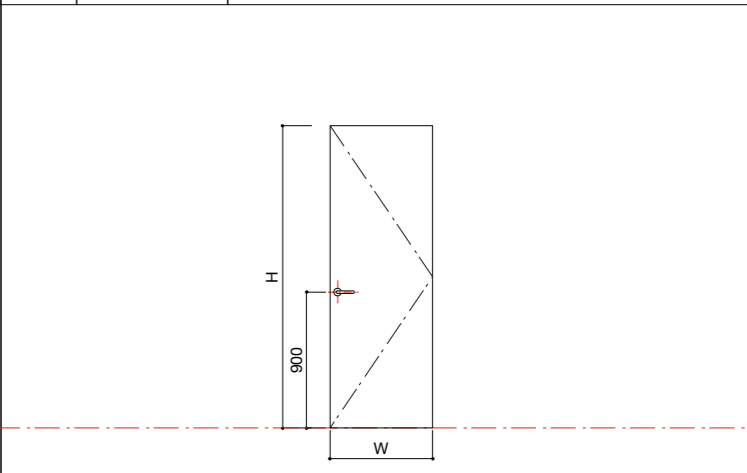
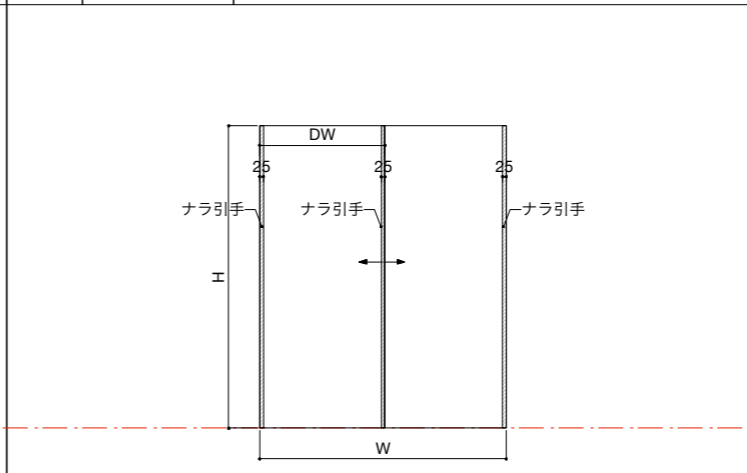
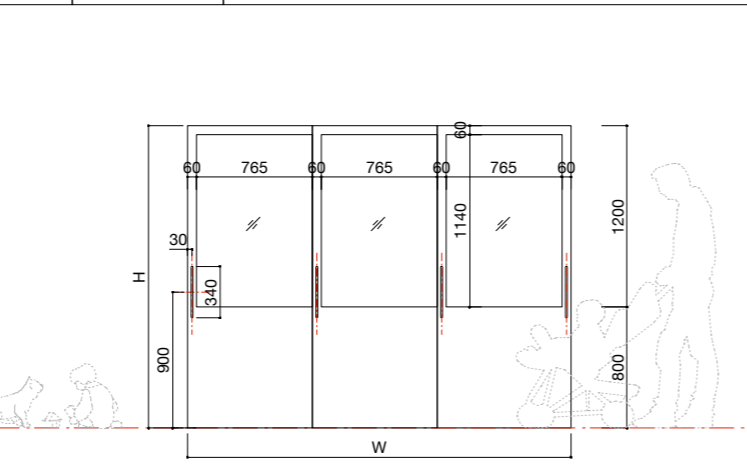
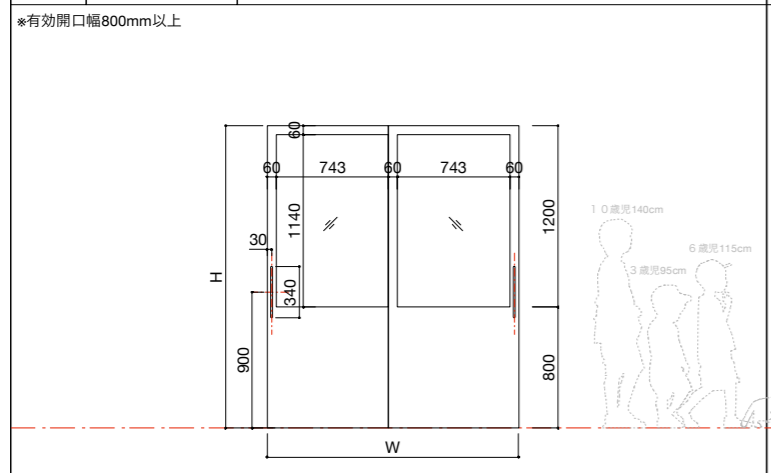
番号	W	H	D	個数	枠	仕上	スプルース SF (ソープフィニッシュ)
17	900	2200	36	1	枠材	スプルース SF	
					寸法	三方枠 25x209 チリ10mm	

WD5 18 19	部位	廊下1/2、廊下1/保育室1
	開閉方式 種類	上吊り木製引違い戸
	材質 仕上	スプルースSF
	硝子	合わせガラスFL3+FL3 落とし込み
	吊金物	吊レール: AFD-1500H (シルバー) 吊車: FC-2900-K-H (ソフトクローズ・色: 茶) トリガー: FC-310 /以上、すべてアトム
	引手金物・施錠方式	ルーター平溝 (D=6,L=300 ウラオモテ)
雑金物	下部ガイドピース: FG=010 /アトム同等品	
備考	-	

WD6 20 22	部位	保育室1,2,3
	開閉方式 種類	上吊り木製3枚引き戸
	材質 仕上	スプルースSF
	硝子	合わせガラスFL3+FL3 落とし込み
	吊金物	吊レール: AFD-1500H (シルバー) 吊車: FC-2900-K-H (ソフトクローズ・色: 茶) トリガー: FC-310 /以上、すべてアトム
	引手金物・施錠方式	ルーター平溝 (D=6,L=300 ウラオモテ) FBストライク、引戸用フランス落しNo.150 (3箇所) セーフティストッパー (2箇所) /アトム同等品
雑金物	下部ガイドピース: FG=010 /アトム同等品	
備考	-	

WD7 23 24	部位	検収室、保育室3
	開閉方式 種類	フラッシュ引違い戸
	材質 仕上	シナベニヤフラッシュSF (引手: ナラ)
	硝子	-
	吊金物	吊レール: AFD-1500H (シルバー) 吊車: FC-2900-K-H (ソフトクローズ・色: 茶) トリガー: FC-310 /以上、すべてアトム
	引手金物・施錠方式	ナラ引手25x38 ルーター平溝 (D=6 ウラオモテ)
雑金物	下部ガイドピース: FG=010 /アトム同等品	
備考	扉大手: スプルースt4	

WD8 25	部位	保育室2
	開閉方式 種類	フラッシュ片開き戸
	材質 仕上	シナベニヤフラッシュSF
	硝子	-
	吊金物	隠し蝶番 3ヶ所 HES3D-120DC(シルバー)/スガツネ
	引手金物・施錠方式	引手: レバーハンドルV1・クローム,BS51 /カワジュン
雑金物	レバーストッパー (埋込型) : No.1504(ヘアライン) /ベスト	
備考	扉大手: スプルースt4	



番号	W	H	D	個数	枠	仕上	スプルース SF (ソープフィニッシュ)
18	1663	2200	36	1	枠材	スプルース SF	
19	1663	2000	36	1	寸法	三方枠 25x165 チリ10mm	

番号	W	H	D	個数	枠	仕上	スプルース SF (ソープフィニッシュ)
20-22	2535	2000	36	3	枠材	スプルース SF	
					寸法	三方枠 25x165 チリ10mm	

番号	W	H	D	個数	枠	仕上	スプルース SF (ソープフィニッシュ)
23	1170	2200	36	1	枠材	スプルース SF	
24	1622.5	2000	36	1	寸法	三方枠 25x82 チリ10mm	

番号	W	H	D	個数	枠	仕上	スプルース SF (ソープフィニッシュ)
25	680	2000	36	1	枠材	スプルース SF	
					寸法	三方枠 25x82 チリ10mm	

【特記仕様】
 窓図は内観図を示す
 建具金物など変更の可能性あり。発注前に要確認のこと。
 図中W,Hは枠内寸法とする。製作上のW,H寸法ではないので注意。
 網入り型板ガラスは室内側とすること。

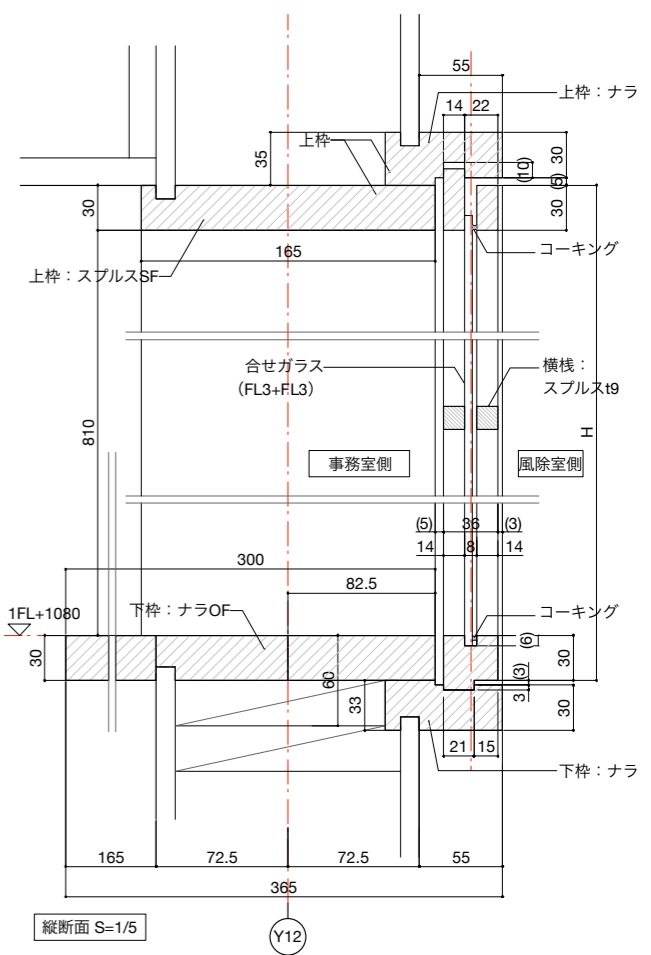
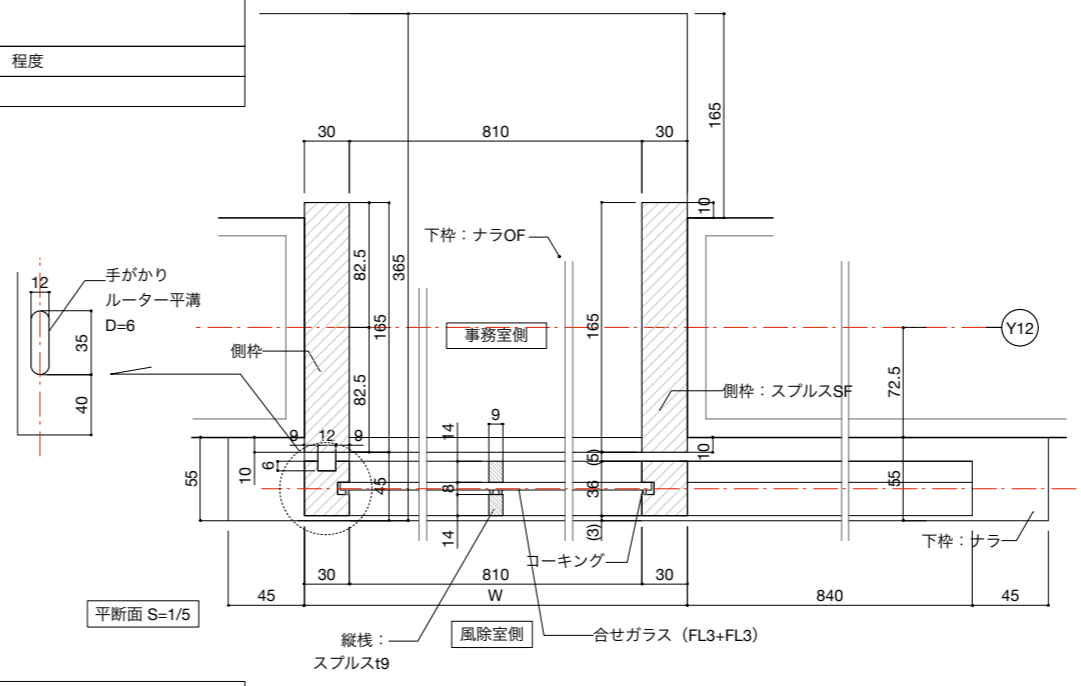
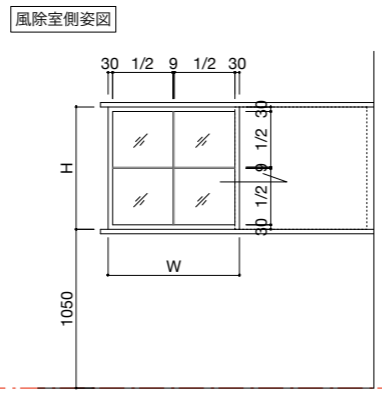
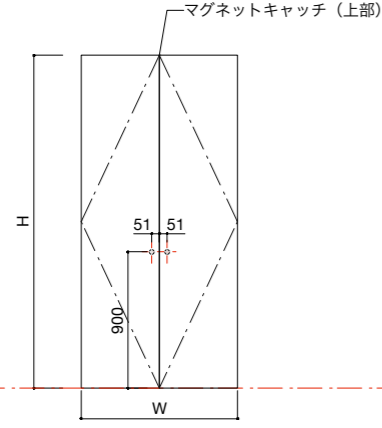
PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
 建具表2

SCALE 1/50
 DATE 2022/09/01
 NO. A-013
 Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

WD9 26 27	部位	保育室1,2
	開閉方式 種類	フラッシュ両開き戸
	材質 仕上	シナベニヤフラッシュSF (引手：ナラOF)
	硝子	-
	吊金物	隠し蝶番 3ヶ所 HES3D-120DC(シルバー)/スガツネ
	引手金物・施錠方式	引手：west-3rd warm /62p,色・クローム/ウエスト
	雑金物	マグネットキャッチ
備考	扉大手：スプルスt4	

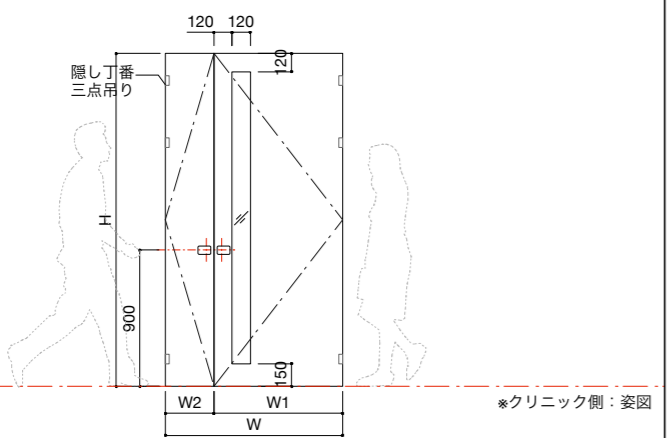
WD10 28	部位	事務室
	開閉方式 種類	木製格子片引き戸
	材質 仕上	スプルス無垢 SF
	硝子	合せガラス (FL3+FL3) 落とし込み、シリコン系シール (硝子支持)
	吊金物	-
	引手金物・施錠方式	ルーター平溝 (D=6 ウラオモテ)
	雑金物	障子溝底：竹スベリ /株式会社 粉河 程度
備考	扉大手：スプルスt4	



番号	W	H	D	個数	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
26,27	1035	2000	30	2			
					寸法		三方枠 25×82 チリ10mm

番号	W	H	D	個数	枠材	仕上	スプルス SF、上下枠のみナラOF
28	870	810	36	1			
					寸法		下枠：30×365,(一部、55) 上枠・側枠：30×165 チリ10mm

WD11 29	部位	渡廊下
	開閉方式 種類	額入りフラッシュ親子扉
	材質 仕上	シナベニヤフラッシュSF
	硝子	タペストリt5 落とし込み、シリコン系シール (硝子支持)
	吊金物	隠し蝶番 3ヶ所 HES3D-120DC(シルバー)/スガツネ
	引手金物・施錠方式	取手：プッシュハンドル943,BS50 ロックケース：Q75,シリンドラ錠、ストライク：19J 色：シルバーヘアライン/ウエスト
	雑金物	フランス落とし (子扉)
備考	扉大手：スプルスt4 額小口：スプルスt3	



番号	W	H	D	個数	枠材	仕上	スプルス SF (ソープフィニッシュ)
29	1170	2200	36	1			
	W1	W2			寸法		三方枠 25×82 チリ10mm
	850	320					

【特記仕様】
 姿図は内観図を示す
 建具金物など変更の可能性あり。発注前に要確認のこと。
 図中W,Hは枠内寸法とする。製作上のW,H寸法ではないので注意。
 額入り型板ガラスは室内側とすること。

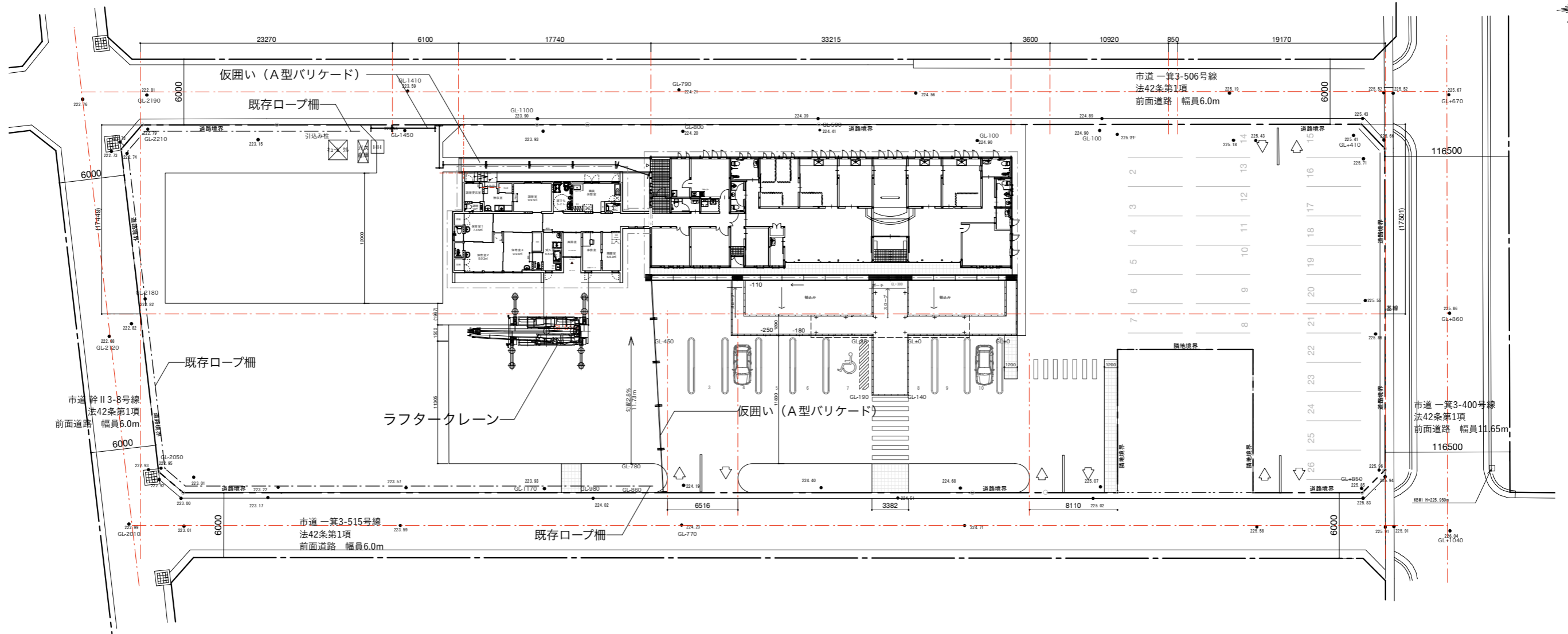
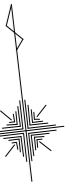
PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
 建具表3

SCALE 1/50
 DATE 2022/09/01
 NO. A-014

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

真北



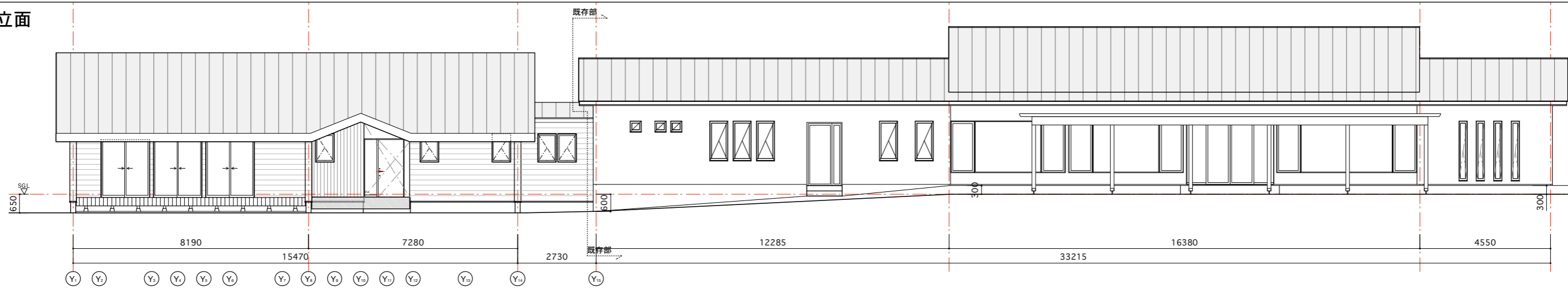
PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
 仮設計画図

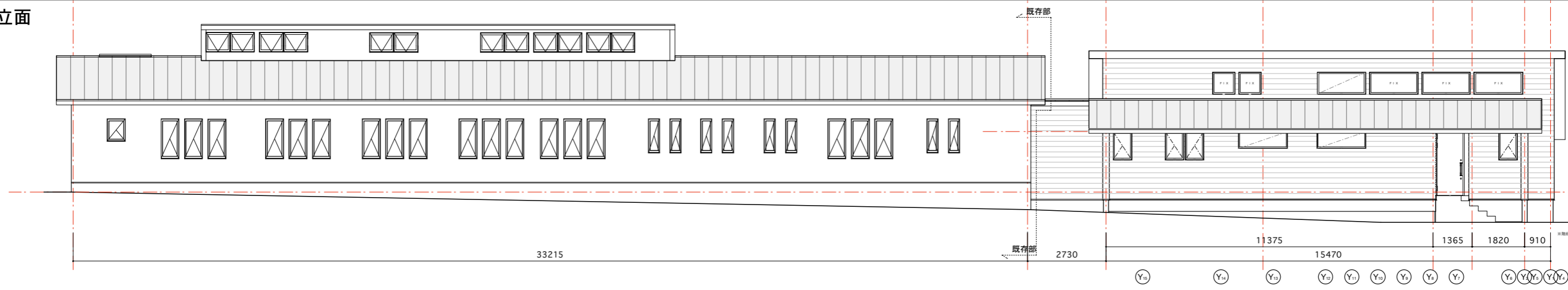
SCALE 1/400
 DATE 2022/06/24
 NO. A-015

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

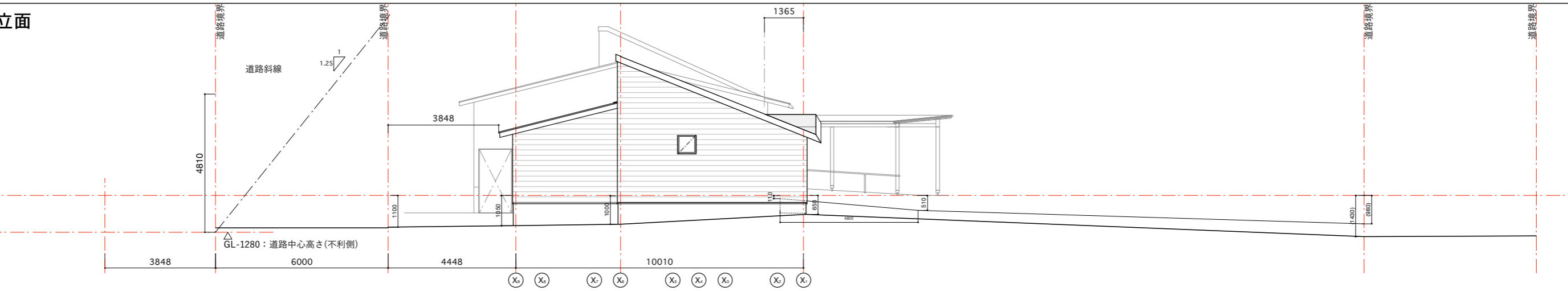
南立面



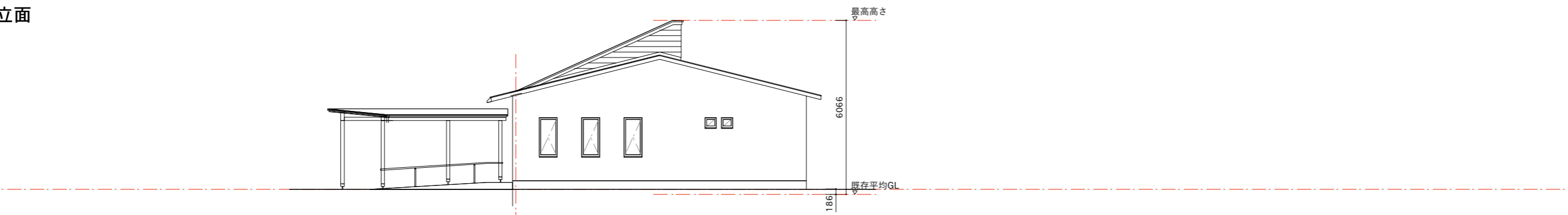
北立面



西立面



東立面

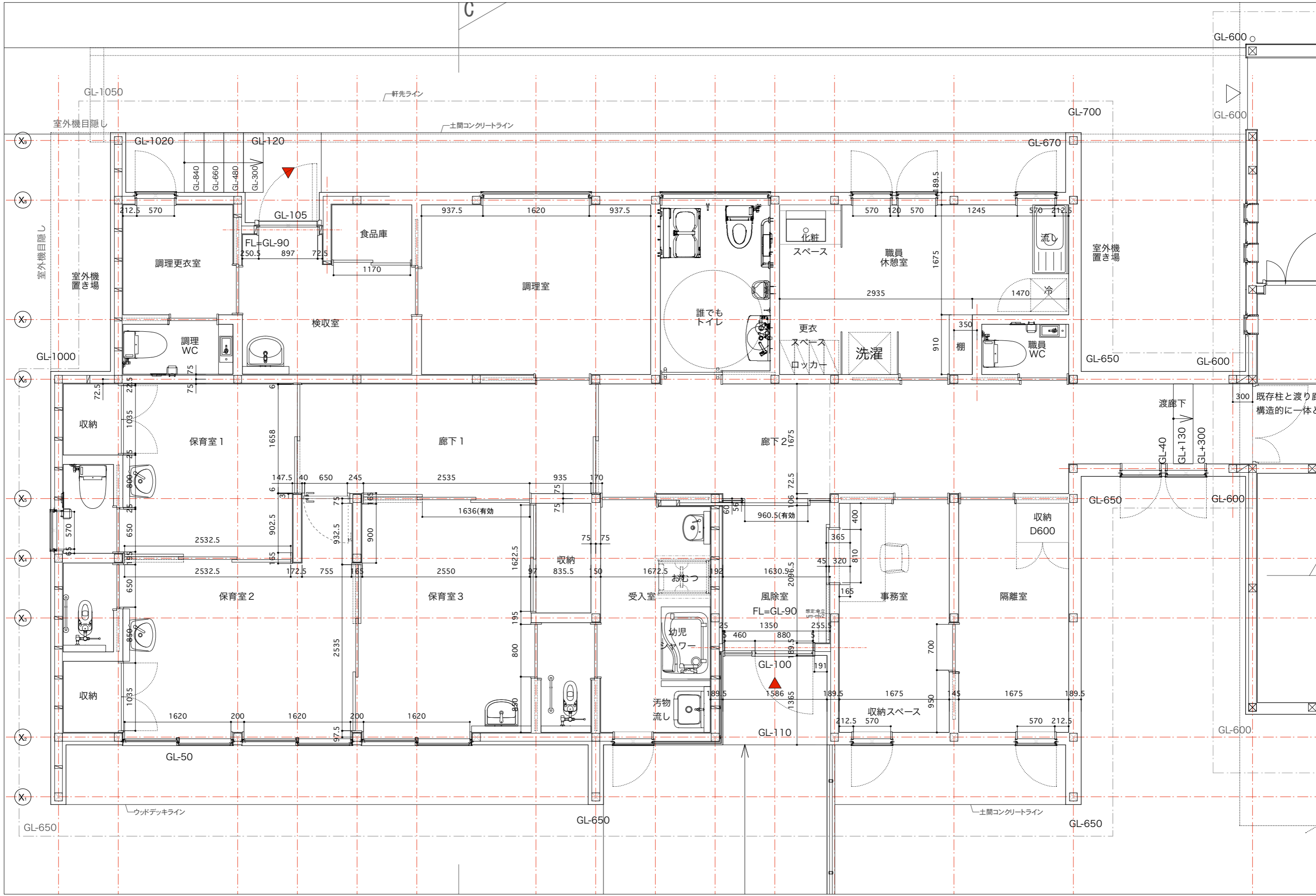


PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
 全体立面図

SCALE 1/100
 DATE 2022/09/01
 NO. A-016

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

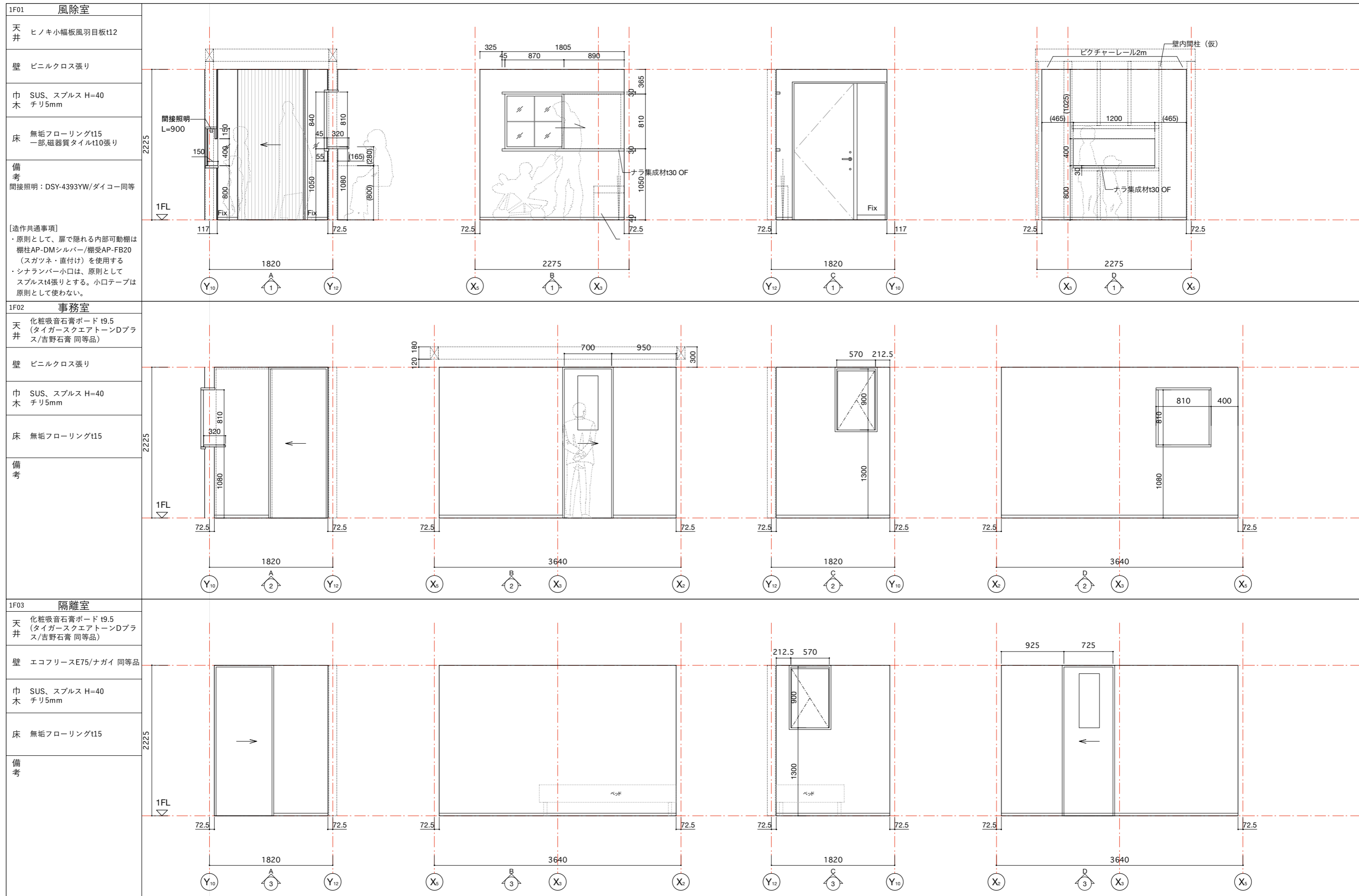


PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
 平面詳細図

SCALE 1/50
 DATE 2022/09/01
 NO. A-017

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806



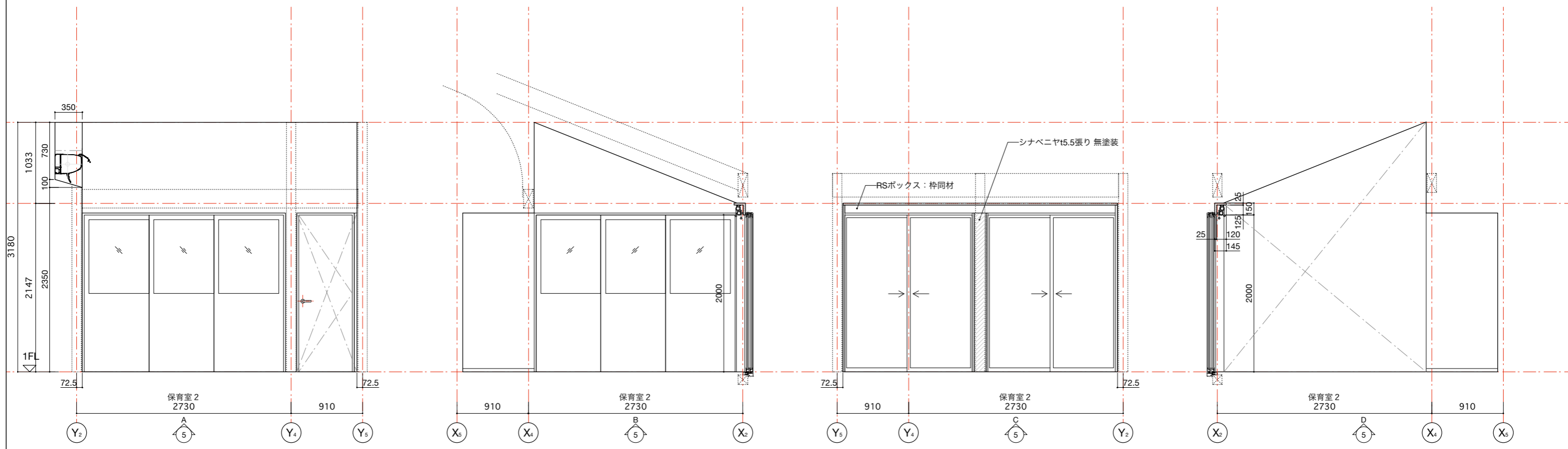
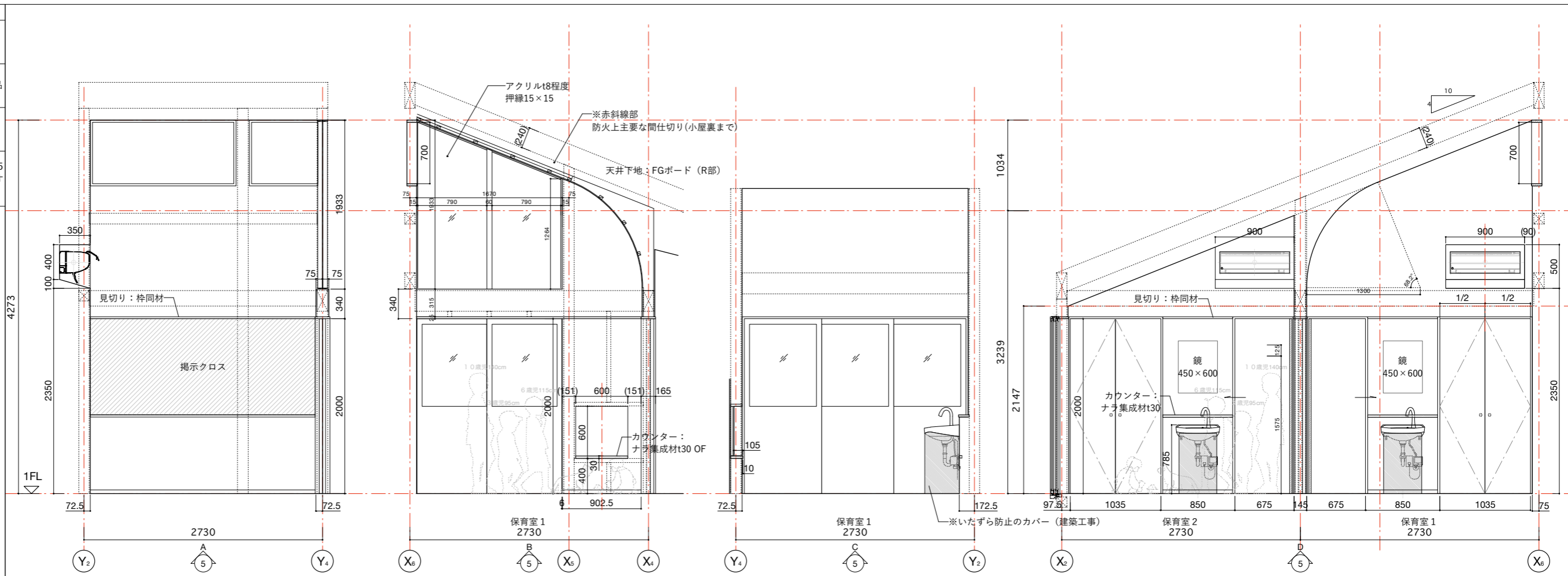
PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
 展開図

SCALE 1/50
 DATE 2022/09/01
 NO. A-018

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

1F01	保育室 1
天井	ヒノキ小幅板風羽目板t12
壁	エコフリースE75/ナガイ 同等品
巾木	スプルース H=40 チリ5mm
床	床暖房対応複合フローリングt15 (オークEG(W125)/ユニ、自然オイル仕上/東京工営 同等品)
備考	掲示クロス：K301/サンゲツ同等品 手洗い下部にカバー（木製） RS：ロールスクリーン



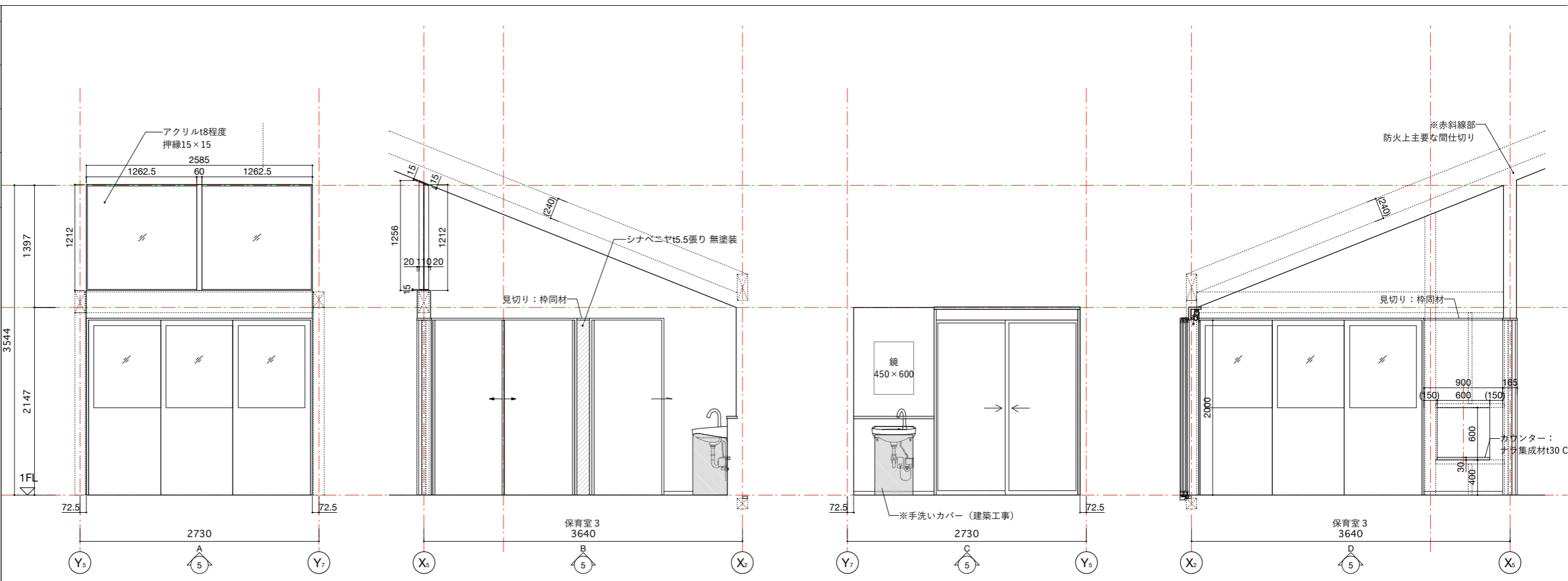
PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
展開図

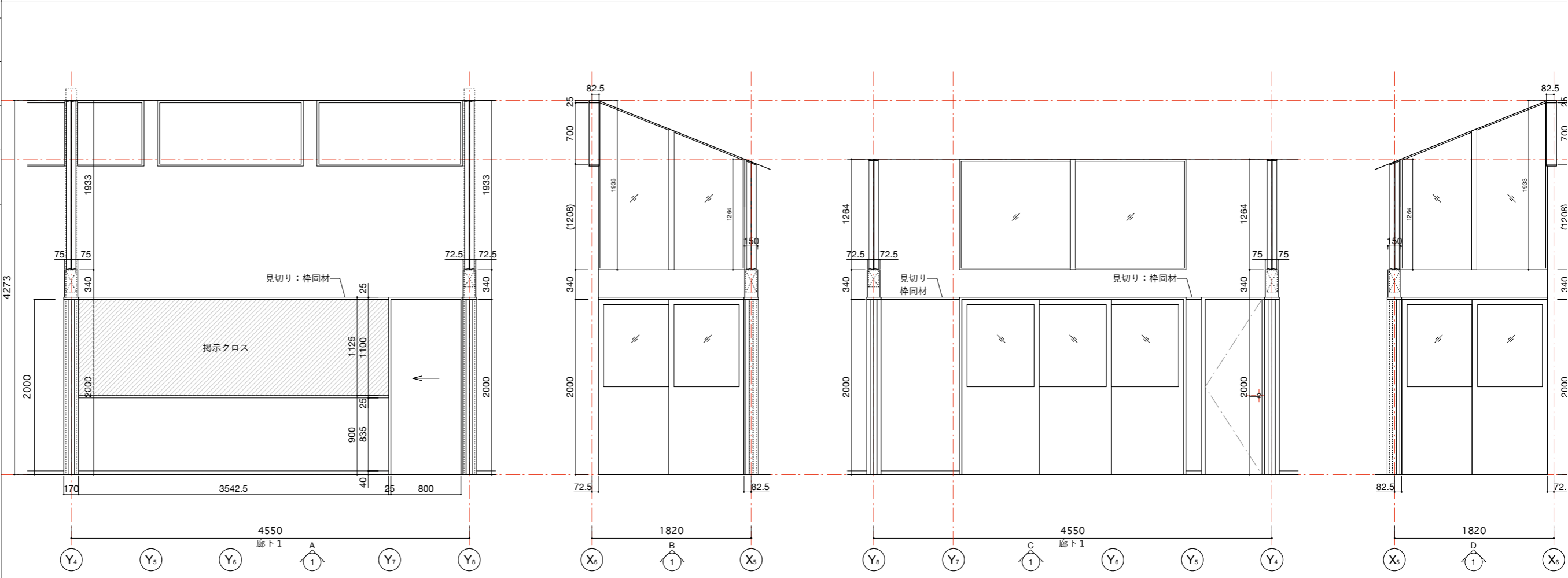
SCALE 1/50
DATE 2022/09/01
NO. A-019

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市車北2-34-12-703 TEL 080-2013-180

1F01	保育室 3
天井	ヒノキ小幅板風羽目板t12.
壁	エコフリースE75/ナガイ 同等品
巾木	スプルス H=40 チリ5mm
床	床暖房対応複合フローリングt15 (オークEG(W125)/ユニ、自然オイル仕上/東京工営 同等品)
備考	



1F04	廊下 1
天井	ヒノキ小幅板風羽目板t12.
壁	ビニルクロス張り
巾木	スプルス H=40 チリ5mm
床	床暖房対応複合フローリングt15 (オークEG(W125)/ユニ、自然オイル仕上/東京工営 同等品)
備考	

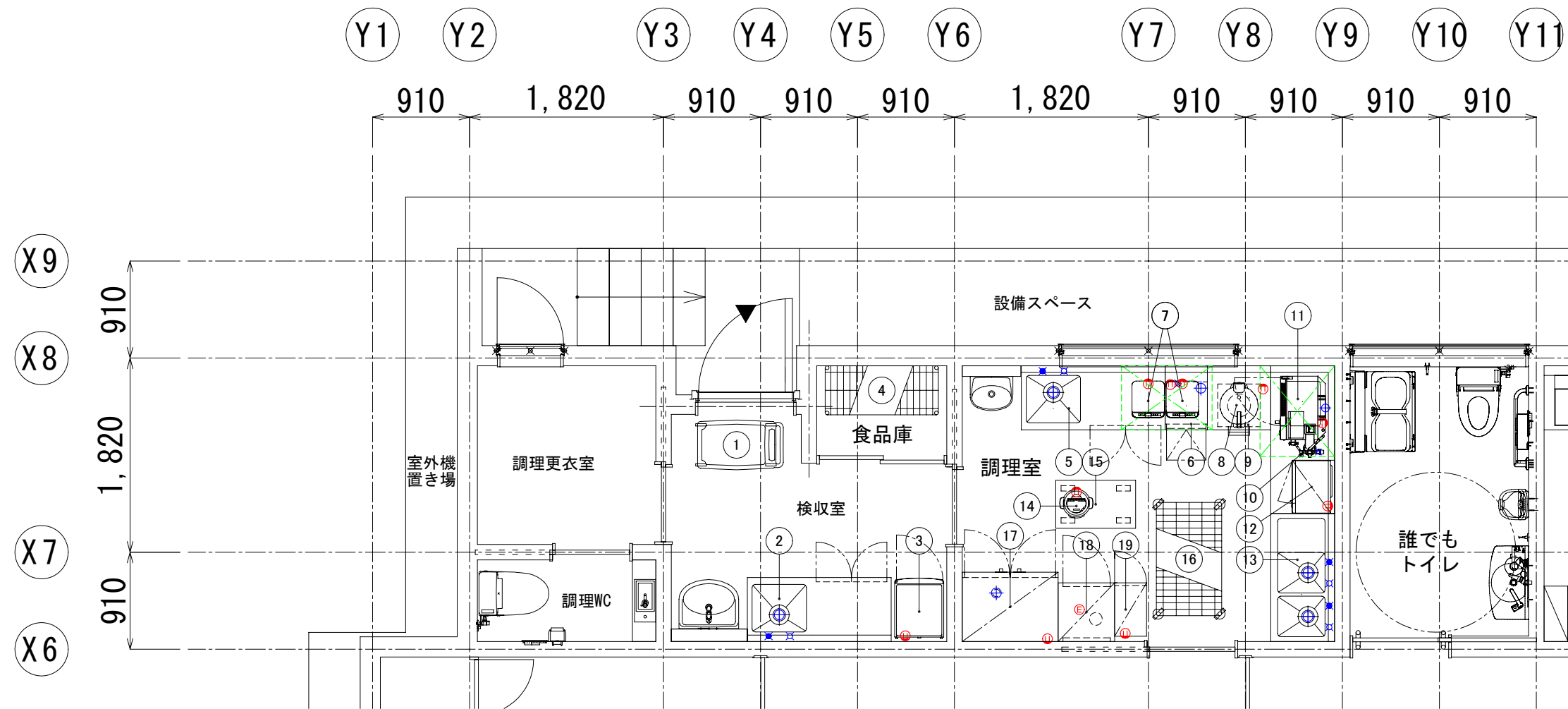


PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
展開図

SCALE 1/50
DATE 2022/09/01
NO. A-020

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1800



厨房設備器具明細表

No	品名	型式	規格寸法			台数	配管接続口径(A)			ガス(LPG)		電気(50Hz) kW			フリート	特記事項
			W	D	H		給水	給湯	排水	口径	kW	単相100V	単相200V	三相200V		
1	エーティリティカート	MY1627-34G	805	467	899	1										
2	シンク付検収台		1350	600	800	1	15	15	40							下部戸棚付
3	検食用冷凍ストッカー	VF-K120X	460	585	1110	1						0.13				冷凍:117L
4	ラック	MS1070-19	1062	460	1892	1										
5	シンク付作業台		1350	600	800	1	15	15	40							下部戸棚付 現場合せ
6	製氷機	SIM-AS2500	395	450	800	1	15		磨接40			0.21				製氷能力:約29kg/日
7	IHクッキングヒーター	KZ-CK1402	304	345	54	2						1.4				G カウンタータイプ
8	IH炊飯ジャー	JNO-A360	360	426	383	1						1.41				2升炊き
9	作業台		600	600	800	1										炊飯カート付 現場合せ
10	作業台		1400	600	800	1										
11	スチームコンベクションオープン	CSI3-EC2	595	420	410	1	15		高温磨接20			1.9				G 1/2ホテルパン×2段
12	電子レンジ	NE-FS301	483	396	310	1						1.37				家庭用 架台付(壁面取付け)
13	水切付二層シンク		1200	600	800	1	15x2	15x2	40x2							
14	スーブジャー	JHI-N050	315	271	331	1						0.15				みそ汁 30~40杯 5L
15	移動台		750	450	800	1										
16	配膳カート	NHCT-3	1062	613	1533	1										棚6段式
17	冷凍冷蔵庫	SRR-K961CSB	900	650	1950	1			磨接40			0.397				冷凍:137L 冷蔵:439L
18	消毒保管機	ISC-S5JW-EF	530	550	1880	1							3.1			三相 片面 自己診断機能付 自己診断機能付
19	包丁まな板殺菌庫	USC-01	300	500	1550	1						0.503				包丁8本 まな板4枚 乾燥機能付
	...総使用量...											6.97	1.9	3.1		

注: 上記接続口径並びに消費量は、各器具に於ける1台を示す

工事概要書

1. 工事名称その他

工事名称	(仮称) やまみ病児保育所 増築工事	建築主 (発注者)	医療法人 清信会 理事長 澁川 靖子	建設地 地名地番	福島県会津若松市山見町40-2	主要用途	病児保育所	工事種別	増築
------	--------------------	--------------	-----------------------	-------------	-----------------	------	-------	------	----

2. 敷地状況

敷地面積	都市計画区域 ○内 ○市街化区域 ・市街化調整区域	用途地域 ○有 (第一種住居地域)	防火地域 ・防火 ・準防火 ○無	道路種別幅員 ・前面 市道 一箕3-506号線 6.0m ・右側面 市道 一箕3-400号線 11.65m ・背面 市道 一箕3-515号線 6.0m ・左側面 市道 幹II3-8号線 6.0m	都市計画道路 ○無・計画決定・事業決定 ・名称幅員 ・処置	規制地域の指定 ・騒音規制 ・振動規制 ・その他	その他の許可届出等(根拠法令等・届出・許可番号・年月日) ○「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(建築物省エネ法)」(平成27年法律第53号):説明義務(非住宅300㎡未満) ○人にやさしいまちづくり条例:1項(9)児童福祉施設
------	---------------------------------	-------------------------	---------------------------	---	--	-----------------------------------	---

3. 構造・規模面積

	計画部分	計画以外の部分	合計	棟別名	構造	基礎工法	階数	建築面積	床面積					合計
									階	階	階	階	階	
建築面積	158.00㎡	364.25㎡	522.25㎡	既存クリニック	木造	直接基礎	平屋	364.25㎡						㎡
延べ床面積	124.84㎡	322.19㎡	447.03㎡	増築保育所	木造	直接基礎	平屋	158.00㎡						㎡
増築予定	その他(ピロティ・バルコニー・ドライエリア・屋外階段・ぬれえん・吹抜等)							㎡						㎡
・有								㎡						㎡
○無								㎡						㎡
								㎡						㎡
								㎡						㎡

4. 法規制概要

項目	計画実施概要	規制概要	備考	項目	計画実施概要	規制概要	備考	項目	計画実施概要	規制概要	備考		
			(参照図面等)				(参照図面等)				(参照図面等)		
一般事項	建ぺい率	60%		防火規制	屋根	不燃材料	不燃材料	消防規制	消火器	あり	機械設備図		
	容積率	200%			延焼のおそれのある部分	外壁(軒裏)	該当なし		防火構造	延焼の恐れのある範囲内に該当せず	誘導灯	あり	電気設備図
	斜線制限	道路	1.25H			立面図による	開口部		該当なし	防火設備			
		隣地	20+1.25H		立面図による	防火区画	位置		なし	耐火区画の該当なし			
		北側(日影規制)	なし		高さ10m以上で日影制限		構造		なし				
	最高の高さ				立面図による	区画部の外壁	なし						
	最高の軒の高さ				立面図による	貫通部の処理	耐火シール		防火処理				
	床高	地盤面+560mm	床下をコンクリートにする場合には制限なし			開口部に設けられる防火設備(開口部設備)	なし						
	地域・規模等による構造(耐火・準耐火)	その他建築物	なし			開口部設備感知器とその位置	なし						
						内装制限	なし		なし	調理室:IHコンロ			
一般構造及び設備規制	階段	幅員(踊場)	なし	階段なし	避難規制	廊下の幅員	なし		その他				
		蹴上・踏面	なし			階段の数及び種類	なし	階段なし					
		手摺高	なし			階段までの歩行距離	なし	階段なし					
	屋上広場等の手摺高(バルコニー含)	なし	屋上・バルコニーなし	排煙		なし	延床500㎡以上	延床500㎡未満のため排煙設備不要					
	有効採光面積		保育:1/5 その他:1/20	求積図による		非常用照明	あり	避難経路		電気図による			
	居室の換気		1/20	求積図による		非常用の進入口	なし	3階以上					
	避雷針	なし	H20m以上			敷地内避難通路		1.5m以上		配置図による			
	便所・浄化槽	下水道	水洗			非常出口の解錠方法及び表示		なし		該当なし			

Main table with 5 columns: 5. 工事範囲 (Construction Scope), 6. 建築・電気機械各工事の分担区分表 (Division of Labor for Building/Electrical/Mechanical Work), and two columns for 工事内容 (Work Content) with associated checkboxes for building, air conditioning, electrical, and plumbing work.

福島県建築関係工事特記仕様書【R4年4月版】ver.2

I 工事概要

Table with 7 columns: 1 工事名称, 2 工事場所, 3 建物概要, 4 電気設備工事概要, 5 機械設備工事概要. Includes details for '(仮称)やまみ病児保育所 増築工事'.

Table with 7 columns: 1 建物名称, 2 構造, 3 階数, 4 延面積 (㎡), 5 消防法施行令別表第1区分, 6 備考. Includes details for '(仮称)やまみ病児保育所'.

Table with 7 columns: 1 空気調和方式, 2 主要熱源機器, 3 換気設備, 4 排水設備, 5 排気設備, 6 消火設備, 7 ガス設備. Includes details for '(仮称)やまみ病児保育所'.

II 工事仕様

- 1 図面及び本特記仕様書に記載無き事項は、次による。
2 項目は、番号の前に○印、または番号に○印の付いたものを適用する。
3 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
4 形状寸法の単位は、特記した場合を除きミリメートルとする。
5 各章の特記事項欄にある〔県：〕と表示されているものは、
6 本特記仕様書に選択項目がない場合は、空欄等に仕様を記載する。

特記事項

- 1 適用基準等
2 施工条件
3 工事実績データの作成、登録
4 技能士
5 イメージアップ
6 発生材の処理
7 監督員事務所
8 工事用表示板
9 施工歴標
10 色彩計画
11 使用材料等
12 特別な材料の工法
13 風荷重等
14 記録報告
15 電子納品
16 完成時の提出書類
17 完成図(施工図及び施工計画書を除く)
18 設計CADデータ貸与
19 工事検査

- 1 一般共通事項
20 建設工事使用機械等
21 設計GL
22 既存部分等への処置
23 他工事との取合い
24 建築材料設備機器等
25 電気工事士
26 火災保険等
27 官公庁への諸手続き等
28 概成工期
29 BELS申請書作成及び申請手続き
30 選休2日促進工事
31 入札時積算数量書活用方式
32 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策
33 情報共有システム
34 建設キャリアアップシステム(CCUS)
35 その他
36 仮囲い
37 危険防止
38 足場
39 工事用水
40 工事用電力
41 工事用進入路
42 ベンチマーク
43 交通誘導警備員
44 仮設備関係
45 埋戻し及び盛土
46 建設発生土の処理

1 地盤工事	1 支持地盤	<ul style="list-style-type: none"> 杭基礎 <ul style="list-style-type: none"> 支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む) 図示による 直接基礎 <ul style="list-style-type: none"> 支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む) 図示による 長期設計支持力度 () kN/m² 地盤の載荷試験 <ul style="list-style-type: none"> 行う 試験の位置、方法等は図示による 	1	<p>試験杭 (4.2.2)</p> <p>試験杭の位置、本数及び寸法</p> <p>図示による</p> <p>杭の材料 (4.4.3)</p> <p>図示による</p> <p>溶接材料</p> <p>標準仕様書7.2.5による</p> <p>施工方法</p> <p>標準仕様書4.3.5による</p> <p>杭の精度 (4.4.4)</p> <p>水平方向の位置ずれ</p> <ul style="list-style-type: none"> 杭径の1/4以内かつ100mm以下 杭の傾斜 1/100以内 評定条件又は設定条件による <p>杭の現場継手 (4.4.5)</p> <p>溶接継手 (4.4.3)(7.2.5)</p> <p>形状</p> <ul style="list-style-type: none"> JIS A 5525による 溶接材料 標準仕 7.2.5(1)(2)による 図示による 溶接部の確認方法 標準仕 7.6.10による 抜き取り率 全数 無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※ 審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※ 審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による <p>杭頭の処理(切断方法) (4.4.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 処理しない(切断しない) 処理する 処理方法(切断及び補強方法) 図示による <p>杭頭の中詰め材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎のコンクリートと同割合のもの <p>杭径、長さ、仕様等</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>材料その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 帯筋 図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ 図示による セメントの種類 ※ 高炉セメントB種 () コンクリートの種別 A種 B種 審査(評定又は大臣認定)された内容による コンクリートの設計基準強度 () N/mm² (4.5.4) (表4.5.1) 構造体強度補正值(S) 3N/mm² (4.5.4) 審査(評定又は大臣認定)された内容による () <p>掘削工法 (4.5.1) (4.5.5~6)</p> <ul style="list-style-type: none"> アースドリル工法 安定液 使用する 使用しない リバーシ工法 オールケーシング工法 孔内の水張り 行う 行わない <p>併用する工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による 鋼管巻き材料 SKK400 SKK490 () 拡底杭工法 図示による 安定液 使用する 使用しない () <p>試験杭 (4.2.2) (4.5.5~6)</p> <p>試験杭の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 本杭の施工に先立ち行う () 試験杭の位置、本数 ※ 最初の一本 図示による <p>孔壁測定 (4.5.5~6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う 測定方法、測定箇所は図示による 行わない <p>杭の精度</p> <ul style="list-style-type: none"> 水平方向の位置ずれ 100mm以下 () 杭の傾斜 1/200以内 () <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 浅層混合処理工法 (セメント系固化材を用いた工法による改良) 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による 長期設計支持力 () kN/m² () 深層混合処理工法 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による 長期設計支持力 () kN/m² () <p>形状、支持地盤、仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>長期設計支持力</p> <ul style="list-style-type: none"> () kN/m² () <p>セメントの種類 (6.3.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高炉セメントB種 () コンクリートの設計基準強度 () N/mm² 構造体強度補正值(S)=() N/mm² 	<p>7 液状化対策</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> () 仕様、範囲、計測、試験等 図示による <p>8 砂利地業 (4.6.2)</p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生クワッシュラン 切込砂利及び切込砕石 <p>厚さ、幅及び使用範囲 (4.6.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>地業</th> <th>幅(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>割り石</td> <td>フーチング各外面より+150</td> <td>※150</td> </tr> <tr> <td>砂利(砕石)</td> <td>フーチング各外面より+150</td> <td>※60</td> </tr> </table> <p>9 捨てコンクリート (4.6.4) (6.14.1~3)</p> <p>コンクリートの仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 無筋コンクリートによる () <p>セメントの種類 (6.3.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高炉セメントB種 () <p>厚さ、幅及び使用範囲 (4.6.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>幅(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>基 礎</td> <td>フーチング各外面より+100</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>地中ばり</td> <td>フーチング各外面より+100</td> <td>※50</td> </tr> </table> <p>10 床下防湿層 (4.6.5)</p> <p>施工範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) () <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 () <p>防湿層の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による () 	地業	幅(mm)	厚さ(mm)	割り石	フーチング各外面より+150	※150	砂利(砕石)	フーチング各外面より+150	※60	部 位	幅(mm)	厚さ(mm)	基 礎	フーチング各外面より+100	※50	地中ばり	フーチング各外面より+100	※50																																																	
	地業	幅(mm)	厚さ(mm)																																																																					
割り石	フーチング各外面より+150	※150																																																																						
砂利(砕石)	フーチング各外面より+150	※60																																																																						
部 位	幅(mm)	厚さ(mm)																																																																						
基 礎	フーチング各外面より+100	※50																																																																						
地中ばり	フーチング各外面より+100	※50																																																																						
2 既製コンクリート杭地業	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) 外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 SKK400 SKK490 プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) () <p>試験掘</p> <ul style="list-style-type: none"> あり 孔径はオーガー径とする 位置等は図示による 試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う なし <p>寸法、継手、性能等(種別、種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2)(4.4.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験杭</th> <th>上杭</th> <th>中杭</th> <th>下杭</th> <th>種類</th> <th>杭径(mm)</th> <th>杭長(mm)</th> <th>継手数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭</td> <td>中杭</td> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>試験杭の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 本杭の施工に先立ち行う () 試験杭の位置、本数 ※ 最初の一本 図示による <p>杭先端部形状</p> <ul style="list-style-type: none"> 開放形 半開放形 閉そく形 () <p>施工方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 打込み工法(油圧ハンマー・ディーゼルハンマー) プレボーリングの併用 行う 掘削深さ及び径 図示による 行わない 打込杭推定支持力の算定 図示による 杭の精度 水平方向の位置ずれ 杭径の1/4かつ100mm以下 () 杭の傾斜 1/100以内 () セメントミルク工法 アースオーガーの支持地盤への掘削深さ 1.5m程度 () 杭の支持地盤への根入れ深さ 1.0m以上 () 杭の精度 水平方向の位置ず 杭径の1/4かつ100mm以下 () 杭の傾斜 1/100以内 () 特定埋込杭工法 H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha = 250$を採用できる工法 図示による 上記以外の特定埋込杭工法 図示による <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> プレボーリング拡大根固め工法 中掘り拡大根固め工法 () 杭周固定液 使用する 使用しない <p>杭の精度</p> <ul style="list-style-type: none"> 水平方向の位置ず 杭径の1/4かつ100mm以下 () 杭の傾斜 1/100以内 () <p>杭継手工法</p> <ul style="list-style-type: none"> アーク溶接継手 標準仕 4.3.6による 溶接材料 標準仕 7.2.5(1)(2)による 標準仕 7.2.5(1)(2)以外() 無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 () 検査 ※ 審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 () 施工 ※ 審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による () <p>杭頭処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ (県:第2編 4.3.8)による () 杭頭補強用コンクリート型枠 ※ 鋼製型枠 () 杭頭補強 ※ (県:第2編 図4.2.3~4.2.4)による 図示による 	試験杭	上杭	中杭	下杭	種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考											本杭	上杭	中杭	下杭							<p>4 場所打ちコンクリート杭地業</p> <p>杭径、長さ、仕様等</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>材料その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 帯筋 図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ 図示による セメントの種類 ※ 高炉セメントB種 () コンクリートの種別 A種 B種 審査(評定又は大臣認定)された内容による コンクリートの設計基準強度 () N/mm² (4.5.4) (表4.5.1) 構造体強度補正值(S) 3N/mm² (4.5.4) 審査(評定又は大臣認定)された内容による () <p>掘削工法 (4.5.1) (4.5.5~6)</p> <ul style="list-style-type: none"> アースドリル工法 安定液 使用する 使用しない リバーシ工法 オールケーシング工法 孔内の水張り 行う 行わない <p>併用する工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による 鋼管巻き材料 SKK400 SKK490 () 拡底杭工法 図示による 安定液 使用する 使用しない () <p>試験杭 (4.2.2) (4.5.5~6)</p> <p>試験杭の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 本杭の施工に先立ち行う () 試験杭の位置、本数 ※ 最初の一本 図示による <p>孔壁測定 (4.5.5~6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う 測定方法、測定箇所は図示による 行わない <p>杭の精度</p> <ul style="list-style-type: none"> 水平方向の位置ずれ 100mm以下 () 杭の傾斜 1/200以内 () <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 浅層混合処理工法 (セメント系固化材を用いた工法による改良) 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による 長期設計支持力 () kN/m² () 深層混合処理工法 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による 長期設計支持力 () kN/m² () <p>形状、支持地盤、仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>長期設計支持力</p> <ul style="list-style-type: none"> () kN/m² () <p>セメントの種類 (6.3.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高炉セメントB種 () コンクリートの設計基準強度 () N/mm² 構造体強度補正值(S)=() N/mm² 	<p>2 鉄筋工事</p> <p>1 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D10</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>D10</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>D13</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>D16</td> <td>()</td> </tr> </table> <p>2 溶接金網 (5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3 鉄筋の継手 (5.3.4) (5.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ ガス圧接</td> <td>機械式継手</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>※ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>※ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による <p>継手位置図</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による <p>鉄筋の定着方法 (5.3.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による <p>4 鉄筋の定着の方法及び長さ (5.3.4)</p> <p>鉄筋の定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による () <p>5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)</p> <p>最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による () <p>柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> 有り 適用箇所() 最小かぶり厚さ 鉄筋径の1.5倍以上 () 無し <p>軽量コンクリートで土に接する部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し 有り 適用箇所() 図示による () <p>耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し 有り 適用箇所() 図示による () <p>鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) (5.3.5) (図5.3.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による () <p>6 特殊な鉄筋継手</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械式継手 使用箇所 ※ 図示による () 性能(H12建告第1463号に適合するもの) A級 () 機械式継手の種類() 鉄筋相互のあき (5.3.5) 図示による () 品質の確認方法 図示による () 不良となった継手の修正方法等 図示による () <ul style="list-style-type: none"> 溶接継手 使用箇所 ※ 図示による () 性能(H12建告第1463号に適合するもの) A級 () 溶接継手の工法() 鉄筋相互のあき (5.3.5) 図示による () 品質の確認方法 ※ 図示による () 不良となった継手の修正方法等 ※ 図示による () 	種類の記号	呼び名(mm)	備考	SD295A	D10	()	SD345	D10	()		D13	()		D16	()	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	溶接金網				鉄筋格子				部位	継手方法	呼び名	柱、梁の主筋	※ ガス圧接	機械式継手	耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手		その他の鉄筋()	※ 重ね継手	
試験杭	上杭	中杭	下杭	種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																																															
本杭	上杭	中杭	下杭																																																																					
種類の記号	呼び名(mm)	備考																																																																						
SD295A	D10	()																																																																						
SD345	D10	()																																																																						
	D13	()																																																																						
	D16	()																																																																						
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																																					
溶接金網																																																																								
鉄筋格子																																																																								
部位	継手方法	呼び名																																																																						
柱、梁の主筋	※ ガス圧接	機械式継手																																																																						
耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手																																																																							
その他の鉄筋()	※ 重ね継手																																																																							

<p>2 鉄筋工事</p> <p>7 各部配筋 (5.3.7)</p> <p>8 圧接完了後の試験 (5.4.10)</p> <p>9 帯筋</p> <p>10 最上階柱頭補強</p> <p>11 片持ちスラブの出隅部の補強配筋 (出隅受け部分の補強筋を含む)</p> <p>12 壁開口部の補強</p> <p>13 梁貫通孔の補強</p> <p>14 基礎梁主筋の継手</p> <p>15 機械吊上げ用フック</p>	<p>各部配筋 ※ 図示による () (5.3.7)</p> <p>外観試験 ※ 行う (全数) (5.4.10)</p> <p>抜き試験 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験</p> <p>組立の形の種別 ※ 図示による</p> <p>補強方法 ※ 図示による</p> <p>配筋方法 ※ 図示による</p> <p>出隅部分及び出隅受け部の補強筋 ※ 図示による</p> <p>一般壁 ※ 図示による</p> <p>耐震壁 ※ 図示による</p> <p>補強形式 ※ 図示による</p> <p>配筋種別 ※ 図示による</p> <p>梁貫通孔径 (部材記号含む)及び配筋種別リスト ※ 図示による</p> <p>種別 ※ 図示による</p>	<p>4 鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨製作工場 (7.1.3)</p> <p>2 施工管理技術者 (7.1.3~4)</p> <p>3 鋼材 (7.2.1) (表7.2.1)</p> <p>4 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.1~9)</p> <p>5 普通ボルト (7.2.3)</p> <p>6 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.12.3~4)</p> <p>7 アンカーボルト (7.2.4) (表7.2.3) (7.10.3)</p> <p>8 溶接材料 (7.2.5)</p> <p>9 ターンバックル (7.2.6)</p> <p>10 デッキプレート (7.2.7)</p> <p>11 レール及びその付属品</p> <p>12 スタッド (7.2.8)</p> <p>13 柱底均しモルタル (7.2.9)</p> <p>14 工作図 (7.3.2)</p>	<p>4 鉄骨工事</p> <p>15 鉄骨の製作精度 (7.3.3)</p> <p>16 鉄骨の仮組 (7.3.10)</p> <p>17 溶接技能者の技量付加試験 (7.6.3)</p> <p>18 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)</p> <p>19 現場溶接の有無 ()</p> <p>20 入熱、バス間温度溶接条件 ()</p> <p>21 溶接部の試験 (7.6.12) (表7.6.2~4)</p> <p>22 錆止め塗装 (7.8.4) (18.3.2)</p> <p>23 耐火被覆 (7.9.2~7)</p> <p>24 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4) (7.10.3) (表7.10.1)</p> <p>25 軽量形鋼構造 (7.11.2)</p> <p>26 溶融亜鉛めっき (耐力上必要な部分) (7.12.4) (表14.2.2)</p> <p>27 梁貫通孔の補強 ()</p>																																																																																																																										
<p>3 コンクリート工事</p> <p>1 コンクリートの種類及び強度 (6.2.2)</p> <p>2 レディーミクストコンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1)</p> <p>3 セメント (6.3.1) (表6.3.1)</p> <p>4 骨材 (6.3.1)</p> <p>5 軽量コンクリート (6.10.1) (表6.10.1)</p> <p>6 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <p>7 ひび割れ誘発目地打設目地 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)</p> <p>8 コンクリート仕上り (6.2.5) (表6.2.3)</p> <p>9 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)</p> <p>10 型枠 (6.8.2)</p> <p>11 圧縮強度試験</p>	<p>普通コンクリートの設計基準強度 (6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (Fc) N/mm²</th> <th>種別</th> <th>18</th> <th>21</th> <th>24</th> <th>27</th> </tr> <tr> <td>普通コンクリート</td> <td>部位</td> <td>捨て</td> <td>土間、基礎、基礎立上り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽量コンクリート</td> <td>部位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>上記には補正値は含まれない</p> <p>軽量コンクリートの設計基準強度 (6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td></td> </tr> </table> <p>スラブの値(単位:cm) (6.2.4) (表6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>打込み箇所</th> <th>基礎、基礎梁</th> <th>土間スラブ</th> <th>柱、梁、スラブ、壁</th> </tr> <tr> <td>所要スラブ</td> <td>15、18</td> <td></td> <td>18</td> </tr> </table> <p>種類 ※ I 類 ・ II 類 (6.2.1) (表6.2.1)</p> <p>種類 (6.3.1) (表6.3.1)</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</p> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。</p> <p>施工箇所 ()</p> <p>・高炉セメントB種 ()</p> <p>・フライアッシュセメントB種 ()</p> <p>・ ()</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)</p> <p>・ A ・ B</p> <p>種類 ・ 1種 ・ 2種 (6.10.1) (表6.10.1)</p> <p>適用箇所 (6.14.1)</p> <p>・ 標仕 6.14.1(4)による箇所</p> <p>・ 標仕 6.14.1(4)以外の箇所</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>設計基準強度 (6.14.1)</p> <p>※ 18N/mm² ()</p> <p>スラブ</p> <p>※ 15cm又は18cm ()</p> <p>目地寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)</p> <p>・ 標仕 9.7.3による ()</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>間隔、位置、形状</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6.2.5) (表6.2.3)</p> <p>・ 標仕 表6.2.3による ()</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.9.3) (表6.2.4)</p> <p>※ コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による</p> <p>・ 打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6.8.1)</p> <p>○ 20mm ()</p> <p>・ 打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ()</p> <p>・ ()</p> <p>・ 外壁タイル張り、MCR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は外部側に20mmの打増しを行う</p> <p>せき板の材料 (6.8.2)</p> <p>○ 合板(国産材) ()</p> <p>・ ()</p> <p>せき板の厚さ ()</p> <p>・ 12mm ()</p> <p>断熱材の兼用 ()</p> <p>・ 行う 適用箇所()</p> <p>・ 行わない</p> <p>スリーブの材質 ()</p> <p>※ 標仕 6.8.2(9)(イ)及び表6.8.1による ()</p> <p>公的機関でコンクリートの材齢28日圧縮強度試験を行う建築物・その部位等 ()</p> <table border="1"> <tr> <th>建築物名</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>※ 名称</td> <td>()</td> </tr> </table>	設計基準強度 (Fc) N/mm ²	種別	18	21	24	27	普通コンクリート	部位	捨て	土間、基礎、基礎立上り			軽量コンクリート	部位					設計基準強度 (N/mm ²)	適用箇所	・24		打込み箇所	基礎、基礎梁	土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	所要スラブ	15、18		18	建築物名	部位	※ 名称	()	<p>鉄骨製作場の加工能力 (7.1.3)</p> <p>※ 建築基準法第77条に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場</p> <p>・ S ・ H ・ M ・ R ・ J グレード</p> <p>・ 監督員の承諾する工場(標仕 7.1.1 以外の適用範囲に限る。)</p> <p>・ 適用する (7.1.3~4)</p> <p>・ 適用しない</p> <p>材料等 (7.2.1) (表7.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類・記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td>※ 図示による()</td> <td>※ JISによる</td> <td>・ 大臣認定による</td> </tr> <tr> <td>※ 図示による()</td> <td>※ JISによる</td> <td>・ 大臣認定による</td> </tr> <tr> <td>有効縦長比(注欄材に限る)</td> <td>※ 図示による ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>ボルトの区分 (7.2.2) (7.3.2) (7.4.1~9)</p> <p>※ トルシア形高力ボルト</p> <p>セットの種類 ・ 2種(S10T) ()</p> <p>・ JIS形高力ボルト</p> <p>セットの種類 ・ 2種(F10T) ()</p> <p>高力ボルトの径 ()</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ()</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>ナベリ係数試験 (7.4.2)</p> <p>※ 行わない</p> <p>・ 行う 試験方法等 ・ 図示による ()</p> <p>ボルト及びナットの材料 (7.2.3)</p> <p>・ 標仕 表7.2.3による ()</p> <p>座金 ()</p> <p>・ 標仕 7.2.3(4)による ()</p> <p>ボルトの径 ()</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3) (7.3.2)</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>セットの種類 (7.2.2) (7.12.3~4)</p> <p>・ 1種(F8T相当) ()</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ()</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 (7.3.8)</p> <p>※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた内容による ()</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ()</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>摩擦面の処理 ()</p> <p>・ プラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ()</p> <p>・ ()</p> <p>適用 (7.2.4) (表7.2.3) (7.10.3)</p> <p>・ 構造用アンカーボルト</p> <p>セットの種類 ・ JSS II 13-2004 ABR400 ()</p> <p>・ JSS II 13-2004 ABR490 ()</p> <p>・ ()</p> <p>形状、寸法 ・ 図示による ()</p> <p>・ ()</p> <p>・ 建方用アンカーボルト</p> <p>材質 ・ SS400 ()</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ()</p> <p>・ 標仕 表7.2.3による ()</p> <p>・ ()</p> <p>形状、寸法 ・ 図示による ()</p> <p>・ ()</p> <p>溶接材料 (7.2.5)</p> <p>※ 標仕 7.2.5(1) (2)による。</p> <p>・ 標仕 7.2.5(1) (2)以外の溶接材料</p> <p>材料及び使用箇所 ・ 図示による ()</p> <p>種類 (7.2.6)</p> <p>建築用ターンバックル鋼 ・ 割格式 () ()</p> <p>建築用ターンバックルボルト ・ 羽子板ボルト () ()</p> <p>ねじの呼び ・ 図示による () ()</p> <p>材質、形状及び寸法 (7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>構造床</th> <th>適用箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>合成スラブ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床板格用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む。) ()</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>デッキプレートを鉄骨部に溶接する場合の工法(合成スラブ除く) (7.7.8)</p> <p>・ アークスポット溶接又は隅肉溶接 ()</p> <p>デッキプレートを鉄骨部に溶接する場合の工法(合成スラブ)</p> <p>・ 焼付き溶接 ・ スタッド ()</p> <p>耐火認定 ()</p> <p>・ 有り 耐火時間 ・ 図示による ()</p> <p>・ 無し ()</p> <p>形状及び寸法等 ()</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>材質、形状及び寸法 (7.2.8)</p> <p>※ 頭付きスタッド JIS B 1198 ()</p> <p>呼び名等 ()</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタルの種類 (7.2.9)</p> <p>※ 無収縮モルタル ()</p> <p>無収縮モルタルの材料、調合等 ()</p> <p>材料、調合等 ※ 標仕 7.2.9(2)による ()</p> <p>品質及び試験方法 ※ 標仕 表7.2.5による ()</p> <p>監督員による現寸検査 ・ 行わない (7.3.2)</p> <p>・ 行う</p> <p>増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う。</p>	種類・記号	適用箇所	規格	※ 図示による()	※ JISによる	・ 大臣認定による	※ 図示による()	※ JISによる	・ 大臣認定による	有効縦長比(注欄材に限る)	※ 図示による ()		構造床	適用箇所	材質・形状・寸法	備考	合成スラブ				床板格用				呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・ 16			・ 19			・ 22			<p>※ 標仕 7.3.3による</p> <p>溶接ずれ及び食い違い (7.3.3)</p> <p>・ 溶接部はH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること</p> <p>・ 溶接ずれ及び食い違いはH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する</p> <p>ただし書きの計算確認有り。 ()</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>仮組を行う範囲 ※ 図示による () (7.3.10)</p> <p>確認方法、確認項目 ※ 図示による ()</p> <p>試験の要領及び試験を要する溶接箇所 (7.6.3)</p> <p>※ 図示による ()</p> <p>開先の形状 ※ 図示による () (7.6.4)</p> <p>スカフアップの形状 ※ 図示による () (7.6.7)</p> <p>エンドタブの切除する部分 ()</p> <p>・ 全て ()</p> <p>・ 見え掛り部となる部分 ()</p> <p>・ 切除する部分なし ()</p> <p>溶接部の余盛り高さ () (7.6.7)</p> <p>・ ()</p> <p>・ ()</p> <p>無し ()</p> <p>有り 適用箇所 ・ 図示による ()</p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ()</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>適用箇所 ・ 図示による ()</p> <p>・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p> <p>完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12) (表7.6.2~4)</p> <p>・ 行わない</p> <p>※ 行う</p> <p>・ 工場溶接の場合</p> <p>・ 全数検査</p> <p>・ 抜き検査</p> <p>AOQL(%) ・ 4.0 ・ 2.5</p> <table border="1"> <tr> <th>部</th> <th>全て</th> <th>第6水準</th> </tr> <tr> <td>検査水準</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 工事現場溶接の場合</p> <p>・ 全数検査</p> <p>・ 計数連続生産型抜き検査</p> <p>AOQL(%) (・4.0 ・2.5)</p> <p>塗料の種類 (7.8.4) (18.3.2)</p> <p>・ 鉄鋼面の錆止め塗料</p> <p>屋外</p> <p>・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 ()</p> <p>・ ()</p> <p>屋内</p> <p>・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 ()</p> <p>・ ()</p> <p>・ ()</p> <p>重鉛めっき鉄面の錆止め塗料</p> <p>・ 標仕 18.3.2 表18.3.2()種 ()</p> <p>・ ()</p> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)</p> <p>・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 ()</p> <p>・ ()</p> <p>耐火被覆材の接着する面への塗装</p> <p>・ 行わない</p> <p>・ 行う</p> <p>適用箇所 ・ 図示による ()</p> <p>塗料の種類 ・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 ()</p> <p>・ 標仕 18.3.2 表18.3.2()種 ()</p> <p>種類 (7.9.2~7)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付けロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>湿式吹付けウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維質入り「セメント」板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>性能 ()</p> <table border="1"> <tr> <th>性能</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・30分耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・1時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・3時間耐火</td> <td></td> </tr> </table> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4) (7.10.3) (表7.10.1)</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>構造用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ()</p> <p>種別 ・ 図示による ()</p> <p>柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3) (表7.10.2)</p> <p>※ 標仕 表7.10.2 (※A種[モルタル厚さ50]・B種[モルタル厚さ30])による</p> <p>接合部(ボルト接合の場合) (7.11.2)</p> <p>・ 普通ボルト接合 ()</p> <p>種別等 (7.12.4) (表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>並鉛めっきの種別</th> <th>材料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> </table> <p>素地ごしらは、JIS H 8641による ()</p> <p>適用箇所 ※ 図示による ()</p> <p>補強方法 ・ 補強トラス法 ()</p> <p>適用箇所 ※ 図示による ()</p>	部	全て	第6水準	検査水準			種別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付けロックウール			半乾式吹付けロックウール			湿式吹付けウール		耐火板張り	繊維質入り「セメント」板		耐火材巻付け	高断熱ロックウール		ガラス張りモルタル塗り			性能	適用箇所(部位・部分)	・30分耐火		・1時間耐火		・2時間耐火		・3時間耐火		並鉛めっきの種別	材料	備考	A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板		B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板		C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類			最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	
設計基準強度 (Fc) N/mm ²	種別	18	21	24	27																																																																																																																								
普通コンクリート	部位	捨て	土間、基礎、基礎立上り																																																																																																																										
軽量コンクリート	部位																																																																																																																												
設計基準強度 (N/mm ²)	適用箇所																																																																																																																												
・24																																																																																																																													
打込み箇所	基礎、基礎梁	土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁																																																																																																																										
所要スラブ	15、18		18																																																																																																																										
建築物名	部位																																																																																																																												
※ 名称	()																																																																																																																												
種類・記号	適用箇所	規格																																																																																																																											
※ 図示による()	※ JISによる	・ 大臣認定による																																																																																																																											
※ 図示による()	※ JISによる	・ 大臣認定による																																																																																																																											
有効縦長比(注欄材に限る)	※ 図示による ()																																																																																																																												
構造床	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																																																																																										
合成スラブ																																																																																																																													
床板格用																																																																																																																													
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																																																																											
・ 16																																																																																																																													
・ 19																																																																																																																													
・ 22																																																																																																																													
部	全て	第6水準																																																																																																																											
検査水準																																																																																																																													
種別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																											
耐火材吹付け	乾式吹付けロックウール																																																																																																																												
	半乾式吹付けロックウール																																																																																																																												
	湿式吹付けウール																																																																																																																												
耐火板張り	繊維質入り「セメント」板																																																																																																																												
耐火材巻付け	高断熱ロックウール																																																																																																																												
ガラス張りモルタル塗り																																																																																																																													
性能	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																												
・30分耐火																																																																																																																													
・1時間耐火																																																																																																																													
・2時間耐火																																																																																																																													
・3時間耐火																																																																																																																													
並鉛めっきの種別	材料	備考																																																																																																																											
A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板																																																																																																																												
B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																																												
C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類																																																																																																																												
	最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																																												

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	<p>ブロックの種類 (8.2.2~5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ</th> <th colspan="2">モデル呼び寸法</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 空洞ブロック-16</td> <td>※120</td> <td>※400</td> <td>※200</td> <td>※無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 型枠状ブロック-20</td> <td>※150</td> <td></td> <td></td> <td>※無</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各部の配筋 ※ 図示による ()</p> <p>化粧目地の有無 ・無 ・有</p>	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	モデル呼び寸法		化粧の有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	※ 空洞ブロック-16	※120	※400	※200	※無			※ 型枠状ブロック-20	※150			※無			防水工事	6 防水工事	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・E-1</td> <td></td> <td>・E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防水層の地下、立上りコンクリート打放し仕上げ ※ 標仕 表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種 押え金物の材質及び形状 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 防水層の地下のモルタル塗り ・適用する(施工範囲・図示による) ・適用しない</p> <p>屋根排水溝 ※ 図示による ()</p>	種別	施工箇所	種別	施工箇所	・E-1		・E-2		石工工事	1 施工	<p>石材の割付け ※ 標仕 10.1.3(1)(7)~(9)による 粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ 屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ</p> <p>・ 図示による (10.1.3~5) ・ 図示による () ・ 行方(適用場所) ・すべて () ・ 行わない</p>																																																																																															
	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ			モデル呼び寸法					化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																																																										
			長さ	高さ																																																																																																																																		
	※ 空洞ブロック-16	※120	※400	※200	※無																																																																																																																																	
※ 型枠状ブロック-20	※150			※無																																																																																																																																		
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																																																			
・E-1		・E-2																																																																																																																																				
2 コンクリートブロック・ALCパネル	<p>ブロックの種類 (8.3.2~3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ</th> <th colspan="2">モデル呼び寸法</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 空洞ブロック-08</td> <td>※120</td> <td>※400</td> <td>※200</td> <td>※無・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 空洞ブロック-16</td> <td>※150</td> <td></td> <td></td> <td>※無・有</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各部の配筋 ※ 図示による ()</p> <p>化粧目地の有無 ・無 ・有</p>	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	モデル呼び寸法		化粧の有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	※ 空洞ブロック-08	※120	※400	※200	※無・有			※ 空洞ブロック-16	※150			※無・有			2 改質アスファルトシート防水	<p>防水層の種類 (9.3.2~4) (表9.3.1~3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>防湿層</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AS-T1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ASI-T1</td> <td>(材質)※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ)※25mm</td> <td></td> <td>・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ASI-J1</td> <td></td> <td></td> <td>・設けない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上塗料 ※ カラー・シルバー 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 標仕 表9.3.1~表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 標仕 表9.3.1~表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 標仕 表9.3.1~表9.3.3による 押え金物 ※ 改質アスファルト製造所の仕様による</p>	種別	施工箇所	断熱材	防湿層	備考	・AS-T1					・AS-T2					・AS-J1					・AS-T3					・AS-T4					・ASI-T1	(材質)※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ)※25mm		・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による)		・ASI-J1			・設けない		2 石材等	<p>天然石 (10.2.1~3) (表10.2.1~2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質</th> <th>石材の種類</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・1等品 ・2等品</td> <td></td> <td>※ 正方形形 ・近い矩形</td> <td>・図示</td> <td></td> <td>・粗磨き ・本磨き</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1等品 ・2等品</td> <td></td> <td>※ 正方形形 ・近い矩形</td> <td>・図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラブロック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別の種類</th> <th>種別の大きさ(mm)</th> <th>形状</th> <th>仕上げ面</th> <th>寸法</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※ 大理石 ・花こう岩</td> <td>※ 1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面</td> <td>・図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 大理石 ・花こう岩</td> <td>※ 1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面</td> <td>・図示</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラタイル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別の種類</th> <th>種別の大きさ(mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※ 大理石 ・花こう岩</td> <td>※ 1.5~12</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 大理石 ・花こう岩</td> <td>※ 1.5~12</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取り扱えるモルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材 ※ 材施工業者の指定する製品</p>	施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法	厚さ	表面仕上げ	備考		・1等品 ・2等品		※ 正方形形 ・近い矩形	・図示		・粗磨き ・本磨き			・1等品 ・2等品		※ 正方形形 ・近い矩形	・図示				施工箇所	種別の種類	種別の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法	表面仕上げ	備考		※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5~12	・平もの ・役もの	・片面	・図示				※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5~12	・平もの ・役もの	・片面	・図示			施工箇所	種別の種類	種別の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考		※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5~12	・300型 ・400型				※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5~12	・300型 ・400型		
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ			モデル呼び寸法					化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																																																											
		長さ	高さ																																																																																																																																			
※ 空洞ブロック-08	※120	※400	※200	※無・有																																																																																																																																		
※ 空洞ブロック-16	※150			※無・有																																																																																																																																		
種別	施工箇所	断熱材	防湿層	備考																																																																																																																																		
・AS-T1																																																																																																																																						
・AS-T2																																																																																																																																						
・AS-J1																																																																																																																																						
・AS-T3																																																																																																																																						
・AS-T4																																																																																																																																						
・ASI-T1	(材質)※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ)※25mm		・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による)																																																																																																																																			
・ASI-J1			・設けない																																																																																																																																			
施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法	厚さ	表面仕上げ	備考																																																																																																																															
	・1等品 ・2等品		※ 正方形形 ・近い矩形	・図示		・粗磨き ・本磨き																																																																																																																																
	・1等品 ・2等品		※ 正方形形 ・近い矩形	・図示																																																																																																																																		
施工箇所	種別の種類	種別の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法	表面仕上げ	備考																																																																																																																															
	※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5~12	・平もの ・役もの	・片面	・図示																																																																																																																																	
	※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5~12	・平もの ・役もの	・片面	・図示																																																																																																																																	
施工箇所	種別の種類	種別の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考																																																																																																																																	
	※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5~12	・300型 ・400型																																																																																																																																			
	※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5~12	・300型 ・400型																																																																																																																																			
3 ALCパネル	<p>パネルの種類 (8.4.2~5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>単体荷重(N/m²)</th> <th>厚さ</th> <th>幅</th> <th>耐火性能</th> <th>表面加工</th> <th>構法の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・C種・D種・E種</td> </tr> <tr> <td>・屋根パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> <td>・平</td> <td>F種</td> </tr> <tr> <td>・床パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm) ※ 20 ()</p> <p>伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない</p>	パネルの種類	単体荷重(N/m ²)	厚さ	幅	耐火性能	表面加工	構法の種別	・外壁パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・A種・B種	・間仕切壁パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・C種・D種・E種	・屋根パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平	F種	・床パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間			3 合成高分子系ルーフィングシート防水	<p>防水層の種類 (9.4.2~4) (表9.4.1~2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>絶縁用シート</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-F1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-F1</td> <td></td> <td>(材質)※A種硬質ウレタンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの (厚さ)※25mm</td> <td></td> <td>※ カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-M1</td> <td></td> <td>(材質)※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種押出し法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 (厚さ)※25mm</td> <td></td> <td>※ カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-M2</td> <td></td> <td>※ 発泡ポリエチレンシート (厚さ)※25mm</td> <td></td> <td>※ カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 標仕 表9.4.1~表9.4.2による 防水下地がPCコンクリート部材下地の場合の処理 目地処理 ※ 図示による () 入隅部の増張り(S-F1、SI-F1の場合) ※ 図示による ()</p>	種別	施工箇所	絶縁用シート	断熱材	仕上塗料	使用量	・S-F1				※ カラー・シルバー		・S-F2				※ カラー・シルバー		・S-M1				※ カラー・シルバー		・S-M2				※ カラー・シルバー		・S-M3				※ カラー・シルバー		・SI-F1		(材質)※A種硬質ウレタンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの (厚さ)※25mm		※ カラー・シルバー		・SI-F2				※ カラー・シルバー		・SI-M1		(材質)※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種押出し法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 (厚さ)※25mm		※ カラー・シルバー		・SI-M2		※ 発泡ポリエチレンシート (厚さ)※25mm		※ カラー・シルバー		3 外壁湿式工法	<p>石裏面処理 ・適用する ・適用しない (10.2.2~3) (10.3.2~3)</p> <p>裏打ち処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>下地ごしらえ ※ 流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー・横筋横流し工法 受金物 材質 ※ SS400 () 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm ()</p> <p>ドレンパイプの材質 ・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ ()</p> <p>アンカーの材質及び径 ※ SS400 M12 () あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 () 伸縮調整目地 シーリング材 ・適用する ・適用しない 位置 ※ (11.1.3)による シーリング材の目地寸法 ※ (9.7.3(1)(9))による ・ 図示による</p>																																		
パネルの種類	単体荷重(N/m ²)	厚さ	幅	耐火性能	表面加工	構法の種別																																																																																																																																
・外壁パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・A種・B種																																																																																																																																
・間仕切壁パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・C種・D種・E種																																																																																																																																
・屋根パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平	F種																																																																																																																																
・床パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間																																																																																																																																		
種別	施工箇所	絶縁用シート	断熱材	仕上塗料	使用量																																																																																																																																	
・S-F1				※ カラー・シルバー																																																																																																																																		
・S-F2				※ カラー・シルバー																																																																																																																																		
・S-M1				※ カラー・シルバー																																																																																																																																		
・S-M2				※ カラー・シルバー																																																																																																																																		
・S-M3				※ カラー・シルバー																																																																																																																																		
・SI-F1		(材質)※A種硬質ウレタンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの (厚さ)※25mm		※ カラー・シルバー																																																																																																																																		
・SI-F2				※ カラー・シルバー																																																																																																																																		
・SI-M1		(材質)※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種押出し法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 (厚さ)※25mm		※ カラー・シルバー																																																																																																																																		
・SI-M2		※ 発泡ポリエチレンシート (厚さ)※25mm		※ カラー・シルバー																																																																																																																																		
4 押出成形セメント板	<p>パネルの種類 (8.5.2~5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ</th> <th>幅</th> <th>耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁パネル</td> <td>・F ・D ・T</td> <td>・F-R ・D-R ・T-R</td> <td>・50 ・60 ・100</td> <td>・450 ・600</td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル</td> <td>・F</td> <td></td> <td>・50 ・60 ・100</td> <td>・450 ・600</td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネルの相互の目地幅(mm) ※ 長辺 8以上 短辺 15以上 出隅及び入隅のパネル接合部の目地幅(mm) ※ 15 () やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルに開口を設ける場合</th> <th>開口の大きさ</th> <th>幅</th> <th>長さ</th> <th>目地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パネルを切り欠く場合</td> <td>短辺</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>長辺</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>パネルを切り欠く場合</td> <td>短辺</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>長辺</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table>	パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	耐火性能	・外壁パネル	・F ・D ・T	・F-R ・D-R ・T-R	・50 ・60 ・100	・450 ・600	・30分 ・1時間 ・2時間	・間仕切壁パネル	・F		・50 ・60 ・100	・450 ・600	・30分 ・1時間 ・2時間	パネルに開口を設ける場合	開口の大きさ	幅	長さ	目地	パネルを切り欠く場合	短辺	・	・	・図示		長辺	・	・	・図示	パネルを切り欠く場合	短辺	・	・	・図示		長辺	・	・	・図示	4 塗膜防水	<p>防水層の種類 (9.5.2~4) (表9.5.1~2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>保護層</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・X-1</td> <td></td> <td>※ カラー・シルバー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> <td></td> <td>※ カラー・シルバー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-1</td> <td>※ 地下外壁防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-2</td> <td>※ 室内防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	使用量	・X-1		※ カラー・シルバー			・X-2		※ カラー・シルバー			・Y-1	※ 地下外壁防水				・Y-2	※ 室内防水				4 内壁空積工法	<p>受金物 材質 ※ SS400 () 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm ()</p> <p>石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※ あと施工アンカー・横筋横流し工法 ・あと施工アンカー工法 アンカーの材質及び径 ※ SS400 M12 () あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 () 伸縮調整目地 シーリング材 ・適用する ・適用しない 位置 ※ (11.1.3)による シーリング材の目地寸法 ※ (9.7.3(1)(9))による ・ 図示による</p>																																																														
パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	耐火性能																																																																																																																																		
・外壁パネル	・F ・D ・T	・F-R ・D-R ・T-R	・50 ・60 ・100	・450 ・600	・30分 ・1時間 ・2時間																																																																																																																																	
・間仕切壁パネル	・F		・50 ・60 ・100	・450 ・600	・30分 ・1時間 ・2時間																																																																																																																																	
パネルに開口を設ける場合	開口の大きさ	幅	長さ	目地																																																																																																																																		
パネルを切り欠く場合	短辺	・	・	・図示																																																																																																																																		
	長辺	・	・	・図示																																																																																																																																		
パネルを切り欠く場合	短辺	・	・	・図示																																																																																																																																		
	長辺	・	・	・図示																																																																																																																																		
種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	使用量																																																																																																																																		
・X-1		※ カラー・シルバー																																																																																																																																				
・X-2		※ カラー・シルバー																																																																																																																																				
・Y-1	※ 地下外壁防水																																																																																																																																					
・Y-2	※ 室内防水																																																																																																																																					

<p>8</p> <p>○ 1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地</p> <p>○ 2 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り</p> <p>3 接着剤による陶磁器質タイル張り</p> <p>4 陶磁器質タイル型枠先付け</p> <p>5 階段滑り止め</p>	<p>位置 ※標仕 表11.1.1による ・図示による (11.1.3)(表11.1.1)</p> <p>タイルの形状、寸法等 (11.2.2)(11.2.2~8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">主な用途による区分(JIS)</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th rowspan="2">耐凍害の有無</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>Ⅰ類</th> <th>Ⅱ類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td> <td>外装床タイル</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行方 ※行わない 見本焼き ・行方 ※行わない</p> <p>モルタル塗りのコンクリート素地面の処理・MCR工法・目荒し工法(高圧洗浄)・壁タイル張りの工法 外装タイル ※密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>タイルの形状、寸法等 (11.3.2~8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">主な用途による区分(JIS)</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th rowspan="2">耐凍害の有無</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>Ⅰ類</th> <th>Ⅱ類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行方 ※行わない 見本焼き ・行方 ※行わない</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 () ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 () 伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング材 () その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング材 () モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理・MCR工法・目荒し工法(高圧洗浄) ・ ()</p> <p>タイル型枠先付けの種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用タイル</th> <th>タイル型枠先付け面のせき板の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・タイルシート法</td> <td>・小口タイル</td> <td>※標仕 6.8.2(2)(イ)</td> </tr> <tr> <td>・目地樹法</td> <td>・二丁掛けタイル</td> <td>・金属製タイル先付け用パネル</td> </tr> <tr> <td>・積層法</td> <td>・大形タイル</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※磁器製() ・ ()</p>	施工箇所	主な用途による区分(JIS)	形状寸法	吸水率による区分		うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍害の有無	備考	Ⅰ類	Ⅱ類	床	外装床タイル		○								施工箇所	主な用途による区分(JIS)	形状寸法	吸水率による区分		うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍害の有無	備考	Ⅰ類	Ⅱ類												種別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類	・タイルシート法	・小口タイル	※標仕 6.8.2(2)(イ)	・目地樹法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付け用パネル	・積層法	・大形タイル		<p>9</p> <p>木工事</p> <p>○ 4 造作用単板積層材</p> <p>○ 5 床張り用合板等</p> <p>○ 6 接着剤</p> <p>7 防腐・防蟻</p>	<p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の厚さ</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>化粧薄板の厚さ</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 (12.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>等級</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防炎処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td>※12</td> <td>・アフリシナ</td> <td>※1類・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上・1等 針葉樹 ※C-D以上</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「普通合板」 (12.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>等級</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>有効断面係数</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>※2級以上</td> <td></td> <td>※1類・特類</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「パーティクルボード」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※15</td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「構造用パネル」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ</th> <th>等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td> </tr> </tbody> </table> <p>接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12.2.2~3) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ ()</p> <p>・防腐、防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材 (12.3.1~2) 適用部位: ()</p> <p>・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 ()</p> <p>・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部位 ()</p> <p>・処理の方法 ※標仕12.3.1(イ)(b)(1)~(4)による ※標仕12.3.1(イ)(b)(1)~(4)による ※標仕12.3.1(イ)(b)(1)~(4)による</p> <p>・ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理 適用部位 ()</p>	施工箇所	化粧薄板の厚さ	芯材の樹種	寸法	見付け材面の品質	化粧薄板の厚さ	含水率	備考									施工箇所	厚さ	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理	備考		※5.5	※12	・アフリシナ	※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない		施工箇所	厚さ	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数	防虫処理	強度等級	備考		※12	※2級以上		※1類・特類	※C-D以上		・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない		施工箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分		※15		※13タイプ	※P又はM		施工箇所	厚さ	等級			・1級 ・2級 ・3級 ・4級	<p>10</p> <p>木造工事</p> <p>○ 5 接合金物等の材質</p> <p>○ 6 製作制度</p> <p>○ 7 表面仕上げ</p> <p>○ 8 アンカーボルト</p> <p>○ 9 柱底均し仕上げ</p> <p>○ 10 普通ボルト</p> <p>○ 11 ボルト孔</p> <p>12 ラグスクリュー</p> <p>13 ドリフトピン</p> <p>14 ジベル</p> <p>15 錆止め塗装</p> <p>16 亜鉛めっき</p> <p>17 防火被覆材</p> <p>18 防火被覆処理</p> <p>鋼材の材質 ※SS400 ・SN400A ・ () ・ ()</p> <p>※精度基準は次による 部位等 精度基準 短辺 製作図寸法の±1.5mm以内 長辺 製作図寸法の±1.5mm以内、かつ、±5mm以内 材長 製作図寸法の±5mm以内 断面直角精度 直角とのひずみ±1/100mm</p> <p>仕上げの程度 ・A種 ※B種</p> <p>材質 ※SS400 ・ () 寸法 ※図示 ・ () アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・A種 ※B種 ・C種</p> <p>柱底均しモルタルの厚さ ※30mm程度 ・ () 柱底均しモルタルの工法 ・A種 ※B種</p> <p>普通ボルトの材料等 ※(県:第2編 表12-2.4.5)による。 ・ () ボルトに用いる座金の寸法及び厚さ ※図示及び(県:第2編 表12-2.4.6)による。 ボルトが受ける応力の種類 ※図示による。</p> <p>ボルト孔の径 ※(県:第2編 表12-2.4.7)及び(県:第2編 表12-2.4.8)による。 ・集成材の場合 () ・集成金物の場合 ()</p> <p>ラグスクリューの形状、寸法 ※図示 ・ ()</p> <p>ドリフトピンの形状、寸法等 ※図示 ・ ()</p> <p>ジベルの種類及び材質 種類 () 材質 () ジベルの形状、寸法等 ※図示 ・ ()</p> <p>錆止め塗装による防錆処理を行う構造金物及び接合金等 ※見え掛かりとなるすべての構造金物及び接合金等 錆止め塗装の種類 ・A種 ※B種</p> <p>亜鉛めっきによる防錆処理を行う材料等 ※すべての構造金物及び接合金等 ・ () 亜鉛めっきの種類 ※2種HDZ55 ・2種HDZ45 ・2種HDZ35</p> <p>防火被覆材 ・厚さ25mm以上の木材 ・厚さ15mm以上の強化せつこうボード ・厚さ12mm以上のけい酸カルシウム板</p> <p>ボルト、ドリフトピン等の防火被覆処理 ・行方 ・行わない</p>																																									
施工箇所	主な用途による区分(JIS)				形状寸法	吸水率による区分							うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍害の有無	備考																																																																																																																																																																	
		Ⅰ類	Ⅱ類																																																																																																																																																																																
床	外装床タイル		○																																																																																																																																																																																
施工箇所	主な用途による区分(JIS)	形状寸法	吸水率による区分		うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍害の有無	備考																																																																																																																																																																									
			Ⅰ類	Ⅱ類																																																																																																																																																																															
種別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類																																																																																																																																																																																	
・タイルシート法	・小口タイル	※標仕 6.8.2(2)(イ)																																																																																																																																																																																	
・目地樹法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付け用パネル																																																																																																																																																																																	
・積層法	・大形タイル																																																																																																																																																																																		
施工箇所	化粧薄板の厚さ	芯材の樹種	寸法	見付け材面の品質	化粧薄板の厚さ	含水率	備考																																																																																																																																																																												
施工箇所	厚さ	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理	備考																																																																																																																																																																										
	※5.5	※12	・アフリシナ	※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数	防虫処理	強度等級	備考																																																																																																																																																																										
	※12	※2級以上		※1類・特類	※C-D以上		・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																														
	※15		※13タイプ	※P又はM																																																																																																																																																																															
施工箇所	厚さ	等級																																																																																																																																																																																	
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																																																																																																																																																																	
<p>9</p> <p>木工事</p> <p>○ 1 表面仕上げ</p> <p>○ 2 製材</p> <p>○ 3 造作用集成材</p>	<p>表面仕上げの種類 (12.1.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>製材 (12.2.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)</p> <p>・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1級</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1級</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>造作材の材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・代用樹種を使用できない箇所 ()</p> <p>・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ※2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ※2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	適用箇所	・A種		・B種		・C種		施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考				※2級		※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考				※1級		※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考				※1級		※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	備考				()	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の等級	備考				※1等 ※2等		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	備考						※1等 ※2等		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	備考							施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	備考					※A種・B種		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考							※A種・B		<p>10</p> <p>大造工事</p> <p>○ 1 軸組工法工事</p> <p>1) 木材</p> <p>2) 工法</p> <p>2 大断面集成材工事</p> <p>1) 大断面集成材の製作用工法</p> <p>2) 施工管理技術者</p> <p>3) 工作図</p> <p>4) 大断面集成材</p> <p>樹種名、種類、等級、寸法等 ※(県:第2編 表12-2.3.1)の規定による () 代用樹種を使用しない箇所 ()</p> <p>用材の工法 ※(県:第2編 表12-2.3.2)の規定による () () ()</p> <p>軸組の工法 ※(県:第2編 表12-2.3.3)の規定による ()</p> <p>構造用面材 ※(県:第2編 表12-2.3.6~表12-2.3.9)の規定による () () () () ()</p> <p>製作用工場 ※監督員の承諾する工場 ()</p> <p>施工管理技術者の設置 ・適用する ・適用しない</p> <p>床書き原寸図 ・作成する ・作成しない</p> <p>大断面集成材の品質等 強度等級は、次による 構成するひき板の品質等による区分</p> <p>JASによる強度等級等 ・E135-F375 ・E120-F330 ・E105-F300 ・E95-F270 ・E85-F255 ・E75-F240 ・E65-F225 ・ () ・E125-F360 ・E110-F315 ・E100-F285 ・E90-F255 ・E30-F240 ・E70-F225 ・E60-F210 ・ () ・ ()</p> <p>断面の品質 ※2種 ・3種 接着性能 ・使用環境1 ・使用環境2 樹種 ・べいまつ ・からまつ ・すぎ ・ () ・ ()</p>	<p>11</p> <p>屋根及びとい工事</p> <p>○ 1 長尺金属板葺</p> <p>2 折板葺</p> <p>3 とい</p> <p>(13.2.2~3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ</th> <th>屋根葺形式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・心木なし瓦葺 ○立平葺・蟻掛葺 ・横葺</td> </tr> </tbody> </table> <p>下葺材料 ※アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (一一般タイプ・複層タイプ・粘着層付タイプ) 雪止め ※設置する(図示) ・設置しない</p> <p>(13.2.2)(13.3.2~3)(表13.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチによる区分</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>重ね形 ・はげ形 ・かん合形</td> <td>山高 山ピッチ</td> <td>()種</td> <td>※鋼板製 ・アルミニウム 合金板製</td> <td></td> <td>・有り ・無し</td> <td>・30分 ・無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料 ※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150) () 断熱材 ・有り(種別): 厚さ(mm): 防火性能: 時間)</p> <p>といの材種 (13.5.2~3)(表13.5.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材種</th> <th>径</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>たてどい</td> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・PVC(硬質)塩化ビニル発砲三層管 □G</td> <td></td> <td></td> <td>SUS304、厚2</td> </tr> </tbody> </table> <p>ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ () 鋼管製といの防露巻き ・適用する(工法:※標仕 表13.5.4による) ・ () ・適用しない</p> <p>とい受金物 ※ステンレス製 ・鋼製(亜鉛めっき) (13.5.2)(表13.5.2)</p> <p>ルーフトレン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ろく屋根用(縦型)・横型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パネル型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パネル型</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ	屋根葺形式	備考		※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)				・心木なし瓦葺 ○立平葺・蟻掛葺 ・横葺	施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ	軒先面戸板	耐火性能		重ね形 ・はげ形 ・かん合形	山高 山ピッチ	()種	※鋼板製 ・アルミニウム 合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し	種別	材種	径	施工箇所	備考	たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・PVC(硬質)塩化ビニル発砲三層管 □G			SUS304、厚2	種別	施工箇所	・ろく屋根用(縦型)・横型		・パネル型		・パネル型	
種別	適用箇所																																																																																																																																																																																		
・A種																																																																																																																																																																																			
・B種																																																																																																																																																																																			
・C種																																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考																																																																																																																																																																													
			※2級		※A種・B種																																																																																																																																																																														
施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考																																																																																																																																																																													
			※1級		※A種・B種																																																																																																																																																																														
施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考																																																																																																																																																																													
			※1級		※A種・B種																																																																																																																																																																														
施工箇所	樹種	寸法	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	備考																																																																																																																																																																												
			()	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種・B種																																																																																																																																																																													
施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の等級	備考																																																																																																																																																																															
			※1等 ※2等																																																																																																																																																																																
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	備考																																																																																																																																																																													
					※1等 ※2等																																																																																																																																																																														
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																														
施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	備考																																																																																																																																																																														
				※A種・B種																																																																																																																																																																															
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考																																																																																																																																																																												
						※A種・B																																																																																																																																																																													
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ	屋根葺形式	備考																																																																																																																																																																														
	※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)				・心木なし瓦葺 ○立平葺・蟻掛葺 ・横葺																																																																																																																																																																														
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																																																																																												
	重ね形 ・はげ形 ・かん合形	山高 山ピッチ	()種	※鋼板製 ・アルミニウム 合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し																																																																																																																																																																												
種別	材種	径	施工箇所	備考																																																																																																																																																																															
たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・PVC(硬質)塩化ビニル発砲三層管 □G			SUS304、厚2																																																																																																																																																																															
種別	施工箇所																																																																																																																																																																																		
・ろく屋根用(縦型)・横型																																																																																																																																																																																			
・パネル型																																																																																																																																																																																			
・パネル型																																																																																																																																																																																			

12 金属工事

1 あと施工アンカーの確認試験 (14.1.3(1))による確認試験を行う。(14.1.3)
2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)
3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4)
4 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1)
5 金属成形板張り (14.7.2~3)(表14.2.1)
6 アルミニウム製笠木

14 建具工事

1 アルミニウム製建具
2 網戸等
3 樹脂製建具
4 鋼製建具
5 鋼製軽量建具
6 ステンレス製建具

性能等級 (16.2.2)(16.2.4)(16.2.5)(表16.2.1)
外部に面する建具
防音ドアセット、防音サッシ
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット
枠の見込み寸法
表面処理
外部に面する建具
屋内の建具
結露水の処理方法
水切り板、ぜん板
(16.2.3)
種類 材質 線径 網目
防虫網
防鳥網
性能等級 (16.3.2)
外部に面する建具
防音ドアセット、防音サッシ
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット
鋼板
材料 めっき量 厚さ
JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)
JIS G 3317(溶融亜鉛5%アルミニウム合金めっき鋼板)
性能等級 (16.2.2)(16.4.2)(表16.4.2)
簡易気密型
外部に面する建具の耐風圧性
防音ドアセット、防音サッシ
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット
鋼板
鋼板の厚さ
召合せ、縦小口包み板等の材質
性能等級 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~4)
簡易気密型
外部に面する建具の耐風圧性
防音ドアセット、防音サッシ
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット
鋼板(屋外)
鋼板(屋内)
表面仕上げ
ステンレス鋼板の曲げ加工
建具材の加工、組立時の含水率
(16.6.5)
(16.7.2~4)
○フラッシュ戸
表面材の合板の種類
合板の種類 規格等 備考

14 建具工事

8 建具用金物
9 鍵箱
10 自動ドア開閉機構
11 自閉式上吊り引戸装置
12 重量シャッター
13 軽量シャッター

標準型建具
標準型建具以外の建具
性能 (16.4.4)
形式 (16.8.4)
自動ドア (16.9.2~3)
性能
防錆
センサーの種類
凍結防止
駆動力
補助センサー
工事範囲
性能
(16.10.1)
(16.11.1)
種類
シャッターケース
一般重量シャッター
外壁用防火シャッター
屋内用防火シャッター
屋内用防塵シャッター
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
めっきの付着量
電動式の場合の電源
工事範囲
(16.12.2~4)
簡易形式
シャッターケース
※ 手動式
※ 上部電動式(手動併用)
スラットの材質
スラットの形状
電源
工事範囲
※ 障害物感知装置(自動閉鎖型)

13 左官工事

1 仕上塗材仕上げ (15.6.2)
2 ALCパネルの場合の下地処理 (15.6.4)
3 マスチック塗料塗り (15.7.2)
4 ログワール吹付け (15.12.2~4)

14	14	オーバーヘッド ドア	(16.13.2~3) セクション材料 による区分 ※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラス タイプ	耐風圧 (N/㎡) ・ 125 ※ バランス式 ・ 100 ※ チェーン式 ・ 75 ※ 電動式 ・ 50	開閉方式 による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	取納形式 による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	ガイドレール の材質 ※ ステンレス鋼板 (SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき 鋼板
	○ 15	ガラス	○ 合わせガラス コック 品名 ○ フロート合わせ ガラス ・ 網入磨き合わせ ガラス	性能 ・ I 類 ・ II-1 類 ・ II-2 類 ・ III 類	構成種類 ・ フロート板合わせガラス ・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス ・ 網入磨き、フロート板合わせガラス ・ 網入磨き、熱線吸収合わせガラス	性能 ・ I 類 ・ III 類	(16.14.2) 注) 曲面合わせガラスの性能は I 類
			○ 強化ガラス 材料板ガラスによる種類 ・ フロートガラス ・ 型板ガラス	種類 ・ フロート強化ガラス ・ 熱線吸収強化ガラス ・ 型板強化ガラス	性能 ・ I 類 ・ III 類		注) 曲面強化ガラスの性能は I 類
			・ 熱線吸収板ガラス 品名 ・ 熱線吸収フロート板ガラス ・ 熱線吸収網入磨き板ガラス	性能 ・ 1 種 ・ 2 種	色調 ・ ()		
			○ 複層ガラス 品名 ○ 断熱複層ガラス ・ 日射熱差へい複層ガラス	断熱性 ・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種 ・ 4 種 ○ 5 種	日射熱差へい性 U1 U2 U-3-1 E4 E5		
			・ 熱線反射ガラス 品名 ・ 熱線反射ガラス ・ 高性能 熱線反射ガラス	断熱性 ・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	耐久性 A 種 A 種 B 種	反射皮膜 ・ 内面 ・ 外面	映像調整 ・ 行方 ・ 行かない
			・ 倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 ・ フロート倍強度ガラス ・ 熱線吸収倍強度ガラス		色調 ・ ()		
			ガラスの留め材及び肉の大きさ 建具の種類 アルミニウム製 ステンレス製	ガラス留め材 ※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形 着色 ()	ガラス肉の大きさ(mm) ※ 標仕 表16.14.11による ・ 図示による ・ ()		(16.14.3) (図16.14.1)
			ガラスブロック積み JIS A 5212 によるもの又は評価値を確によるもの	表面形状 寸法 厚さ	色調 防火認定 備考 ・ なし ・ 防火設備		(16.14.5)
	16	ガラス用フィルム	・ ()				

16	○ 1	材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	(18.2.2~7)
	○ 2	素地ごしらえ	下地面等 種別 未部 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面(注) モルタル面及びプラスター面 コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面 せつこうボード面及び その他ボード面	種別 ※ A 種・B 種 ※ B 種・A 種 ※ C 種・A 種・B 種 ・ A 種・B 種 ・ A 種・B 種 ※ B 種・A 種 ※ A 種・B 種 ※ A 種・B 種 ※ B 種・A 種
	○ 3	錆止め塗料塗り	注) 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえの種別 種別 A 種 B 種 C 種	施工部位及び塗料種別 鋼製の建具の場合又は2液形ポリウレタンエナメル塗 若しくは常温乾燥型有機樹脂エナメル塗の場合 A 種、C 種以外 下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合
	○ 4	塗装	下地面等 種別 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	工程の種別 見え隠れ部分 見え隠れ部分 鋼製建具 鋼製建具以外
			塗装 種別 A 種 B 種 C 種	塗料の種類 ※ A 種・B 種 ※ B 種・A 種 ※ B 種・A 種 ※ A 種・B 種・C 種 ※ C 種・A 種・B 種 ※ A 種・B 種 ※ B 種・A 種 ※ B 種・A 種 ※ B 種・A 種 ※ B 種・A 種 ※ B 種・A 種 ※ B 種・A 種

17	○ 8	フローリング張り	単層フローリング 種類 ○ フローリング ボード ・ フローリング ブロック ・ モザイク パーケット 間伐材の適用	種別 ・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法 ・ 接着工法 ・ モルタル 埋込工法 接着工法	樹種 ・ ぶな ・ 杉 ・ 柾	厚さ ○ 15 ・ 12以上	大きさ 幅幅 ・ 70 ・ 90 板長さ500 以上 ※ 303角 ・ () ・ ()	(19.5.2) 仕上塗装 ○ 塗装品 ・ 無塗装品
	9	畳敷き	天然木化粧複合フローリング 種別 A 種 B 種 C 種 D 種 E 種	工法 ・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法	樹種 ・ 柾 ・ 柾	厚さ/大きさ(mm) ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種	防湿処理 ・ 適用する ・ 適用しない	塗装 仕上げ ・ 塗装品 ・ 無塗装品
	○ 10	せつこうボード その他ボード張り	接着剤工法の場合の接着剤 現場塗仕上げ	※ 合成樹脂発泡シート (施工箇所) ・ 行わない ※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステンの上、ワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り				(19.6.2) (表19.6.1) 種別 ・ A 種・B 種 ・ C 種・D 種 (畳床: KT-) 下地の種類 ・ 標仕 表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロ)
			種類 ・ 硬質木毛セメント板 ・ 中質木毛セメント板 ・ 普通木毛セメント板 ・ 硬質木毛セメント板 ・ 普通木毛セメント板 ・ 軽い硬質セメント板 ・ ロックワール化粧石膏板 ・ ロックワール吸音ボード1号 ・ グラスワール吸音ボード32K ○ せつこうボード ・ 不燃積層せつこうボード ・ シーリングせつこうボード ・ 強化せつこうボード ・ せつこうボード ・ 化粧せつこうボード(木目)	JIS 記号 HW MW NW HF NF 0, 8FK 1, 0PK DR RW-B GW-B GB-R GB-NC GB-S GB-L GB-D	厚さ、規格等 ・ 18 ・ 20 ・ 25 ・ 18 ・ 20 ・ 25 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30 タイプ2(無石綿) ※ 6 ・ 8 ・ フラットタイプ (・ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・ 15 ・ 19) ・ 12 ・ 15 ・ 25 ※ 25(ガラスクロス包) ※ 12 9, 5(不燃)化粧無(下張り用) 12, 5(不燃) 12, 5(不燃) 12, 5(不燃)幅140mm程度 模様 (・ 板目 ・ 板目) 専用下地材有り 9, 5(準不燃) (トラバーチン模様)	(19.7.2~3) (表19.7.1)		

15	1	取付方法、性能等	・ 図示による		
	2	メタルカーテン ウォール	カーテンウォールの材料 材料 ※ アルミニウム製 ・ ステンレス	規格 ※ 標仕 16.2.3による () A-1 種 ・ A-2 種 皮膜の種類 (※ 標仕 表14.2.11による) 着色 ()	映像調整 ・ 行方 ・ 行かない
	3	PCカーテン ウォール	カーテンウォールの材料 コンクリート 鉄筋 補強鉄線の径(mm) 配筋 先付けの材料 表面仕上げ剤 ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 製品及び取付位置の寸法許容差	(17.3.2~5) ※ 標仕 17.3.2(1) (7) (イ)による D13 D10 ※ 3.2 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 ゴンドラ用ガイドレール ・ サッシ枠 ・ 磁器質タイル ・ 石材 (・ 花こう岩 ・ 大理石) ※ 標仕 表17.3.1~2による ()	
			製品及び取付位置の寸法許容差 ガラス溝の寸法、形状	※ 標仕 表17.2.1~3による 製造所の仕様による	

17	○ 1	接着剤	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする。	(19.2.2)				
	○ 2	ビニル床シート	種類 ○ 発泡層のないもの ・ 発泡層のあるもの	JIS記号 ※ FS (複層ビニル床シート)	色調 ・ 無地 ・ マフル柄 ・ 無地 ・ 柄物	特殊機能 ・ 帯電防止 ・ 耐動静電性 ・ 防汚性 ・ 耐薬品性	厚さ ※ 2.0	工法 ※ 熱溶接 ・ 突付け
	3	ビニル床タイル	JIS記号 ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ KT (コンポジションビニル床タイル) ・ FOA (置敷きビニル床タイル)	色調 ・ 無地 ・ 柄物	寸法 ※ 300角 ・ 450角	特殊機能 ・ 帯電防止 ・ 防汚性	厚さ ※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0	
	4	ビニル幅木	材料種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接	厚さ ※ 2.0	高さ ※ 60 ・ 75 ・ 100			
	5	ゴム床タイル	色調 ・ ()	厚さ ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0	寸法(mm) ・ ()			
	○ 6	カーペット敷き	○ タイルカーペット 寸法 ○ 500角 ・ ()	総厚さ(mm) ・ 6.5 ・ (9.0)	色調 ・ 無地 ・ 柄物	帯電性 ※ 3kV以下 ・ その他		(19.3.2~3) タイルカーペットの敷き方 見切り、押え金物 ○ 適用する ・ 適用しない
	7	合成樹脂塗床	種別 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系 塗床 ・ 厚膜型塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床 ・ 薄膜型塗床材 ・ ()	工法 ・ 薄膜流し展べ工法 ・ 厚膜流し展べ工法 ・ 樹脂モルタル工法	仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ		(19.4.2~3) (表19.4.1~8)	

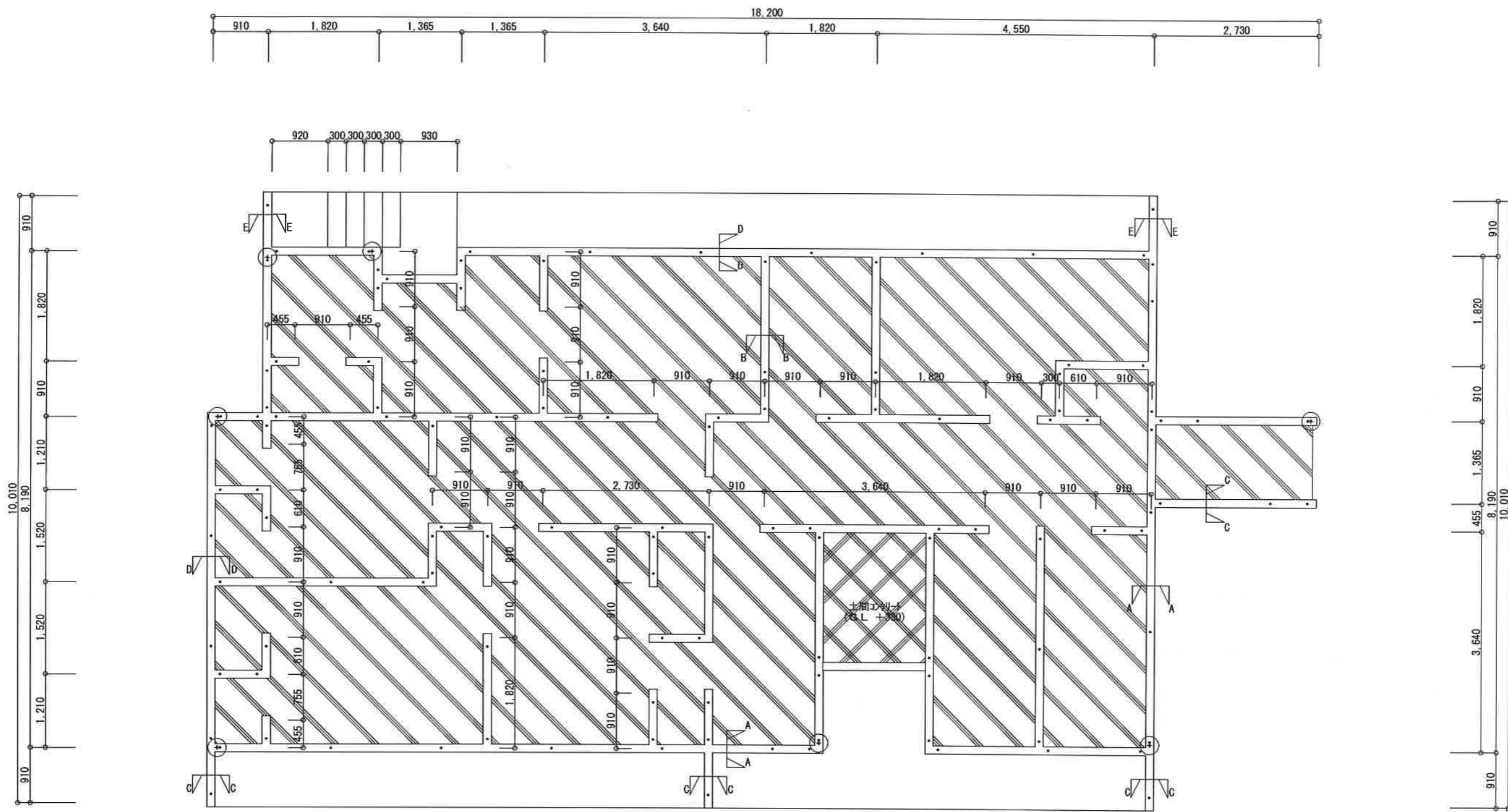
工事名称	
図面名称	図面番号

○ 8	フローリング張り	単層フローリング 種類 ○ フローリング ボード ・ フローリング ブロック ・ モザイク パーケット 間伐材の適用	種別 ・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法 ・ 接着工法 ・ モルタル 埋込工法 接着工法	樹種 ・ ぶな ・ 杉 ・ 柾	厚さ ○ 15 ・ 12以上	大きさ 幅幅 ・ 70 ・ 90 板長さ500 以上 ※ 303角 ・ () ・ ()	(19.5.2) 仕上塗装 ○ 塗装品 ・ 無塗装品
9	畳敷き	天然木化粧複合フローリング 種別 A 種 B 種 C 種 D 種 E 種	工法 ・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法	樹種 ・ 柾 ・ 柾	厚さ/大きさ(mm) ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種	防湿処理 ・ 適用する ・ 適用しない	塗装 仕上げ ・ 塗装品 ・ 無塗装品
○ 10	せつこうボード その他ボード張り	接着剤工法の場合の接着剤 現場塗仕上げ	※ 合成樹脂発泡シート (施工箇所) ・ 行わない ※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステンの上、ワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り				(19.6.2) (表19.6.1) 種別 ・ A 種・B 種 ・ C 種・D 種 (畳床: KT-) 下地の種類 ・ 標仕 表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロ)
		種類 ・ 硬質木毛セメント板 ・ 中質木毛セメント板 ・ 普通木毛セメント板 ・ 硬質木毛セメント板 ・ 普通木毛セメント板 ・ 軽い硬質セメント板 ・ ロックワール化粧石膏板 ・ ロックワール吸音ボード1号 ・ グラスワール吸音ボード32K ○ せつこうボード ・ 不燃積層せつこうボード ・ シーリングせつこうボード ・ 強化せつこうボード ・ せつこうボード ・ 化粧せつこうボード(木目)	JIS 記号 HW MW NW HF NF 0, 8FK 1, 0PK DR RW-B GW-B GB-R GB-NC GB-S GB-L GB-D	厚さ、規格等 ・ 18 ・ 20 ・ 25 ・ 18 ・ 20 ・ 25 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30 タイプ2(無石綿) ※ 6 ・ 8 ・ フラットタイプ (・ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・ 15 ・ 19) ・ 12 ・ 15 ・ 25 ※ 25(ガラスクロス包) ※ 12 9, 5(不燃)化粧無(下張り用) 12, 5(不燃) 12, 5(不燃) 12, 5(不燃)幅140mm程度 模様 (・ 板目 ・ 板目) 専用下地材有り 9, 5(準不燃) (トラバーチン模様)	(19.7.2~3) (表19.7.1)		
		○ 化粧せつこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9, 5(準不燃)			
		・ 普通合板 ・ 天然木化粧合板 ・ 特殊加工化粧合板 ・ メラミン樹脂化粧板 ・ ポリエチレン樹脂化粧板 ・ ミディアムデンシティ ファイバーボード ・ 単板張り パーティクルボード ・ 化粧パーティクルボード	表面の材種 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 厚さ(mm) () 接着の程度 () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防湿処理	断面の種類 () (・ 1 種・2 種) 厚さ(mm) () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防湿処理	化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ 塗装 表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・ 1 種 ・ 2 種) 厚さ(mm) () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防湿処理	JIS K 6903 による (※ 1.2 ())	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12
		・ ハードボード(素地) ・ ハードボード(化粧)	HB	・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード)			
		・ インシユレーションボード	IB	・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5			・ 5 ・ 7 A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
		せつこうボード等の下地は図示による 遮音シール材		・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド			
		合板類の張付け せつこうボードの目地工法		※ B 種 ・ 仕上表による			

17	内装工事	11 壁紙張り	(19.8.2) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>壁紙の種類</th> <th>防火種別</th> <th>商品名(程度)</th> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 </td> <td></td> </tr> </table> <p>商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。</p>	施工箇所	壁紙の種類	防火種別	商品名(程度)	図示による		<ul style="list-style-type: none"> 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 		18 ユニット及びその他工事	13 カーテン	(20.2.14)(表20.2.1) <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれい地の種別</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> シングル ダブル </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 片引き 引分け </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> フタンスひだ 箱ひだ、つまひだ 電動 プレーンひだ、片ひだ </td> <td></td> </tr> </table>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれい地の種別	<ul style="list-style-type: none"> シングル ダブル 	<ul style="list-style-type: none"> 片引き 引分け 	<ul style="list-style-type: none"> フタンスひだ 箱ひだ、つまひだ 電動 プレーンひだ、片ひだ 		20 舗装工事	3 アスファルト舗装	(22.4.4) <table border="1"> <tr> <th>一般地域</th> <th>密粒度アスファルト混合物 (13)</th> <th>寒帯地</th> <th>密粒度アスファルト混合物 (13F)</th> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 細粒度アスファルト混合物 (13) </td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 細粒度キヤアスファルト混合物 (13F) </td> </tr> </table> <p>シールコードの施工試験 アスファルト混合物等の抽出試験</p>	一般地域	密粒度アスファルト混合物 (13)	寒帯地	密粒度アスファルト混合物 (13F)		<ul style="list-style-type: none"> 細粒度アスファルト混合物 (13) 		<ul style="list-style-type: none"> 細粒度キヤアスファルト混合物 (13F) 	4 コンクリート舗装	<p>早強セメント ※ 使用しない ・ 使用する</p> <p>溶接金網 ※ 使用しない ・ 使用する</p> <p>試験 コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない</p>	5 ブロック系舗装	<p>・ コンクリート平板舗装</p> <p>・ インターロッキングブロック舗装</p>	6 車止め	<p>車止め用既製コンクリート W200×L600×H120 小型反射板付き</p> <p>全面接着アンカー併用固定(縦り込み30mm埋め込み65mm以上)</p>	7 区画線等	<p>トラフィックイベント JIS規格品</p> <p>※ 溶融型 (α1.5) ※ 加熱型 (α1.0程度)</p> <p>区画線幅 ※ 150 ()</p> <p>・ 身障者専用駐車スペース表示 (1300角)</p> <p>・ 駐車スペースナンバー表示 (350角)</p>
		施工箇所	壁紙の種類	防火種別	商品名(程度)																																				
図示による		<ul style="list-style-type: none"> 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 																																							
形式	開閉操作	ひだの種類	きれい地の種別																																						
<ul style="list-style-type: none"> シングル ダブル 	<ul style="list-style-type: none"> 片引き 引分け 	<ul style="list-style-type: none"> フタンスひだ 箱ひだ、つまひだ 電動 プレーンひだ、片ひだ 																																							
一般地域	密粒度アスファルト混合物 (13)	寒帯地	密粒度アスファルト混合物 (13F)																																						
	<ul style="list-style-type: none"> 細粒度アスファルト混合物 (13) 		<ul style="list-style-type: none"> 細粒度キヤアスファルト混合物 (13F) 																																						
12 断熱材	(19.9.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし) ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ フェノール保温材(3種2号を除く) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ 2種b 3種b(設地部分) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ 25 </td> </tr> </table> <p>断熱材現場発泡工法 (19.9.3) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ A種1 ・ B種1 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ※ 25 ※ 図示による </td> <td></td> </tr> </table> </p>	種類	厚さ(mm)	施工箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし) ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ フェノール保温材(3種2号を除く) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 2種b 3種b(設地部分) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 25 	種類	厚さ(mm)	施工箇所	<ul style="list-style-type: none"> ※ A種1 ・ B種1 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 25 ※ 図示による 		16 コーナービート(壁ボード出隅保護金物)	<p>材質 ※ アルミニウム押出材差込型</p> <p>※ シルバー ・ 焼付 ()</p> <p>・ コーナー保護金物付きジョイントテープ</p>	17 天井見切縁	<p>材質 ・ アルミニウム押出材</p> <p>※ 塩化ビニル製</p> <p>施工箇所 ※ 仕上表による ()</p>	21 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等	<p>土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>水溶性塩類(EC)の試験 ・ 行う ・ 行わない</p>	2 植栽基盤の整備	<p>土壌改良材 ・ 適用する ・ 適用しない</p>	3 植込み用土	<p>※ 建設発生土の良質土 ・ 客土</p>	4 土壌改良材	<p>・ 適用する(施工範囲 ※図示による)</p>	5 芝	<p>種類 ※ コウライ芝 ・ ノシバ</p>	6 樹木札	<p>図示による</p>	7 枯損樹木などの植替え	<p>※ 引渡し日から1年 ()</p>	8 その他								
種類	厚さ(mm)	施工箇所																																							
<ul style="list-style-type: none"> ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし) ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ フェノール保温材(3種2号を除く) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 2種b 3種b(設地部分) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 25 																																							
種類	厚さ(mm)	施工箇所																																							
<ul style="list-style-type: none"> ※ A種1 ・ B種1 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 25 ※ 図示による 																																								

<p>22 ○ 1 揮発性有機化合物の室内濃度の測定 1)対象揮発性有機化合物(VOC) 2)測定室 3)測定方法</p>	<p>下記の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。</p> <p>○ホルムアルデヒド ・アセトアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・パラジクロロベンゼン ・スチレン ・エチルベンゼン ・() ・()</p> <p>※簡易測定法による。</p> <table border="1"> <tr> <th>VOCの種類</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>※ホルムアルデヒド</td> <td>・検知紙法 ・検知管法 ・定電位電解法 ・吸光光度法 ・ハッジ型採取</td> </tr> <tr> <td>※トルエン※キシレン※スチレン※エチルベンゼン</td> <td>・ハッジ型採取</td> </tr> </table> <p>・厚生労働省の標準的測定方法による。</p> <table border="1"> <tr> <th>VOCの種類</th> <th>採取方法</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>・ホルムアルデヒド</td> <td>・DNPH誘導体化固相吸着/溶媒抽出</td> <td>・高速液体クロマトグラフィー</td> </tr> <tr> <td>・アセトアルデヒド</td> <td>・固相吸着/溶媒抽出法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・トルエン</td> <td>・固相吸着/溶媒抽出法</td> <td>・()</td> </tr> <tr> <td>・キシレン</td> <td>・固相吸着/加熱脱着法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パラジクロロベンゼン</td> <td>・容器採取法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・スチレン</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・エチルベンゼン</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	VOCの種類	測定方法	※ホルムアルデヒド	・検知紙法 ・検知管法 ・定電位電解法 ・吸光光度法 ・ハッジ型採取	※トルエン※キシレン※スチレン※エチルベンゼン	・ハッジ型採取	VOCの種類	採取方法	測定方法	・ホルムアルデヒド	・DNPH誘導体化固相吸着/溶媒抽出	・高速液体クロマトグラフィー	・アセトアルデヒド	・固相吸着/溶媒抽出法		・トルエン	・固相吸着/溶媒抽出法	・()	・キシレン	・固相吸着/加熱脱着法		・パラジクロロベンゼン	・容器採取法		・スチレン			・エチルベンゼン			<p>24 ○ 1 工程関係 ※ 調整無し ・別途工事との工程調整が必要有り 調整項目 ・資材等の流用 ・仮設及び工事用道路等の調整 ・建設機械等の調整 ・施工順序の調整 ・図示による ・その他 ()</p> <p>○ 2 施工時期 施工時間 施工方法 ※ 制限無し ・制限有り ・制限する工種名 () ・施工時期 (・土日祝日のみ ・図示による ・その他 ()) ・施工時間 (・時～ 時まで) ・施工方法 ()</p> <p>○ 3 他機関との協議 協議が必要な機関名 () 協議完了見込み時期 ()</p> <p>○ 4 工事用地 ・下記以外は図示による。 (1) 工事車両の駐車場 (※ 構内 ・ ()) (2) 資材置き場 (※ 構内 ・ ()) (3) 建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所 (※ 構内 ・ ())</p> <p>○ 5 公害対策 ※ 施工方法の制限無し ・施工方法の制限有り ・騒音 ・振動 ・水質 ・粉じん ・排出ガス ・その他 () ・施工方法等 ・指定工法名 () ・別途協議による ・図示による</p> <p>○ 6 安全対策 ・事業損失防止に関する調査 ・騒音測定 ・振動測定 ・水質調査 ・近隣家屋の事前・事後調査 ・地盤沈下測定 ・その他 () ・調査箇所 ・図示による ・別途協議 ・調査時期 ・図示による ()</p> <p>○ 7 その他 ※ 敷地内は禁煙とし、喫煙場所は別途協議による。 ※ 当該工事現場を使用した技術研修会の開催に関する依頼を受けた場合はこれに協力するものとする。</p>	<p>24 施工条件</p> <p>別表-1の記入上の注意: ※を基本とし、他の免注工種が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること。 また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。</p> <p>別表-1 設備工事との工事区分表</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">機器の基礎</th> <th colspan="2">工 事 内 容</th> <th rowspan="2">建築工事</th> <th rowspan="2">電気設備工事</th> <th rowspan="2">機械設備工事</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>電気関係</th> <th>機械関係</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">機器の基礎</td> <td rowspan="2">配電盤・制御盤の基礎 屋内 屋外 屋上 自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く) テレビアンテナ基礎() 避雷針の基礎() 屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く) 屋上設備() 屋外設備()</td> <td rowspan="2">架台、アンカーボルト 特記した基礎</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開口部</td> <td rowspan="2">貫通スリーブ 梁、床、壁 貫通部型枠 軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込 埋込形分電盤 端子盤等の仮枠 上記開口部の補強 上記開口部の塞出し スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む) クレーンアセスフロア用配線器具</td> <td rowspan="2">補強を要するもの 補強を要しないもの 補強を要するもの 補強を要しないもの(70tレックホックは除く) 補強を要するもの 補強を要するもの 補強を要しないもの</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>点検口</td> <td>床、壁、天井</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>外部取付ガラー</td> <td>ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>湯沸室のフード</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>換気扇の取付枠</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>流し台</td> <td>排水トラップ共</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>防油堤</td> <td>オイルサービスタンクの防油堤 タンク基礎</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>床下水槽のマンホールふた</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>屋外排水管</td> <td>雨水 汚水、雑排水</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>雨水立管(たてどい)</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>トイレ手すり</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>化粧鏡(衛生器具封じ)</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>はみ込形洗面器用カウンター(前板共)</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ガスボンベ転倒防止用の鎖</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電気配管配線</td> <td rowspan="10">自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と 操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ 防火用レジーニズ 電極棒 配線ヒット及びふた 機器などへの接続(1次側) 機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共) 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線 自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共) 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチと、その渡り配線 個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共) 煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線 小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ガス漏れ検知器</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>電気錠</td> <td>電気錠及び通電金具 TENキー及び制御盤</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>エレベーター</td> <td>出入口三方枠(金風製)</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>エレベーター</td> <td>出入口三方枠(右製)</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>エレベーター</td> <td>出入口三方枠(右製)</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>バスユニット</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>洗濯機パン</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>システム天井</td> <td>ボード・下バー 照明ライン設備プレート 空調ライン設備プレート</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>消火器ボックス</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>自動制御設備関連のインバーター装置及び盤</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> </table>	機器の基礎	工 事 内 容		建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他	電気関係	機械関係	機器の基礎	配電盤・制御盤の基礎 屋内 屋外 屋上 自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く) テレビアンテナ基礎() 避雷針の基礎() 屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く) 屋上設備() 屋外設備()	架台、アンカーボルト 特記した基礎	※	※	※	※	※	※	※	※	開口部	貫通スリーブ 梁、床、壁 貫通部型枠 軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込 埋込形分電盤 端子盤等の仮枠 上記開口部の補強 上記開口部の塞出し スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む) クレーンアセスフロア用配線器具	補強を要するもの 補強を要しないもの 補強を要するもの 補強を要しないもの(70tレックホックは除く) 補強を要するもの 補強を要するもの 補強を要しないもの	※	※	※	※	※	※	※	※	点検口	床、壁、天井		※	※	※	※	外部取付ガラー	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む		※	※	※	※	湯沸室のフード			※	※	※	※	換気扇の取付枠			※	※	※	※	流し台	排水トラップ共		※	※	※	※	防油堤	オイルサービスタンクの防油堤 タンク基礎		※	※	※	※	床下水槽のマンホールふた			※	※	※	※	屋外排水管	雨水 汚水、雑排水		※	※	※	※	雨水立管(たてどい)			※	※	※	※	トイレ手すり			※	※	※	※	化粧鏡(衛生器具封じ)			※	※	※	※	はみ込形洗面器用カウンター(前板共)			※	※	※	※	ガスボンベ転倒防止用の鎖			※	※	※	※	電気配管配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と 操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ 防火用レジーニズ 電極棒 配線ヒット及びふた 機器などへの接続(1次側) 機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共) 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線 自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共) 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチと、その渡り配線 個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共) 煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線 小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	ガス漏れ検知器			※	※	※	電気錠	電気錠及び通電金具 TENキー及び制御盤		※	※	※	エレベーター	出入口三方枠(金風製)		※	※	※	エレベーター	出入口三方枠(右製)		※	※	※	エレベーター	出入口三方枠(右製)		※	※	※	バスユニット			※	※	※	洗濯機パン			※	※	※	システム天井	ボード・下バー 照明ライン設備プレート 空調ライン設備プレート		※	※	※	消火器ボックス			※	※	※	自動制御設備関連のインバーター装置及び盤			※	※	※	自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)			※	※	※
VOCの種類	測定方法																																																																																																																																																																																																																																																																																
※ホルムアルデヒド	・検知紙法 ・検知管法 ・定電位電解法 ・吸光光度法 ・ハッジ型採取																																																																																																																																																																																																																																																																																
※トルエン※キシレン※スチレン※エチルベンゼン	・ハッジ型採取																																																																																																																																																																																																																																																																																
VOCの種類	採取方法	測定方法																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ホルムアルデヒド	・DNPH誘導体化固相吸着/溶媒抽出	・高速液体クロマトグラフィー																																																																																																																																																																																																																																																																															
・アセトアルデヒド	・固相吸着/溶媒抽出法																																																																																																																																																																																																																																																																																
・トルエン	・固相吸着/溶媒抽出法	・()																																																																																																																																																																																																																																																																															
・キシレン	・固相吸着/加熱脱着法																																																																																																																																																																																																																																																																																
・パラジクロロベンゼン	・容器採取法																																																																																																																																																																																																																																																																																
・スチレン																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・エチルベンゼン																																																																																																																																																																																																																																																																																	
機器の基礎	工 事 内 容		建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他																																																																																																																																																																																																																																																																											
	電気関係	機械関係																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器の基礎	配電盤・制御盤の基礎 屋内 屋外 屋上 自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く) テレビアンテナ基礎() 避雷針の基礎() 屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く) 屋上設備() 屋外設備()	架台、アンカーボルト 特記した基礎	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
開口部	貫通スリーブ 梁、床、壁 貫通部型枠 軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込 埋込形分電盤 端子盤等の仮枠 上記開口部の補強 上記開口部の塞出し スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む) クレーンアセスフロア用配線器具	補強を要するもの 補強を要しないもの 補強を要するもの 補強を要しないもの(70tレックホックは除く) 補強を要するもの 補強を要するもの 補強を要しないもの	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
点検口	床、壁、天井		※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
外部取付ガラー	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む		※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
湯沸室のフード			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
換気扇の取付枠			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
流し台	排水トラップ共		※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤 タンク基礎		※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
床下水槽のマンホールふた			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
屋外排水管	雨水 汚水、雑排水		※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
雨水立管(たてどい)			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
トイレ手すり			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
化粧鏡(衛生器具封じ)			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
はみ込形洗面器用カウンター(前板共)			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
ガスボンベ転倒防止用の鎖			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と 操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ 防火用レジーニズ 電極棒 配線ヒット及びふた 機器などへの接続(1次側) 機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共) 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線 自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共) 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチと、その渡り配線 個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共) 煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線 小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線	※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
ガス漏れ検知器			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
電気錠	電気錠及び通電金具 TENキー及び制御盤		※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
エレベーター	出入口三方枠(金風製)		※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
エレベーター	出入口三方枠(右製)		※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
エレベーター	出入口三方枠(右製)		※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
バスユニット			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
洗濯機パン			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
システム天井	ボード・下バー 照明ライン設備プレート 空調ライン設備プレート		※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
消火器ボックス			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
自動制御設備関連のインバーター装置及び盤			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>23 東日本大震災の復旧・復興事業における積算方法等</p> <p>1 資材調達 次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達しを得ない場合は、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費用等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>資材名</th> <th>規格</th> <th>調達地域等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 労働者確保 (1) 本工事は元請業者が必要とする共通費における、「共通仮設費のうち仮設建築物費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下実績変更対象間接費という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、建築関係工事積算基準(福島県土木本部)に基づき金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、事前に監督員と協議を行い、協議の結果により実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終積算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の執行工事」である。 宮費(共通仮設費における仮設建築物費):労働者送迎費・宿泊費・借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用・資金以外の食事・通勤費等に要する費用・福利厚生等に要する費用・施工費に含まれない作業用具及び作業被服等の費用・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用</p> <p>(2) 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(建築関係工事積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費について、その金額または率に占める割合は次のとおりである。 1) 共通仮設費に占める、実績変更対象間接費(宮費):設計書に横上げ計上された金額 2) 現場管理費に占める、実績変更対象間接費(労務管理費)の割合: %</p> <p>(3) 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>(4) 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めによる増加費用については、設計変更の対象としない。</p> <p>(5) 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象工事費について実際に支払った額のうち、証明書類において確認された費用から、建築関係工事積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。</p> <p>(6) 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p> <p>(7) 受注者は、実績変更対象間接費にかかわる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。</p>	資材名	規格	調達地域等													<p>24 施工条件</p> <p>別表-1の記入上の注意: ※を基本とし、他の免注工種が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること。 また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。</p> <p>別表-1 設備工事との工事区分表</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">機器の基礎</th> <th colspan="2">工 事 内 容</th> <th rowspan="2">建築工事</th> <th rowspan="2">電気設備工事</th> <th rowspan="2">機械設備工事</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>電気関係</th> <th>機械関係</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">機器の基礎</td> <td rowspan="2">配電盤・制御盤の基礎 屋内 屋外 屋上 自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く) テレビアンテナ基礎() 避雷針の基礎() 屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く) 屋上設備() 屋外設備()</td> <td rowspan="2">架台、アンカーボルト 特記した基礎</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開口部</td> <td rowspan="2">貫通スリーブ 梁、床、壁 貫通部型枠 軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込 埋込形分電盤 端子盤等の仮枠 上記開口部の補強 上記開口部の塞出し スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む) クレーンアセスフロア用配線器具</td> <td rowspan="2">補強を要するもの 補強を要しないもの 補強を要するもの 補強を要しないもの(70tレックホックは除く) 補強を要するもの 補強を要するもの 補強を要しないもの</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>点検口</td> <td>床、壁、天井</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>外部取付ガラー</td> <td>ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>湯沸室のフード</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>換気扇の取付枠</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>流し台</td> <td>排水トラップ共</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>防油堤</td> <td>オイルサービスタンクの防油堤 タンク基礎</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>床下水槽のマンホールふた</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>屋外排水管</td> <td>雨水 汚水、雑排水</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>雨水立管(たてどい)</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>トイレ手すり</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>化粧鏡(衛生器具封じ)</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>はみ込形洗面器用カウンター(前板共)</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ガスボンベ転倒防止用の鎖</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電気配管配線</td> <td rowspan="10">自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と 操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ 防火用レジーニズ 電極棒 配線ヒット及びふた 機器などへの接続(1次側) 機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共) 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線 自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共) 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチと、その渡り配線 個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共) 煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線 小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ガス漏れ検知器</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>電気錠</td> <td>電気錠及び通電金具 TENキー及び制御盤</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>エレベーター</td> <td>出入口三方枠(金風製)</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>エレベーター</td> <td>出入口三方枠(右製)</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>エレベーター</td> <td>出入口三方枠(右製)</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>バスユニット</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>洗濯機パン</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>システム天井</td> <td>ボード・下バー 照明ライン設備プレート 空調ライン設備プレート</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>消火器ボックス</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>自動制御設備関連のインバーター装置及び盤</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> </table>	機器の基礎	工 事 内 容		建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他	電気関係	機械関係	機器の基礎	配電盤・制御盤の基礎 屋内 屋外 屋上 自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く) テレビアンテナ基礎() 避雷針の基礎() 屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く) 屋上設備() 屋外設備()	架台、アンカーボルト 特記した基礎	※	※	※	※	※	※	※	※	開口部	貫通スリーブ 梁、床、壁 貫通部型枠 軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込 埋込形分電盤 端子盤等の仮枠 上記開口部の補強 上記開口部の塞出し スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む) クレーンアセスフロア用配線器具	補強を要するもの 補強を要しないもの 補強を要するもの 補強を要しないもの(70tレックホックは除く) 補強を要するもの 補強を要するもの 補強を要しないもの	※	※	※	※	※	※	※	※	点検口	床、壁、天井		※	※	※	※	外部取付ガラー	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む		※	※	※	※	湯沸室のフード			※	※	※	※	換気扇の取付枠			※	※	※	※	流し台	排水トラップ共		※	※	※	※	防油堤	オイルサービスタンクの防油堤 タンク基礎		※	※	※	※	床下水槽のマンホールふた			※	※	※	※	屋外排水管	雨水 汚水、雑排水		※	※	※	※	雨水立管(たてどい)			※	※	※	※	トイレ手すり			※	※	※	※	化粧鏡(衛生器具封じ)			※	※	※	※	はみ込形洗面器用カウンター(前板共)			※	※	※	※	ガスボンベ転倒防止用の鎖			※	※	※	※	電気配管配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と 操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ 防火用レジーニズ 電極棒 配線ヒット及びふた 機器などへの接続(1次側) 機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共) 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線 自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共) 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチと、その渡り配線 個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共) 煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線 小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	ガス漏れ検知器			※	※	※	電気錠	電気錠及び通電金具 TENキー及び制御盤		※	※	※	エレベーター	出入口三方枠(金風製)		※	※	※	エレベーター	出入口三方枠(右製)		※	※	※	エレベーター	出入口三方枠(右製)		※	※	※	バスユニット			※	※	※	洗濯機パン			※	※	※	システム天井	ボード・下バー 照明ライン設備プレート 空調ライン設備プレート		※	※	※	消火器ボックス			※	※	※	自動制御設備関連のインバーター装置及び盤			※	※	※	自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)			※	※	※																	
資材名	規格	調達地域等																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器の基礎	工 事 内 容		建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他																																																																																																																																																																																																																																																																											
	電気関係	機械関係																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器の基礎	配電盤・制御盤の基礎 屋内 屋外 屋上 自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く) テレビアンテナ基礎() 避雷針の基礎() 屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く) 屋上設備() 屋外設備()	架台、アンカーボルト 特記した基礎	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
開口部	貫通スリーブ 梁、床、壁 貫通部型枠 軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込 埋込形分電盤 端子盤等の仮枠 上記開口部の補強 上記開口部の塞出し スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む) クレーンアセスフロア用配線器具	補強を要するもの 補強を要しないもの 補強を要するもの 補強を要しないもの(70tレックホックは除く) 補強を要するもの 補強を要するもの 補強を要しないもの	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
点検口	床、壁、天井		※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
外部取付ガラー	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む		※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
湯沸室のフード			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
換気扇の取付枠			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
流し台	排水トラップ共		※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤 タンク基礎		※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
床下水槽のマンホールふた			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
屋外排水管	雨水 汚水、雑排水		※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
雨水立管(たてどい)			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
トイレ手すり			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
化粧鏡(衛生器具封じ)			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
はみ込形洗面器用カウンター(前板共)			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
ガスボンベ転倒防止用の鎖			※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と 操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ 防火用レジーニズ 電極棒 配線ヒット及びふた 機器などへの接続(1次側) 機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共) 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線 自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共) 天井吊り形FIDU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチと、その渡り配線 個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共) 煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線 小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線	※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※	※	※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																											
ガス漏れ検知器			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
電気錠	電気錠及び通電金具 TENキー及び制御盤		※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
エレベーター	出入口三方枠(金風製)		※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
エレベーター	出入口三方枠(右製)		※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
エレベーター	出入口三方枠(右製)		※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
バスユニット			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
洗濯機パン			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
システム天井	ボード・下バー 照明ライン設備プレート 空調ライン設備プレート		※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
消火器ボックス			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
自動制御設備関連のインバーター装置及び盤			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												
自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)			※	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																												

<p>25</p> <p>現場環境改善(快適トイレの設置)</p>	<p>1 内容</p> <p>2 設置に要する費用</p>	<p>① 受注者は、現場環境改善の一環として、工事場所毎に設置するトイレのうち男女別に1基ずつ以下の(1)～(11)の仕様をすべて満たす快適トイレを設置することとする。ただし、快適トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。 (12)～(17)の仕様については、満たしていればより快適に出来ると思われる項目であり、必須ではない。</p> <p>【快適トイレに求める標準仕様(全項目必須)】 (1) 洋式便座 (2) 水洗機能(簡易水洗、し尿処理装置付き含む) (3) 臭い逆流防止機能(フラッパー機能) (必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策をすること) (4) 容易に開かない施錠機能(二重ロック等) (二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明できるもの) (5) 照明設備(電源がなくても良いもの) (6) 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能(耐荷重5kg以上)</p> <p>【快適トイレとして活用するために備える付属品(全項目必須)】 (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 入口の目隠しの設置(男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等) (9) サニタリーボックス(女性専用トイレに必ず設置) (10) 鏡付きの洗面台 (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品</p> <p>【推奨する仕様、付属品(任意)】 (12) 室内寸法900mm×900mm以上(面積A=0.81m²以上ではない)、幅・奥行き各900mm以上) (13) 振音装置(機能を含む) (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 窓などの室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場等(トイレトベーパー予備置き場等)</p> <p>② 受注者は、快適トイレの設置にあたっては、①の内容を満たす参考見積書(標準仕様、付属品の内訳を明示したもの)を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上決定し、快適トイレ仕様チェックシート及び資料等(カタログなど)を施工計画書提出に合わせ提出する。</p> <p>③ 現場事務所等の屋内に設けるトイレには適用しない。</p> <p>快適トイレに要する費用については、当初契約時は計上していない。 月額の支出実態がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。 ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額(10,000円/基・月)は差し引くものとする。 なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。</p>				
<p>26</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に係る</p>	<p>1 内容</p> <p>2 施工計画書</p> <p>3 協議</p> <p>4 虚偽の申告</p>	<p>1 本工事は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、下記対策に要した費用について、実績変更の対象とする。</p> <p>(1) 共通費 1) 労働者宿舎における密集を避けるための近隣宿泊施設の宿泊費・交通費 2) 現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料 3) その他感染拡大防止のために必要と認められる対策に係る費用 (2) 現場管理費 1) 現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用 2) 現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用 3) 遠隔臨場やテレビ会議等のための機器リース費・通信費 4) その他感染拡大防止のために必要と認められる対策に係る費用</p> <p>2 受注者は、上記1の対策を実施する場合は、施工計画書に記載すること。 また、上記1の対策に要した費用について、実績変更を希望する場合は、その旨を実績額の提出に先立ち、工事打合せ簿により監督員と協議すること。</p> <p>3 受注者は、上記1の対策に要した費用について「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策費用実績報告書(様式-1)」及び実際に支払った全ての証明書類(領収書(原本)、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>なお、様式1の記載にあたっては以下の事項に留意すること。 (1) 現場事務所の拡張費用・借地料については、平時における現場事務所設置費用との差額を記載するものとし、平時における現場事務所設置に要する費用の見積書を添付すること。 (2) 労働者宿舎の拡張費用・借地料について「東日本大震災の復旧・復興事業等における労働者宿舎設置に関する実行要領」に基づき労働者宿舎を設置している場合は、拡張に係る費用のみを計上するものとする。労働者宿舎の設置を予定している場合は、感染拡大防止対策を考慮した宿舎設置費用について実行要領に基づき間接費の変更を行うものとし、感染拡大防止対策に係る費用としての計上は行わない。</p> <p>4 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p>				
<p>27</p> <p>特別措置に基づく市場単価の補正</p>	<p>1 内容</p> <p>2 基準</p>	<p>※ 本工事は、新型コロナウイルス感染症の影響下であることを踏まえ、賃金の押し下げをできる限り取り除くために市場単価及び補正市場単価の補正をする。</p> <p>※ 令和4年度の公共工事設計労務単価における特別措置を踏まえた建築関係工事に適用する市場単価の運用について</p>				



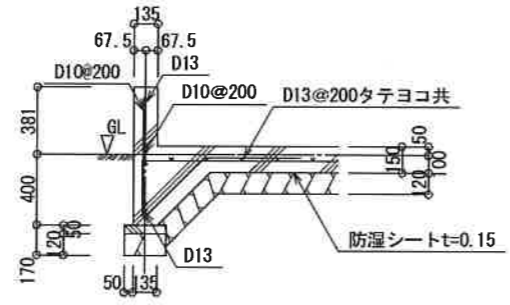
基礎伏図 S:1/70

PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

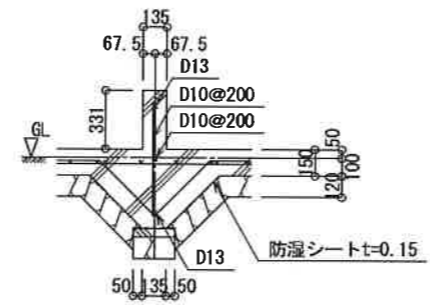
DRAWING TITLE
 基礎伏図

SCALE 1/70
 DATE 2022/06/15
 NO. A-006

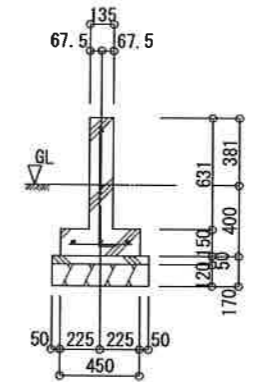
Architect
 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第59880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 増玉県登録 第(1)11409号
 増玉県新座市東北2-34-12-703 TEL.080-2013-1806



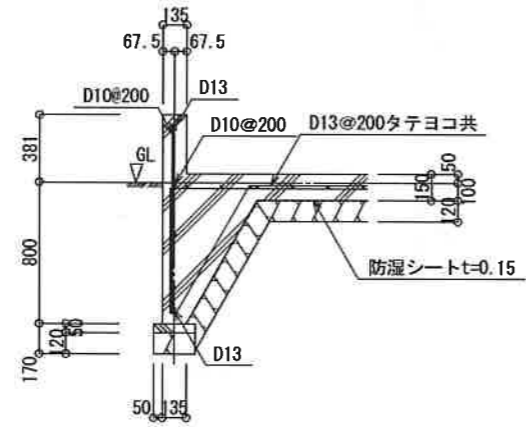
A-A基礎断面 S=1/30



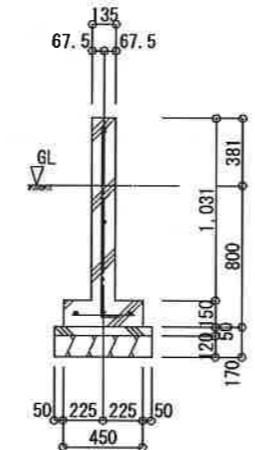
B-B基礎断面図 S=1/30



C-C基礎断面図 S=1/30

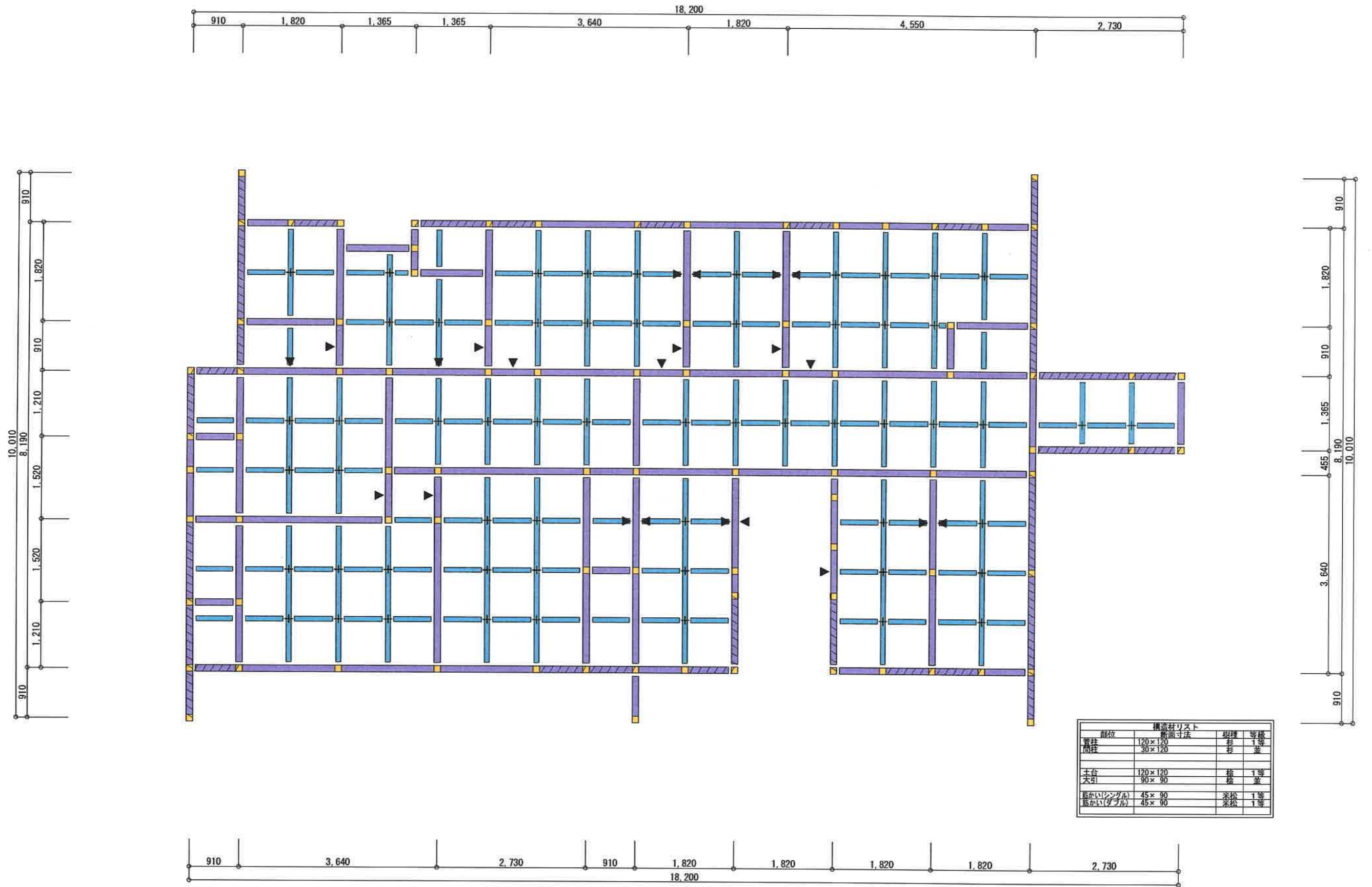


D-D基礎断面 S=1/30



E-E基礎断面図 S=1/30

* 配筋は工学的判断による



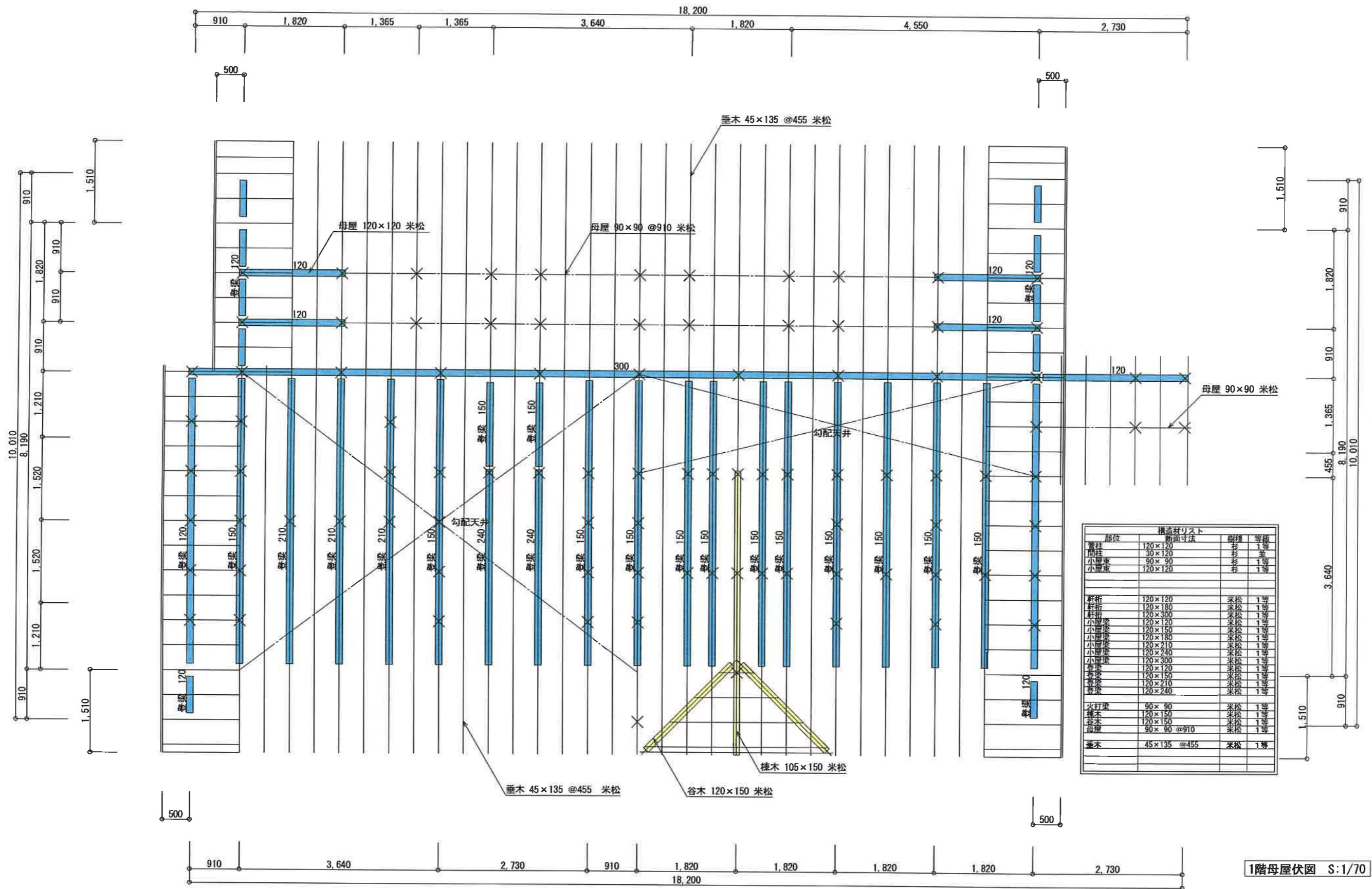
1階 床伏図 S:1/70

PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE
 1階床伏図

SCALE 1/70
 DATE 2022/06/15
 NO. A-006

Architect
 株式会社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一般建築士登録番号第350880号 秋月半文
 一般建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県熊谷市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806



構造材リスト			
部位	断面寸法	樹種	等級
貫柱	120×120	米松	1等
間柱	90×90	米松	1等
小間柱	120×120	米松	1等
軒桁	120×120	米松	1等
軒桁	120×180	米松	1等
軒桁	120×300	米松	1等
小間梁	120×120	米松	1等
小間梁	120×150	米松	1等
小間梁	120×180	米松	1等
小間梁	120×210	米松	1等
小間梁	120×240	米松	1等
小間梁	120×300	米松	1等
梁	120×120	米松	1等
梁	120×150	米松	1等
梁	120×210	米松	1等
梁	120×240	米松	1等
火打梁	90×90	米松	1等
棟木	120×150	米松	1等
谷木	120×150	米松	1等
母屋	90×90 @910	米松	1等
垂木	45×135 @455	米松	1等

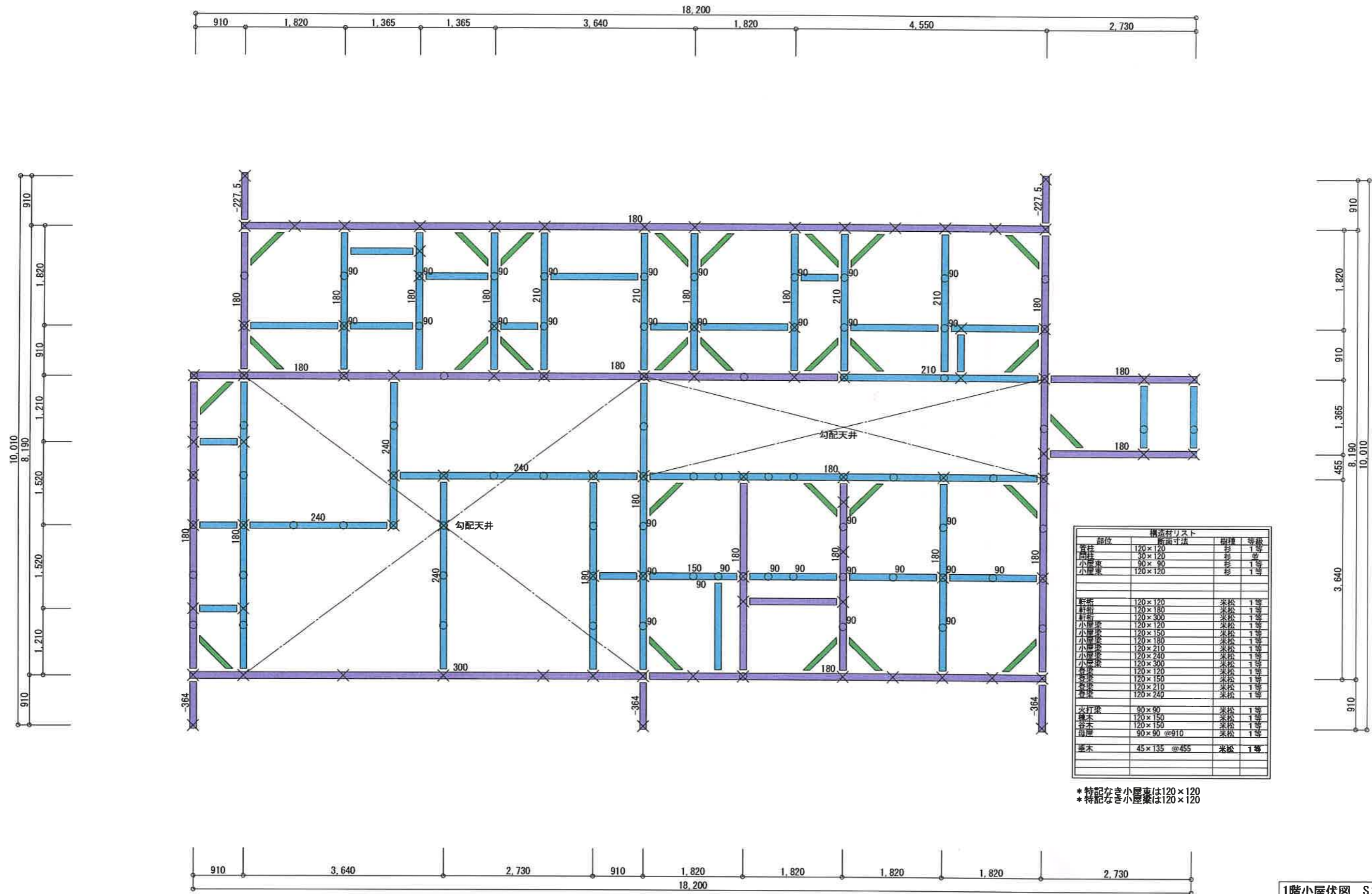
1階母屋伏図 S:1/70

PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE
 1階母屋伏図

SCALE 1/70
 DATE 2022/06/15
 NO. A-006

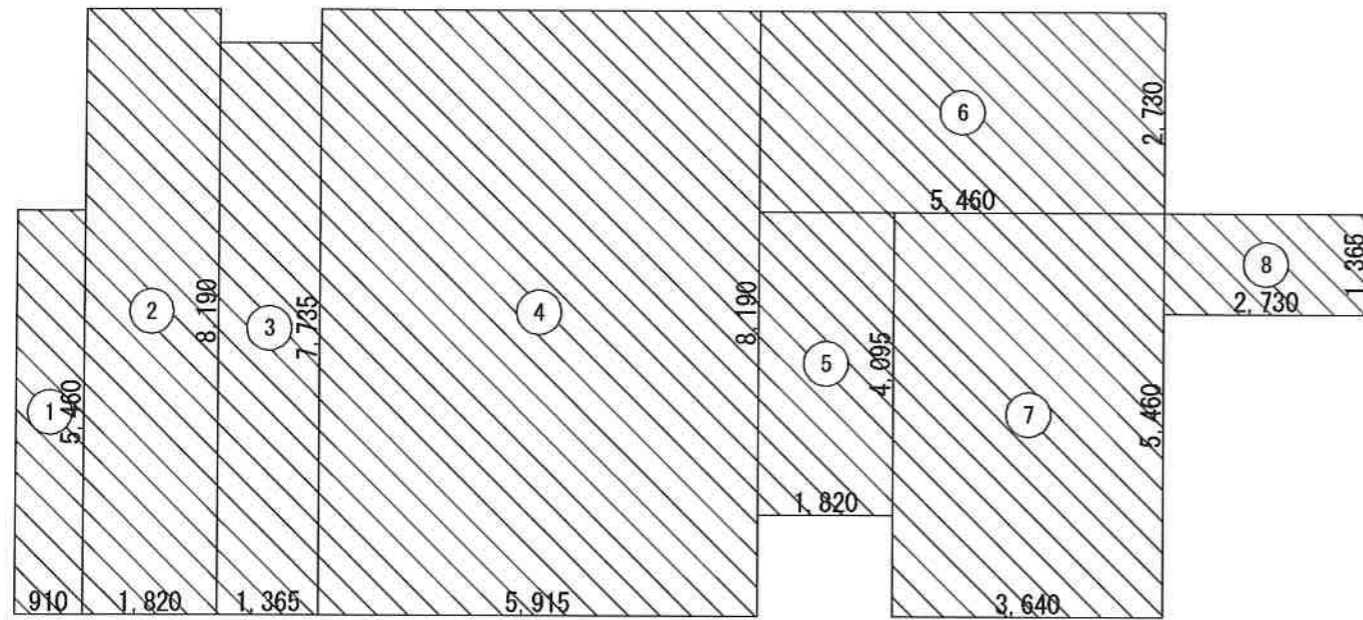
Architect 株式会社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東2-24-12-703 TEL.080-2013-1806



部位	構造材リスト	材種	等級
梁柱	120×120	杉	1等
間柱	90×120	杉	1等
小屋束	90×90	杉	1等
小屋束	120×120	杉	1等
断梁	120×120	米松	1等
柱脚	120×180	米松	1等
柱脚	120×300	米松	1等
小屋束	120×120	米松	1等
小屋束	120×150	米松	1等
小屋束	120×180	米松	1等
小屋束	120×210	米松	1等
小屋束	120×240	米松	1等
小屋束	120×300	米松	1等
巻束	120×120	米松	1等
巻束	120×150	米松	1等
巻束	120×210	米松	1等
巻束	120×240	米松	1等
火打梁	90×90	米松	1等
横木	120×150	米松	1等
谷木	120×150	米松	1等
母屋	90×90 @910	米松	1等
梁木	45×135 @455	米松	1等

* 特記なき小屋束は120×120
* 特記なき小屋梁は120×120

1階小屋伏図 S:1/70

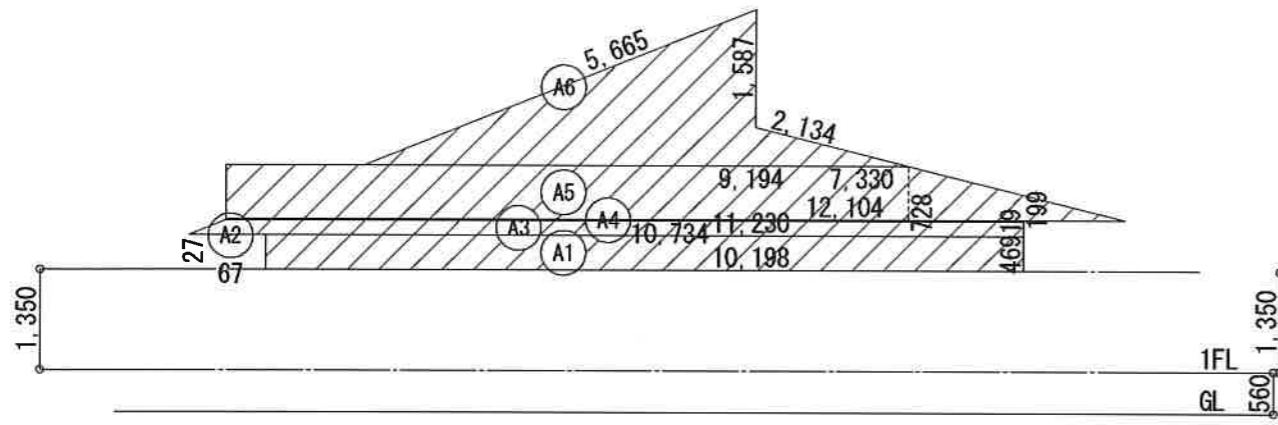


1階床面積算定図

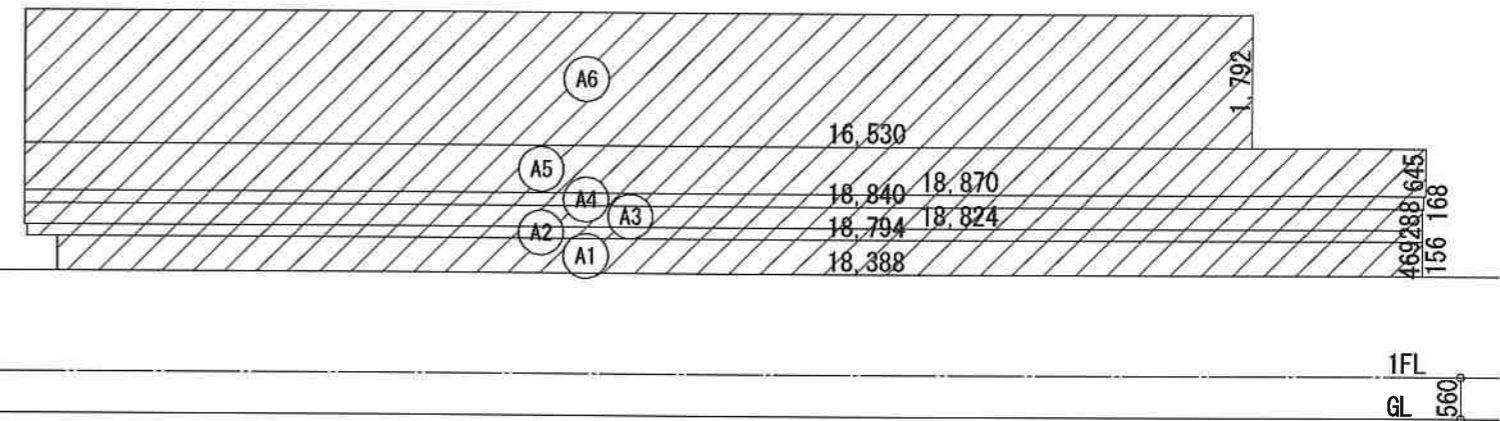
階	面積	単位	計
1	① 0.910×5.460	4.968600	124.84
	② 1.820×8.190	14.905800	
	③ 1.365×7.735	10.558275	
	④ 5.915×8.190	48.443850	
	⑤ 1.820×4.095	7.452900	
	⑥ 5.460×2.730	14.905800	
	⑦ 3.640×5.460	19.874400	
	⑧ 2.730×1.365	3.726450	

単位 m				
床面積(地震力)に対する必要壁量				
階	方向	床面積	乗ずる数値	必要壁量
1	X	124.84	0.110	13.733
	Y			
見付面積(風圧力)に対する必要壁量				
階	方向	見付面積	乗ずる数値	必要壁量
1	X	21.00	0.500	10.500
	Y	61.94		30.970

床面積(地震力)に係る条件	
<input checked="" type="checkbox"/>	一般区域
<input type="checkbox"/>	特定行政庁が指定する軟弱地盤区域(一般区域の1.5倍)
<input type="checkbox"/>	特定行政庁が指定するその他の区域
<input type="checkbox"/>	壁・屋根の重量が重い建築物(土蔵造、瓦葺等)
<input checked="" type="checkbox"/>	屋根の軽い建築物(金属板、スレート葺等)
<input type="checkbox"/>	準耐火構造の耐火性能確保(1.25倍)
<input type="checkbox"/>	割り増し倍率考慮
見付面積(風圧力)に係る条件	
<input type="checkbox"/>	特定行政庁が認める強風区域
<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外の区域



X方向(東面)見付面積算定図

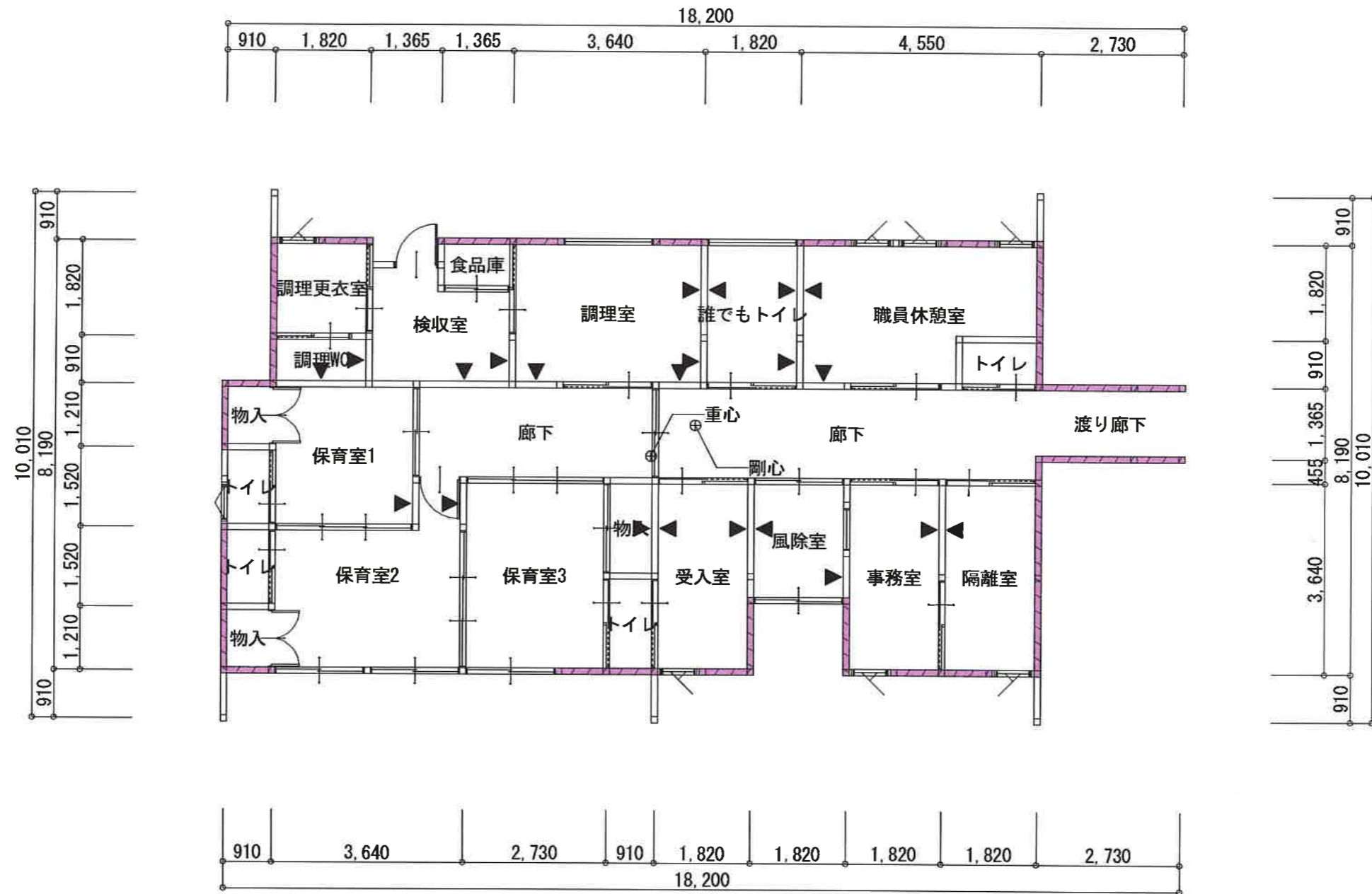


Y方向(南面)見付面積算定図

方向	階	面積	単位	計	累計
X	1	① 10.198×0.469	4.782862	21.00	21.00
		② 0.067×0.027÷2.0	0.000905		
		③ (11.230+10.734)×0.199÷2.0	2.185418		
		④ 10.734×0.019	0.203946		
		⑤ (12.104+9.194)×0.728÷2.0	7.752472		
		⑥ 6.067081	6.067081		
Y	1	① 18.388×0.469	8.623972	61.94	61.94
		② 18.794×0.156	2.931864		
		③ 18.824×0.288	5.421312		
		④ 18.840×0.168	3.165120		
		⑤ 18.870×0.645	12.171150		
		⑥ 16.530×1.792	29.621760		

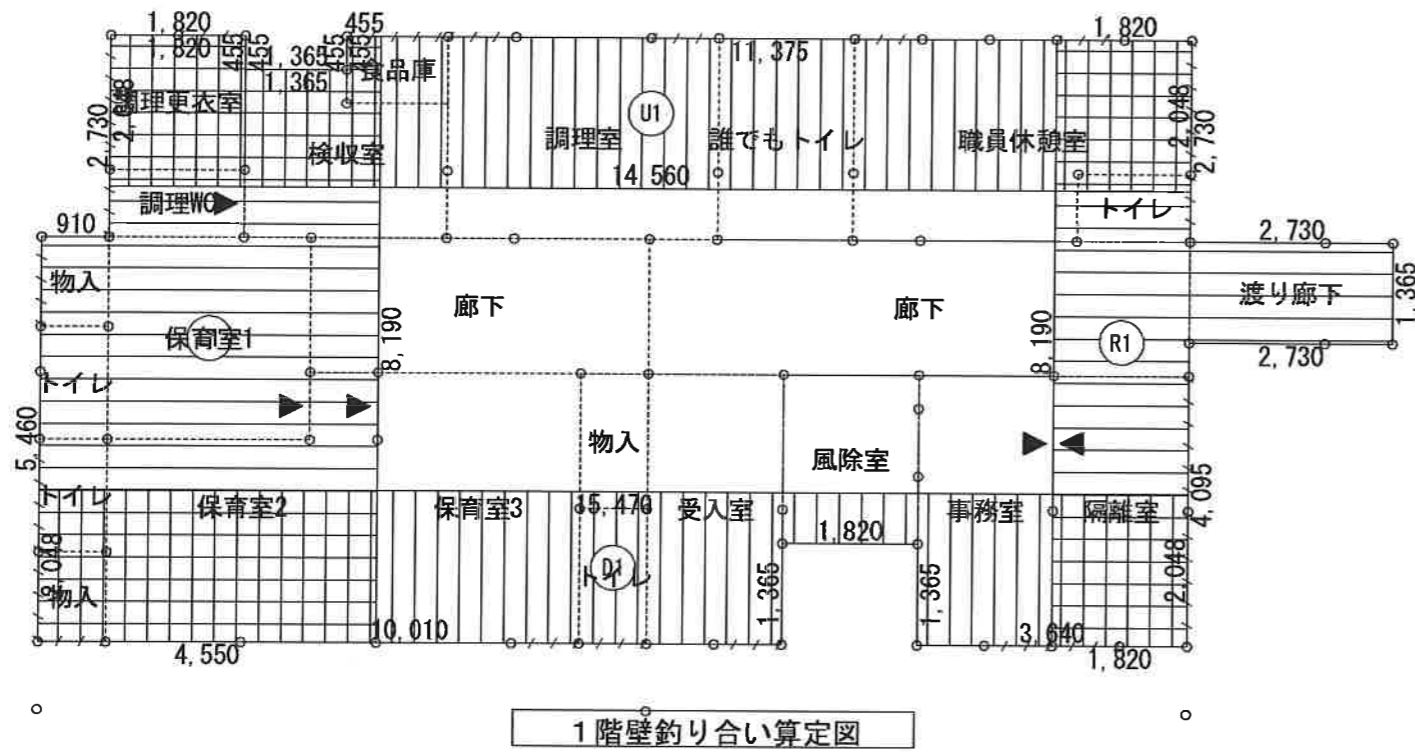
階	方向	記号	倍率 x	長さ	x	個所	=	壁量	合計
1	X	W9	2.50	0.910		14		31.850	57.102
		W9	2.50	1.820		2		9.100	
		W9	2.50	1.365		1		3.412	
		W3	2.00	0.910		3		5.460	
		W3	2.00	1.820		2		7.280	
		Y	W9	2.50	1.820		4		
	W9	2.50	0.910		2		4.550		
	W9	2.50	1.210		2		6.050		
	W9	2.50	1.520		1		3.800		
	W9	2.50	1.365		2		6.825		
	W4	4.00	1.820		5		36.400		
	W3	2.00	0.910		7		12.740		

単位 m						
階	方向	存在壁量	判定	必要壁量		壁余裕度
				床面積(地震力)	見付面積(風圧力)	
1	X	57.102	> OK	13.733	10.500	4.15
	Y	88.565	> OK	13.733	30.970	2.85



1階平面図

<p>PROJECT TITLE (仮称) やまみ病児保育所 増築工事</p>	<p>DRAWING TITLE 木造壁量計算表-2</p>	<p>SCALE 1/100 DATE 2022/06/15 NO. A - 006</p>	<p>Architect 株式会社・秋月建築研究室 設計共同企業体 一級建築士登録番号第359880号 秋月幸文 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号 埼玉県新座市東倉2-34-12-703 TEL. 080-2013-1806</p>
---	------------------------------------	--	---



		面積		単位 m ²	
階	方向	記号	面積	計	
1	X	上 (U)	1.820×2.048+1.365×1.593+2.048×11.375	29.197805	29.20
		下 (D)	2.048×10.010+1.820×0.683+2.048×3.640	29.198260	29.20
	Y	左 (L)	4.550×5.460+1.820×2.730+1.820×2.275+0.455×0.455	34.159125	34.16
		右 (R)	1.820×8.190+2.730×1.365	18.632250	18.64

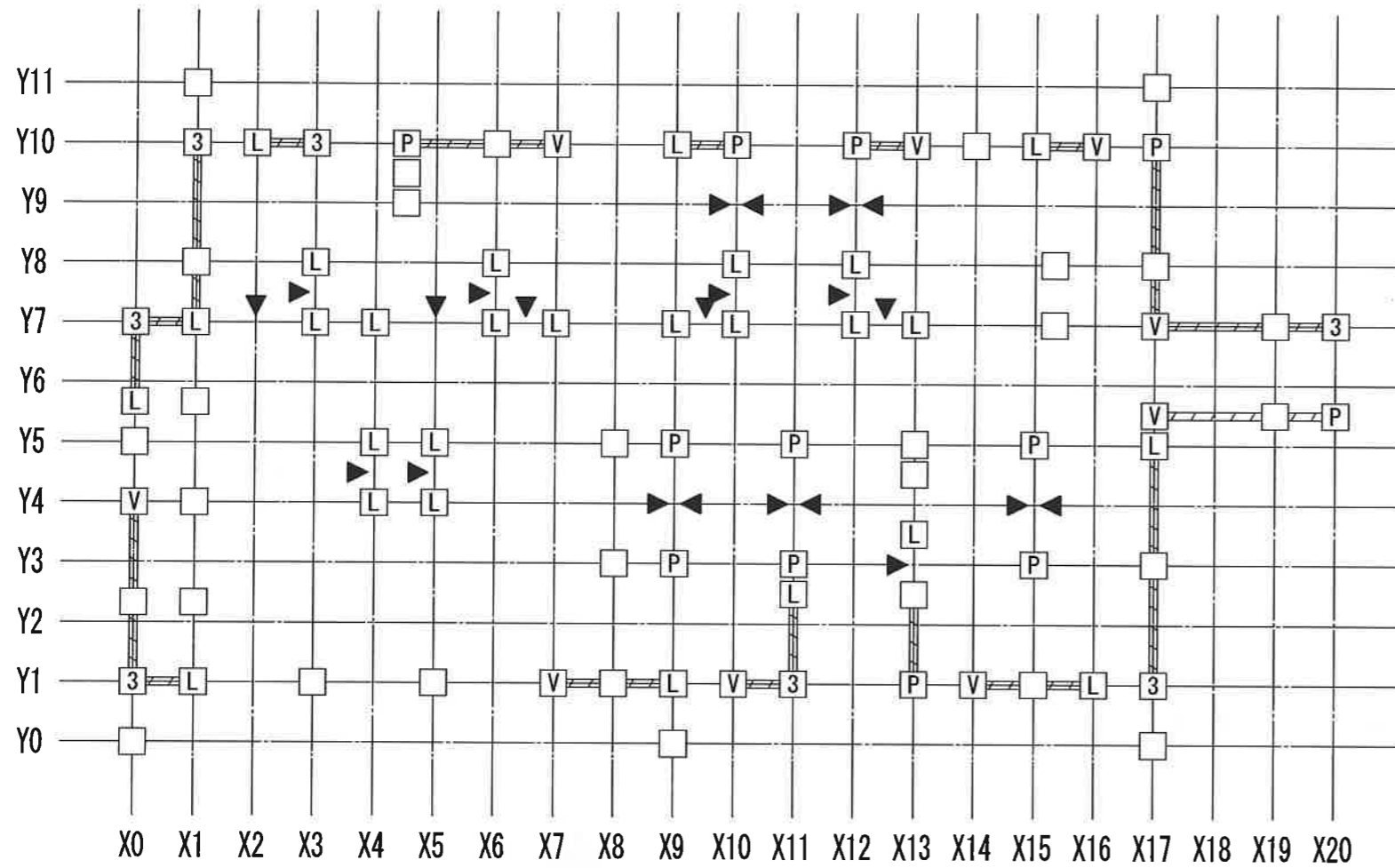
		単位 m					
階	方向	床面積 m ²	物置等 m ²	合計床面積 m ²	乗ずる数値	必要壁量	
1	X	上	29.20	0.00	29.20	0.110	3.212
		下	29.20	0.00	29.20	0.110	3.212
	Y	左	34.16	0.00	34.16	0.110	3.758
		右	18.64	0.00	18.64	0.110	2.051

		単位 m							
階	方向	記号	倍率 x	長さ x	個所 =	壁量	合計		
1	X	上	W9	2.50	0.910	5	11.375	14.787	
			W9	2.50	1.365	1	3.412		
		下	W9	2.50	0.910	6	13.650		
	Y	左	W9	2.50	1.820	1	4.550	22.135	
			W9	2.50	0.910	1	2.275		
			W9	2.50	1.210	2	6.050		
		W9	2.50	1.520	1	3.800			
		W3	2.00	0.910	3	5.460			
		右	W9	2.50	1.820	3	13.650		23.205
			W9	2.50	0.910	1	2.275		
		W4	4.00	1.820	1	7.280			

記号	壁の構造(1) 壁の構造(2)	筋かいの構造	倍率	
W1 ▽		木材30×90片方向	1.50	1.50
W2 ∷		木材30×90たすき掛	3.00	3.00
W3 ▽		木材45×90片方向	2.00	2.00
W4 ∷		木材45×90たすき掛	4.00	4.00
W5 ○		木材90×90片方向	3.00	3.00
W6 ⊗		木材90×90たすき掛	5.00	5.00
W7 ⊙	土塗壁 木ずり片面	0.50 木材30×90片方向	1.50	2.00
W8 ⊕	木ずり両面	1.00 木材30×90片方向	1.50	2.50
*W9 //		構造用合板貼り	2.50	2.50
W10 ≡	構造用合板貼り	2.50 木材 45×90以上 シングル	2.00	4.50

*は任意の仕様であることを示しています。

		単位 m					
階	方向	必要壁量	存在壁量	壁量充足率	壁率比	判定	
1	X	上	3.212	14.787	4.603	—	OK
		下	3.212	13.650	4.249	—	OK
	Y	左	3.758	22.135	5.890	—	OK
		右	2.051	23.205	11.313	—	OK



1階柱壁伏図

接合部凡例 *接合部凡例はユーザ設定されたものです。

記号	仕様	N	倍率
(い)	短ほぞ差し、かすがい打ち	0.00	
(ろ)	N 長ほぞ差し込み栓打ち		0.70
(ろ)	L L字型金物	0.65	0.70
(は)	V V字型金物	1.00	1.00
(は)	T T字型金物		1.00
(に)	P 羽子板 [※] 1本	1.40	1.40
(に)	I 短冊金物		1.40
(ほ)	Ps 羽子板 [※] 1本+スクリュー [※] 釘50	1.60	1.60
(ほ)	Is 短冊金物+スクリュー [※] 釘50		1.60
(へ)	2 10KN用引き寄せ金物	1.80	1.80
(と)	3 15KN用引き寄せ金物	2.80	2.80
(ち)	4 20KN用引き寄せ金物	3.70	3.70
(り)	5 25KN用引き寄せ金物	4.70	4.70
(ぬ)	32 15KN用引き寄せ金物×2	5.60	5.60
(る)	J1 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板 [※] 1本、短冊金物		1.90
(を)	J2 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板 [※] 1本、短冊金物×2		3.00

梁継手・仕口用
梁継手・仕口用

筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様		
筋かいの種類	接合部の仕様 (構造方法)	
イ 鉄筋φ9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90, 8本平打ち	
ロ 筋かい: 15×90	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65, 5本平打ち	
ハ 筋かい: 30×90	鋼板添え板t=1.6mmを筋かいに対してボルトφ12及びCN65, 3本平打ち、柱に対してCN65, 3本平打ち、横架材に対してCN65, 4本平打ち。筋かいプレートBP同等品	
ニ 筋かい: 45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルトφ12及びスクリュー [※] 釘φ4.5L50, 7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー [※] 釘φ4.5L50, 5本平打ち。筋かいプレートBP-2同等品	
ホ 筋かい: 90×90	柱又は横架材にボルトφ12mmを用いて一面剪断接合	

胴差と通し柱の接合部の仕様		
胴差と通し柱の条件		仕口
T1	通し柱の片側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、羽子板ボルト、かね折り金物又は同等以上の仕口
T2	通し柱の両側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、短冊金物又は、同等以上の仕口で胴差相互を緊結
T3	通し柱と胴差の接合部の近くに90×90以上の筋かいが来る場合(通し柱が建物の出隅にあるか、筋かい壁が外壁と直交して接する場合)	胴差を通し柱に、15KN用引き寄せ金物を水平に用いて緊結

柱接合部判定表

階	通し柱	柱位置		出隅柱		計算式				N	柱頭		柱脚		胴差と通し柱	
		X	Y	階数1又は階数2の2階	階数2の1階	X方向		Y方向			仕様	判定	仕様	判定	仕様	判定
1		0	0	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		9	0	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		17	0	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	1	○	—	(2.50+0.50)×0.8-0.4	2.00	(2.50-0.50)×0.8-0.4	1.20	2.00	3(と)	OK	3(と)	OK		
		1	1	×	—	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		3	1	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		5	1	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7	1	×	—	(2.50+0.50)×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		8	1	×	—	(0.00+0.50)×0.5-0.6	-0.35	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		9	1	×	—	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		10	1	×	—	(2.50+0.50)×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		11	1	○	—	(2.50-0.50)×0.8-0.4	1.20	(2.50+0.50)×0.8-0.4	2.00	2.00	3(と)	OK	3(と)	OK		
		13	1	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	(2.50-0.50)×0.8-0.4	1.20	1.20	P(に)	OK	P(に)	OK		
		14	1	×	—	(2.50+0.50)×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		15	1	×	—	(0.00+0.50)×0.5-0.6	-0.35	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		16	1	×	—	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		17	1	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	(2.50+0.50)×0.8-0.4	2.00	2.00	3(と)	OK	3(と)	OK		
		0	2.3	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(0.00+0.50)×0.5-0.6	-0.35	-0.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		1	2.3	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		11	2.5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		13	2.5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(0.50+0.50)×0.5-0.6	-0.10	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		8	3	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		9	3	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		11	3	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		15	3	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		17	3	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(0.00+0.50)×0.5-0.6	-0.35	-0.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		13	3.5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		0	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.50+0.50)×0.5-0.6	0.90	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		1	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		4	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		5	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		13	4.5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		4	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		5	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		8	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		9	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		11	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		13	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		15	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		17	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		17	5.5	×	—	(2.50+0.50)×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		19	5.5	×	—	(0.00+0.50)×0.5-0.6	-0.35	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		20	5.5	○	—	(2.50-0.50)×0.8-0.4	1.20	0.00×0.8-0.4	-0.40	1.20	P(に)	OK	P(に)	OK		
		0	5.7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		1	5.7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	7	○	—	(2.50-0.50)×0.8-0.4	1.20	(2.50+0.50)×0.8-0.4	2.00	2.00	3(と)	OK	3(と)	OK		
		1	7	×	—	(0.50+0.50)×0.5-0.6	-0.10	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		3	7	×	—	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		4	7	×	—	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		6	7	×	—	(0.00+1.00)×0.5-0.6	-0.10	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		7	7	×	—	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		9	7	×	—	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		10	7	×	—	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		12	7	×	—	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		13	7	×	—	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		15.3	7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		17	7	×	—	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	(2.50+0.50)×0.5-0.6	0.90	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		19	7	×	—	(0.00+0.50)×0.5-0.6	-0.35	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		20	7	○	—	(2.50+0.50)×0.8-0.4	2.00	0.00×0.8-0.4	-0.40	2.00	3(と)	OK	3(と)	OK		

PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
木造壁量計算表-5

SCALE
DATE 2022/06/15
NO. A-006

Architect
株式会社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第35980号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

柱接合部判定表																
階	通し柱	柱位置		出隅柱		計算式				N	柱頭		柱脚		胴差と通し柱	
		X	Y	階数1又は階数2の2階	階数2の1階	X方向		Y方向			仕様	判定	仕様	判定	仕様	判定
1		1	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(0.00+0.50)×0.5-0.6	-0.35	-0.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		3	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		6	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		10	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	2.00×0.5-0.6	0.40	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		12	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	2.00×0.5-0.6	0.40	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		15.3	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		17	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(0.00+0.50)×0.5-0.6	-0.35	-0.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		4.5	9	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		4.5	9.5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		1	10	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	(2.50+0.50)×0.8-0.4	2.00	2.00	3(と)	OK	3(と)	OK		
		2	10	×	—	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		3	10	○	—	(2.50+0.50)×0.8-0.4	2.00	0.00×0.8-0.4	-0.40	2.00	3(と)	OK	3(と)	OK		
		4.5	10	○	—	(2.50-0.50)×0.8-0.4	1.20	0.00×0.8-0.4	-0.40	1.20	P(に)	OK	P(に)	OK		
		6	10	×	—	(0.00+0.50)×0.5-0.6	-0.35	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.35	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7	10	×	—	(2.50+0.50)×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		9	10	×	—	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		10	10	×	—	(2.50+0.50)×0.5-0.6	0.90	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		12	10	×	—	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		13	10	×	—	(2.50+0.50)×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		14	10	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
	15	10	×	—	(2.50-0.50)×0.5-0.6	0.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
	16	10	×	—	(2.50+0.50)×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK			
	17	10	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	(2.50-0.50)×0.8-0.4	1.20	1.20	P(に)	OK	P(に)	OK			
	1	11	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK			
	17	11	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK			

PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
 木造壁量計算表-6

SCALE
 DATE 2022/06/15
 NO. A-006

Architect
 株式会社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第259880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東建2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

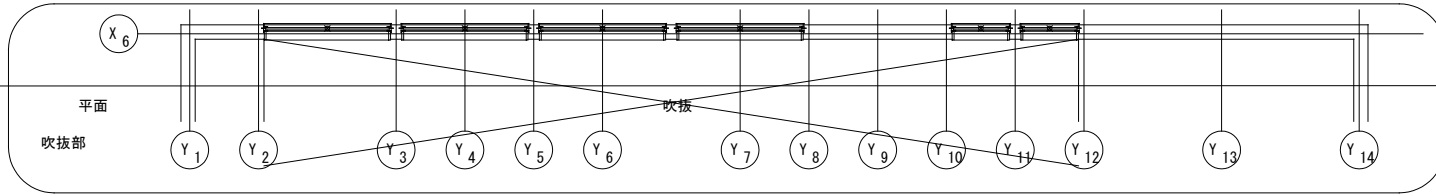
図面 No.	図 面 名	縮尺 (A3版)
E-01	図面リスト	Free
E-02	電気設備特記仕様書	Free
E-03	幹線動力太陽光発電弱電設備平面図	1/100
E-04	太陽光発電設備平面図	1/100
E-05	分電盤結線図 No.1	free
E-06	分電盤結線図 No.2	Free
E-07	太陽光発電設備結線図	Free
E-08	照明器具姿図	Free
E-09	電灯設備平面図	1/100
E-10	コンセント設備平面図	1/100
E-11	誘導灯非常灯姿図	Free
E-12	誘導灯非常灯設備平面図	1/100
E-13	自動火災報知設備平面図	1/100

図 面 リ ス ト

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

I 建築概要	I 建築概要		Ⅷ 工事区分	No	工 事 項 目	区 分			備 考																																																																						
	建築	電気設備				別途																																																																									
Ⅱ 一般事項 1. 本工事は本特記仕様書並びに設計図書に準拠し、当社電気設備工事標準仕様書又は日本建築家協会編電気設備工事仕様書を準用し又、下記諸規定条令に基づき施行すること 電気設備技術基準・内線規定・消防法・建築基準法・電話用配管の手引き 2. 本工事に伴う関係法規上の申請手続きを関係官公署及び電力会社に遅滞なく行うこと 3. 本工事着手にあたって、製作又は施行上必要な図面又は工程表を遅滞なく作成し係員の承認を受けること 4. 本工事に関して、本特記仕様書及び設計図書に記載なきものであっても施行上又は法規上、当然必要と思われるものについては、請負者の負担にて施行する 5. 本工事完了後、竣工図書を遅滞なく作成し、係員に提出すると共に機器及び装置の取扱い説明を行い引渡しを行うこと	工事名称 (仮称)やまみ病児保育所増築工事 建築場所 会津若松市山見町地内 工 期 着工 令和4年9月 日 完成 令和5年2月 日 建築用途 主用途 保育所 従用途 建築面積 158.00m ² 延床面積 124.84m ² (既存含む447.03m ²) 階 数 地下 階 地上 1 階 塔屋 階 構造種別 <input type="radio"/> S造 <input type="radio"/> SRC造 <input type="radio"/> RC造 <input checked="" type="radio"/> 木造 法定構造 <input type="radio"/> 耐火 <input type="radio"/> 簡易耐火 <input type="radio"/> 木造 <input checked="" type="radio"/> その他の建築物 防火対象物 6項(ハ)ー3		5. 電話配管設備工事 引込方式 <input type="radio"/> 架空 <input type="radio"/> 埋設 <input checked="" type="radio"/> 引込柱(○要 ●不要) <input checked="" type="radio"/> NTT <input type="radio"/> 構内交換 <input type="radio"/> 集中 <input type="radio"/> 分散 <input checked="" type="radio"/> その他 局線端子盤 <input type="radio"/> 露出 <input type="radio"/> 埋込 <input type="radio"/> 他組込 <input type="radio"/> 保安器収納数5回線 中間端子盤 <input type="radio"/> 露出 <input type="radio"/> 埋込 <input type="radio"/> 半埋込 <input type="radio"/> 盤数 1面 プレート <input type="radio"/> 新金属 <input type="radio"/> ステンレス <input checked="" type="radio"/> プラスチック <input type="radio"/> その他 8. テレビ共聴設備工事 アンテナ UHF <input type="radio"/> 20素子 <input type="radio"/> BS/CS 75cm ブースター 増幅容量40dB 設置場所 プレート <input type="radio"/> 新金属 <input type="radio"/> ステンレス <input checked="" type="radio"/> プラスチック <input type="radio"/> その他 7. インターホン設備工事 通話方式 <input type="radio"/> 親子式 <input type="radio"/> 相互式 <input checked="" type="radio"/> 複合式 モニター <input checked="" type="radio"/> ワイド <input type="radio"/> その他 付加仕様 <input checked="" type="radio"/> ワイヤレス子器 8. トイレ呼出し設備工事 システム方式 <input type="radio"/> 多窓式 <input checked="" type="radio"/> 1回路式 付加仕様 <input checked="" type="radio"/> 呼出ボタン(引きひも付) 12. 自動火災報知設備工事 受信機 <input type="radio"/> 壁掛型 <input type="radio"/> 自立型 <input type="radio"/> 防排煙制御併設 <input type="radio"/> 形式P型1級 回線 <input type="radio"/> 設置場所 副受信機 <input type="radio"/> 回線15回線 <input type="radio"/> 設置場所 総合盤 <input checked="" type="radio"/> 単独型 <input type="radio"/> 消火栓併設型 13. 防排煙制御設備工事 対 象 <input type="radio"/> 防火扉 <input type="radio"/> 防火シャッター <input type="radio"/> 排煙垂れ壁 方 式 <input type="radio"/> 個別制御 <input type="radio"/> 中央制御 制御盤 <input type="radio"/> 単 独 <input type="radio"/> 自火報併設 回線数 <input type="radio"/> 回線数 回線	1	電気設備機器の基礎及び仕上げ																																																																										
	2	アスファルトの切込み及び復旧工事		○																																																																											
	3	RC梁の貫通スリーブ及び構造体補強																																																																													
	4	RC壁、床の穴明け及び構造体補強																																																																													
	5	照明器具の天上切込み工事			○																																																																										
	6	同上、開口補強工事																																																																													
	7	換気扇及び同取付工事				○																																																																									
	8	換気扇の壁及び天上切込み工事				○																																																																									
	9	同上、開口補強工事				○																																																																									
	10	点検口の取付け及び補強工事		○																																																																											
11	空調用屋内外機器間の配管配線工事			○																																																																											
12	同上、機器への接続工事			○																																																																											
13	消火器		○			キュービクル																																																																									
Ⅲ 工事種目	●印をつけたものを適用する <input type="radio"/> 電力引込設備工事 <input checked="" type="radio"/> テレビ共聴設備工事 <input type="radio"/> 受変電設備工事 <input checked="" type="radio"/> インターホン設備工事 <input checked="" type="radio"/> 幹線動力設備工事 <input checked="" type="radio"/> トイレ呼出し設備工事 <input checked="" type="radio"/> 電灯コンセント設備工事 <input checked="" type="radio"/> 自動火災報知設備工事 <input checked="" type="radio"/> 電話配管設備工事 <input type="radio"/> 防排煙設備工事		Ⅳ 工事項目		●印をつけたものを適用する 1. 電力引込設備工事 引込方式 <input type="radio"/> 架空 <input type="radio"/> 埋設 <input type="radio"/> 引込柱(○要 ○不要) 供給電圧 6600V 2. 受変電設備工事 設置場所 <input type="radio"/> 屋内 <input type="radio"/> 屋上 <input checked="" type="radio"/> 屋外 型 式 <input type="radio"/> 屋内 <input type="radio"/> 屋外 <input checked="" type="radio"/> キュービクル 設備容量 <input type="radio"/> 動力 KVA <input type="radio"/> 電灯 KVA 合計 KVA <input type="radio"/> 高圧進相コンデンサ <input type="radio"/> リアクトル付 3. 幹線動力設備工事 電気方式 動力幹線 3相3線 210V ●配管 ●ケーブル 電灯幹線 1相3線 210/105V ●配管 ●ケーブル 設備容量 動力設備 機械設備 KW 空調設備 KW 電灯設備 KVA 4. 電灯コンセント設備工事 配線方式 <input type="radio"/> 配管配線 <input checked="" type="radio"/> ケーブル <input type="radio"/> その他 蛍光灯 Hf32W相当以上 ●LED ○高効率蛍光灯 蛍光灯 Hf32W未満 ●LED ○高効率蛍光灯 プレート類 <input type="radio"/> 新金属 <input type="radio"/> ステンレス <input type="radio"/> プラスチック <input checked="" type="radio"/> ワイド		Ⅴ 特記補足事項		・完成後いんべいされる部分は係員と協議のうえ写真撮影をし提出する事 ・機器の取付け位置は再度打合せの事		Ⅵ 支給品		・ロスナイ用スイッチ		Ⅶ 別途工事		○電波障害補償等の公害対策費(参考見積を協議のうえ提出の事) ○保安協会・主任技術者協会等による手続申請費用																																																														
Ⅳ 工事項目	●印をつけたものを適用する 1. 電力引込設備工事 引込方式 <input type="radio"/> 架空 <input type="radio"/> 埋設 <input type="radio"/> 引込柱(○要 ○不要) 供給電圧 6600V 2. 受変電設備工事 設置場所 <input type="radio"/> 屋内 <input type="radio"/> 屋上 <input checked="" type="radio"/> 屋外 型 式 <input type="radio"/> 屋内 <input type="radio"/> 屋外 <input checked="" type="radio"/> キュービクル 設備容量 <input type="radio"/> 動力 KVA <input type="radio"/> 電灯 KVA 合計 KVA <input type="radio"/> 高圧進相コンデンサ <input type="radio"/> リアクトル付 3. 幹線動力設備工事 電気方式 動力幹線 3相3線 210V ●配管 ●ケーブル 電灯幹線 1相3線 210/105V ●配管 ●ケーブル 設備容量 動力設備 機械設備 KW 空調設備 KW 電灯設備 KVA 4. 電灯コンセント設備工事 配線方式 <input type="radio"/> 配管配線 <input checked="" type="radio"/> ケーブル <input type="radio"/> その他 蛍光灯 Hf32W相当以上 ●LED ○高効率蛍光灯 蛍光灯 Hf32W未満 ●LED ○高効率蛍光灯 プレート類 <input type="radio"/> 新金属 <input type="radio"/> ステンレス <input type="radio"/> プラスチック <input checked="" type="radio"/> ワイド		Ⅴ 特記補足事項		・完成後いんべいされる部分は係員と協議のうえ写真撮影をし提出する事 ・機器の取付け位置は再度打合せの事		Ⅵ 支給品		・ロスナイ用スイッチ		Ⅶ 別途工事		○電波障害補償等の公害対策費(参考見積を協議のうえ提出の事) ○保安協会・主任技術者協会等による手続申請費用																																																																		
				Ⅷ 器取付高さ		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機 器 名 称</th> <th>取 付 高 さ</th> <th>備 考</th> <th>機 器 名 称</th> <th>取 付 高 さ</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引 込 開 閉 器</td> <td>地上 +1800~</td> <td>盤天端</td> <td>イ ン タ ー ホ ン</td> <td>床上 +1200</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>分 電 盤</td> <td>地上 床上 +1800</td> <td>盤天端</td> <td>押 釦 ス イ ッ チ</td> <td>床上 +1300</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>手 元 開 閉 器</td> <td>床上 +1500</td> <td>盤中心</td> <td>チャ イ ム</td> <td>床上 +1800~</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>警 報 盤</td> <td>床上 +1800</td> <td>盤天端</td> <td>ブ ザ ー</td> <td>床上 +1800~</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>端 子 盤</td> <td>床上 +1800</td> <td>盤天端</td> <td>音 量 調 節 器</td> <td>床上 +1300</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>積 算 電 力 量 計</td> <td>地上 +2000</td> <td>盤天端</td> <td>非 常 警 報 装 置</td> <td>床上 +1500</td> <td>中心</td> </tr> <tr> <td>ス イ ッ チ 類</td> <td>床上 +1100</td> <td>ボックス中心</td> <td>自 火 報 受 信 機</td> <td>床上 +1500</td> <td>中心</td> </tr> <tr> <td>コ ン セ ン ト 類</td> <td>床上 +250 畳上 +150</td> <td>ボックス中心</td> <td>自 火 報 副 受 信 機</td> <td>床上 +1500</td> <td>中心</td> </tr> <tr> <td>電 話 ア ウ ト レ ッ ト</td> <td>床上 +250 畳上 +150</td> <td>ボックス中心</td> <td>自 火 報 総 合 盤</td> <td>床上 +1500</td> <td>中心</td> </tr> <tr> <td>テ レ ビ ア ウ ト レ ッ ト</td> <td>床上 +250 畳上 +150</td> <td>ボックス中心</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		機 器 名 称	取 付 高 さ	備 考	機 器 名 称	取 付 高 さ	備 考	引 込 開 閉 器	地上 +1800~	盤天端	イ ン タ ー ホ ン	床上 +1200	ボックス中心	分 電 盤	地上 床上 +1800	盤天端	押 釦 ス イ ッ チ	床上 +1300	ボックス中心	手 元 開 閉 器	床上 +1500	盤中心	チャ イ ム	床上 +1800~	ボックス中心	警 報 盤	床上 +1800	盤天端	ブ ザ ー	床上 +1800~	ボックス中心	端 子 盤	床上 +1800	盤天端	音 量 調 節 器	床上 +1300	ボックス中心	積 算 電 力 量 計	地上 +2000	盤天端	非 常 警 報 装 置	床上 +1500	中心	ス イ ッ チ 類	床上 +1100	ボックス中心	自 火 報 受 信 機	床上 +1500	中心	コ ン セ ン ト 類	床上 +250 畳上 +150	ボックス中心	自 火 報 副 受 信 機	床上 +1500	中心	電 話 ア ウ ト レ ッ ト	床上 +250 畳上 +150	ボックス中心	自 火 報 総 合 盤	床上 +1500	中心	テ レ ビ ア ウ ト レ ッ ト	床上 +250 畳上 +150	ボックス中心				※いずれも取付高さは原則とするが機器仕様もしくは取付位置により係員と充分打合せを行う事		Ⅷ 諸官庁に対する打ち合わせ事項		1. 電力会社 TEL 2. NTT TEL 3. 消防署 TEL	
機 器 名 称	取 付 高 さ	備 考	機 器 名 称	取 付 高 さ	備 考																																																																										
引 込 開 閉 器	地上 +1800~	盤天端	イ ン タ ー ホ ン	床上 +1200	ボックス中心																																																																										
分 電 盤	地上 床上 +1800	盤天端	押 釦 ス イ ッ チ	床上 +1300	ボックス中心																																																																										
手 元 開 閉 器	床上 +1500	盤中心	チャ イ ム	床上 +1800~	ボックス中心																																																																										
警 報 盤	床上 +1800	盤天端	ブ ザ ー	床上 +1800~	ボックス中心																																																																										
端 子 盤	床上 +1800	盤天端	音 量 調 節 器	床上 +1300	ボックス中心																																																																										
積 算 電 力 量 計	地上 +2000	盤天端	非 常 警 報 装 置	床上 +1500	中心																																																																										
ス イ ッ チ 類	床上 +1100	ボックス中心	自 火 報 受 信 機	床上 +1500	中心																																																																										
コ ン セ ン ト 類	床上 +250 畳上 +150	ボックス中心	自 火 報 副 受 信 機	床上 +1500	中心																																																																										
電 話 ア ウ ト レ ッ ト	床上 +250 畳上 +150	ボックス中心	自 火 報 総 合 盤	床上 +1500	中心																																																																										
テ レ ビ ア ウ ト レ ッ ト	床上 +250 畳上 +150	ボックス中心																																																																													

市道 一貫3-506号線



223.59

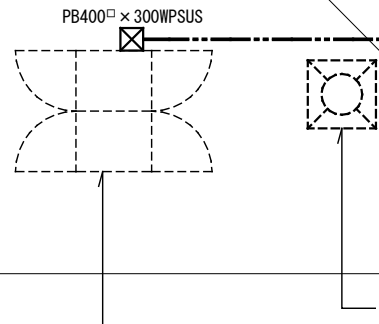
224.21

223.90

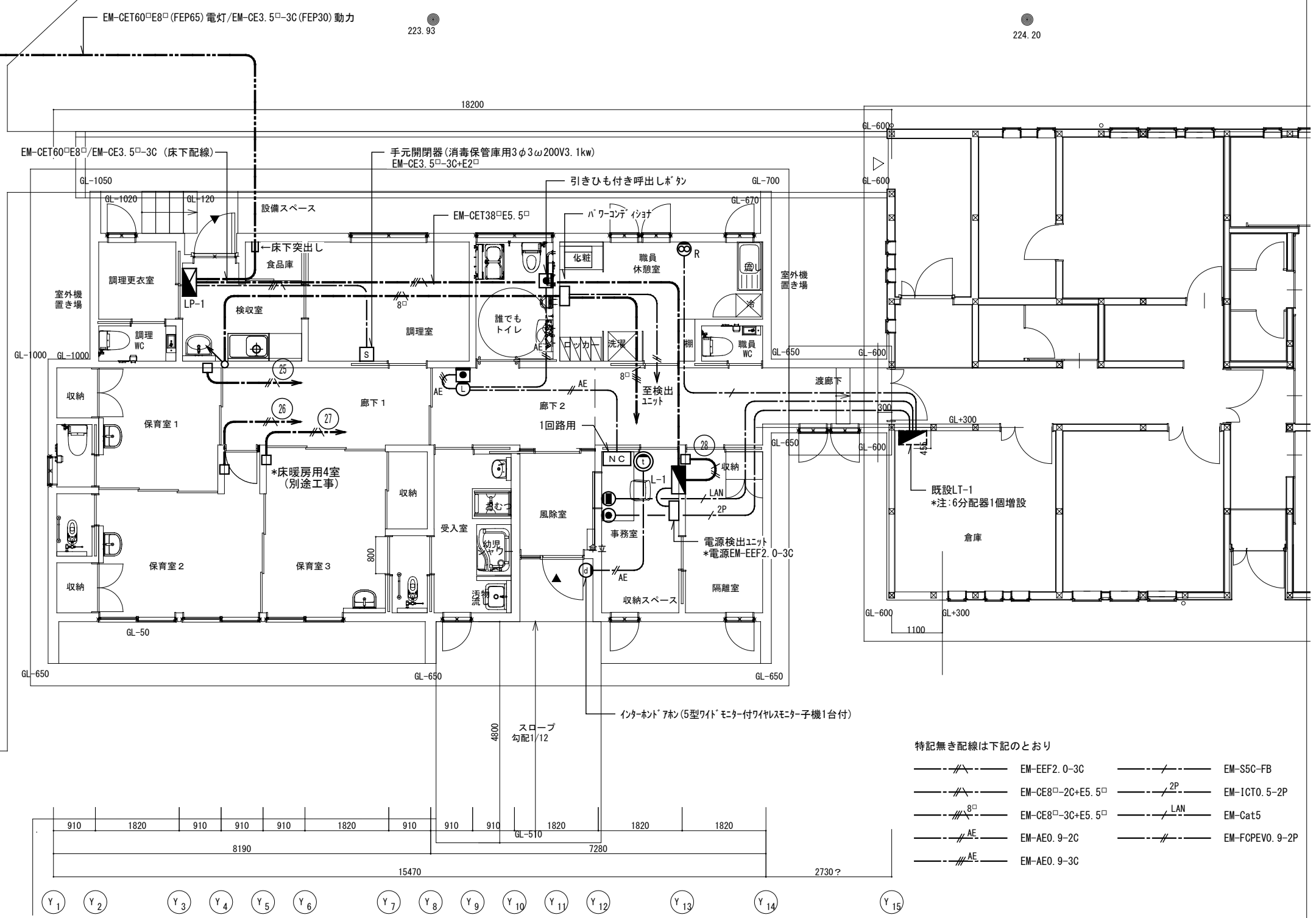
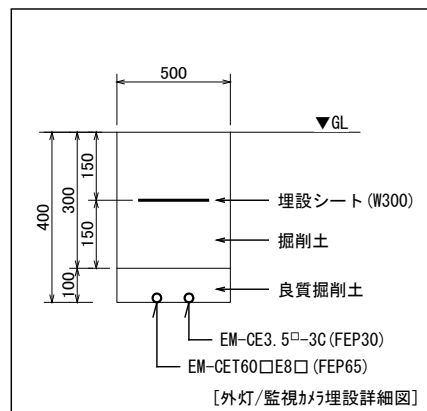
224.20

223.55

223.93



[既設キュービクル]
電灯プレーカー3P225AF150AT (逆潮流可能型)
増設のうえ接続
動力予備MCB3P50AF50ATに接続



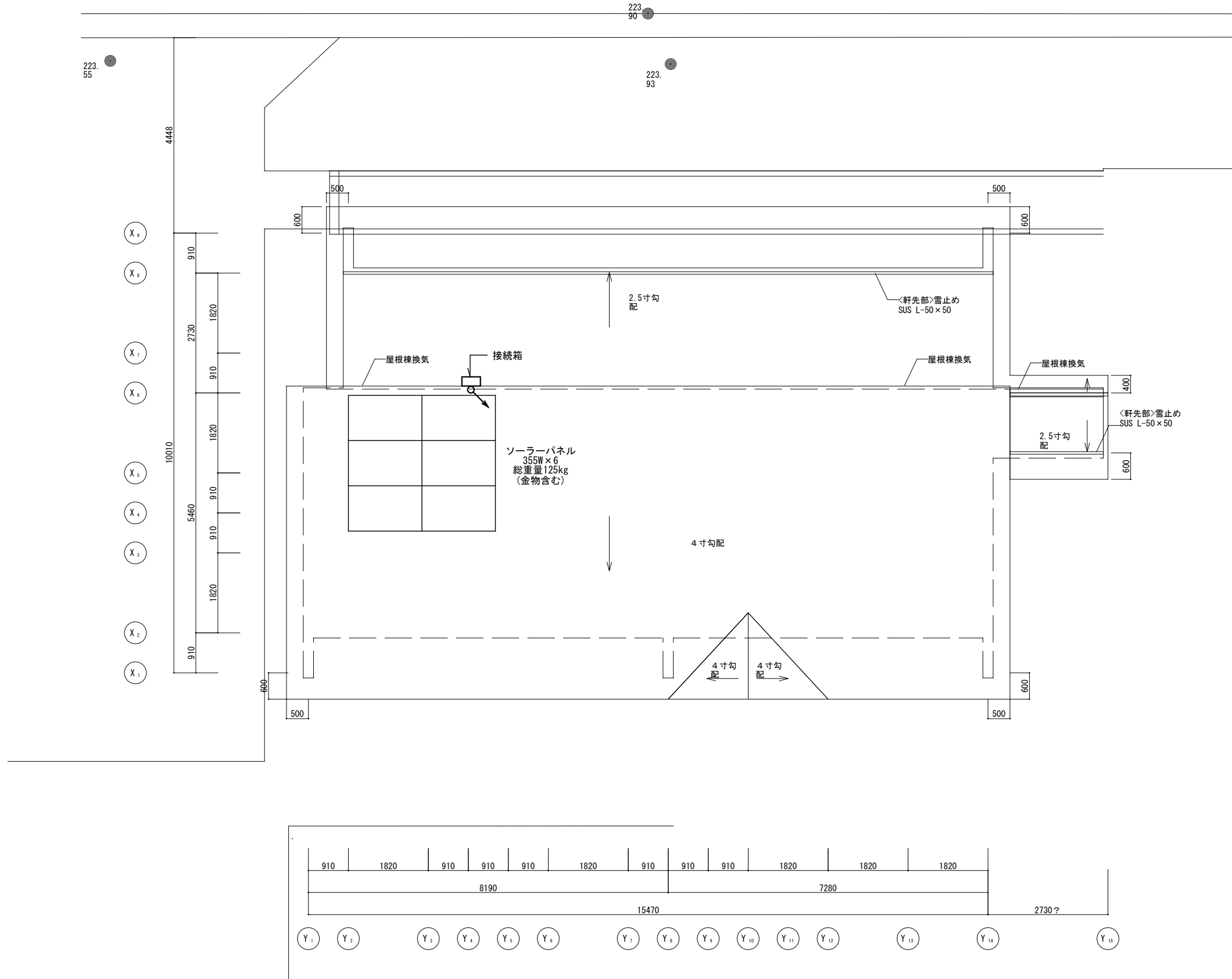
- 特記無き配線は下記のとおり
- EM-EEF2.0-3C
 - EM-CE8[□]-2C+E5.5[□]
 - EM-CE8[□]-3C+E5.5[□]
 - EM-AE0.9-2C
 - EM-AE0.9-3C
 - EM-S5C-FB
 - EM-ICT0.5-2P
 - EM-Cat5
 - EM-FCPEVO.9-2P

PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE
幹線弱電床暖房電源太陽光発電設備平面図

SCALE 1/100
DATE 2022/06/15
NO. E-03

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL.080-2013-1806

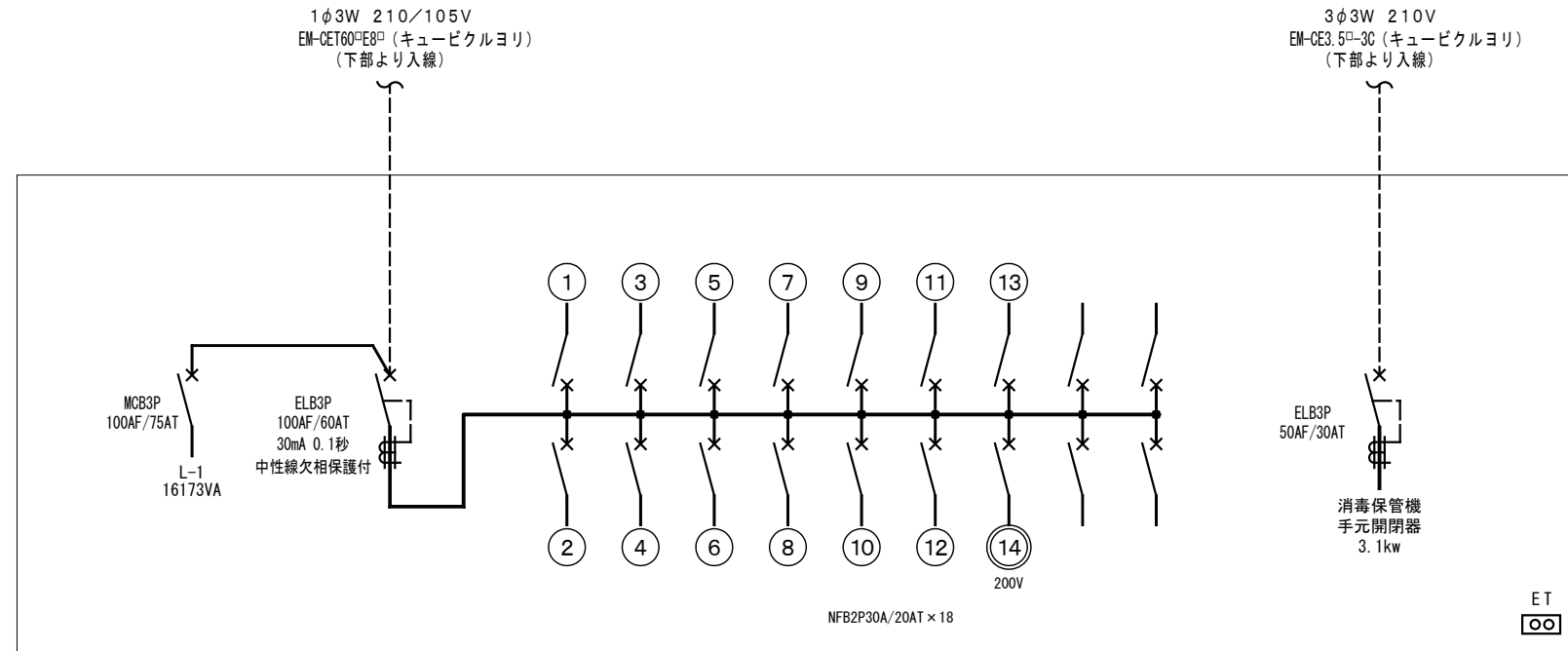


PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE
 太陽光発電設備平面図

SCALE 1/100
 DATE 2022/06/15
 NO. E-04

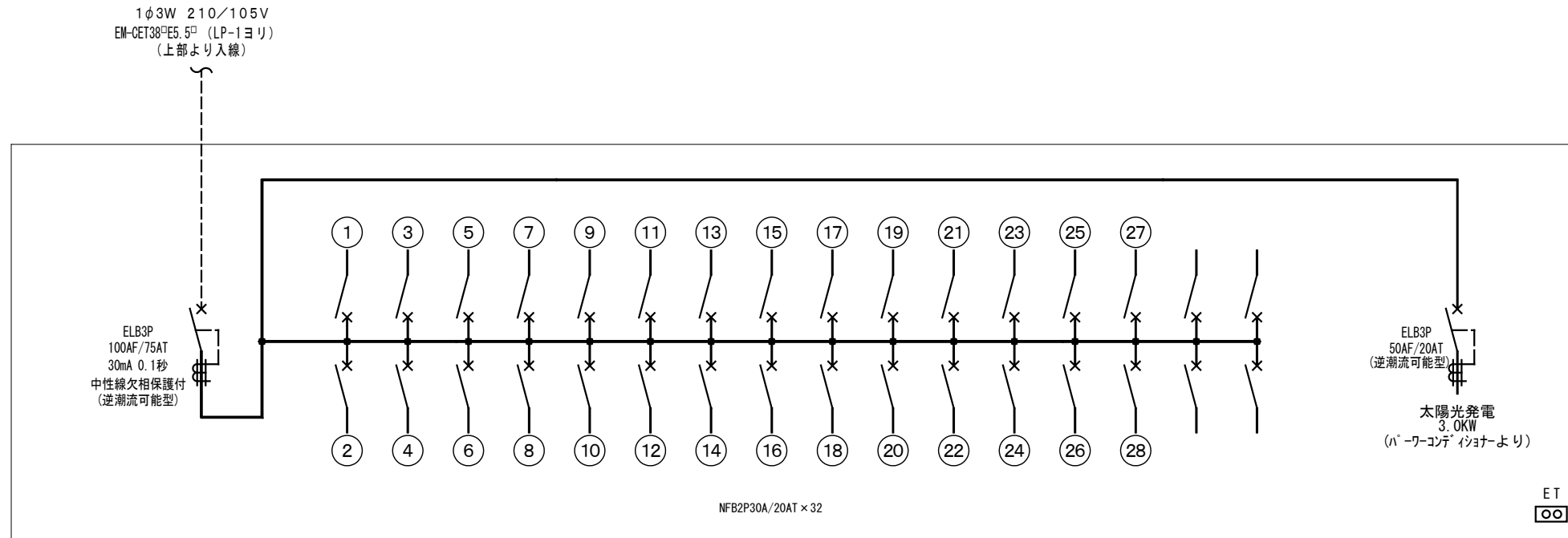
Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806



LP-1 (鋼板製露出型)

回路番号	回路名	容量 (VA)	回路番号	回路名	容量 (VA)
1	調理室照明	258	2	調理室給湯器	250
3	検収室温水器更衣室コンセント	800	4	調理WC温水便座温水器	1050
5	更衣室エアコン	485	6	調理室エアコン	570
7	ストッカー冷凍冷蔵庫滅菌庫コンセント	1030	8	プロセッサ製水機スプージャーコンセント	690
9	IHクッキングヒーターコンセント	1400	10	IHクッキングヒーターコンセント	1400
11	IH炊飯ジャーコンセント	1410	12	IHジャーコンセント	1400
13	電子レンジコンセント	1260	14	オープンコンセント	200V/1900
15	予備		16	予備	
17	予備		18	予備	
合計					13903VA

LP-1回路一覧

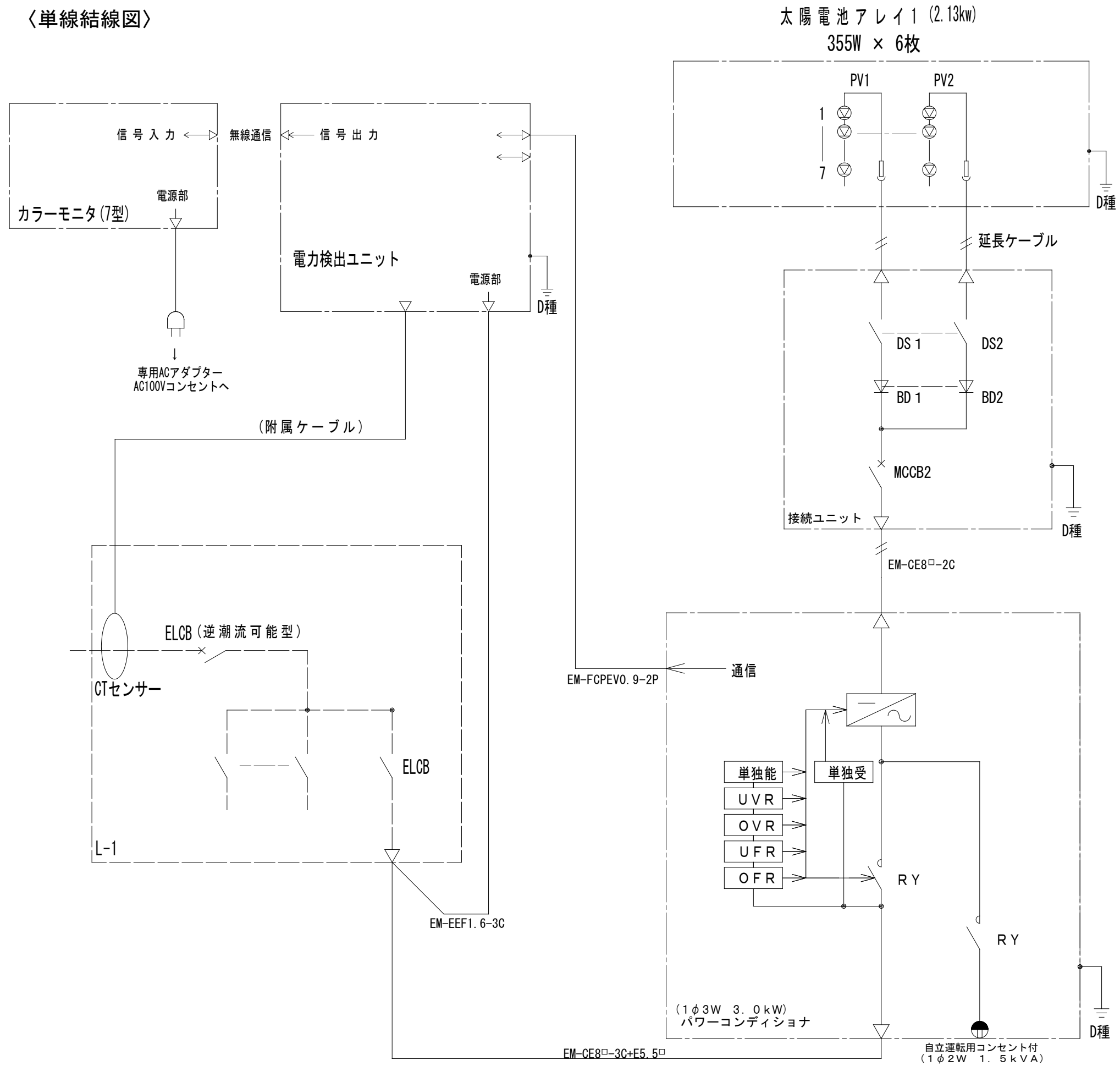


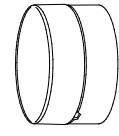
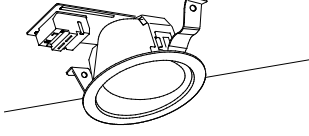


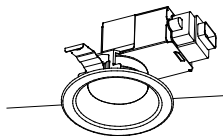
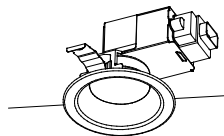
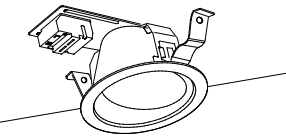
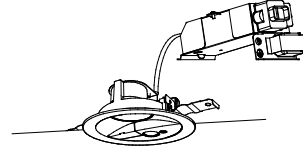
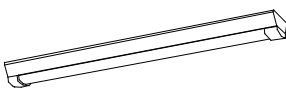


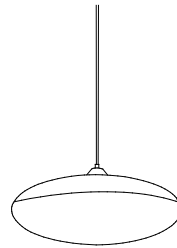
L-1 (鋼板製露出型)

回路番号	回路名	容量 (VA)	回路番号	回路名	容量 (VA)
1	誘導灯	10	2	非常灯	4
3	照明	529	4	事務室コンセント	200
5	隔離室コンセント	300	6	廊下保育室コンセント	500
7	職員休憩室コンセント	300	8	給湯器コンセント	250
9	洗濯乾燥機コンセント	1200	10	冷蔵庫電子レンジコンセント	1000
11	誰でもトイレ温水便座コンセント	350	12	保育室3暖房便座温水器コンセント	740
13	保育室1温水便座温水器コンセント	1050	14	保育室2暖房便座温水器コンセント	740
15	職員WC温水便座コンセント	350	16	予備	
17	防水コンセント	200	18	事務室エアコンコンセント	485
19	隔離室エアコンコンセント	485	20	職員休憩室エアコンコンセント	570
21	受入室エアコンコンセント	485	22	保育室1エアコンコンセント	485
23	保育室2エアコンコンセント	570	24	保育室3エアコンコンセント	570
25	床暖房	1200	26	床暖房	1200
27	床暖房	1200	28	床暖房	1200
29	予備		30	予備	
31	予備		32	予備	
				合計	16173VA

L-1回路一覧

〈単線結線図〉



A	シーリングライト 60形電球1灯器具相当	B	LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当	C	iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W150	D	LEDシーリングライト
<p>LEDフラットランプφ70 クラス500 1灯 (口金GX53-1) 温白色 (3500K)、Ra83 器具光束440lm、消費電力5W、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型、防雨型、ネジ込み方式 プラスチック (フランチメタリック)、カバー: アクリル (乳白) 光源寿命40000時間 (光束維持率70%)</p>  <p>パナソニック シーリングライトXLGE5008CE1</p>		<p>LEDフラットランプφ70 クラス700 1灯 (口金GX53-1) 温白色 (3500K)、Ra83 器具光束710lm、消費電力7.3W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠: アルミダイカスト (ホワイトつや消し) 埋込穴φ100</p>  <p>パナソニック ダウンライトXAD3400VCE1</p>		<p>一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100~242V 本体: 鋼板 (白色粉体塗装) ライトバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 昼白色 (5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>  <p>パナソニック 直付XLX460AENPLE9</p>		<p>昼光色 (6500K)、Ra83/電球色 (2700K)、Ra83 器具光束4299lm、消費電力32W、電圧100V ソフトターン方式、カチットF、羊緑天井取付アダプタ対応 カバー: アクリル (乳白つや消し) リモコンで (100%~5%) 調光、専用リモコン送信器同梱</p>  <p>パナソニック LGC31104</p>	
E	LEDダウンライト 60形電球1灯器具相当	F	LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当	G	LEDダウンライト 100形ダイクール電球1灯器具相当	H	ダウンライト 60形電球1灯器具相当
<p>温白色 (3500K)、Ra83 器具光束475lm、消費電力4.5W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠: アルミ (ホワイトつや消し) 埋込穴φ100</p>  <p>パナソニック LGD1108VLE1</p>		<p>温白色 (3500K)、Ra83 器具光束775lm、消費電力7.3W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠: アルミ (ホワイトつや消し) 埋込穴φ100</p>  <p>パナソニック LGD3100VLE1</p>		<p>LEDフラットランプφ70 クラス700 1灯 (口金GX53-1) 温白色 (3500K)、Ra83 器具光束710lm、消費電力7.3W、電圧100V 集光タイプ、高気密SB形 枠: アルミダイカスト (ホワイトつや消し) 埋込穴φ100</p>  <p>パナソニック ダウンライトXAD3420VCE1</p>		<p>温白色 (3500K)、Ra83 器具光束455lm、消費電力4.7W、電圧100V 電源ユニット内蔵、拡散タイプ、PAPIRS・明るさセンサ付 高気密SB形、点灯照度・点灯保持時間調整機能付 枠: アルミダイカスト (ホワイトつや消し) 光源寿命40000時間 (光束維持率70%) 埋込穴φ100</p>  <p>パナソニック LGDC1101VKLE1</p>	
I	iDシリーズ直付形40形 Dスタイル防湿型・防雨型W150	J	iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W150	K	LEDシーリングライト 20形丸形スリム蛍光灯1灯器具相当	L	LEDペンダント
<p>一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100~242V 本体: 亜鉛鋼板 (クロムフリー・高反射白色粉体塗装) 防湿型・防雨型ライトバー: ポリカーボネート (乳白) + アクリルコーティング 光源寿命40000時間 (光束維持率85%) IP23防湿型、昼白色 (5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>  <p>パナソニック 直付XLW462AENZLE9</p>		<p>一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体: 鋼板 (白色粉体塗装) ライトバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 昼白色 (5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>  <p>パナソニック 直付XLX430AENPLE9</p>		<p>昼光色 (5000K)、Ra83 器具光束1760lm、消費電力16W、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型、ソフトターン方式、カチットF カバー: アクリル (乳白つや消し)</p>  <p>パナソニック LGB52602LE1</p>		<p>昼光色 (6500K)、Ra83/電球色 (2700K)、Ra83 器具光束3400lm、消費電力27.6W、電圧100V 吊下型、直付タイプ カバー: アクリル (乳白つや消し) 枠: プラスチック (乳白つや消し) リモコンで (100%~5%) 調光、専用リモコン送信器同梱</p>  <p>パナソニック LGBZ6111K</p>	

※型番は参考とする

照明器具参考姿図

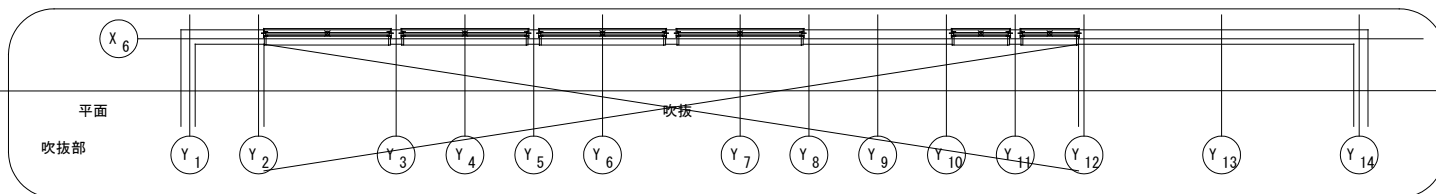
PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE
 照明器具姿図

SCALE 1/100
 DATE 2022/06/15
 NO. E-08

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

市道 一貫3-506号線



223.55

223.90

223.93

224.20

224.21

X9
X8
X7
X6
X5
X4
X3
X2
X1

4448

910

1820

2730

910

1820

910

1820

910

5460

910

1820

910

1820

910

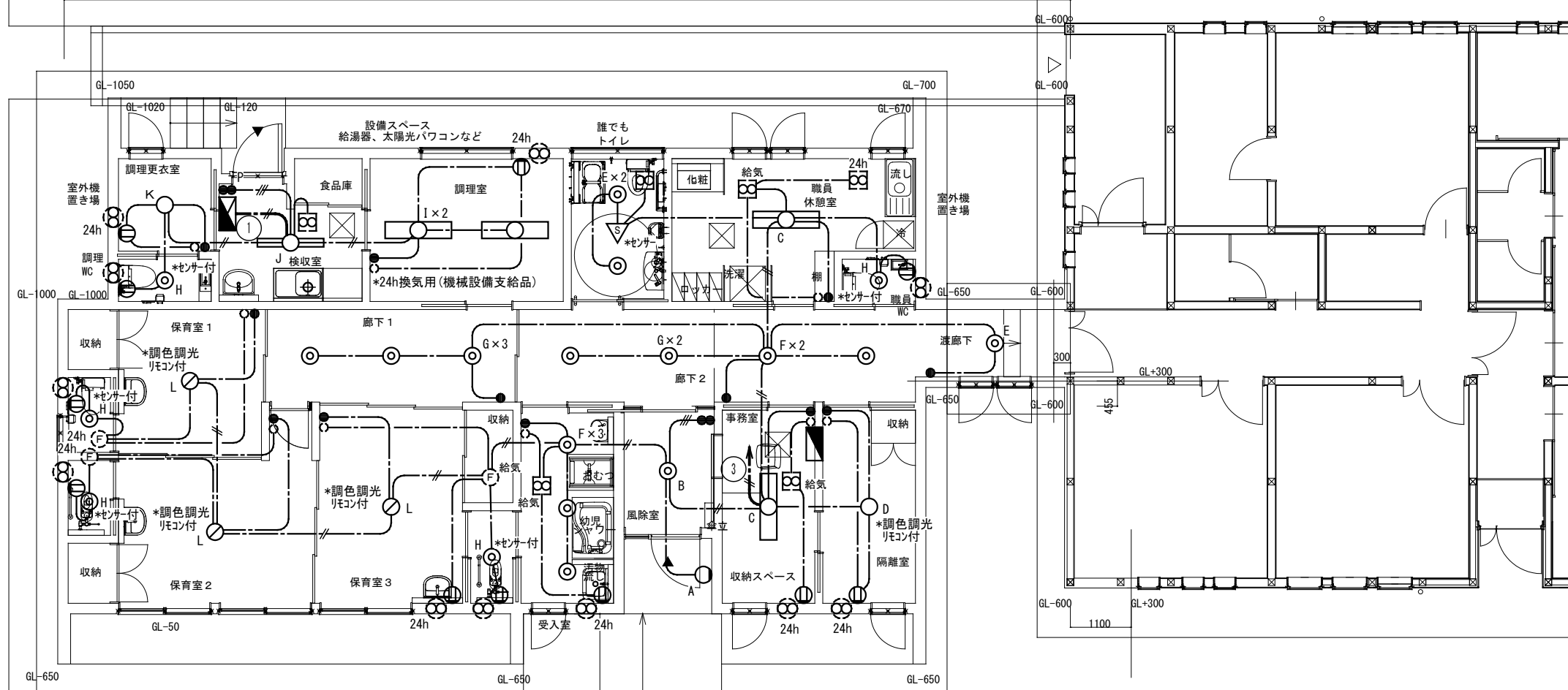
1820

910

10010

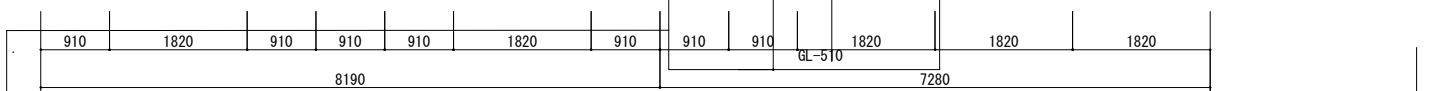
910

18200



※注: 保育室1, 2, 3, 廊下1と2の一部, 風除室は吹抜け

4800 スロープ 勾配1/12



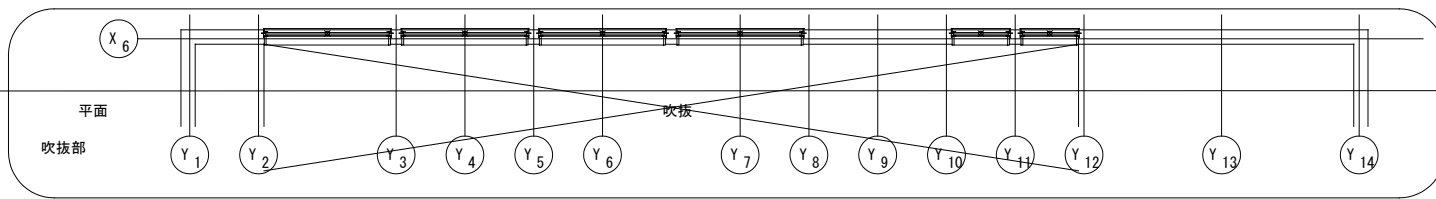
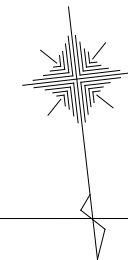
Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11 Y12 Y13 Y14 Y15

特記無き配線は下記のとおり

- EM-EEF1.6-2C
- EM-EEF1.6-3C
- EM-EEF1.6-2C×2
- EM-EEF1.6-2C+3C
- EM-EEF2.0-2C

※注: 配線器具は714'仕様とする

市道 一貫3-506号線



223.55

223.90

224.20

X9
X8
X7
X6
X5
X4
X3
X2
X1

4448

910

1820

2730

910

1820

1820

910

5460

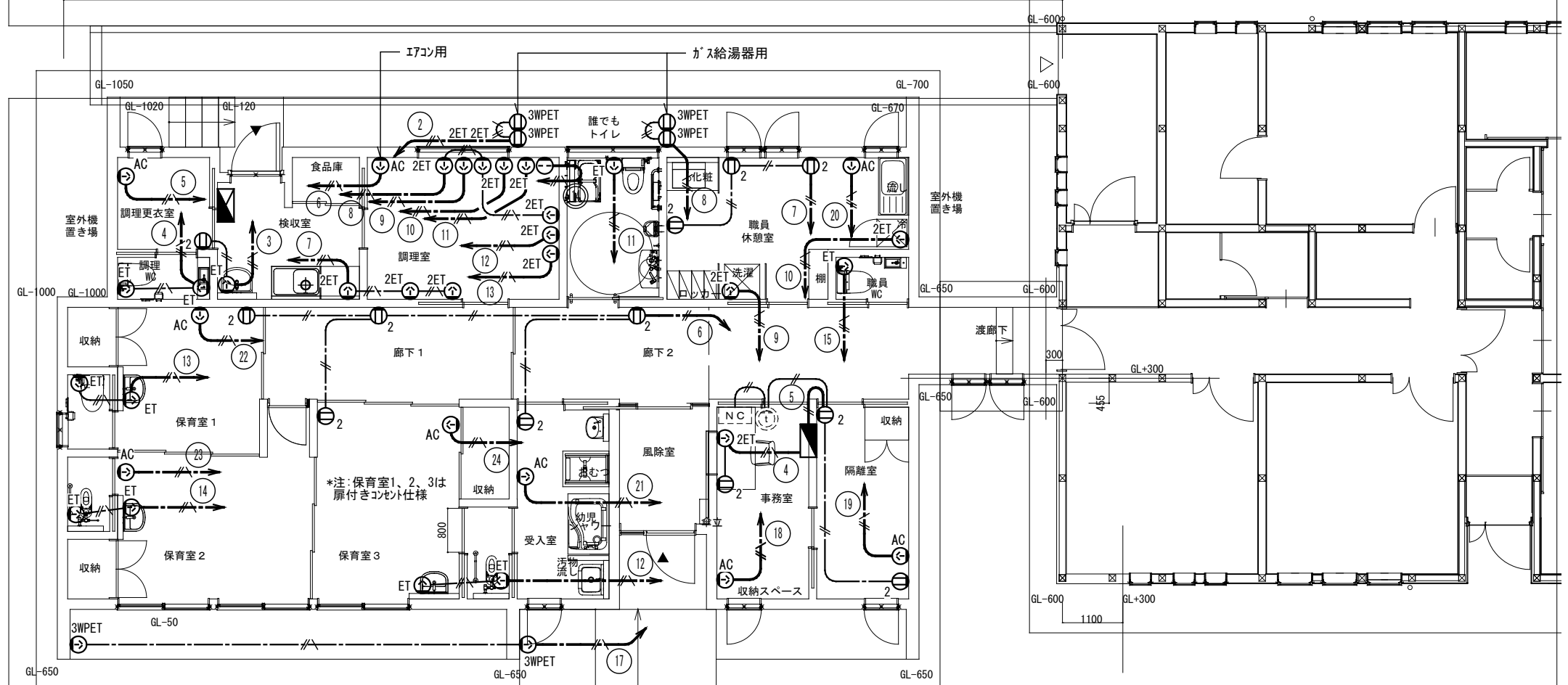
910

1820

910

10010

18200




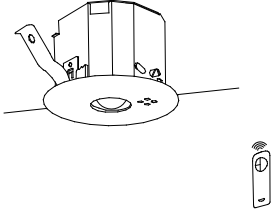
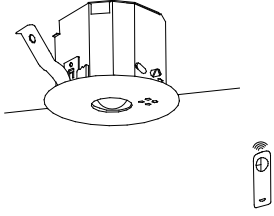

※注: 保育室1, 2, 3、廊下1と2の一部、風除室は吹抜け

特記無き配線は下記のとおり
EM-EEF2.0-2C
EM-EEF2.0-3C

910 1820 910 910 910 1820 910 910 910 1820 1820 1820
8190 15470 7280 2730?

Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11 Y12 Y13 Y14 Y15

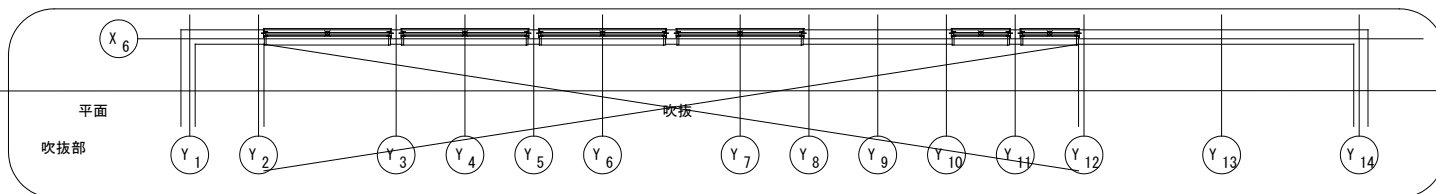
PROJECT TITLE (仮称) やまみ病児保育所 増築工事	DRAWING TITLE コンセント設備平面図	SCALE 1/100	Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
		DATE 2022/06/15	一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
		NO. E-10	一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

<p>A LED C級 避難口誘導灯片面型</p>	<p>C LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付</p>	<p>D LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付</p>																																																
<p>LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 壁・天井直付型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号: 1AS111-3207 消費電力2.0W</p>  <p>パナソニック FA10312LE1+FK10000</p>	<p>φ100低天井用(～3m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号: LALE-004 レンズ: ガラス、カバー: 鋼板 (クールホワイトつや消し仕上) 電圧: 100～242V、蓄電池: ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ (緑) 付、リモコン: FSK90910K (別売) 消費電力1.0W</p>  <p>保守率: 0.92 K0143780</p> <table border="1" data-bbox="1240 1171 1727 1276"> <thead> <tr> <th>器具取付高さ</th> <th>2.1m</th> <th>2.4m</th> <th>2.6m</th> <th>3.0m</th> <th>4.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単体配置 A1</td> <td>4.2</td> <td>4.6</td> <td>4.7</td> <td>4.9</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>直線配置 A2</td> <td>9.3</td> <td>10.2</td> <td>10.8</td> <td>11.9</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>四角配置 A4</td> <td>7.4</td> <td>8.2</td> <td>8.7</td> <td>9.6</td> <td>11.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>パナソニック NNFB91605C</p>	器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置 A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3	直線配置 A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9	四角配置 A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7	<p>φ100中天井用(～6m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号: LALE-006 レンズ: ガラス、カバー: 鋼板 (クールホワイトつや消し仕上) 電圧: 100～242V、蓄電池: ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ (緑) 付、リモコン: FSK90910K (別売) 消費電力1.3W</p>  <p>保守率: 0.92 K0143775</p> <table border="1" data-bbox="1804 1171 2291 1276"> <thead> <tr> <th>器具取付高さ</th> <th>2.1m</th> <th>2.4m</th> <th>2.6m</th> <th>3.0m</th> <th>4.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単体配置 A1</td> <td>5.4</td> <td>5.9</td> <td>6.3</td> <td>6.9</td> <td>7.9</td> </tr> <tr> <td>直線配置 A2</td> <td>11.3</td> <td>12.7</td> <td>13.5</td> <td>15.2</td> <td>18.6</td> </tr> <tr> <td>四角配置 A4</td> <td>8.5</td> <td>9.6</td> <td>10.2</td> <td>11.6</td> <td>14.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>パナソニック NNFB93605C</p>	器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置 A1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9	直線配置 A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6	四角配置 A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																													
単体配置 A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3																																													
直線配置 A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9																																													
四角配置 A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7																																													
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																													
単体配置 A1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9																																													
直線配置 A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6																																													
四角配置 A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6																																													
<p>B LED B級・BL形 避難口誘導灯両面型</p>																																																		
<p>LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 両面型 壁・天井直付型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号: 1AM221-3210 消費電力2.6W</p>  <p>パナソニック FA20312LE1+FK20006+FK20007</p>																																																		

※型番は参考とする

照明器具参考姿図

市道 一貫3-506号線



223.55

223.90

223.93

224.20

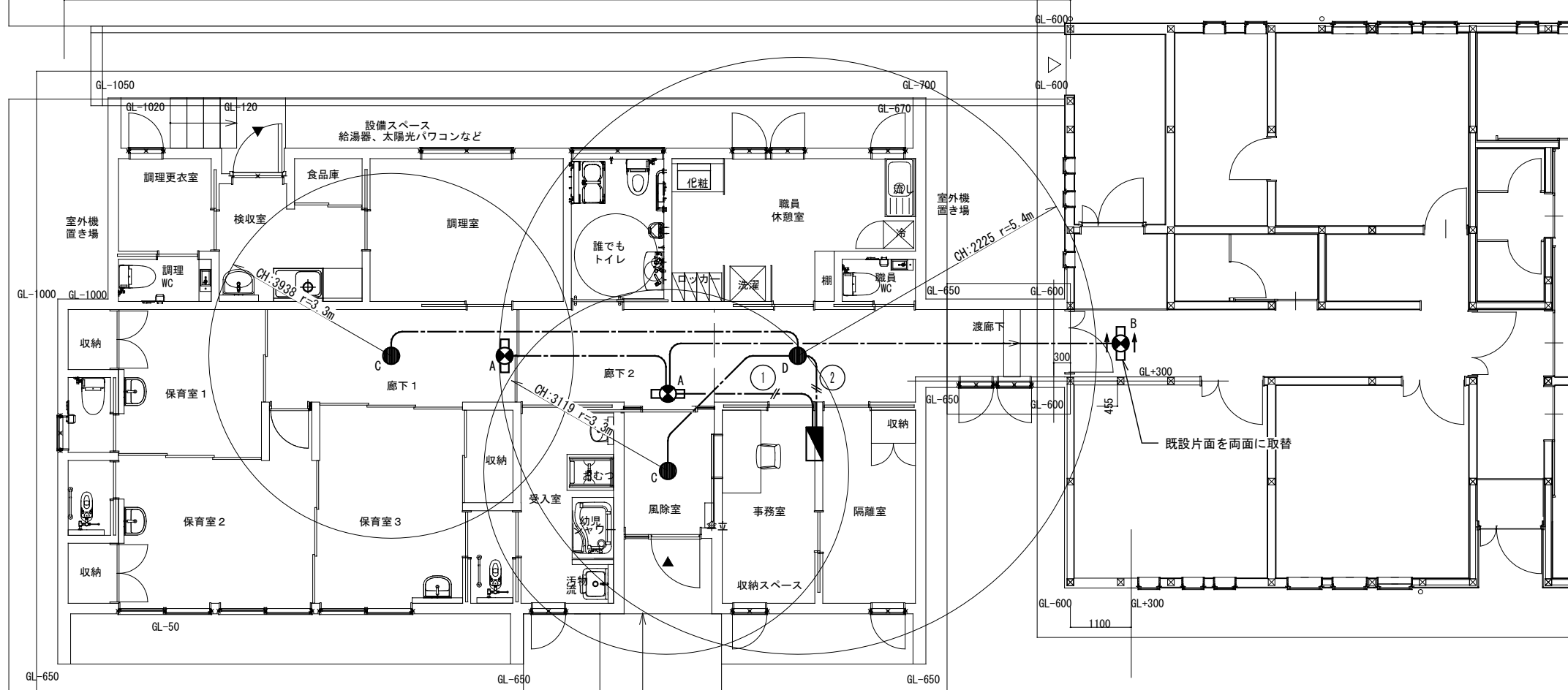
224.21

X9
X8
X7
X6
X5
X4
X3
X2
X1

4448

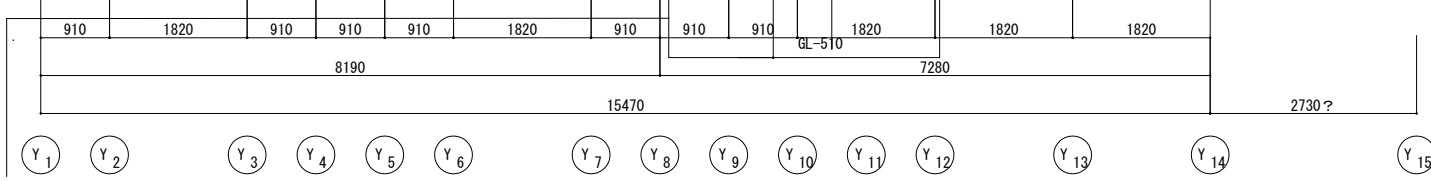
910
2730
910
1820
910
5460
910
1820
910

18200



※注: 保育室1, 2, 3, 廊下1と2の一部、風除室は吹抜け

4800 スロープ 勾配1/12



特記無き配線は下記のとおり
EM-EEF1.6-2C
EM-EEF2.0-2C

PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

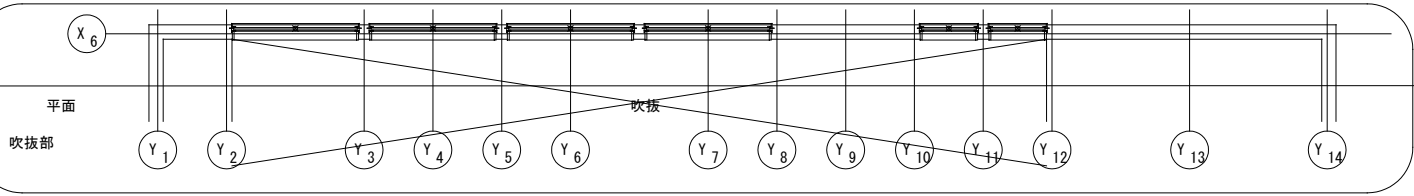
DRAWING TITLE
誘導灯非常灯設備平面図

SCALE 1/100
DATE 2022/06/15
NO. E-12

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

市道一貫3-506号線

223.59



224.21



223.90

223.93

224.20

223.55

4448

18200

X9

X8

X7

X6

X5

X4

X3

X2

X1

910

1820

2730

910

1820

910

1820

910

1820

910

1820

910

1820

910

1820

910

1820

910

1820

910

1820

910

1820

910

1820

910

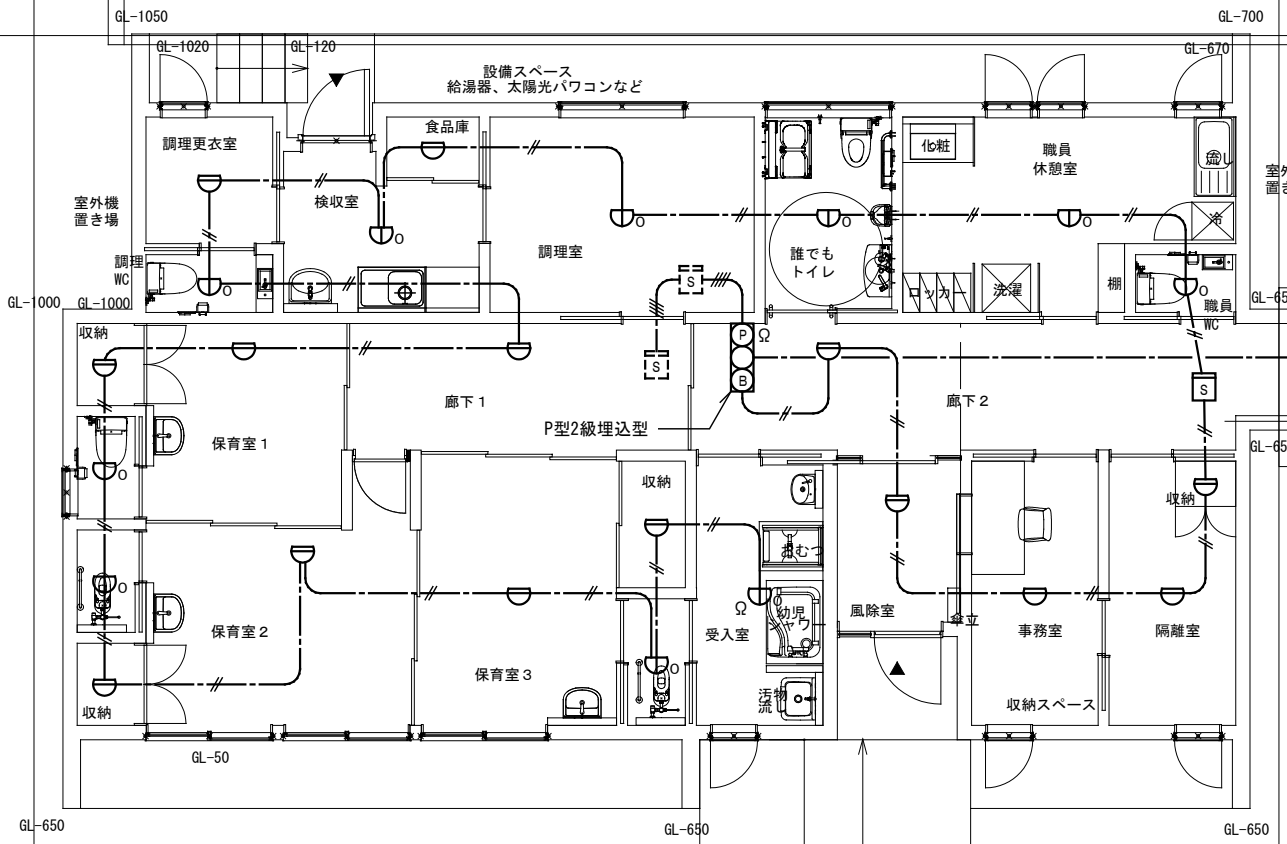
1820

910

1820

910

1820



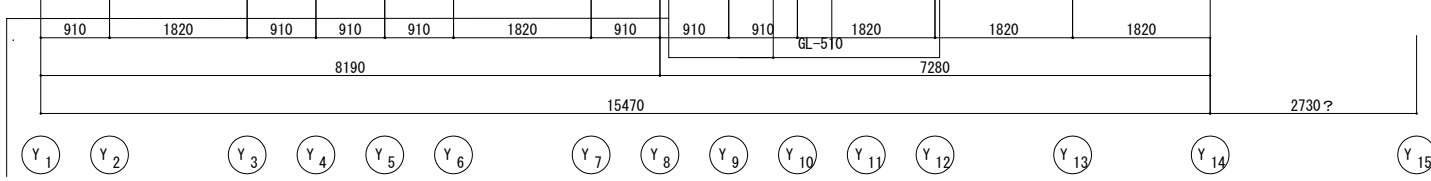
※注: 保育室1, 2, 3、廊下1と2の一部、風除室は吹抜け

4800 スロープ 勾配1/12

特記無き配線は下記のとおり

— — — — — EM-AE0. 9-2C

— — — — — EM-AE0. 9-4C



PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE
 自動火災報知設備平面図

SCALE 1/100
 DATE 2022/06/15
 NO. E-13

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL. 080-2013-1806

番号	図面名称	縮尺
M-00	図面リスト	NS
M-01	機械設備工事特記仕様書-1	NS
M-02	機械設備工事特記仕様書-2	NS
M-03	機械設備工事試験内容一覧表	NS
M-04	凡例・保温仕様	NS
M-05	施工要領図	NS
M-06	衛生・消火設備 機器・器具表	NS
M-07	衛生設備 外部配管図	1/400
M-08	衛生・消火設備 平面図	1/100
M-09	換気設備 機器表	NS
M-10	換気設備 計算書	NS
M-11	換気設備 平面図	1/100
M-12	換気設備 平面図(24H換気)	1/100
M-13	空調設備 機器表	NS
M-14	空調設備 平面図	1/100
M-15	既存改修図 換気設備 平面図	1/100

東日本大震災の復旧復興事業における積算方法等	14	<p>○ 1 資材調達</p> <p>次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合は、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資材名</th> <th>規格</th> <th>調達地域等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 2 労働者確保</p> <p>(1)本工事は元請業者が必要とする共通費における、「共通仮設費のうち仮設建物費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方針に変更が生じ、建築関係工事積算基準(福島県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、事前に監督員と協議を行い、協議の結果により実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終積算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。</p> <p>営繕費(共通仮設費における仮設建物費):労働者送迎費・宿泊費・借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用・貸金以外の食事・通勤費等に要する費用・福利厚生等に要する費用・純工事費に含まれない作業用具及び作業被服等の費用・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用</p> <p>(2)本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(建築関係工事積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費について、その金額または率に占める割合は次のとおりである。</p> <p>1)共通仮設費に占める、実績変更対象間接費(営繕費):設計書に積上げ計上された金額 % 2)現場管理費に占める、実績変更対象間接費(労務管理費)の割合:</p> <p>(3)受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>(4)受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。</p> <p>(5)発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象工事費について実際に支払った額のうち、証明書において確認された費用から、建築関係工事積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。 なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書をもって設計変更を行うものとする。</p> <p>(6)受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p> <p>(7)受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。</p>	資材名	規格	調達地域等										<p>16</p> <p>○ 1 内容</p> <p>○ 2 施工計画書</p> <p>○ 3 協議</p> <p>○ 4 虚偽の申告</p>
	資材名	規格	調達地域等												
<p>15</p> <p>1 工程関係</p> <p>※調整無し ・別途工事との工程調整が必要有り 調整項目 ・資材等の流用 ・仮設及び工事用道路等の調整 ・建設機械等の調整 ・施工順序の調整 ・図示による ・その他()</p> <p>2 施工時期 施工時間 施工方法</p> <p>※制限無し ・制限有り ・制限する工種名 () ・施工時期 (・ 土日祝日のみ ・図示による ・その他 ()) ・施工時間 (・ 時～ 時まで) ・施工方法 ()</p> <p>工事を施工しない日 工事を施工しない時間帯</p> <p>・有 (・ 年 月 日 ・別紙のとおり) ・無 ・有 (・ : ~ : ・別紙のとおり) ・無</p> <p>3 他機関との協議 協議が必要な機関名 () 協議完了見込み時期 ()</p> <p>4 工事用地 ・下記以外は図示等による。 (1)工事車両の駐車場 (※構内 ()) (2)資材置き場 (※構内 ()) (3)建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所 (※構内 ())</p> <p>・仮設ヤード ※無し ・有り (※図示による ())</p> <p>5 公害対策 ※施工方法の制限無し ・施工方法の制限有り ・騒音 ・振動 ・水質 ・粉じん ・排出ガス ・その他 () ・施工方法等 ・指定工法名 () ・別途協議による ・図示による</p> <p>・事業損失防止に関する調査 ・騒音測定 ・振動測定 ・水質調査 ・近隣家屋の事前・事後調査 ・地盤沈下測定 ・その他 () ・調査箇所 ・図示による ・別途協議 ・調査時期 ・図示による ()</p> <p>6 安全対策 ・近接公共施設等に対する制限 ・近接公共施設名等 (・ 鉄道 ・ 電気 ・ ガス ・ 水道 ・ 電話 ・ その他 ()) ・制限を受ける工種 ()</p> <p>7 その他 ※敷地内は禁煙とし、喫煙場所は別途協議による。 ※当該工事現場を使用した技術研修会の開催に関する依頼を受けた場合はこれに協力するものとする。</p>	<p>17</p> <p>○ 1 内容</p> <p>○ 2 基準</p>														

<p>1</p> <p>本工事は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、下記対策に要した費用について、実績変更の対象とする。</p> <p>(1)共通費 1)労働者宿舍における密集を避けるための近隣宿泊施設の宿泊費・交通費 2)現場事務所や労働者宿舍等の拡張費用・借地料 3)その他感染拡大防止のために必要と認められる対策に係る費用 (2)現場管理費 1)現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用 2)現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用 3)遠隔臨場やテレビ会議等のための機器リース費・通信費 4)その他感染拡大防止のために必要と認められる対策に係る費用</p> <p>2 受注者は、上記1の対策を実施する場合は、施工計画書に記載すること。 また、上記1の対策に要した費用について、実績変更を希望する場合は、その旨を実績額の提出に先立ち、工事打合せ簿により監督員と協議すること。</p> <p>3 受注者は、上記1の対策に要した費用について「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策費用実績報告書(様式1)」及び実際に支払った全ての証明書類(領収書(原本)、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>なお、様式1の記載にあたっては以下の事項に留意すること。 (1)現場事務所(拡張費用・借地料)については、平時における現場事務所設置費用との差額を記載するものとし、平時における現場事務所設置に要する費用の見積書を添付すること。 (2)労働者宿舍の拡張費用・借地料については「東日本大震災の復旧・復興事業等における労働者宿舍設置に関する試行要領」に基づき労働者宿舍を設置している場合は、拡張に係る費用のみを計上するものとする。労働者宿舍の設置を予定している場合は、感染拡大防止対策を考慮した宿舍設置費用について試行要領に基づき間接費の変更を行うものとし、感染拡大防止対策に係る費用としての計上は行わない。</p> <p>4 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p>	<p>15</p> <p>別表-1の記入上の注意:「※を基本とし、他の発注工種が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること、また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。」</p> <p>別表-1 設備工事との工事区分表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 事 内 容</th> <th colspan="2">建築工事</th> <th>電気設備工事</th> <th>機械設備工事</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <th>屋内</th> <th>屋外</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">機器の基礎</td> <td rowspan="5">電気関係</td> <td>配電盤・制御盤の基礎</td> <td>※</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>※</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>※</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋上</td> <td>※</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)</td> <td>※</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>テレビアンテナ基礎(アンカーボルトを除く)</td> <td>※</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>避雷針の基礎(アンカーボルトを除く)</td> <td>※</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">機械関係</td> <td>屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く)</td> <td>※</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>屋上設備(梁台、アンカーボルトを除く)</td> <td>※</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>屋外設備(梁台、アンカーボルトを除く)</td> <td>※</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>梁台、アンカーボルト</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>特記した基礎</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">開口部</td> <td>梁、床、壁</td> <td>補強を要するもの</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>貫通スリーブ</td> <td>補強を要しないもの</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>梁、床、壁</td> <td>補強を要するもの</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>貫通型枠</td> <td>補強を要しないもの</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>軽量鉄骨下地、壁、天井ボード間の切込</td> <td>補強を要しないもの(70tレックボックスは除く)</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>埋込形分電盤</td> <td>補強を要するもの</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>埋込形電盤の板付</td> <td>補強を要するもの</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>埋込形電盤の板付</td> <td>補強を要しないもの</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>上記開口部の補強</td> <td></td> <td>・</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>上記開口部の墨出し</td> <td></td> <td>・</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)</td> <td></td> <td>・</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>フリーアクセスフロア用配線器具</td> <td></td> <td>・</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>点検口</td> <td>床、壁、天井</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>外部取付ガリ</td> <td>ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>湯沸室のフード</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>換気扇の取付枠</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>濾し台</td> <td>排水トラップ共</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>防油堤</td> <td>オイルサーピスタングの防油堤</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タンク基礎</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>床下水槽のマンホールふた</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>屋外排水管</td> <td>雨水</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚水、雑排水</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>雨水立管(たてどい)</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>トイレ手すり</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>化粧鏡(衛生器具まわり)</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>はめ込形洗面器用カウンター(前板共)</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>ガスボンベ配管防止用の鎖</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">電気配管配線</td> <td>自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防火扉リリース</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電線径</td> <td></td> <td>・</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電線径及びふた</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器などへの接続(1次側)</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器付風の制御盤以降の2次側の配管配線(接地共)</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>機器付風の制御盤への電源供給配管配線</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共)</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチと、その渡り配線</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共)</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ガス漏れ検知器</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>電気錠</td> <td>電気錠及び通電金具</td> <td></td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>TENキー及び制御盤</td> <td></td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>エレベーター出入口三方枠(金属製)</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>エレベーター出入口三方枠(石製)</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>シャワーユニット</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>バスユニット</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>洗濯機パン</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>システム天井</td> <td>ボード・Tバー</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>照明ライン設備プレート</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>空調ライン設備プレート</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消火器ボックス</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動制御設備関連のインバーター装置及び盤</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	工 事 内 容	建築工事		電気設備工事	機械設備工事	その他	屋内	屋外				機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	※	・		屋内	※	・		屋外	※	・		屋上	※	・		自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)	※	・		テレビアンテナ基礎(アンカーボルトを除く)	※	・		避雷針の基礎(アンカーボルトを除く)	※	・		機械関係	屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く)	※		・	屋上設備(梁台、アンカーボルトを除く)	※		・	屋外設備(梁台、アンカーボルトを除く)	※		・	梁台、アンカーボルト	・	※	※	特記した基礎	※	・	・	開口部	梁、床、壁	補強を要するもの	・	※	※	貫通スリーブ	補強を要しないもの	・	※	※	梁、床、壁	補強を要するもの	・	※	※	貫通型枠	補強を要しないもの	・	※	※	軽量鉄骨下地、壁、天井ボード間の切込	補強を要しないもの(70tレックボックスは除く)	・	※	・	埋込形分電盤	補強を要するもの	・	※	・	埋込形電盤の板付	補強を要するもの	・	※	・	埋込形電盤の板付	補強を要しないもの	・	※	・	上記開口部の補強		・	※	・	上記開口部の墨出し		・	※	※	スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)		・	※	※	フリーアクセスフロア用配線器具		・	※	・	点検口	床、壁、天井		・	・	外部取付ガリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む		・	・	湯沸室のフード			・	・	換気扇の取付枠			・	・	濾し台	排水トラップ共		・	・	防油堤	オイルサーピスタングの防油堤		・	・		タンク基礎		・	・	床下水槽のマンホールふた			・	・	屋外排水管	雨水		・	・		汚水、雑排水		・	・	雨水立管(たてどい)			・	・	トイレ手すり			・	・	化粧鏡(衛生器具まわり)			・	・	はめ込形洗面器用カウンター(前板共)			・	・	ガスボンベ配管防止用の鎖			・	・	電気配管配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ		※			防火扉リリース		※			電線径		・	※		電線径及びふた		※			機器などへの接続(1次側)		※			機器付風の制御盤以降の2次側の配管配線(接地共)		※		※	機器付風の制御盤への電源供給配管配線		※			自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線		※			自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線		※			天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共)		※		・	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチと、その渡り配線		・		※	個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共)		・		※	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線		※			小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線		・		※	ガス漏れ検知器			・	※	電気錠	電気錠及び通電金具		※	・		TENキー及び制御盤		※	・	エレベーター出入口三方枠(金属製)			※	・	エレベーター出入口三方枠(石製)			※	・	シャワーユニット			※	・	バスユニット			・	・	洗濯機パン			・	※	システム天井	ボード・Tバー		※			照明ライン設備プレート		※			空調ライン設備プレート		※		消火器ボックス			※		自動制御設備関連のインバーター装置及び盤			・	・	自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)			・	・
工 事 内 容	建築工事		電気設備工事	機械設備工事	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	屋内	屋外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		屋内	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		屋外	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		屋上	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	テレビアンテナ基礎(アンカーボルトを除く)	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	避雷針の基礎(アンカーボルトを除く)	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	機械関係	屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く)	※		・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		屋上設備(梁台、アンカーボルトを除く)	※		・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		屋外設備(梁台、アンカーボルトを除く)	※		・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
梁台、アンカーボルト		・	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
特記した基礎		※	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
開口部	梁、床、壁	補強を要するもの	・	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	貫通スリーブ	補強を要しないもの	・	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	梁、床、壁	補強を要するもの	・	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	貫通型枠	補強を要しないもの	・	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	軽量鉄骨下地、壁、天井ボード間の切込	補強を要しないもの(70tレックボックスは除く)	・	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	埋込形分電盤	補強を要するもの	・	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	埋込形電盤の板付	補強を要するもの	・	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	埋込形電盤の板付	補強を要しないもの	・	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	上記開口部の補強		・	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	上記開口部の墨出し		・	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)		・	※	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	フリーアクセスフロア用配線器具		・	※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	点検口	床、壁、天井		・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	外部取付ガリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む		・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	湯沸室のフード			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
換気扇の取付枠			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
濾し台	排水トラップ共		・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
防油堤	オイルサーピスタングの防油堤		・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	タンク基礎		・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
床下水槽のマンホールふた			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
屋外排水管	雨水		・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	汚水、雑排水		・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
雨水立管(たてどい)			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
トイレ手すり			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
化粧鏡(衛生器具まわり)			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
はめ込形洗面器用カウンター(前板共)			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガスボンベ配管防止用の鎖			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	防火扉リリース		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	電線径		・	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	電線径及びふた		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	機器などへの接続(1次側)		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	機器付風の制御盤以降の2次側の配管配線(接地共)		※		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	機器付風の制御盤への電源供給配管配線		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共)		※		・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチと、その渡り配線		・		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共)		・		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線		・		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	ガス漏れ検知器			・	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
電気錠	電気錠及び通電金具		※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	TENキー及び制御盤		※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
エレベーター出入口三方枠(金属製)			※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
エレベーター出入口三方枠(石製)			※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
シャワーユニット			※	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
バスユニット			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
洗濯機パン			・	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
システム天井	ボード・Tバー		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	照明ライン設備プレート		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	空調ライン設備プレート		※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
消火器ボックス			※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
自動制御設備関連のインバーター装置及び盤			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備																			
項目	配管途中	試験時期			試験方法	試験値及び試験内容	最小保持時間	備考											
		隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後															
○ 1	給水装置に該当する管	○	○	○	○	水圧試験	1.75MP a 以上	60分	水道事業者の試験圧力の規定がある場合はそれによる。										
・ 2	揚水管等のポンプに直結する配管	○	○	○	○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分											
・ 3	高置水槽以下の配管	○	○	○	○	水圧試験	静水頭に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分											
○ 4	給湯管	○	○	○	○	水圧試験	上記1、2、3に準ずる。	60分											
・ 5	さや管ヘッダー配管	○	○		○	水圧試験	<table border="1"> <tr> <th>管種</th> <th>初圧</th> <th>60分後</th> </tr> <tr> <td>架橋ポリエチレン管</td> <td>0.75MP a</td> <td>0.45MP a 以上</td> </tr> <tr> <td>ポリブテン管</td> <td>0.75MP a</td> <td>0.55MP a 以上</td> </tr> </table>	管種	初圧	60分後	架橋ポリエチレン管	0.75MP a	0.45MP a 以上	ポリブテン管	0.75MP a	0.55MP a 以上	60分	60分後に規定の圧力以下の場合には再試験を行う。再試験は、共通仕様書による。	
管種	初圧	60分後																	
架橋ポリエチレン管	0.75MP a	0.45MP a 以上																	
ポリブテン管	0.75MP a	0.55MP a 以上																	
○ 6	排水管(屋外埋設管以外)		○	○	○	滴水試験 煙試験	刺激性の濃煙 250 Pa	30分 15分											
	排水管(屋外埋設管)			○		滴水試験		30分	原則、埋戻し前又は最小限の埋戻しで行う。										
・ 7	排水ポンプ吐水管				○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	60分											
・ 8	各消火ポンプに連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	当該ポンプの締切圧力の1.5倍	60分											
・ 9	各種送水口に連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	配管の設計送水圧力の1.5倍又は1.75MP a のいずれか大なる圧力 (7と兼用兼用される配管は7又は8のいずれか大なる圧力)	60分	連結送水管送水口等										
・ 10	不活性ガス消火配管		○		○	気密試験 (空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは10.8MP a 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力 (選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力)	10分											
・ 11	粉末消火配管				○	気密試験 (空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは2.5MP a 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力 (選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力)	10分											
・ 12	冷温水管、冷却水管		○		○	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍 (ただし、最小0.75MP a)	30分											
・ 13	蒸気配管、高温水管		○	○	○	水圧試験	最高使用圧力の2.0倍 (ただし、最小0.2MP a)	30分											
・ 14	油 管	○	○	○	○	空気圧試験	最大常用圧力の1.5倍	30分											
○ 15	冷媒配管	○	○	○	○	気密試験 (空気又は不燃性ガス)	冷媒ガスの種類	気密試験圧力	外部に発泡液を塗布して漏れない事。その後24時間放置して漏れない事。 周囲温度変化による圧力変化の補正を行う。										
							R 2 2	工事監理指針による											
							R 1 3 4 a												
							R 4 0 7 C												
							R 4 1 0 A												
[注] (1) 試験に使用するガスは、窒素ガス、炭酸ガス又は乾燥空気とする。 (2) 試験終了後、ガスをバージし、真空乾燥を行う。絶対圧力が0.1MP a 以下になってからさらに15分以上真空引きし、密閉放置して漏れないことを確かめる。 (3) 配管に冷媒を充填し、運転開始後にガス検知器を使用して配管の接続部を点検し、冷媒の漏洩のないことを確認する。 (4) 屋内機と屋外機の連絡配管は、施工後、絶縁抵抗試験、動作試験を行う。																			
・ 16	住宅用暖房配管				○	水圧試験	住戸内 0.15MP a (ただし、温水コンセント接続後は0.1MP a) 住戸内以外 静水頭に相当する圧力の2倍 (ただし、最小0.75MP a)	30分											
○ 17	通水試験				○	通水試験	・給水設備～水栓器具等取付後、各々全開又は作動させ、吐出水が清澄となるまで行う。また、飲料水配管の場合は、末端において、遊離残留塩素濃度が0.2ppm 検出されるまで消毒を行う。 ・排水設備～衛生器具等取付後、行う。～空調用ドレン管にも適用する。 ・通水試験後、衛生器具等の水量調整を行う。 ・給湯設備～給水設備に準ずる。												
・ 18	水質試験 (9項目)				○	簡易試験	塩素イオン、有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)、一般細菌並びに大腸菌群、PH値、臭気、味、色度、濁度		福島県給水施設等条例並びに(各)市町村給水施設等条例										
・ 19	ポンプ					据付完了後	水圧試験	最高吐出圧力(運転範囲における最高全揚程+最高押し込み圧力)の1.5倍 (ただし、最小0.4MP a)	3分	給水設備、排水設備、給湯設備、空気調和設備各種ポンプ									
・ 20	塩素滅菌装置					据付完了後	動作試験	注入及び停止をそれぞれ手動、自動運転で10回以上行い、異常の有無を検査する。											
・ 21	水槽類				○	滴水試験	滴水状態で12時間以上放置し、漏水の有無を検査する。飲料用の場合は、次亜塩素酸ソーダ溶液等により消毒を行う。	12時間											

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備										
項目	配管途中	試験時期			試験方法	試験値及び試験内容	最小保持時間	備考		
		隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後						
・ 22	鋼製ボイラー					据付完了後	水圧試験	・最高使用圧力が0.42MP a 以下のものは、最高使用圧力の2倍 (ただし、最小0.2MP a) ・最高使用圧力が0.42MP a を超え1.5MP a 以下のものは、最高使用圧力の1.3倍に0.3MP a を加えた圧力 ・最高使用圧力以上の圧力を受けるおそれのない温水ボイラーは、最高使用圧力に0.1MP a を加えた圧力 (ただし、最小0.2MP a)		
・ 23	鋼製ボイラー					据付完了後	水圧試験	・蒸気ボイラーは、0.2MP a ・温水ボイラーは、最高使用圧力の1.5倍 (ただし、最小0.2MP a) ・セクションは、最高使用圧力が0.2MP a 以下のボイラーは0.4MP a、最高使用圧力が0.2MP a を超えるボイラーは最高使用圧力の2倍		
・ 24	真空式温水発生機					○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec (大気圧換算値) 以下		
・ 25	無圧式温水発生機					○	滴水試験		30分	
・ 26	鋼製温水発生機					○	水圧試験	セクションの試験圧は0.6MP a	10分	
・ 27	温水発生機に組込む熱交換器					○	水圧試験	最高使用圧力に0.1MP a を加えた圧力 (ただし、最小0.2MP a)		
・ 28	冷凍機					○	水圧試験	設計圧力の1.5倍		冷水及び冷却水水路
・ 29	遠心冷凍機					○	気密試験	真空95k Pa とし、真空降下は12時間に対して1時間当たり50 Pa 以下		運転中の低圧部圧力が大気圧以上となる冷媒を使用するものを除く
・ 30	吸収冷凍機 直置き吸収冷温水機 小形直置き吸収冷温水機ユニット					○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec (大気圧換算値) 以下		
・ 31	空気調和機の冷水、温水及び蒸気コイル					○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は1.0MP a	10分	
・ 32	ファンコンベクター コンベクター ベースボードヒーター パネルラジエーター					○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は最高使用圧力の1.3倍 (ただし、最小0.5MP a)		
・ 33	貯湯タンク 熱交換器 ヘッダー					据付完了後	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍に温度補正を行った圧力 $P_a = P \times \sigma_n / \sigma_a$ P_a : 補正された試験圧力又は気圧試験圧力 P : 補正前の試験圧力又は気圧試験圧力 σ_n : 試験時の温度における材料の許容引張応力 σ_a : 使用温度における材料の許容引張応力		
・ 34	密閉形隔膜式膨脹タンク					据付完了後	水圧又は気密試験	使用圧力の1.3倍以上		
・ 35	地下オイルタンク					据付完了後	水圧試験	70k Pa 以上	10分	

2. 浄化槽設備										
項目	配管途中	試験時期			試験方法	試験値及び試験内容	最小保持時間	備考		
		隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後						
・ 1	槽 類					据付完了後	滴水試験	滴水状態で24時間以上放置し、漏水の有無を検査する。	24時間	
・ 2	汚水管及び汚泥管	○					滴水試験		30分	
・ 3	ポンプ吐水管				○		水圧試験	最小圧力0.75MP a	60分	
・ 4	消泡管	○			○		通水試験			
・ 5	空気管	○	○	○	○		気密試験	最高使用圧力の1.1倍	60分	

3. ガス設備											
項目	配管途中	試験時期			試験方法	試験値及び試験内容	最小保持時間	備考			
		隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後							
・ 1	都市ガス	○	○	○	○		気密試験 点火試験	最高使用圧力の1.1倍以上 ガスメーター取付後、管内空気を排出して行う。	供給会社規程	ガス事業法に定める技術基準及びガス供給事業者の供給約款	
○ 2	液化石油ガス	○	○	○	○		気密試験	不燃性ガス又は不燃性ガスを使用し、高圧側1.56MP a、低圧側8.4k Pa 以上10.0k Pa 以下	供給管等の内容積		
									10L以下		5分
									10L～50L		10分
									50L超過		24分
							点火試験	気密試験終了後、管内の空気をガスを入れ替え、指定の圧力に調整された調整器を取付て行う。			

※水圧・気密・空気圧試験等は、試験中の圧力状態が分かるようにチャート紙に記録することが望ましい。
 ※本一覧表に記載無き項目は、「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」による。

凡例 (新設配管)			
記号	名称	材料	備考
○	給排水設備	給水管	塩ビライニング鋼管 (VB) ・ SUS ・ 塩ビ管 (VW) ・ 架橋ポリ管
○		給水管	・ H I V P ○ ポリエチレン管
○		雑排水管	・ コーティング鋼管 ・ SGP (白) ・ SGPW ○ 塩ビ管 (VP)
○		汚水管	・ 鋼鉄管 ・ コーティング鋼管 ○ 塩ビ管 (VP)
○		通気管	・ SGP (白) ○ 塩ビ管 ・ 被覆塩ビ管 (VP)
○		鉛管	・ 鉛管 (監督員と協議によりアキレスジョイントと読み替える事ができる。)
○		屋外排水管	○ 塩ビ管
○		屋外排水管	・ ヒューム管
○		給湯往還管	・ 鋼管 ○ HTLP ・ HTP ・ SUS ○ 架橋ポリ管
○		ガス管	○ SGP (白) ○ PLS ○ 供給者責任施工
○		消火栓管	・ SGP (白) ・ 塩ビライニング鋼管 ・ SGP-VS
○		エア管	・ SGP (白) ・ SGPW ・ SGP-VD
○		油管	・ SGP (黒) ・ PLS ・ SGP-VS
○		廃油管	・ SGP (SCH80) ・ PLP ・ SGP-VS
○		灌水用配管	・ 塩ビライニング鋼管 ・ SUS ・ 塩ビ管 (VW) ・ 架橋ポリ管
空調設備			
○		低圧蒸気往還管	・ SGP (黒) ・ 圧力鋼管 (SUS)
○		冷却水往還管	・ 塩ビライニング鋼管
○		冷水往還管	・ SGP (白)
○		温水往還管	・ SGP (白) ・ 架橋ポリ+さや管
○		冷温水往還管	・ SGP (白)
○		膨張管	・ SGP (白)
○		排気管 (エア抜)	・ SGP (白)
○		油往還管	・ SGP (黒) ・ PLP ・ 供給者責任施工
○		ドレーン管	・ SGP (白) ○ 塩ビ管 (ピット・屋外露出部) ○ 空調ドレン用結露防止層付塩化ビニル管 (屋内)
○		パッケージ冷媒管	・ 空調用鋼管 ○ 空調用被覆鋼管 ・ 配管セット

凡例 (一般材料)					
記号	名称	仕様及備考	記号	名称	仕様及備考
□	汚水樹	インバート樹 小口径塩ビ樹	■	防振継手	合成ゴム製 球形
○	雑排水樹	溜樹 □ ⊗ は雨水樹を示す	⊕	温度計	0~100℃ ステンレスガード付
○	同上	樹脂蓋 (ミカゲ) 鋼鉄蓋 (T-6)	⊙	圧力計・連成計	
⊕	床上床下掃除口	MHB: 鋼鉄製中耐重 (2t)	⊖	量水器・流量計	
⊖	床排水金物	床上: 化粧型 床下: 砲金製	⊗	伸縮継手	(S): 単式 (D): 複式
⊗	ガスカラン	屋内はトラップ付	⊘	キャンパス継手	たわみ継手 (ピアノ線入り)
⊘	散水栓	ヒューズコック	⊙	吹出	
⊙	散水栓	散水栓+BOX (SUS製)	⊚	吸込	
⊚	洗浄栓	給湯用単水栓は陶器ハンドル	⊛	配管固定箇所	
⊛	不凍水抜栓	大便器はバキュームブレーカー付	⊜	撤去配管	
⊜	可とう継手	長さは特記無い限り 600L	⊝	既設管接続箇所	
⊝	可とう継手	BOXは樹脂蓋+200VP	⊞	機械穴はつり補修	
⊞		合成ゴム製	⊟	既設配管	
⊟		SUS ベローズ型	⊠		

保温仕様書一覧 (監督員指示による他 下記による)						
種別	施工箇所	屋内露出	屋内隠蔽	暗渠	屋外露出	コンクリート内
給排水管・消火管		1. グラスウール保温筒 (AL付) 2. 鉄線 3. 合成樹脂製カバー	1. グラスウール保温筒 (AL付) 2. 亀甲金網	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	1. グラスウール保温筒 (AL付) 2. カラー鋼板	1. 防食テープ 2. プラスチックテープ
(保温材厚)		15 ^A ~150 ^A : 20 ^{mm}	200 ^A 以上: 30 ^{mm}	※ 寒冷地区屋外露出部分は倍厚保温とする。		
給湯管・温水管		1. グラスウール保温筒 (AL付) 2. 鉄線 3. 合成樹脂製カバー	1. アルミガラスクロス保温筒 2. アルミガラスクロステープ	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス		1. 防食テープ 2. プラスチックテープ
(保温材厚)		15 ^A ~80 ^A : 20 ^{mm}	100 ^A ~150 ^A : 25 ^{mm}	200 ^A : 40 ^{mm}	250 ^A : 以上 50 ^{mm}	
冷水管・冷温水管・冷媒管		1. グラスウール保温筒 (AL付) 2. 鉄線 3. 合成樹脂製カバー	1. アルミガラスクロス保温筒 2. アルミガラスクロステープ	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 青色アルミガラスクロス	1. 樹脂配管カバー	1. 防食テープ 2. プラスチックテープ
(保温材厚)		15 ^A ~25 ^A : 30 ^{mm}	32 ^A ~200 ^A : 40 ^{mm}	250 ^A : 以上 50 ^{mm}		
蒸気管		1. ロックウール保温筒 (AL付) 2. 鉄線 3. ビニール被覆金網	1. ロックウール保温筒 (AL付) 2. 鉄線 3. ビニール被覆金網			
(保温材厚)		露出部分: 20 ^{mm}	隠ぺい部分: 20 ^{mm}			
円形ダクト		1. グラスウール保温帯 (24K) 2. 鉄線 3. カラー亜鉛鉄板	1. アルミガラスクロス保温帯 2. アルミガラスクロステープ		1. グラスウール保温帯 (24K) 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 鉄線 5. 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	
(保温材厚)		露出部分: 25 ^{mm}	隠ぺい部分: 25 ^{mm}			
煙道		1. ロックウールブランケット 2. 鉄線 3. カラー亜鉛鉄板				
(保温材厚)		露出部分: 75				
ヘッダー		1. ロックウールブランケット 2. 鉄線/亀甲金網				
(保温材厚)		露出部分: 50				

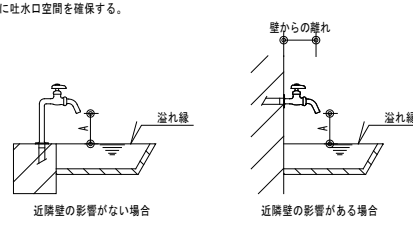
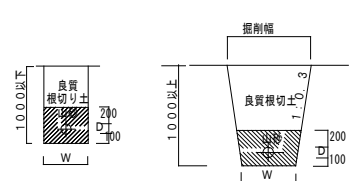
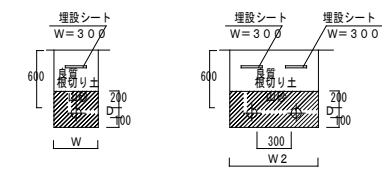
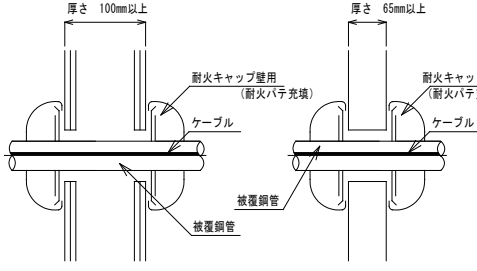
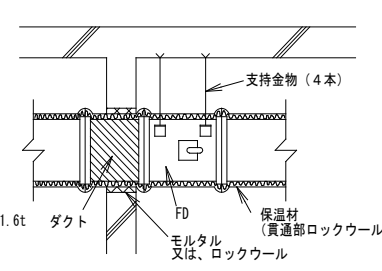
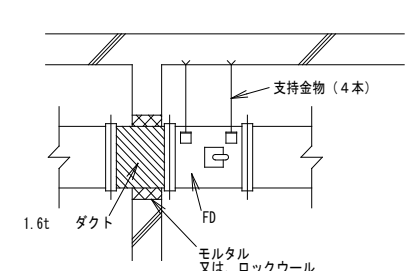
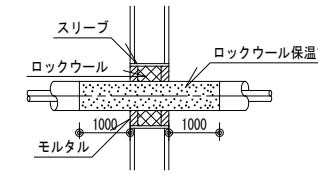
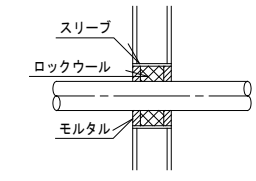
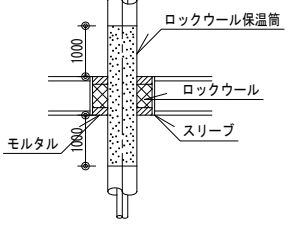
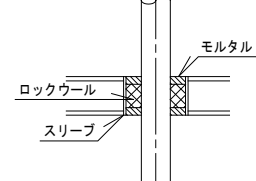
※ 監督員打合せにより、木造・壁中配管及排水管 (VP使用の場合) はワンタッチ保温 (高発泡ポリエチレンパイプカバー) に変更することができる。
 ※ 防火区画貫通部分前後 1m の保温材はロックウールに読み替る事。
 ※ その他仕様変更のある場合は、監督員と協議により決定する事。

PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE
 凡例、保温仕様

SCALE NS
 DATE 2022/06/15
 NO. M-04

Architect
 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

<p>1 吐水口空間</p> <p>建築基準法施行令129の2の5に準ずるものとする。 以下のように吐水口空間を確保する。</p>  <table border="1" data-bbox="252 756 667 850"> <thead> <tr> <th rowspan="2">吐水口空間 影響が ない場合</th> <th colspan="3">近隣壁の影響がない場合</th> <th colspan="3">近隣壁の影響がある場合</th> </tr> <tr> <th>近隣壁の1面の場合</th> <th>近隣壁の2面の場合</th> <th>近隣壁の3面の場合</th> <th>近隣壁の1面の場合</th> <th>近隣壁の2面の場合</th> <th>近隣壁の3面の場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3d以下</td> <td>3d以下</td> <td>3d以下</td> <td>3d以下</td> <td>3d以下</td> <td>3d以下</td> <td>3d以下</td> </tr> <tr> <td>1.7d+5</td> <td>2d+5</td> <td>1.7d+5</td> <td>1.7d+5</td> <td>3.5d</td> <td>3d</td> <td>2d+5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.7d+5</td> </tr> </tbody> </table> <p>d' : 以下の3つの内径dのうち最少内径を有効開口の内径d'とする。 ① 吐水口の内径d ② 二本挿入部分の内径 ③ 給水栓の接続管の内径</p>	吐水口空間 影響が ない場合	近隣壁の影響がない場合			近隣壁の影響がある場合			近隣壁の1面の場合	近隣壁の2面の場合	近隣壁の3面の場合	近隣壁の1面の場合	近隣壁の2面の場合	近隣壁の3面の場合	3d以下	3d以下	3d以下	3d以下	3d以下	3d以下	3d以下	1.7d+5	2d+5	1.7d+5	1.7d+5	3.5d	3d	2d+5							1.7d+5	<p>2 地中埋設管要領図 (排水)</p>  <p>(注) : W=D+400以上または、バケット幅、共掘りの場合は配管本数による。</p>	<p>3 地中埋設管要領図 (給水)</p>  <p>(注) : W=D+400以上または、バケット幅、共掘りの場合は配管本数による。</p>	<p>4 区画貫通処理 冷媒配管</p> <p>(耐火キャップ：因幡電機産業株式会社) 中空壁貫通処理 *躯体壁にも使用可能</p>  <p>(国土交通大臣認定番号 P5060FL-0026 相当品 (床)) (国土交通大臣認定番号 P5060WL-0027 相当品 (壁)) (国土交通大臣認定番号 P5060WL-9370 相当品 (中空壁))</p>	<p>5 区画貫通処理 ダクト (保温あり)</p>  <p>S48建告2565</p>
吐水口空間 影響が ない場合		近隣壁の影響がない場合			近隣壁の影響がある場合																																	
	近隣壁の1面の場合	近隣壁の2面の場合	近隣壁の3面の場合	近隣壁の1面の場合	近隣壁の2面の場合	近隣壁の3面の場合																																
3d以下	3d以下	3d以下	3d以下	3d以下	3d以下	3d以下																																
1.7d+5	2d+5	1.7d+5	1.7d+5	3.5d	3d	2d+5																																
						1.7d+5																																
<p>6 区画貫通処理 ダクト (保温なし)</p>  <p>S48建告2565</p>	<p>7 壁区画貫通処理 配管 (鋼管) (保温あり)</p>  <p>建築基準法施工令第129条2-5七項</p>	<p>8 壁区画貫通処理 配管 (鋼管) (保温なし)</p>  <p>注：(イ) 不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法に適合する工法とする。 (ロ) 貫通部周囲の充填材は、必要に応じて脱着防止措置を施す。 (ハ) 不燃材料以外のスリーブ材 (紙製板等) を使用した場合は配管前に必ず取り除く。</p>	<p>9 床区画貫通処理 配管 (鋼管) (保温あり)</p>  <p>建築基準法施工令第129条2-5七項</p>	<p>10 床区画貫通処理 配管 (鋼管) (保温なし)</p>  <p>注：(イ) 不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法に適合する工法とする。 (ロ) 貫通部周囲の充填材は、必要に応じて脱着防止措置を施す。 (ハ) 不燃材料以外のスリーブ材 (紙製板等) を使用した場合は配管前に必ず取り除く。</p>																																		

PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE
施工要領図

SCALE NS
DATE 2022/06/15
NO. M-05

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

衛生器具・機器表

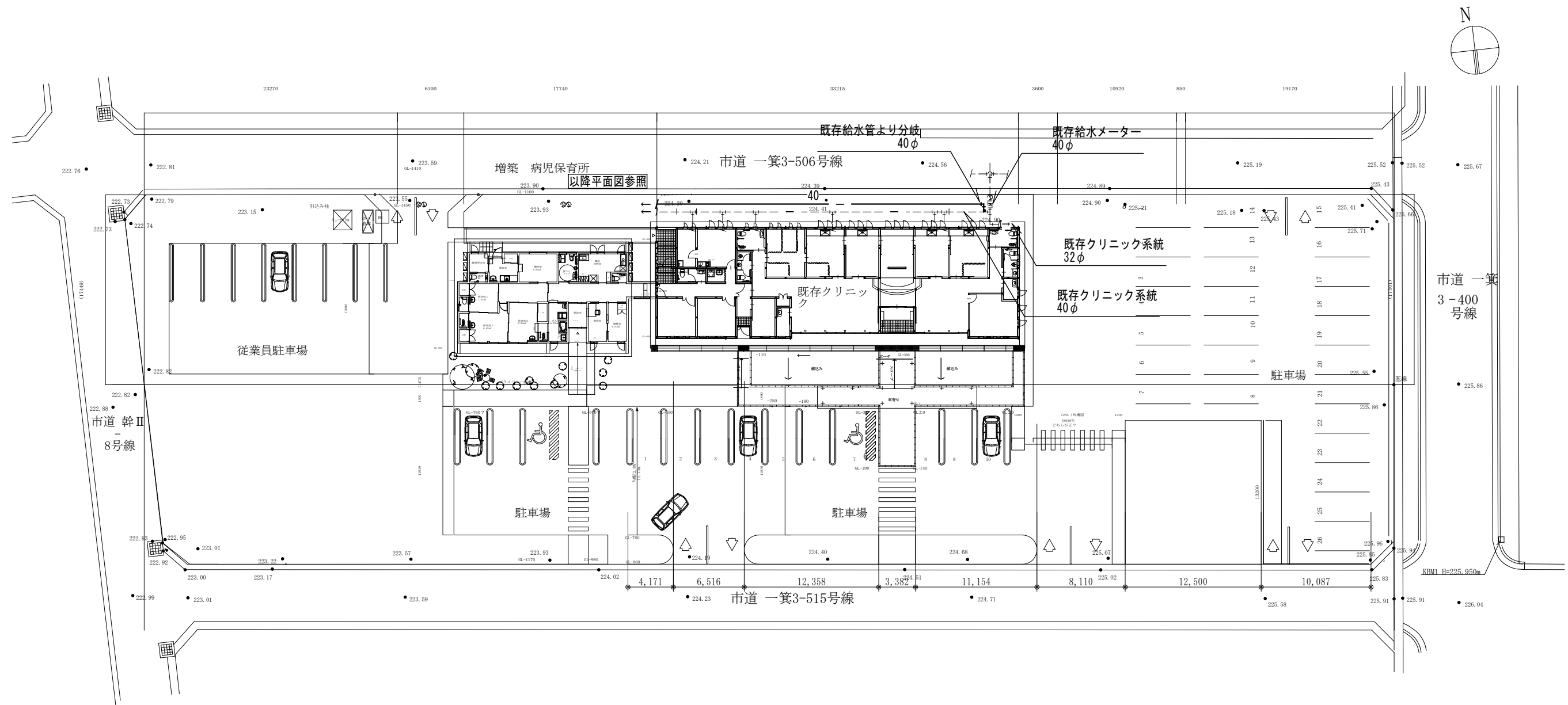
名称	仕様	参考型番 (同等品)		場所 合計	誰でもトイレ	職員トイレ	職員休憩室	受入室	保育室1	保育室1トイレ	保育室2	保育室2トイレ	保育室3	保育室3トイレ	調理トイレ	検収室	調理室	廊下	外部
		LIXIL	TOTO																
車いす対応洋風大便器	ロータンク、蓋無、温水洗浄便座、リモコン	1φ×100V×350W	BC-220SK、DT-K250ML (フタ無し)、CW-PC12-NECK-UR	1	1														
棚付二連紙巻器	ステンレス製、2連、ワンタッチ式		CF-63HS (SUS製)	1	1														
手摺り (L型)	L型、700×700×120D、樹脂被覆タイプ		KF-920AE70D12J	1	1														
ペーパーシート	縦型		AC-OK-F11	1	1														
ペーパーチェア	平壁設置型		AC-BK-F62	1	1														
洗面器	カウンター一体型		L-275N	1	1														
EHW-1 電気温水器	自動水栓一体型、3L、壁付、適温出湯、止水栓	1φ×100V×700W	EHMS-GA3ECSC1-300C	6	1	1			1		1		1						
洋風大便器	ロータンク、温水洗浄便座、リモコン	1φ×100V×350W		3		1				1					1				
紙巻器	ワンタッチ式、一連、樹脂製		CF-AA22H	3		1				1					1				
手洗器	コンパクト型		L-D203SCHE	1		1													
洗面器	カウンター一体型		L-275AN、LF3VK、LF-105PA	1			1												
キッチン流し台	1200L		GKF-S-120MYNL	1			1												
キッチン混合水栓	シングルレバー、寒冷地		SF-WL420SYXNJG	1			1												
洗面器	壁付、小型 (500W×400D)、排水金具		L-132G	6				1	1		1		1			1	1		
化粧鏡	450×600程度、標準タイプ		KF-4560A	10	1	1	1	1	1		1		1		1	1	1		
幼児用大便器	3~5才児用、タンク式、暖房便座	1φ×100V×40W	C-P143S、DT520、CF430CK	2								1		1					
紙巻器	樹脂製、ワンタッチ式		CF-AA23D	2								1		1					
幼児用シャワーパン	FRP製		PF-1175YN (3) -K2	1				1											
汚物流し	FV式、床置き		S-207NT1NNRP	1				1											
洗濯機パン	640サイズ、トラップ、緊急止水弁付水栓		PF-6464AC、TP-51、LF-WJ50KQA-U	1			1												
ペーパータオルホルダー	壁掛、ステンレス製		KF-16U	9	1	1		1	1		1		1		1	1			
手洗器	コンパクト型		L-D203SCHE	1											1				
キッチン混合水栓	レバー式、2ハンドル		SF-16Z-13	4													4		
散水栓	伸縮式、SUS製ボックス			2															2
自動水栓			AM-300CV1	4			1	1								1	1		
GHW-1 ガス給湯器 (調理室)	LPG、24号、屋外壁掛型、給湯専用、配管カバー、リモコン、リモコンコード、付属品	1φ×100V×200W+ヒ-タ-線50W		1															1
GHW-2 ガス給湯器 (職員休憩室)	LPG、24号、屋外壁掛型、給湯専用、配管カバー、リモコン、リモコンコード、付属品	1φ×100V×200W+ヒ-タ-線50W		1															1
GT-1 グリーストラップ	FRP製、パイプ式、50L、3槽式、MH (人荷重)		HGR-NX50P (ホーコス)	1															1
消火器	ABC粉末、4型、露出BOX共			1													1		
消火器	ABC粉末、4型、埋込BOX共			1														1	

PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
衛生機器・器具表

SCALE NS
DATE 2022/06/15
NO. M-06

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

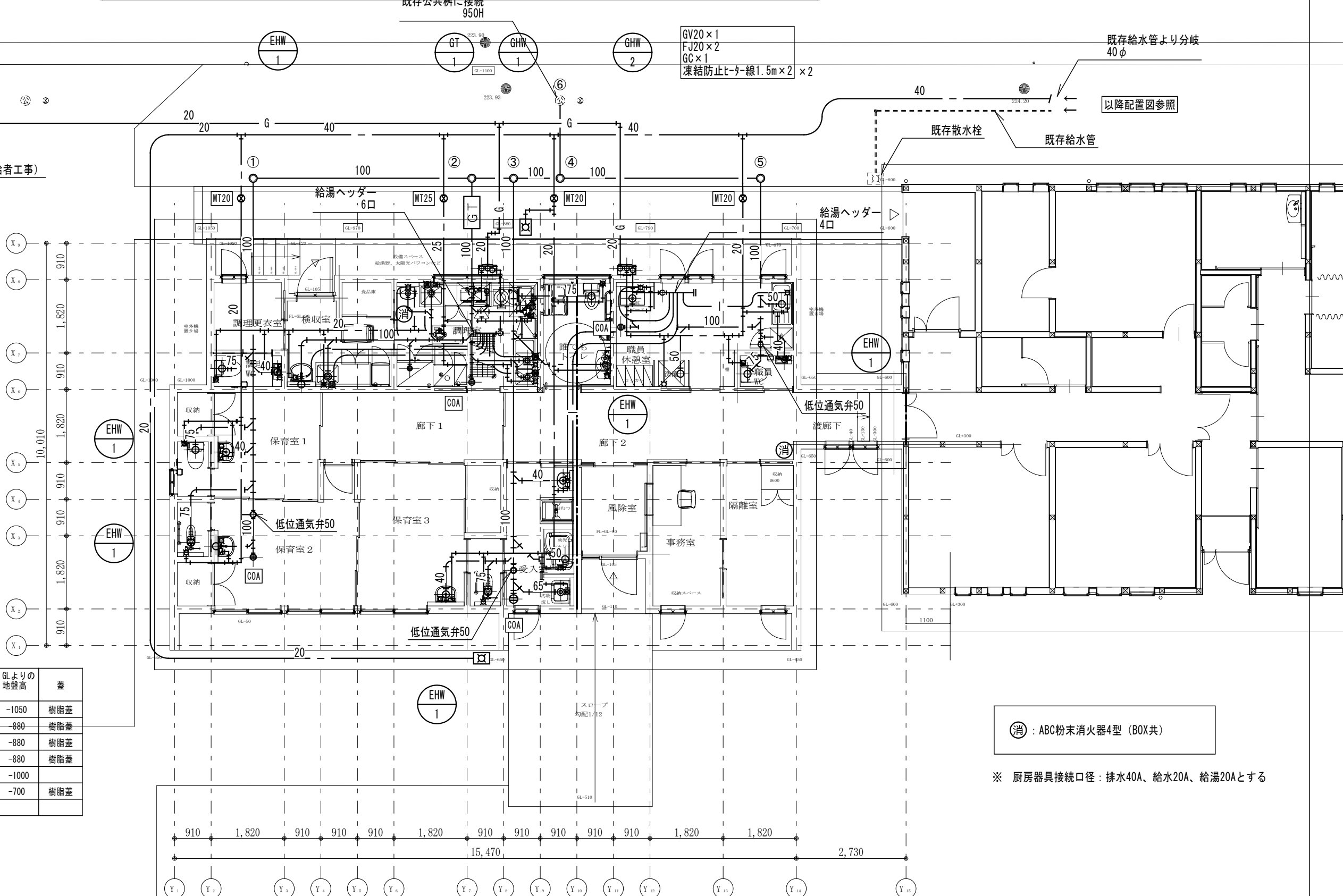
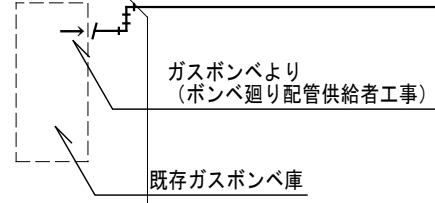
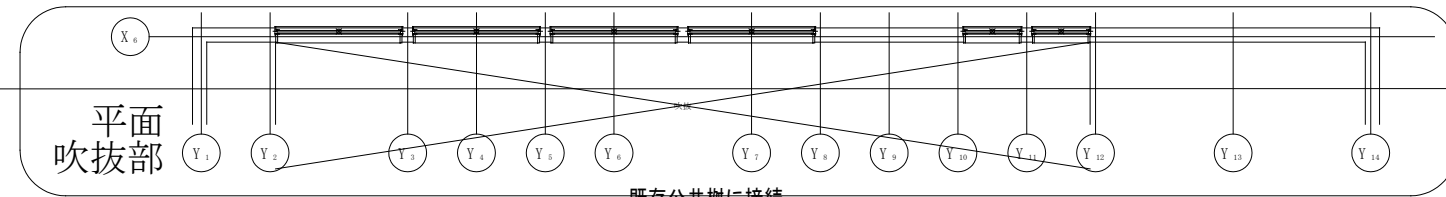
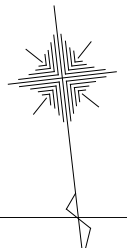


PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DROWING TITLE
 外部配管図

SCALE 1/400
 DATE 2022/06/15
 NO. M - 07

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806



記号	樹名	仕様	距離(m)	深さ(h)	地盤高よりの深さ(h)	GLよりの地盤高	蓋
①	小口径樹	150φ起点		-400	-400	-1050	樹脂蓋
②	小口径樹	150φ90YS	5.0	-530	-700	-880	樹脂蓋
③	小口径樹	150φ45YS	1.5	-590	-760	-880	樹脂蓋
④	小口径樹	150φ90WYS	1.2	-645	-815	-880	樹脂蓋
⑥	既存公共樹		2.0	-685	-735	-1000	
⑤	小口径樹	150φ起点		-400	-400	-700	樹脂蓋

※ 屋外排水管の勾配は100φ-2.0%とする。
 ※ 深さは管底までの深さとする。

消 : ABC粉末消火器4型 (BOX共)
 ※ 厨房器具接続口径 : 排水40A、給水20A、給湯20Aとする

換気機器表

記号	名称	仕様	消費電力			台数	設置場所	備考 (参考型番)
			φ	V	kw			
V-1	天井換気扇	型式 : 定風量型、台所用 24H換気対応機器 能力 : 100φ × 150m3/h(強) 20m3/h(弱) × 30Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)、吊金具	1	100	0.03	1	職員休憩室	VD-15ZVY6(同等品)
V-2	パイプファン	型式 : 低騒音型 能力 : 100φ × 50m3/h(強) 20m3/h(弱) × 10Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)	1	100	0.01	1	職員WC	V-08PPFL(同等品)
V-3	天井換気扇	型式 : 定風量型 能力 : 100φ × 150m3/h × 30Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)、吊金具	1	100	0.02	1	誰でもトイレ	VD-15ZVC6(同等品)
V-4	有圧換気扇	型式 : 低騒音型、厨房用 24H換気対応機器 能力 : 35cm × 1300m3/h × 40Pa 付属品 : ウェザーカバー(指定色塗装)、電気シャッター、取付枠(不燃) 速調付、油受付	1	100	0.10	1	調理室	EFC-35MSB(同等品)
V-5	天井換気扇	型式 : 定風量型 能力 : 100φ × 100m3/h × 30Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)、吊金具	1	100	0.01	1	検収室	VD-10ZVC6(同等品)
V-6	パイプファン	型式 : 低騒音型 24H換気対応機器 能力 : 100φ × 50m3/h(強) 20m3/h(弱) × 10Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)	1	100	0.01	1	調理更衣室	V-08PPFL(同等品)
V-7	パイプファン	型式 : 低騒音型 能力 : 100φ × 50m3/h(強) 20m3/h(弱) × 10Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)	1	100	0.01	1	調理WC	V-08PPFL(同等品)
V-8	欠番	型式 : 能力 : 付属品 :						
V-9	欠番	型式 : 能力 : 付属品 :						
V-10	欠番	型式 : 能力 : 付属品 :						
V-11	パイプファン	型式 : 低騒音型 24H換気対応機器 能力 : 150φ × 80m3/h × 10Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)	1	100	0.01	1	保育室1WC	V-12PLD(同等品)

換気機器表

記号	名称	仕様	消費電力			台数	設置場所	備考 (参考型番)
			φ	V	kw			
V-12	パイプファン	型式 : 低騒音型 24H換気対応機器 能力 : 150φ × 80m3/h × 10Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)	1	100	0.01	1	保育室2WC	V-12PLD(同等品)
V-13	パイプファン	型式 : 低騒音型 24H換気対応機器 能力 : 150φ × 80m3/h × 10Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)	1	100	0.01	1	保育室3WC	V-12PLD(同等品)
V-14	パイプファン	型式 : 低騒音型 24H換気対応機器 能力 : 150φ × 80m3/h × 10Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)	1	100	0.01	1	受入室	V-12PLD(同等品)
V-15	パイプファン	型式 : 低騒音型 24H換気対応機器 能力 : 150φ × 80m3/h × 10Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)	1	100	0.01	1	事務室	V-12PLD(同等品)
V-16	パイプファン	型式 : 低騒音型 24H換気対応機器 能力 : 150φ × 80m3/h × 10Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)	1	100	0.01	1	隔離室	V-12PLD(同等品)
OA-1	天井換気扇(給気専用)	型式 : 低騒音型、給気専用、寒冷地仕様、ミックスフロー搭載 能力 : 100φ × 30m3/h × 10Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)、吊金具 電気式シャッター、フィルター	1	100	0.01	3	職員休憩室、受入室 事務室	VD-13ZPQD(同等品)
OA-2	ストリートシロッコファン	型式 : 消音型 能力 : 100φ × 80m3/h(強) 20m3/h(弱) × 80Pa 付属品 : 深形フード(指定色塗装)、吊金具、吹出グリル × 1(壁付)	1	100	0.03	1	保育室3	BFS-15SUG(同等品)
OA-3	給気口	型式 : 壁付 能力 : 100φ 付属品 : 深形フード(指定色塗装)				4	調理更衣室、保育室1 保育室2、隔離室	
RC	24時間換気対応スイッチ (電気工事へ支給)	型式 : 24時間換気対応型、壁付				9	各所	

PROJECT TITLE

(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE

換気機器表

SCALE NS

DATE 2022/06/15

NO. M - 09

Architect

桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体

一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文

一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号

埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

<換気計算書>

階	室名	床面積(Af) m2	天井高(b) m	室容積(c=Af*b) m3	換気回数(d)	回数風量 (I=c*d) m3/h	N値	人員	人員風量	N値風量	決定風量	実換気回数	機器番号	機器風量	機器番号	換気種別			24時間換気	
							N	g	g*30	20Af/N	排気	風量÷気積	排気	排気	給気	1種	2種	3種	区画	判定
<通常換気の検討>																				
1	職員休憩室	11.084	2.225	24.661	3	73.98	2.77095	4.00	120.00	80.00	150	6.08	V-1	150	0A-1	○			A	○
1	職員WC	1.338	2.225	2.976	10	29.76					50	16.80	V-2	50			○			
1	誰でもトイレ	4.969	2.225	11.055	10	110.55					150	13.56	V-3	150			○			
1	調理室	9.937	2.225	22.110	30	663.31	9.9372	1.00	30.00	20.00	1300	58.80	V-4	1300	VHS			○	B	○
1	検収室	6.832	2.225	15.201	3	45.60					100	6.58	V-5	100				○		
1	調理更衣室	3.312	2.225	7.370	2	14.74	3.3124	1.00	30.00	20.00	50	6.78	V-6	50	0A-3			○	C	○
1	調理WC	1.656	2.225	3.685	10	36.85					50	13.56	V-7	50				○		
1	保育室1	7.453	3.783	28.191	1	28.19														
1	保育室1WC	1.338	2.225	2.976	10	29.76														
	合計	8.79		31.17		57.96	4.3953	2.00	60.00	40.00	80	2.57	V-11	80	0A-3			○	D	○
1	保育室2	9.937	2.644	26.275	1	26.28														
1	〃	0.828	3.392	2.809	1	2.81														
1	保育室2WC	1.338	2.225	2.976	10	29.76														
1	合計	12.10		32.061		58.848	6.0514	2.00	60.00	40.00	80	2.50	V-12	80	0A-3			○	E	○
1	保育室3	9.937	2.846	28.283	1	28.28														
1	保育室3WC	1.656	2.225	3.685	10	36.85														
	合計	11.59		31.97		65.13	5.7967	2.00	60.00	40.00	80	2.50	V-13	80	0A-3	○			F	○
1	受入室	6.625	2.225	14.740	3	44.22	3.3124	2.00	60.00	40.00	80	5.42	V-14	80	0A-1	○			G	○
1	事務室	6.625	2.225	14.740	2	29.48	3.3124	2.00	60.00	40.00	80	5.42	V-15	80	0A-1	○			H	○
1	隔離室	6.625	2.225	14.740	2	29.48	3.3124	2.00	60.00	40.00	80	5.42	V-16	80	0A-3			○	I	○
<24H換気の検討>																				
A	職員休憩室	11.084	2.225	24.661	0.5	12.33	2.77095	4.00	120.00	80.00	150	6.08	V-1	150	0A-1	○			A	○
B	調理室	9.937	2.225	22.110	0.5	11.06	9.9372	1.00	30.00	20.00	1300	58.80	V-4	1300	VHS			○	B	○
C	調理更衣室	3.312	2.225	7.370	0.5	3.69	3.3124	1.00	30.00	20.00	50	6.78	V-6	50	0A-3			○	C	○
D	保育室1	7.453	3.783	28.191																
D	保育室1WC	1.338	2.225	2.976																
D	合計	8.79		31.17	0.5	15.58	4.3953	2.00	60.00	40.00	80	2.57	V-11	80	0A-3			○	D	○
E	保育室2	9.937	2.644	26.275																
E	〃	0.828	3.392	2.809																
E	保育室2WC	1.338	2.225	2.976																
E	合計	12.10		32.061	0.5	16.03	6.0514	2.00	60.00	40.00	80	2.50	V-12	80	0A-3			○	E	○
F	保育室3	9.937	2.846	28.283																
F	保育室3WC	1.656	2.225	3.685																
F	合計	11.59		31.97	0.5	15.98	5.7967	2.00	60.00	40.00	80	2.50	V-13	80	0A-3	○			F	○
G	受入室	6.625	2.225	14.740	0.5	7.37	3.3124	2.00	60.00	40.00	80	5.42	V-14	80	0A-1	○			G	○
H	事務室	6.625	2.225	14.740	0.5	7.37	3.3124	2.00	60.00	40.00	80	5.42	V-15	80	0A-1	○			H	○
I	隔離室	6.625	2.225	14.740	0.5	7.37	3.3124	2.00	60.00	40.00	80	5.42	V-16	80	0A-3			○	I	○

<火気使用室換気計算書>

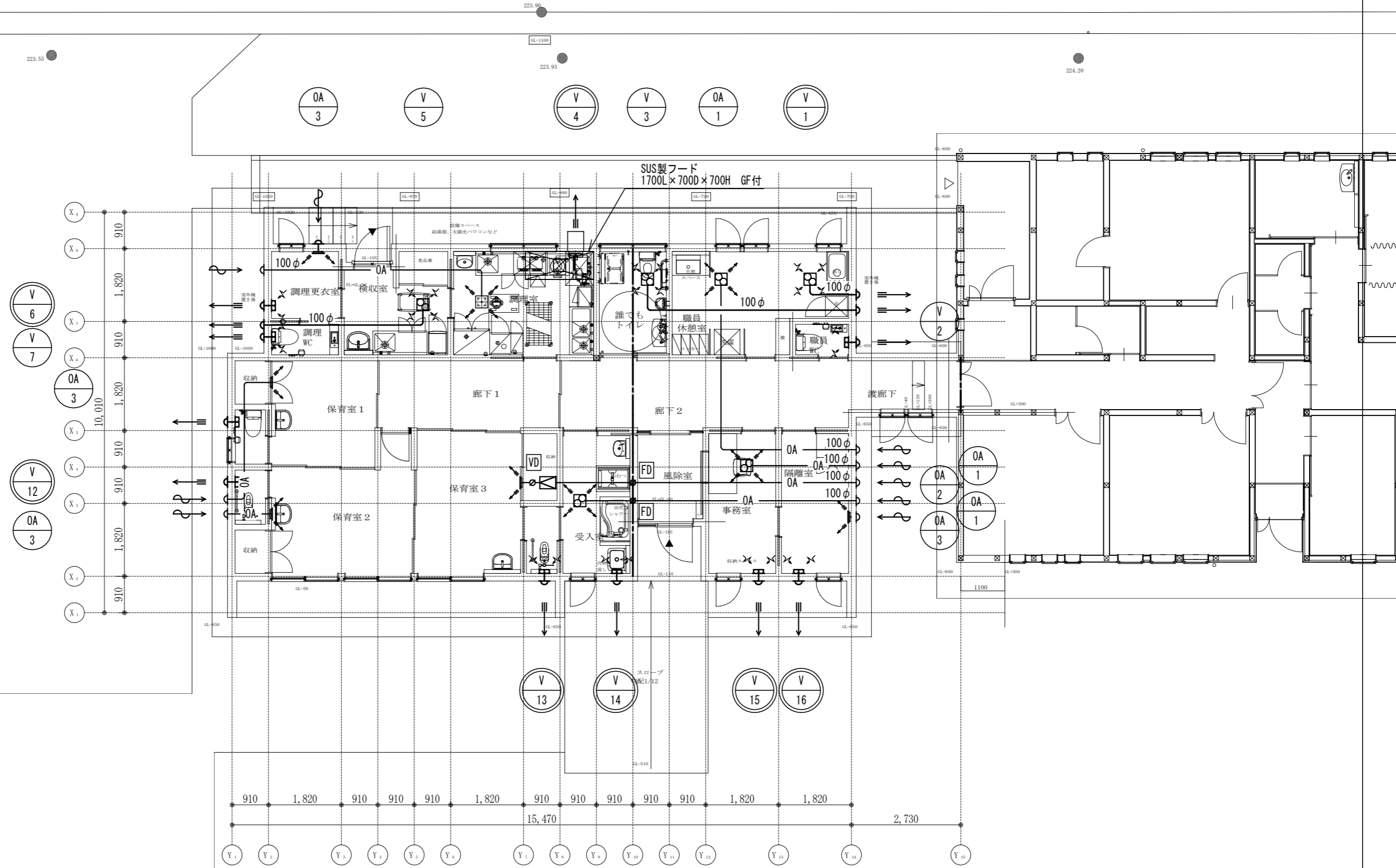
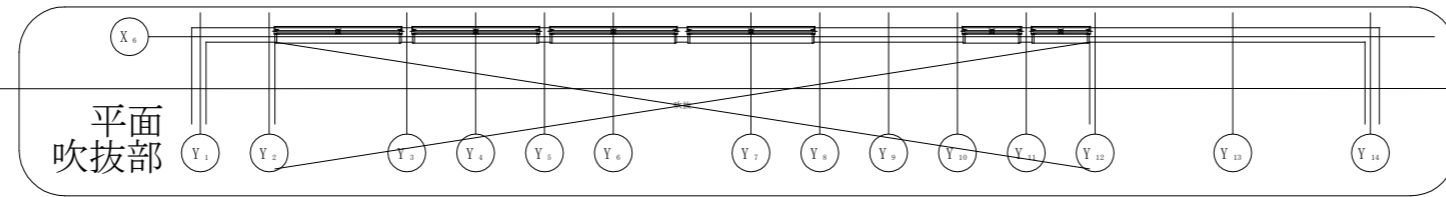
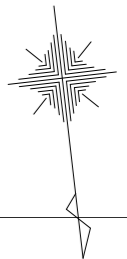
フード	サイズ				対象機器名称	台数	厨房器具の換気					燃料消費量による	フード面風速による	決定	機器番号	機器風量
							火気使用室換気			電気厨房						
	L	W	H	面積			使用器具	ガス機器	V=30KQ ※2	電気厨房	V=30Q					
	(mm)	(mm)	(mm)	(m2)	K:排ガス量	Q:消費量	V:換気量	Q:消費量	V:換気量	(m3/h)	(m3/h)	(m3/h)				
					(m3/h)	KW/h	(m3/h)	(KW)	(m3/h)	(m3/h)	(m3/h)	(m3/h)				
①	1700	700	700	1.19	IHクッキングヒーター	2			1.4×2	84.0						
					IH炊飯ジャー	1			1.41	42.3						
					製氷機	1			0.21	6.3						
					スチームコンベクションオーブン	1			1.9	57.0						
										189.6	1.19m2×0.3m/s×3600	1285.2	1300	V-4	1300	

PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE
換気計算書

SCALE NS
DATE 2022/06/15
NO. M-10

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806



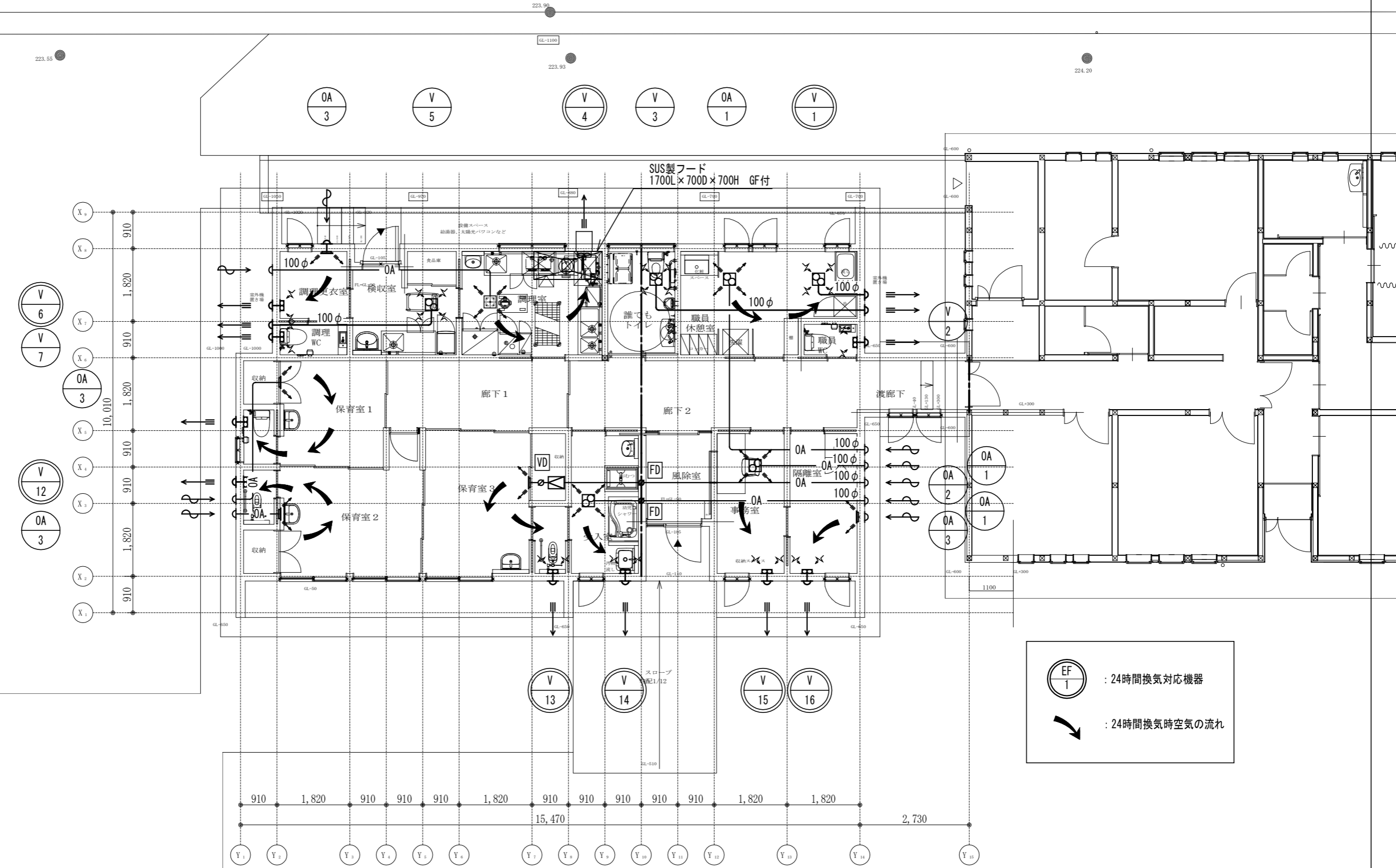
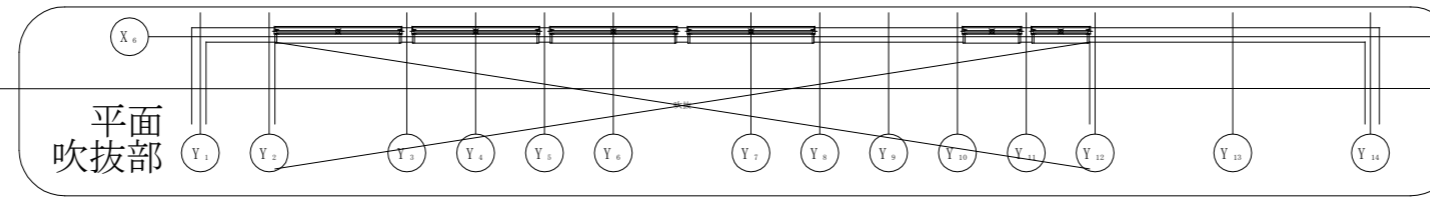
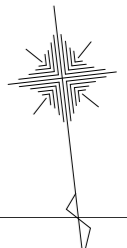
吹出口	調理室
VHS 500×500	1
Q = 1500CMH	
BOX 650×650×400H	
フィルター付、GW25t	

PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

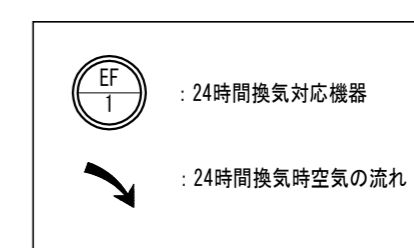
DRAWING TITLE
平面図 (換気)

SCALE 1/100
DATE 2022/06/15
NO. M-11

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806



吹出口	調理室
VHS 500×500	1
Q = 1500CMH	
BOX 650×650×400H	
フィルター付、GW25t	



PROJECT TITLE
(仮称) やまみ病児保育所 増築工事

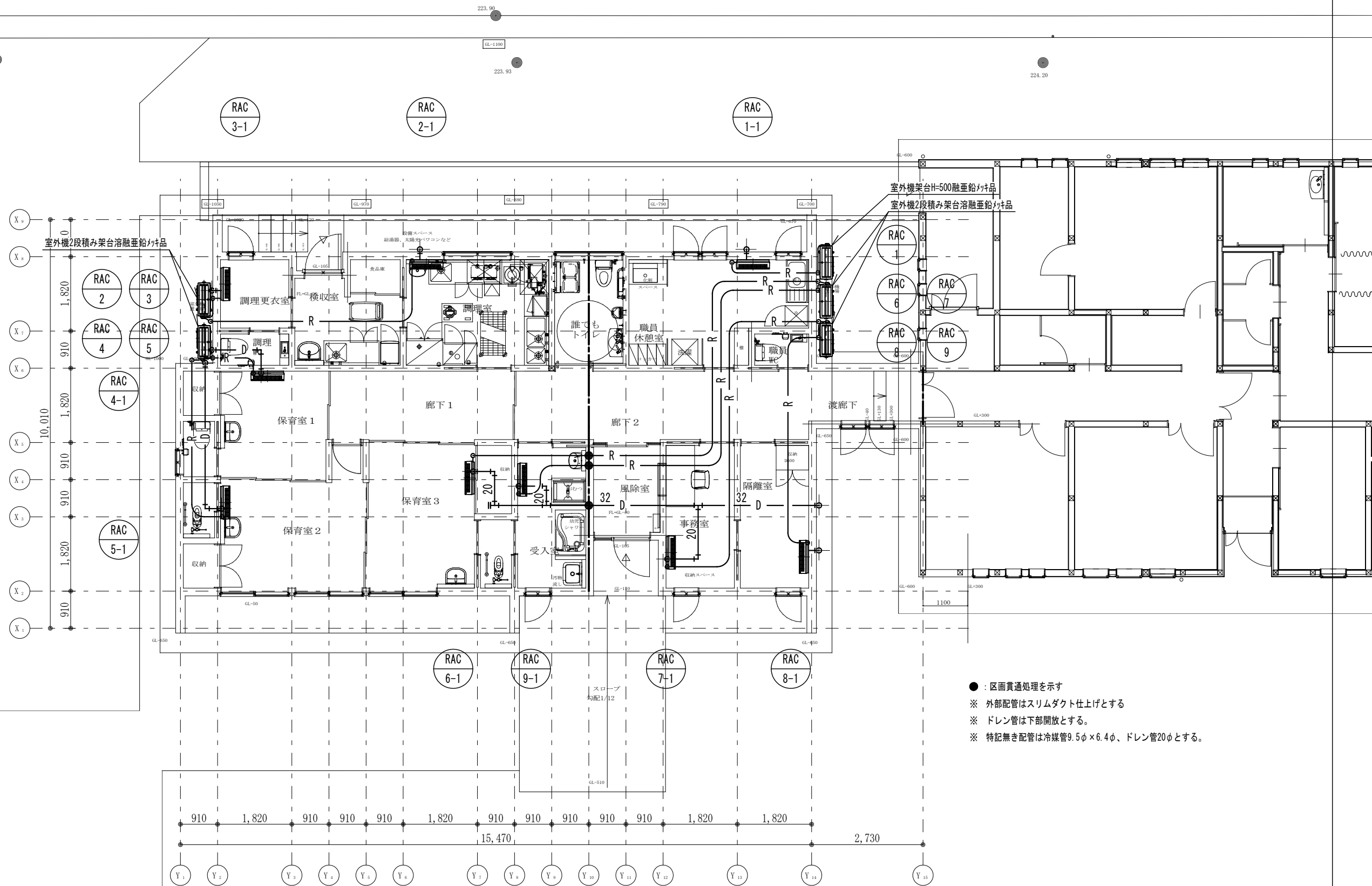
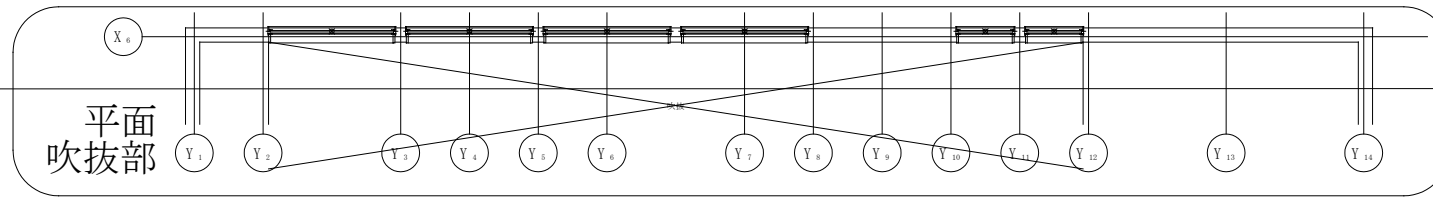
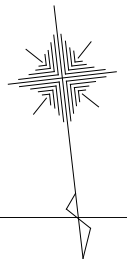
DRAWING TITLE
平面図 (換気24H)

SCALE 1/100
DATE 2022/06/15
NO. M-12

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806

空調機器表

記号	名称	仕様	消費電力			台数	設置場所	備考 (参考型番)
			φ	V	kw			
RAC-1	ルームエアコン	型式 : 壁掛型 能力 : C:2.5KW H:2.8KW 付属品 : 防雪フード、リモコン	1	100	C:0.65 H:0.60 1.30	1	職員休憩室	RAS-V25M(同等品) 運転電流最大20A
RAC-2	ルームエアコン	型式 : 寒冷地仕様、壁掛型 能力 : C:2.5KW H:2.8KW 付属品 : 防雪フード、リモコン	1	100	C:0.57 H:0.55 1.98	1	調理室	RAS-RK25M(同等品) 運転電流最大20A
RAC-3	ルームエアコン	型式 : 壁掛型 能力 : C:2.2KW H:2.5KW 付属品 : 防雪フード、リモコン	1	100	C:0.56 H:0.54 1.245	1	調理更衣室	RAS-V22M(同等品) 運転電流最大20A
RAC-4	ルームエアコン	型式 : 壁掛型 能力 : C:2.2KW H:2.5KW 付属品 : 防雪フード、リモコン	1	100	C:0.56 H:0.54 1.245	1	保育室1	RAS-V22M(同等品) 運転電流最大20A
RAC-5	ルームエアコン	型式 : 壁掛型 能力 : C:2.5KW H:2.8KW 付属品 : 防雪フード、リモコン	1	100	C:0.65 H:0.60 1.30	1	保育室2	RAS-V25M(同等品) 運転電流最大20A
RAC-6	ルームエアコン	型式 : 壁掛型 能力 : C:2.5KW H:2.8KW 付属品 : 防雪フード、リモコン	1	100	C:0.65 H:0.60 1.30	1	保育室3	RAS-V25M(同等品) 運転電流最大20A
RAC-7	ルームエアコン	型式 : 寒冷地仕様、壁掛型 能力 : C:2.2KW H:2.5KW 付属品 : 防雪フード、リモコン	1	100	C:0.475 H:0.485 1.98	1	事務室	RAS-RK22M(同等品) 運転電流最大20A
RAC-8	ルームエアコン	型式 : 寒冷地仕様、壁掛型 能力 : C:2.2KW H:2.5KW 付属品 : 防雪フード、リモコン	1	100	C:0.475 H:0.485 1.98	1	隔離室	RAS-RK22M(同等品) 運転電流最大20A
RAC-9	ルームエアコン	型式 : 寒冷地仕様、壁掛型 能力 : C:2.2KW H:2.5KW 付属品 : 防雪フード、リモコン	1	100	C:0.475 H:0.485 1.98	1	受入室	RAS-RK22M(同等品) 運転電流最大20A
	ドレンアップポンプ					5	各室内機	RAC-4、5、6、7、9用
	室外機架台	型式 : 1段用 仕様 : 溶融亜鉛メッキ製、500H、転倒防止金具				1	外部	
	室外機架台	型式 : 2段用 仕様 : 溶融亜鉛メッキ製、500H、転倒防止金具				4	外部	



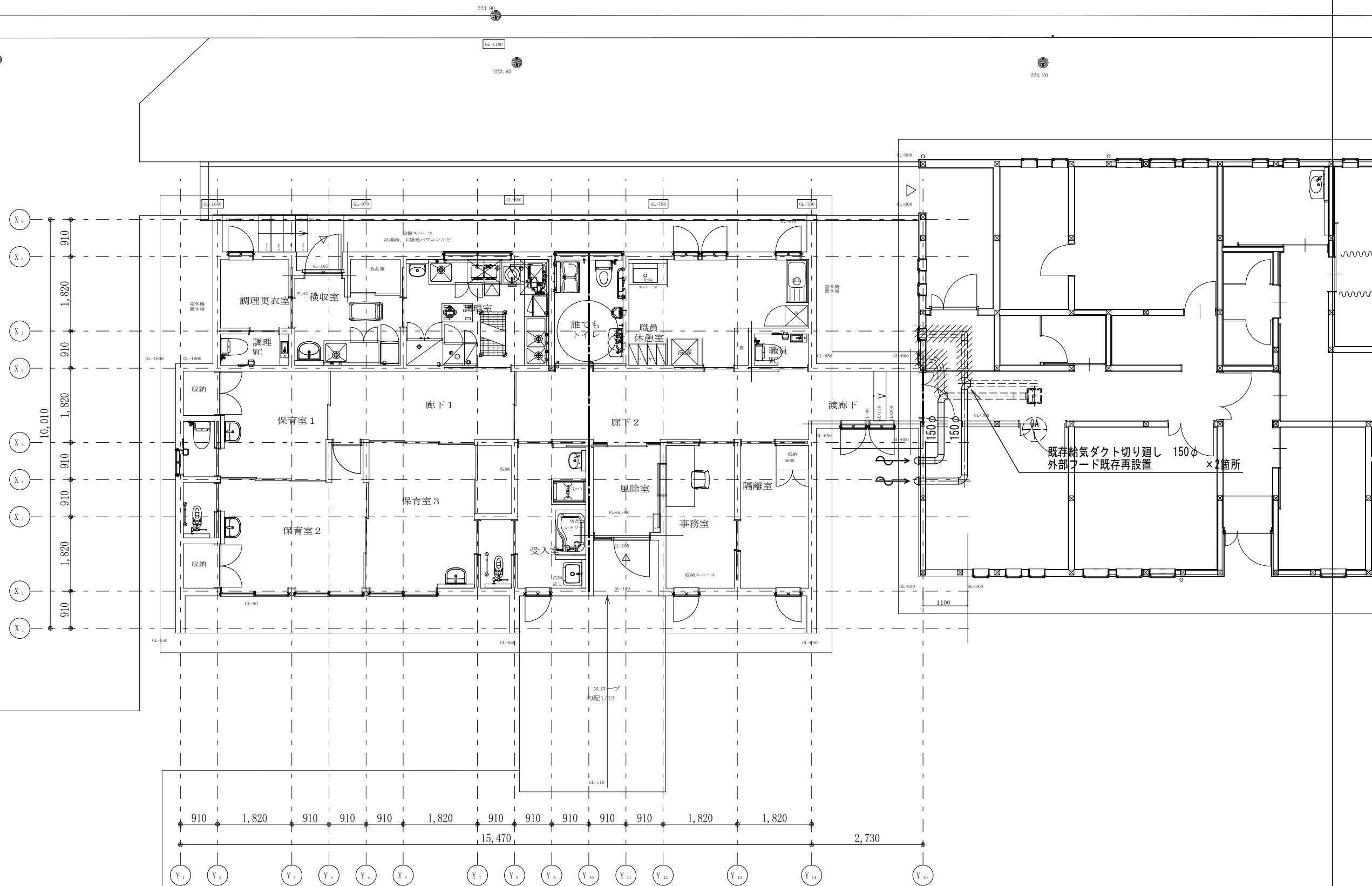
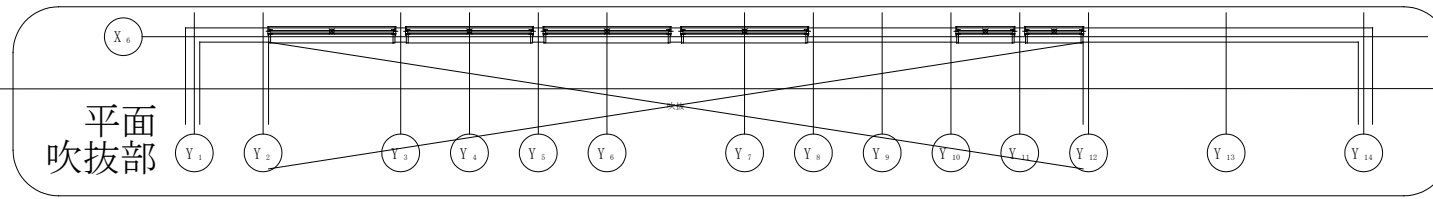
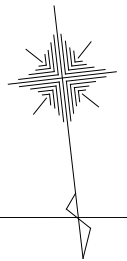
- : 区画貫通処理を示す
- ※ 外部配管はスリムダクト仕上げとする
- ※ ドレン管は下部開放とする。
- ※ 特記無き配管は冷媒管9.5φ×6.4φ、ドレン管20φとする。

PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE
 平面図 (空調)

SCALE 1/100
 DATE 2022/06/15
 NO. M-14

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL.080-2013-1806



PROJECT TITLE
 (仮称) やまみ病児保育所 増築工事

DRAWING TITLE
 平面図 (既存改修)

SCALE 1/100
 DATE 2022/06/15
 NO. M - 15

Architect 桃李社・秋月建築研究室 設計共同企業体
 一級建築士登録番号第359880号 秋月孝文
 一級建築士事務所登録 埼玉県登録 第(1)11409号
 埼玉県新座市東北2-34-12-703 TEL 080-2013-1806